

科目授業名	授業代表教員氏名	ページ数
ドイツ語基礎AI<111>	中島 万紀子	10
ドイツ語基礎AI<112>	渡辺 広佐	14
ドイツ語基礎AI<200>	里村 和秋	18
ドイツ語基礎AI<311>	三浦 國泰	22
ドイツ語基礎AI<312>	工藤 眞一	26
ドイツ語基礎AI<411>	渡辺 広佐	30
ドイツ語基礎AI<412>	里村 和秋	34
ドイツ語基礎AI<413>	清水 威能子	38
ドイツ語基礎BI<111>	泉 ボグミワ	42
ドイツ語基礎BI<112>	泉 ボグミワ	46
ドイツ語基礎BI<311>	赤池 エルフリーデ	50
ドイツ語基礎BI<312>	三浦 國泰	54
ドイツ語基礎BI<411>	泉 ボグミワ	58
ドイツ語基礎BI<412>	泉 ボグミワ	62
ドイツ語基礎BI<413>	中島 万紀子	66
フランス語基礎AI<121>	中野 明	70
フランス語基礎AI<122>	太西 雅一郎	74
フランス語基礎AI<321>	林 ゆき	78
フランス語基礎AI<322>	江島 宏隆	82
フランス語基礎AI<323>	青木 真紀子	86
フランス語基礎AI<421>	松下 彩子	90
フランス語基礎AI<422>	横山 裕人	94
フランス語基礎AI<423>	筒井 由美子	98
フランス語基礎BI<121>	林 ゆき	102
フランス語基礎BI<122>	横山 裕人	106
フランス語基礎BI<321>	デュボー フロランス	110
フランス語基礎BI<322>	デュボー フロランス	114
フランス語基礎BI<323>	サックス ジェラルド	118
フランス語基礎BI<421>	青木 真紀子	122
フランス語基礎BI<422>	土屋 良二	126
フランス語基礎BI<423>	田村 恵子	130
スペイン語基礎AI<131>	鈴木 恵美子	134
スペイン語基礎AI<132>	渡辺 雅哉	138
スペイン語基礎AI<133>	又吉 和魅	142
スペイン語基礎AI<134>	愛場 百合子	146
スペイン語基礎AI<135>	愛場 百合子	150
スペイン語基礎AI<136>	鈴木 恵美子	154
スペイン語基礎AI<331>	高畠 理恵	158

スペイン語基礎AI<332>	渡辺 雅哉	162
スペイン語基礎AI<333>	渡辺 雅哉	166
スペイン語基礎AI<334>	渡辺 雅哉	170
スペイン語基礎AI<335>	渡辺 雅哉	174
スペイン語基礎AI<431>	又吉 和魅	178
スペイン語基礎AI<432>	渡辺 雅哉	182
スペイン語基礎AI<433>	渡辺 雅哉	186
スペイン語基礎AI<434>	又吉 和魅	190
スペイン語基礎AI<435>	高畠 理恵	194
スペイン語基礎AI<500>	愛場 百合子	198
スペイン語基礎BI<131>	サンス アルセニオ	202
スペイン語基礎BI<132>	サンス アルセニオ	206
スペイン語基礎BI<133>	プラド エウヘニオ デル	210
スペイン語基礎BI<134>	プラド エウヘニオ デル	214
スペイン語基礎BI<135>	ドメネク マリア	218
スペイン語基礎BI<136>	小川 かなえ	222
スペイン語基礎BI<331>	プラド エウヘニオ デル	226
スペイン語基礎BI<332>	サンス アルセニオ	230
スペイン語基礎BI<333>	ゴンサレス ベゴニャ	234
スペイン語基礎BI<334>	ゴンサレス ベゴニャ	238
スペイン語基礎BI<335>	三輪 イルマ	242
スペイン語基礎BI<431>	サンス アルセニオ	246
スペイン語基礎BI<432>	プラド エウヘニオ デル	250
スペイン語基礎BI<433>	小川 かなえ	254
スペイン語基礎BI<434>	小川 かなえ	258
スペイン語基礎BI<435>	プラド エウヘニオ デル	262
スペイン語基礎BI<500>	ドメネク マリア	266
中国語基礎AI<141>	浜田 ゆみ	270
中国語基礎AI<142>	宮島 和也	274
中国語基礎AI<143>	木谷 富士子	278
中国語基礎AI<144>	木谷 富士子	282
中国語基礎AI<145>	中桐 典子	286
中国語基礎AI<146>	土屋 肇枝	290
中国語基礎AI<147>	大野 広之	294
中国語基礎AI<148>	野原 将揮	298
中国語基礎AI<149>	木谷 富士子	302
中国語基礎AI<341>	大野 広之	306
中国語基礎AI<342>	大野 広之	310
中国語基礎AI<343>	土屋 肇枝	314

中国語基礎AI<344>	島田 亜実		318
中国語基礎AI<345>	土屋 肇枝		322
中国語基礎AI<441>	浜田 ゆみ		326
中国語基礎AI<442>	木谷 富士子		330
中国語基礎AI<443>	宮島 和也		334
中国語基礎AI<444>	野原 将揮		338
中国語基礎AI<445>	土屋 肇枝		342
中国語基礎AI<446>	島田 亜実		346
中国語基礎AI<500>	土屋 肇枝		350
中国語基礎BI<141>	楊 晶		354
中国語基礎BI<142>	劉 雅新		358
中国語基礎BI<143>	余 瀾		362
中国語基礎BI<144>	張 竹翠		366
中国語基礎BI<145>	楊 晶		370
中国語基礎BI<146>	費 燕		374
中国語基礎BI<147>	徐 送迎		378
中国語基礎BI<148>	楊 晶		382
中国語基礎BI<149>	凌 慶成		386
中国語基礎BI<341>	徐 送迎		390
中国語基礎BI<342>	徐 送迎		394
中国語基礎BI<343>	張 竹翠		398
中国語基礎BI<344>	凌 雲鳳		402
中国語基礎BI<345>	劉 雅新		406
中国語基礎BI<441>	但 繼紅		410
中国語基礎BI<442>	但 繼紅		414
中国語基礎BI<443>	凌 慶成		418
中国語基礎BI<444>	李 林静		422
中国語基礎BI<445>	余 瀾		426
中国語基礎BI<446>	凌 雲鳳		430
中国語基礎BI<500>	凌 慶成		434
韓国語基礎AI<1>	貝森 時子		438
韓国語基礎AI<2>	全 東園		442
韓国語基礎AI<3>	文 珍瑛		446
韓国語基礎AI<4>	全 東園		450
韓国語基礎AI<5>	貝森 時子		454
韓国語基礎BI<1>	桔川 純子		458
韓国語基礎BI<2>	宋 美玲		462
韓国語基礎BI<3>	桔川 純子		466
韓国語基礎BI<4>	文 珍瑛		470

韓国語基礎BI<5>	文 珍瑛	474
ドイツ語基礎AII<111>	中島 万紀子	478
ドイツ語基礎AII<112>	渡辺 広佐	482
ドイツ語基礎AII<200>	里村 和秋	486
ドイツ語基礎AII<311>	三浦 國泰	490
ドイツ語基礎AII<312>	工藤 眞一	494
ドイツ語基礎AII<411>	渡辺 広佐	498
ドイツ語基礎AII<412>	里村 和秋	502
ドイツ語基礎AII<413>	清水 威能子	506
ドイツ語基礎BII<111>	泉 ボグミワ	510
ドイツ語基礎BII<112>	泉 ボグミワ	514
ドイツ語基礎BII<311>	赤池 エルフリーデ	518
ドイツ語基礎BII<312>	三浦 國泰	522
ドイツ語基礎BII<411>	泉 ボグミワ	526
ドイツ語基礎BII<412>	泉 ボグミワ	530
ドイツ語基礎BII<413>	中島 万紀子	534
フランス語基礎AII<121>	中野 明	538
フランス語基礎AII<122>	太西 雅一郎	542
フランス語基礎AII<321>	林 ゆき	546
フランス語基礎AII<322>	江島 宏隆	550
フランス語基礎AII<323>	青木 真紀子	554
フランス語基礎AII<421>	松下 彩子	558
フランス語基礎AII<422>	横山 裕人	562
フランス語基礎AII<423>	筒井 由美子	566
フランス語基礎BII<121>	林 ゆき	570
フランス語基礎BII<122>	横山 裕人	574
フランス語基礎BII<321>	デュボー フロランス	578
フランス語基礎BII<322>	デュボー フロランス	581
フランス語基礎BII<323>	サックス ジェラル	584
フランス語基礎BII<421>	青木 真紀子	588
フランス語基礎BII<422>	土屋 良二	592
フランス語基礎BII<423>	田村 恵子	596
スペイン語基礎AII<131>	鈴木 恵美子	600
スペイン語基礎AII<132>	渡辺 雅哉	604
スペイン語基礎AII<133>	又吉 和魅	608
スペイン語基礎AII<134>	愛場 百合子	612
スペイン語基礎AII<135>	愛場 百合子	616
スペイン語基礎AII<136>	鈴木 恵美子	620
スペイン語基礎AII<331>	高畠 理恵	624

スペイン語基礎AII<332>	渡辺 雅哉	628
スペイン語基礎AII<333>	渡辺 雅哉	632
スペイン語基礎AII<334>	渡辺 雅哉	636
スペイン語基礎AII<335>	渡辺 雅哉	640
スペイン語基礎AII<431>	又吉 和魅	644
スペイン語基礎AII<432>	渡辺 雅哉	648
スペイン語基礎AII<433>	渡辺 雅哉	652
スペイン語基礎AII<434>	又吉 和魅	656
スペイン語基礎AII<435>	高畠 理恵	660
スペイン語基礎AII<500>	愛場 百合子	664
スペイン語基礎BII<131>	サンス アルセニオ	668
スペイン語基礎BII<132>	サンス アルセニオ	672
スペイン語基礎BII<133>	プラド エウヘニオ デル	676
スペイン語基礎BII<134>	プラド エウヘニオ デル	680
スペイン語基礎BII<135>	ドメネク マリア	684
スペイン語基礎BII<136>	小川 かなえ	688
スペイン語基礎BII<331>	プラド エウヘニオ デル	692
スペイン語基礎BII<332>	サンス アルセニオ	696
スペイン語基礎BII<333>	ゴンサレス ベゴニーヤ	700
スペイン語基礎BII<334>	ゴンサレス ベゴニーヤ	704
スペイン語基礎BII<335>	三輪 イルマ	708
スペイン語基礎BII<431>	サンス アルセニオ	712
スペイン語基礎BII<432>	プラド エウヘニオ デル	716
スペイン語基礎BII<433>	小川 かなえ	720
スペイン語基礎BII<434>	小川 かなえ	724
スペイン語基礎BII<435>	プラド エウヘニオ デル	728
スペイン語基礎BII<500>	ドメネク マリア	732
中国語基礎AII<141>	浜田 ゆみ	736
中国語基礎AII<142>	宮島 和也	740
中国語基礎AII<143>	木谷 富士子	744
中国語基礎AII<144>	木谷 富士子	748
中国語基礎AII<145>	中桐 典子	752
中国語基礎AII<146>	土屋 肇枝	756
中国語基礎AII<147>	大野 広之	760
中国語基礎AII<148>	野原 将揮	764
中国語基礎AII<149>	木谷 富士子	768
中国語基礎AII<341>	大野 広之	772
中国語基礎AII<342>	大野 広之	776
中国語基礎AII<343>	土屋 肇枝	780

中国語基礎AII<344>	島田 亜実		784
中国語基礎AII<345>	土屋 肇枝		788
中国語基礎AII<441>	浜田 ゆみ		792
中国語基礎AII<442>	木谷 富士子		796
中国語基礎AII<443>	宮島 和也		800
中国語基礎AII<444>	野原 将揮		804
中国語基礎AII<445>	土屋 肇枝		808
中国語基礎AII<446>	島田 亜実		812
中国語基礎AII<500>	土屋 肇枝		816
中国語基礎BII<141>	楊 晶		820
中国語基礎BII<142>	劉 雅新		824
中国語基礎BII<143>	余 瀾		828
中国語基礎BII<144>	張 竹翠		832
中国語基礎BII<145>	楊 晶		836
中国語基礎BII<146>	費 燕		840
中国語基礎BII<147>	徐 送迎		844
中国語基礎BII<148>	楊 晶		848
中国語基礎BII<149>	凌 慶成		852
中国語基礎BII<341>	徐 送迎		856
中国語基礎BII<342>	徐 送迎		860
中国語基礎BII<343>	張 竹翠		864
中国語基礎BII<344>	凌 雲鳳		868
中国語基礎BII<345>	劉 雅新		872
中国語基礎BII<441>	但 繼紅		876
中国語基礎BII<442>	但 繼紅		880
中国語基礎BII<443>	凌 慶成		884
中国語基礎BII<444>	李 林静		888
中国語基礎BII<445>	余 瀾		892
中国語基礎BII<446>	凌 雲鳳		896
中国語基礎BII<500>	凌 慶成		900
韓国語基礎AII<1>	貝森 時子		904
韓国語基礎AII<2>	全 東園		908
韓国語基礎AII<3>	文 珍瑛		912
韓国語基礎AII<4>	全 東園		916
韓国語基礎AII<5>	貝森 時子		920
韓国語基礎BII<1>	桔川 純子		924
韓国語基礎BII<2>	宋 美玲		928
韓国語基礎BII<3>	桔川 純子		932
韓国語基礎BII<4>	文 珍瑛		936

韓国語基礎BII<5>	文 珍瑛	940
ドイツ語基礎AIII<1>	清水 威能子	944
ドイツ語基礎AIII<2>	工藤 真一	948
ドイツ語基礎BIII<1>	天沼 春樹	952
ドイツ語基礎BIII<2>	里村 和秋	956
フランス語基礎AIII	松下 彩子	960
フランス語基礎BIII	松下 彩子	964
スペイン語基礎AIII<1>	鈴木 恵美子	968
スペイン語基礎AIII<2>	鈴木 恵美子	972
スペイン語基礎BIII<1>	小川 かなえ	976
スペイン語基礎BIII<2>	ドメネク マリア	980
中国語基礎AIII<1>	中桐 典子	984
中国語基礎AIII<2>	島田 亜実	988
中国語基礎BIII<1>	李 林静	992
中国語基礎BIII<2>	余 瀾	996
韓国語基礎AIII<1>	文 珍瑛	1000
韓国語基礎AIII<2>	全 東園	1004
韓国語基礎BIII<1>	全 東園	1008
韓国語基礎BIII<2>	桔川 純子	1012
ドイツ語演習言語と文化I	清水 威能子	1016
ドイツ語演習言語と文化II	清水 威能子	1020
ドイツ語演習プレゼンテーションI	赤池 エルフリーデ	1024
ドイツ語演習プレゼンテーションII	赤池 エルフリーデ	1028
フランス語演習言語と文化I	太西 雅一郎	1032
フランス語演習言語と文化II	太西 雅一郎	1036
フランス語演習検定対策I	土屋 良二	1040
フランス語演習検定対策II	土屋 良二	1044
フランス語演習プレゼンテーションI	デュボー フロランス	1048
フランス語演習プレゼンテーションII	デュボー フロランス	1052
スペイン語演習言語と文化I	細谷 広美	1056
スペイン語演習言語と文化II	細谷 広美	1060
スペイン語演習プレゼンテーションI	又吉 和魅	1064
スペイン語演習プレゼンテーションII	又吉 和魅	1068
中国語演習言語と文化I	野原 将揮	1072
中国語演習言語と文化II	野原 将揮	1076
中国語演習検定対策I	中桐 典子	1080
中国語演習検定対策II	中桐 典子	1084
中国語演習プレゼンテーションI	野原 将揮	1088
中国語演習プレゼンテーションII	野原 将揮	1092

韓国語演習検定対策I	貝森 時子	1096
韓国語演習検定対策II	貝森 時子	1100
韓国語演習プレゼンテーションI	文 珍瑛	1104
韓国語演習プレゼンテーションII	文 珍瑛	1108
ドイツ語会話I<1>	赤池 エルフリーデ	1112
ドイツ語会話I<2>	トルル ヘルマン	1116
ドイツ語会話II<1>	赤池 エルフリーデ	1120
ドイツ語会話II<2>	トルル ヘルマン	1124
ドイツ語会話III	トルル ヘルマン	1128
ドイツ語会話IV	トルル ヘルマン	1132
フランス語会話I<1>	サックス ジェラル	1136
フランス語会話I<2>	デュボー フロランス	1140
フランス語会話II<1>	サックス ジェラル	1144
フランス語会話II<2>	デュボー フロランス	1148
フランス語会話III	デュボー フロランス	1152
フランス語会話IV	デュボー フロランス	1156
スペイン語会話I<1>	三輪 イルマ	1160
スペイン語会話I<2>	三輪 イルマ	1164
スペイン語会話II<1>	三輪 イルマ	1168
スペイン語会話II<2>	三輪 イルマ	1172
スペイン語会話III	三輪 イルマ	1176
スペイン語会話IV	三輪 イルマ	1180
中国語会話I<1>	劉 雅新	1184
中国語会話I<2>	李 林静	1188
中国語会話I<3>	余 瀾	1192
中国語会話I<4>	凌 慶成	1196
中国語会話I<5>	張 竹翠	1200
中国語会話II<1>	劉 雅新	1204
中国語会話II<2>	李 林静	1208
中国語会話II<3>	余 瀾	1212
中国語会話II<4>	凌 慶成	1216
中国語会話II<5>	張 竹翠	1220
中国語会話III<1>	李 林静	1224
中国語会話III<2>	凌 雲鳳	1228
中国語会話IV<1>	李 林静	1232
中国語会話IV<2>	凌 雲鳳	1236
韓国語会話I<1>	宋 美玲	1240
韓国語会話I<2>	貝森 時子	1244
韓国語会話II<1>	宋 美玲	1248

韓国語会話Ⅱ<2>	貝森 時子		1252
韓国語会話Ⅲ	文 珍瑛		1256
韓国語会話Ⅳ	文 珍瑛		1260
異文化理解A(ことばと文化の窓)<1>	李 林静		1264
異文化理解A(ことばと文化の窓)<2>	李 林静		1268
異文化理解A(ことばと文化の窓)<3>	李 林静		1272
異文化理解A(ことばと文化の窓)<4>	李 林静		1276
異文化理解A(ことばと文化の窓)<5>	李 林静		1280
異文化理解A(ことばと文化の窓)<6>	鈴木 恵美子		1284
異文化理解A(ことばと文化の窓)<7>	鈴木 恵美子		1288
異文化理解A(ことばと文化の窓)<8>	鈴木 恵美子		1292
異文化理解A(ことばと文化の窓)<9>	鈴木 恵美子		1296
異文化理解A(ことばと文化の窓)<10>	鈴木 恵美子		1300
異文化理解A(ことばと文化の窓)<11>	里村 和秋		1304
異文化理解A(ことばと文化の窓)<12>	里村 和秋		1308
異文化理解A(ことばと文化の窓)<13>	里村 和秋		1312
異文化理解A(ことばと文化の窓)<14>	里村 和秋		1316
異文化理解A(ことばと文化の窓)<15>	里村 和秋		1320
異文化理解B(ドイツ語圏)	里村 和秋		1324
異文化理解B(フランス語圏)	太西 雅一郎		1328
異文化理解B(スペイン語圏)	鈴木 恵美子		1332
異文化理解B(中国語圏)	野原 将揮		1336
異文化理解B(韓国語圏)	全 東園		1340
世界の言語(ロシア語Ⅰ)	中澤 朋子		1344
世界の言語(ロシア語Ⅱ)	中澤 朋子		1348
世界の言語(タイ語Ⅰ)	中島 マリン		1352
世界の言語(タイ語Ⅱ)	中島 マリン		1356
世界の言語(イタリア語Ⅰ)	石井 沙和		1360
世界の言語(イタリア語Ⅱ)	石井 沙和		1364

科目名	ドイツ語基礎A I <111>		
教員名	中島 万紀子		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初学者を対象に、この「ドイツ語基礎A I」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎A Iの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、基本的な文法練習を重ねるなかで文法の特徴をつかみ、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎A IIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。各クラスで履修内容を統一しますので、どのクラスにおいても効果的に学習を進めることができます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 動詞の人称変化1（規則変化）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 定冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 動詞の人称変化2（不規則変化）と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの試験範囲の復習をしておく。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業に参加するにあたり、テキストを解説した動画を事前に予習してくることを課題にし、一部反転授業を実施します。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、小テスト・中間テスト・授業内試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、それ自体は評価になりませんが、授業に出席しなければ、受講態度・授業での積極的発言等において減点の対象になりますので、授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIも履修してください。また基礎AIと基礎BIを履修したのち、ドイツ語基礎AIIと基礎BIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎A I <112>		
教員名	渡辺 広佐		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初学者を対象に、この「ドイツ語基礎AI」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎AIの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、基本的な文法練習を重ねるなかで文法の特徴をつかみ、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AIIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。各クラスで履修内容を統一しますので、どのクラスにおいても効果的に学習を進めることができます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 動詞の人称変化1（規則変化）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 定冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 動詞の人称変化2（不規則変化）と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの試験範囲の復習をしておく。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業に参加するにあたり、テキストを解説した動画を事前に予習してくることを課題にし、一部反転授業を実施します。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、小テスト・中間テスト・授業内試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、それ自体は評価になりませんが、授業に出席しなければ、受講態度・授業での積極的発言等において減点の対象になりますので、授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIも履修してください。また基礎AIと基礎BIを履修したのち、ドイツ語基礎AIIと基礎BIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎A I <200>		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

理工学部で初めてドイツ語を学ぶ学生を対象に、この「ドイツ語基礎AI」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎AIの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）と簡単なドイツ語の表現に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AIIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

できるだけ楽しく授業をすることを目標としますので、試験は実施しません。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 動詞の人称変化 1 (規則変化)	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 挨拶・人と知り合う・紹介の表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	Lektion 6 動詞の人称変化 2 (不規則変化) と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 7 時刻・人を誘う・食べ物・飲み物の表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	中間まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 8 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 9 所持品・家族の表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 10 定冠詞類と不定冠詞類	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 11 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	Lektion 12 買い物・値段・プレゼントの表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第15回	授業のまとめ	
	今学期学んだ内容をまとめる	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業の中で適宜、ネットでの学習やeラーニングでの学習も行います。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、授業への参加・受講態度（60%）、小テスト・課題等実施状況（40%）によって総合的に評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありません。

テキスト

教室において、教材や資料を配布します。

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎A I <311>		
教員名	三浦 國泰		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

- 1) 基本的なドイツ語文法を学習する。
- 2) ドイツ語という言葉の世界を直接体験し、ドイツ語圏の文化に関心をもつ。
- 3) 国際感覚を身につける。

到達目標

- 1) 基本的なドイツ語構文を身につける。
- 2) ドイツ語検定試験4級合格をめざす。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	準備学修(予習・復習等)	
	イントロダクション ・学習上の注意事項、辞書の紹介など。	
第2回	【予習・復習】 シラバスをよく読んでおくこと。	30
	Lektion 1 ・発音練習 (1)	
第3回	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
	Lektion 2 ・発音練習 (2)・動詞の現在	
第3回	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第4回	Lektion 3 ・ 文の形 (1) ・ sein と haben	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第5回	Lektion 3 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第6回	Lektion 3 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第7回	Lektion 4 ・ 冠詞と名詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第8回	Lektion 4 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第9回	Lektion 4 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第10回	Lektion 5 ・ 複数・不規則動詞・文の形(2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第11回	Lektion 5 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第12回	Lektion 5 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第13回	Lektion 6 ・ 冠詞類・人称代名詞	
	【予習・復習】 ここまでのテキストを再度大きな声で音読すること。基礎的な文法事項を確認すること。	120
第14回	Lektion 6 ・ 同上	
	【予習・復習】 前回と同様のことを再度反復すること。	120
第15回	到達度確認テストと講評	
	【予習・復習】 確認テストでよく理解できていなかった点を復習すること。	120

授業の方法

- ・積極的に授業に参加すること。
- ・視聴覚教材（ビデオ、CD）などを積極的に利用する。
- ・学習者の理解度にあわせて授業をすすめる。

成績評価の方法

テスト（60%）、平常点（20%）、授業への積極的な参加（20%）、などを総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

（関連科目）

必要な予備知識は特にない。ドイツの歴史と文化A・B、ヨーロッパの文学A・B、ドイツ文化・文化史特講A・B、などが参考になる。

テキスト

CD付き

ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>

著者：三室次雄、ヴォルフガング・シュレヒト

出版社：三修社

参考書

○参考書は授業中に紹介する。

○独和辞典は必需品（特定はしないが、以下の独和辞典を推薦する）。

・アポロン独和辞典（同学社）

・アクセス独和辞典（三修社）

・クラウン独和辞典（三省堂）

以上のほか、電子辞書（カシオ）など。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎A I <312>		
教員名	工藤 真一		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

- 1) 基本的なドイツ語文法を学習する。
- 2) ドイツ語という言葉の世界を直接体験し、ドイツ語圏の文化に関心をもつ。
- 3) 国際感覚を身につける。

到達目標

- 1) 基本的なドイツ語構文を身につける。
- 2) ドイツ語検定試験4級合格をめざす。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	準備学修(予習・復習等)	
	イントロダクション ・学習上の注意事項、辞書の紹介など。	
第2回	【予習・復習】 シラバスをよく読んでおくこと。	30
	Lektion 1 ・発音練習 (1)	
第3回	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
	Lektion 2 ・発音練習 (2)・動詞の現在	
第3回	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第4回	Lektion 3 ・ 文の形(1) ・ seinとhaben	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第5回	Lektion 3 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第6回	Lektion 3 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第7回	Lektion 4 ・ 冠詞と名詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第8回	Lektion 4 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第9回	Lektion 4 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第10回	Lektion 5 ・ 複数・不規則動詞・文の形(2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第11回	Lektion 5 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第12回	Lektion 5 ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第13回	Lektion 6 ・ 冠詞類・人称代名詞	
	【予習・復習】 ここまでのテキストを再度大きな声で音読すること。基礎的な文法事項を確認すること。	120
第14回	Lektion 6 ・ 同上	
	【予習・復習】 前回と同様のことを再度反復すること。	120
第15回	到達度確認テストと講評	
	【予習・復習】 確認テストでよく理解できていなかった点を復習すること。	120

授業の方法

- ・積極的に授業に参加すること。
- ・視聴覚教材（ビデオ、CD）などを積極的に利用する。
- ・学習者の理解度にあわせて授業をすすめる。

成績評価の方法

テスト（60%）、平常点（20%）、授業への積極的な参加（20%）、などを総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

（関連科目）

必要な予備知識は特にない。ドイツの歴史と文化A・B、ヨーロッパの文学A・B、ドイツ文化・文化史特講A・B、などが参考になる。

テキスト

CD付き

ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>

著者：三室次雄、ヴォルフガング・シュレヒト

出版社：三修社

参考書

○参考書は授業中に紹介する。

○独和辞典は必需品（特定はしないが、以下の独和辞典を推薦する）。

・アポロン独和辞典（同学社）

・アクセス独和辞典（三修社）

・クラウン独和辞典（三省堂）

以上のほか、電子辞書（カシオ）など。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎A I <411>		
教員名	渡辺 広佐		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初学者を対象に、この「ドイツ語基礎AI」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎AIの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、基本的な文法練習を重ねるなかで文法の特徴をつかみ、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AIIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。各クラスで履修内容を統一しますので、どのクラスにおいても効果的に学習を進めることができます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 動詞の人称変化1（規則変化）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 定冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 動詞の人称変化2（不規則変化）と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの試験範囲の復習をしておく。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業に参加するにあたり、テキストを解説した動画を事前に予習してくることを課題にし、一部反転授業を実施します。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、小テスト・中間テスト・授業内試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、それ自体は評価になりませんが、授業に出席しなければ、受講態度・授業での積極的発言等において減点の対象になりますので、授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIも履修してください。また基礎AIと基礎BIを履修したのち、ドイツ語基礎AIIと基礎BIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎A I <412>		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初学者を対象に、この「ドイツ語基礎AI」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎AIの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、基本的な文法練習を重ねるなかで文法の特徴をつかみ、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AIIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。各クラスで履修内容を統一しますので、どのクラスにおいても効果的に学習を進めることができます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 動詞の人称変化1（規則変化）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 定冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 動詞の人称変化2（不規則変化）と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの試験範囲の復習をしておく。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業に参加するにあたり、テキストを解説した動画を事前に予習してくることを課題にし、一部反転授業を実施します。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、小テスト・中間テスト・授業内試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、それ自体は評価になりませんが、授業に出席しなければ、受講態度・授業での積極的発言等において減点の対象になりますので、授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIも履修してください。また基礎AIと基礎BIを履修したのち、ドイツ語基礎AIIと基礎BIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎AⅠ <413>		
教員名	清水 威能子		
科目ナンバー	1D01481010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初学者を対象に、この「ドイツ語基礎AⅠ」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。履修する内容を大きく二つに分け、このドイツ語基礎AⅠの授業では、主に文法の基礎的な内容（格変化、動詞の人称変化など）に関する知識の修得します。またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、基本的な文法練習を重ねるなかで文法の特徴をつかみ、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AⅡを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。各クラスで履修内容を統一しますので、どのクラスにおいても効果的に学習を進めることができます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 1 発音（母音・子音）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 2 動詞の人称変化1（規則変化）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 3 定冠詞と名詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 動詞の人称変化2（不規則変化）と命令法	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 名詞の複数形と格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 定冠詞類と不定冠詞類（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 人称代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（1）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置（2）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの試験範囲の復習をしておく。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

また授業に参加するにあたり、テキストを解説した動画を事前に予習してくることを課題にし、一部反転授業を実施します。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、小テスト・中間テスト・授業内試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、それ自体は評価になりませんが、授業に出席しなければ、受講態度・授業での積極的発言等において減点の対象になりますので、授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIも履修してください。また基礎AIと基礎BIを履修したのち、ドイツ語基礎AIIと基礎BIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎B I <111>		
教員名	泉 ボグミワ		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。

ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。

到達目標

ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明	
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。	60
第2回	Lektion 1 あいさつ	
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。	60
第3回	Lektion 1 人と知り合う	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <112>		
教員名	泉 ボグミワ		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。 ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。 またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。			

到達目標			
ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明		
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。		60
第2回	Lektion 1 あいさつ		
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。		60
第3回	Lektion 1 人と知り合う		
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。		60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <311>		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。 ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。 またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。			

到達目標			
ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明		
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。		60
第2回	Lektion 1 あいさつ		
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。		60
第3回	Lektion 1 人と知り合う		
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。		60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <312>		
教員名	三浦 國泰		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。

ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。

到達目標

ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明	
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。	60
第2回	Lektion 1 あいさつ	
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。	60
第3回	Lektion 1 人と知り合う	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <411>		
教員名	泉 ボグミワ		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。

ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。

到達目標

ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明	
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。	60
第2回	Lektion 1 あいさつ	
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。	60
第3回	Lektion 1 人と知り合う	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <412>		
教員名	泉 ボグミワ		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。

ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。

到達目標

ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明	
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。	60
第2回	Lektion 1 あいさつ	
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。	60
第3回	Lektion 1 人と知り合う	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った?	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。(筆記試験+口頭試験)	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎B I <413>		
教員名	中島 万紀子		
科目ナンバー	1701481040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語基礎BIは、初級読本・会話入門のためのクラスです。実際に簡単なドイツ語の文章を読んだり話したりすることによって生きた言葉に触れ、文法事項を応用する練習を行うことを目的とします。

ドイツ語基礎Aで学習する基礎的な文法事項に習熟するためには、それを単に反復するだけでは十分ではなく、様々なシチュエーションを想定して実践的な訓練が必要になります。この授業では、まず最初に初歩的な文章や文法事項について学習してから、テキストの内容に入ります。そして実践的なドイツ語の能力を養成するために、簡単な文章に触れながら読解力や運用力を身につけていきます。さらにやさしい単語を使って会話の練習を行いながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

またテキストだけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみなさんの積極的な参加を望みます。

到達目標

ドイツ語で簡単な挨拶、自己紹介、意見の発表など日常会話ができるようになるレベルを目指します。ドイツ語検定試験4級に合格するレベルを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション ドイツ語の学習の説明	
	テキストを購入し、アルファベットを見ておくこと。	60
第2回	Lektion 1 あいさつ	
	【予習】 Lektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。	60
第3回	Lektion 1 人と知り合う	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第4回	Lektion 1 紹介（名前、出身地、居住地、職業、趣味）	
	【予習】 今回学ぶLektion1の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第5回	Lektion 2 時刻・あいさつ・時を表す表現	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion1の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第6回	Lektion 2 人を誘う・アドレスとケータイ番号を尋ねる。	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第7回	Lektion 2 食べ物と飲み物 ・ ドイツ紹介	
	【予習】 今回学ぶLektion2の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第8回	Lektion 3 所持品	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion2の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第9回	Lektion 3 家族	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60

第10回	Lektion 3 手紙	
	【予習】 今回学ぶLektion3の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第11回	Lektion 4 買い物・値段の聞き方	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion3の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第12回	Lektion 4 プレゼント・気に入った？	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第13回	Lektion 4 メール	
	【予習】 今回学ぶLektion4の範囲の単語と熟語を辞書でしらべておくこと。 【復習】 前回学んだLektion4の範囲の単語と熟語を覚えておくこと。	60
第14回	授業内試験	
	授業時間内に指定された試験範囲の勉強をしておくこと。（筆記試験＋口頭試験）	60
第15回	試験の解説	
	【予習】 試験の出題された問題を調べておくこと。	60

授業の方法

実際のドイツ語の発音を聞きながらドイツ語のイントネーションに慣れ、音読を行ったのちに、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに練習演習によってトレーニングを行い、形態・構造上の文法事項の定着化を図ります。

成績評価の方法

成績は、小テスト・授業内試験の成績（４０％）、受講態度・授業での積極的発言（４０％）、予習・復習への取り組み（２０％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後に教室にて随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎BIIとドイツ語基礎AI・IIを履修してください。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語』 飯田道子 著 三修社 ISBN:978-4-384-12281-7

参考書

独和辞書や文法書・参考書については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎 A I <121>		
教員名	中野 明		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっています。後期に開始するこの授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習します。文法内容としては、動詞の現在時制と冠詞類を中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指します。

到達目標

基本的なフランス語の文法構造を理解し、簡単なフランス語で発話できるようになる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Leçon 0 フランス語に親しむ。アルファベ、サバイバルなフランス語表現。	
	復習 アルファベ、サバイバルなフランス語表現を覚える。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	Leçon 1 主語人称代名詞、国籍を表す名詞、êtreと-er動詞。	
	復習 教科書1課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	Leçon 1補充プリント。 Leçon 2 職業を表す名詞、形容詞の性・数一致、名前の言い方。	
	復習 1課補充プリントを練習する。 教科書2課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	Leçon 2 職業を表す名詞、形容詞の性・数一致、名前の言い方。 Leçon 2補充プリント。 Leçon 1の小テスト。	
	復習 2課補充プリントを練習する。 教科書2課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	Leçon 2補充プリント。 Leçon 3 名詞と不定冠詞、指示代名詞、形容詞の位置、 動詞avoir。	
	復習 2課補充プリントを練習する。 教科書3課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	Leçon 3 名詞と不定冠詞、指示代名詞、形容詞の位置、 動詞avoir。 Leçon 3補充プリント。 Leçon 2の小テスト+動詞小テスト（1）。	
	復習 3課補充プリントを練習する。 教科書3課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	Leçon 3補充プリント。 Leçon 4 定冠詞、疑問文、疑問形容詞。	
	復習 3課補充プリントを練習する。 教科書4課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	Leçon 4 定冠詞、疑問文、疑問形容詞。 Leçon 4補充プリント。 Leçon 3の小テスト+動詞小テスト（2）。	
	復習 4課補充プリントを練習する。 教科書4課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	Leçon 4補充プリント。 Leçon 5 否定文、疑問代名詞qui、il y a～。	
	復習 4課補充プリントを練習する。 教科書5課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	Leçon 5 否定文、疑問代名詞qui、il y a～。 Leçon 5補充プリント。 Leçon 4の小テスト+動詞小テスト（3）。	
	復習 5課補充プリントを練習する。 教科書5課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	Leçon 5補充プリント。 Leçon 6 前置詞と定冠詞の縮約、指示形容詞、否定疑問文の応答、動詞vouloir, pouvoir。	
	復習 5課補充プリントを練習する。 教科書6課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	Leçon 6 前置詞と定冠詞の縮約、指示形容詞、否定疑問文の応答、動詞vouloir, pouvoir。 Leçon 6補充プリント。 Leçon 5の小テスト+動詞小テスト（4）。	
	復習 6課補充プリントを練習する。 教科書6課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	Leçon 6補充プリント。 Leçon 7 人称代名詞強勢形、所有形容詞、動詞connaître。	
	復習 6課補充プリントを練習する。 教科書7課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	Leçon 7 人称代名詞強勢形、所有形容詞、動詞connaître。 Leçon 7補充プリント。 Leçon 6の小テスト+動詞小テスト（5）。	
	復習 教科書7課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第15回	Leçon 8 疑問代名詞que、場所を表す前置詞、動詞faire。 学期末テスト	
	復習 期末テストの内容を再確認する。 教科書8課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 20% 2) 小テストの成績50% 3) 最終試験 30%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

「パスカル・オ・ジャポン」（白水社） 藤田裕二著 ISBN978-4-560-06083-4

フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は、授業中および授業前・授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎 A I <122>		
教員名	太西 雅一郎		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学びます。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、文法については、英語と異なる特徴をもっています。後期に開始するこの授業では、このような文法の理解と定着をとおして、フランス語の運用能力の基礎を養成します。文法内容としては、動詞については少数にしぼり、冠詞類を中心に学びます。

到達目標

次の3点が目標になります：

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction 発音、文字	
	教科書を購入する。	60分
第2回	主語人称代名詞、動詞ETRE、名詞 第1課のダイアログ音読	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第3回	第1群規則動詞、エリズィオンとリエゾン。 第1課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分

第4回	疑問文、否定文 第2課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第5回	不定冠詞・定冠詞 第2課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第6回	形容詞（基本的変化、形容詞の位置） 第3課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第7回	疑問形容詞、疑問代名詞 第4課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第8回	動詞AVOIR、否定文の直接目的語と冠詞 第5課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分
第9回	所有表現と所有形容詞 第5課のダイアログ音読	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自分のものとする。	60分

第10回	所有形容詞（続き）と動詞POUVOIR、VOULOIRなど 第6課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	60分
第11回	指示形容詞、定冠詞と前置詞の縮約、場所の表現 第7課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	60分
第12回	人称代名詞強勢形、IL Y A...などの提示の表現 第8課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	60分
第13回	動詞ALLER、疑問副詞 第9課のダイアログ音読 小テスト	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	60分
第14回	近接未来、基本的な文型	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	90分
第15回	まとめと復習	
	授業範囲の予習を行う。教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。授業内容を復習で自 分のものとする。	60分

授業の方法

予習はきっちりと行なってください。予習は必須です。授業では、それに基づいて口頭・筆記の練習を行います。また、教科書のダイアログの音読練習を行います。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 20%
- 2) 基本的に毎回行う小テスト 80%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。主として、基本的な文法事項が理解できたが、最低限必要な語彙を習得したかを評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎BI（登録必須）

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社, ISBN 978-4-560-06083-4、¥2000
フランス語の辞書は適宜指示する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

オフィスアワーはポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎 A I <321>		
教員名	林 ゆき		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。後期に開始するこの授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の現在時制と冠詞類を中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。

到達目標

DP 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。

DP 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction : アルファベ、発音、挨拶	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	Leçon 1 : 主語人称代名詞と動詞être	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	Leçon 1 (2) : 国籍を表す形容詞、第1群規則動詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	Leçon 2 : 職業を表す名詞、形容詞の性数一致	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	Leçon 3 : 不定冠詞、動詞avoir	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	Leçon 3 (2) : 形容詞の性数変化、提示表現	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	Leçon 4 : 定冠詞、疑問文	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	Leçon 4 (2) : 疑問形容詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	中間テスト Leçon 5 : 否定文、疑問代名詞qui、il y a ~	
	中間テストの範囲を復習。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	Leçon 6 : 前置詞と定冠詞の縮約、動詞pouvoir, vouloir	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	Leçon 6 (2) : 指示形容詞、否定疑問文の応答	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	Leçon 7 : 人称代名詞強勢形、所有形容詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	Leçon 8 : 疑問代名詞que、場所を表す前置詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	今学期の学習のまとめ	
	期末テストの範囲を再度復習する。	60分
第15回	Examen final	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テストあるいは中間試験の成績30%
- 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

藤田裕二著 『パスカル・オ・ジャポン』 白水社
フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎 A I <322>		
教員名	江島 宏隆		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。この授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、冠詞、形容詞の変化、いろいろな動詞の現在形、などを中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。
DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。
DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション。 フランス語の学習の仕方について。 アルファベットを綴り字の読み方。	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	主語人称代名詞、動詞ETRE、名詞 第1課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	第1群規則動詞、エリズィオンとリエゾン。 第1課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	疑問文、否定文 第2課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	不定冠詞・定冠詞 第2課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	形容詞（基本的変化、形容詞の位置） 第3課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	疑問形容詞、疑問代名詞 第4課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	動詞AVOIR、否定文の直接目的語と冠詞 第5課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	所有表現と所有形容詞 第5課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	所有形容詞（続き）と動詞POUVOIR、VOULOIRなど 第6課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	指示形容詞、定冠詞と前置詞の縮約、場所の表現 第7課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	人称代名詞強勢形、IL Y A...などの提示の表現 第8課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	動詞ALLER、疑問副詞 第9課のダイアログ音読	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	これまで学習した内容を確認するための練習問題	
	これまで学習した内容を総復習する。	60分
第15回	前期の総復習 テスト	
	前回の授業でよくわからなかったところを復習する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 20% 2) 各課終了後に実施する試験の総合80%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社、2006、ISBN 978-4-560-06083-4、¥2000（＋税）
フランス語の辞書は適宜指示する。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問は授業後に受け付けます。毎回の授業でわからないところを残さないようにしてください。

科目名	フランス語基礎 A I <323>		
教員名	青木 真紀子		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
フランス語の文法構造の基礎とコミュニケーション表現を中心に学ぶ授業です。後期に開始するこの授業では、フランス語の基本的な文法を理解しつつ、動詞の現在時制と冠詞類を中心にフランス語の基礎となる輪郭をつかみ、自分で表現することを目指します。			

到達目標			
・ 基本的なフランス語の文法構造を理解できる。 ・ フランス語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ・ フランス語の綴り字の読み方について理解できている。 ・ 基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。 ・ フランス語の簡単なコミュニケーションができる。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction 綴り字の読み方 第1課 国籍を言う	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	綴り字の読み方2 第1課 主語人称代名詞、動詞etreの直接法現在、-er動詞の直接法現在	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	綴り字の読み方3 第2課 名前・職業を言う、形容詞の性・数の一致	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	綴り字の読み方 4 第3課 持ち物をたずねる	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	綴り字の読み方 5 第3課 名詞と不定冠詞、指示代名詞、形容詞の位置、 動詞avoirの直接法現在	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	綴り字の読み方 6 第4課 趣味を語る	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	綴り字の読み方 7 第4課 定冠詞、疑問文、疑問形容詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	第5課 誰かたずねる	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	第5課 否定文、疑問代名詞qui、il y a	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	第6課 したいことをたずねる	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	第6課 前置詞と定冠詞の縮約、指示形容詞、否定疑問文、vouloir、pouvoir	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	第7課 住んでいる所を言う	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	第7課 人称代名詞の強勢形、所有形容詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	第8課 何をしているかたずねる、疑問代名詞que、場所を表す前置詞、faire	
	期末テストの範囲を再度復習。	60分
第15回	試験	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。小テストは毎回実施する予定です。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

パスカル・オ・ジャボン 藤田裕二著 白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎 A I <421>		
教員名	松下 彩子		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学びます。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、文法については、英語と異なる特徴をもっています。後期に開始するこの授業では、このような文法の理解と定着をとおして、フランス語の運用能力の基礎を養成します。文法内容としては、動詞については少数にしぼり、冠詞類を中心に学びます。

到達目標

次の3点が目標になります：

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction 発音、文字	
	教科書を購入する。	60分
第2回	主語人称代名詞、動詞ETRE、名詞 第1課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第3回	第1群規則動詞、エリズィオンとリエゾン。 第1課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分

第4回	疑問文、否定文 第2課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第5回	不定冠詞・定冠詞 第2課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第6回	形容詞（基本的変化、形容詞の位置） 第3課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第7回	疑問形容詞、疑問代名詞 第4課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第8回	動詞AVOIR、否定文の直接目的語と冠詞 第5課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第9回	所有表現と所有形容詞 第5課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分

第10回	所有形容詞（続き）と動詞POUVOIR、VOULOIRなど 第6課のダイアログ音読 小テスト	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第11回	指示形容詞、定冠詞と前置詞の縮約、場所の表現 第7課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第12回	人称代名詞強勢形、IL Y A...などの提示の表現 第8課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第13回	動詞ALLER、疑問副詞 第9課のダイアログ音読	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	60分
第14回	否定文における冠詞の変形、女性形容詞の特殊な形。	
	指定されたプリントを学習し、教科書のダイアログの録音を聴いて、音読の練習をする。	90分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習	60分

授業の方法

予習は必須です。授業では、それに基づいて口頭・筆記の練習を行います。また、教科書のダイアログの音読練習を行います。随時小テストを行います。

成績評価の方法

1) 中間テスト 50% 2) 期末テスト 50%を基本とし、授業への積極的な参加、小テストも加味します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。主として、基本的な文法事項が理解できたが、最低限必要な語彙を習得したかを評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎BI（登録必須）

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社、2006、ISBN 978-4-560-06083-4、¥2000（＋税）

フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は、授業前、授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎 A I <422>		
教員名	横山 裕人		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、名詞系列での性・数の区別や動詞の人称変化の多様性など、英語とは異なる特徴も持っています。この授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む・話す能力を中心に学習します。文法内容としては、極めて重要なもの限定して動詞の現在時制の形と名詞句の構成に欠かせない冠詞類とを中心にします。こうしてフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことが目的です。			
到達目標			
次の3点が目標になります：			
D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。			
D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	フランス語に親しむ。アルファベ、サバイバルなフランス語表現。		
	シラバスを読む。CDの音源を使えるようにする。		30分
第2回	第1課 主語人称代名詞、国籍を表す名詞、動詞ETREと-ER動詞、ダイアログの発音練習		
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。		60分
第3回	第2課 形容詞の性・数一致、名前の言い方、ダイアログの発音練習		
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。		60分

第4回	第2課 職業を表す名詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第5回	第3課 名詞と不定冠詞、形容詞の位置、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第6回	第3課 指示代名詞、動詞AVOIR、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第7回	第4課 定冠詞、疑問文、疑問形容詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第8回	中間テスト	
	試験範囲をよく復習する。	90分
第9回	第5課 否定文 疑問代名詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分

第10回	第6課 前置詞と定冠詞の縮約、指示形容詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第11回	第7課 所有形容詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第12回	第7課 所有形容詞、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第13回	第7課 所有形容詞、人称代名詞強勢形、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第14回	第8課 場所を表す前置詞、動詞FAIRE、ダイアログの発音練習	
	予習復習の指示をダウンロードして、指示された予習・復習を行い、ドリルを行う。音読練習をする。	60分
第15回	期末テスト	
	試験範囲をよく復習する。	90分

授業の方法

ダイアログの音読練習を通じて、音としてフランス語に慣れることを重視します。文法構造の学習も、教科書に沿いながらも、学習順序として無理のないように学んでいきます。また口頭での練習を通じて理解した事項を使用できるようにしていきます。そのためにも予習が非常に重要で、指示のとおり必ず行ってください。

成績評価の方法

予習のドリルの提出（30%）、中間テスト（30%）、期末テスト（40%）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありません。

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社 ISBN978-4-560-06083-4

参考書

辞書・参考書は適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎 A I <423>		
教員名	筒井 由美子		
科目ナンバー	1701481110	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。後期に開始するこの授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の現在時制と冠詞類を中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化の習得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。フランス語の5級レベルに合格する。

DP3・様々な状況の中で多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業の進め方、テキスト、辞書等の説明。 補充プリント テキスト p. 7 アルファベと発音。	
	アルファベの音読と学んだ発音の復習。	60分
第2回	テキスト p. 12 発音と綴りの読み方	
	学んだ発音の復習、綴りの読み方の確認。	60分
第3回	補充プリント 名詞の性と数、冠詞	
	復習として本文の音読。練習問題に目をとおす。	60分

第4回	leçon 1 動詞 être の直説法現在、形容詞	
	復習として本文の音読。動詞 être の活用を覚える。	60分
第5回	leçon 1 leçon 2 第1群規則動詞の直説法現在、否定文	
	復習として本文の音読。第1群規則動詞の活用を覚える。練習問題の確認。	60分
第6回	leçon 3 動詞avoirの直説法現在、疑問文	
	復習として本文の音読。動詞avoirの活用を覚える。練習問題の確認。	60分
第7回	leçon 4 疑問形容詞 テキストp. 24 人称代名詞強勢形 補充プリント 第2群規則動詞	
	復習として本文の音読。第2群規則動詞の活用を覚える。練習問題の確認。	60分
第8回	leçon 5 疑問代名詞	
	復習として本文の音読。練習問題の確認。	60分
第9回	leçon 6 指示形容詞、所有形容詞	
	復習として本文の音読。練習問題の確認。	60分

第10回	leçon 6 leçon 7 補充プリント 動詞 aller, venir の直説法現在、近接未来・近接過去、前置詞と定冠詞の縮約	
	復習として本文の音読。動詞 aller, venir の活用を覚える。練習問題の確認。	60分
第11回	leçon 8 leçon 9 名詞、形容詞の補足	
	復習として本文の音読。練習問題の確認。	60分
第12回	leçon 10 leçon 11 疑問副詞、非人称構文	
	復習として本文の音読。練習問題の確認。	60分
第13回	leçon 11 動詞の命令法、非人称表現	
	復習として本文の音読。練習問題の確認。	60分
第14回	11課までの復習とまとめ	
	到達度確認テストの範囲を再度復習。	60分
第15回	到達度確認テスト	
	到達度確認テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目 フランス語基礎 B I

テキスト

藤田裕二 著『パスカル・オ・ジャポン』白水社 ISBN 978-4-560-06083-4 2000円＋税
フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けますが、授業中に分からないことがあったら、授業の途中でも構わないので遠慮せず、その都度その場で質問して下さい。

科目名	フランス語基礎B I <121>		
教員名	林 ゆき		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction：名前を言う・尋ねる、アルファベ、	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	住んでいるところを言う・尋ねる、数0～10	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	年齢を言う・尋ねる、数11～20	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	職業を言う・尋ねる、数21～60	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	国籍を言う・尋ねる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	自己紹介のやり取りをする	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	第三者について話す・尋ねる（名前、住んでいるところ、年齢、国籍、職業）	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	中間テスト 持ち物について話す・尋ねる、数61～100	
	中間テストの範囲を復習。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	好き嫌いについて話す・尋ねる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	日付を言う・尋ねる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	自己紹介を完成させる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	天気を言う・尋ねる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	時刻を言う・尋ねる	
	復習として教科書本文の暗唱。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	今学期に学習したことのまとめ	
	期末テストの範囲を再度復習する。	60分
第15回	Examen final	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿って各セクションをバランス良く学習します。授業はフランス語を多く聞き話す機会を確保するためにペアでの練習なども取り入れ、具体的な状況での基本的な表現を使えるようにすることが中心になります。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テストあるいは中間試験の成績30%
- 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（基本的表現を聞いて理解する、基本的表現を発話できる、他者と応答を展開する）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

中川、青柳著『話せる！音読フランス語200文』第三書房
フランス語の辞書は適時指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎B I <122>		
教員名	横山 裕人		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を定着させ発信を目指す授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、文法の点では英語とは異なる特徴をもっています。フランス語の基本的な特徴をしっかりとつかめるよう、ドリルと口頭で練習しながら、フランス語の運用能力を身に付けます。

到達目標

以下の3点を目標にします：

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の5級レベルに合格する。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	名前を名乗る。相手の人の名前を尋ねる。数を10まで言え、書けるようにする。	
	教科書を入手し、ざっと目を通す。	60分
第2回	年齢を尋ね、自分の年齢を答える。数を20まで言え、書けるようにする。否定の表現を理解し、言えるようにする。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第3回	相手の住んでいるところについて尋ねる。数を40まで言え、書けるようにする。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分

第4回	今までの授業で学習したことをもとに、友達とスケッチ（会話劇）を作ってみる。演じられるように練習。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第5回	スケッチについて検討し、練習した後、発表して、皆で内容について確認する。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第6回	年齢について尋ねる。年齢について答える。数を100まで言えるようにする。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第7回	動詞についてしっかり理解し、覚える。疑問形容詞についてしっかり理解する。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第8回	職業・身分について尋ね、答える。その質問について否定文で答える。色々な職業の語彙を覚える。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第9回	疑問代名詞（何が、何を）について理解する。それを使った表現をいくつか学習する。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分

第10回	主に疑問代名詞を使ったスケッチを、友達と組んで作成し、演じられるよう練習する。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第11回	作成したスケッチを皆で検討し、さらに磨き上げる。身の回りのもの、文房具について、さらに学習し、問題演習。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第12回	疑問代名詞について、さらに学習し、問題演習。	
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第13回	作ったスケッチに新たな内容を加え、長いスケッチにしてみる。スケッチを発表し、間違いをなくすようにする。	
	前回の授業の復習をする。試験範囲の確認と総復習。	60分
第14回	動詞の総まとめ。スケッチを再検討。教師の前で演じてみる。	
	後期全体の復習をする。	80分
第15回	クラスメートの前で、スケッチを発表、演じてみる。今までの動詞と、主な語彙の復習。色々な国名の形容詞をリストアップ、春休みの宿題とする。	
	テストについて反省すべき点を考える。	60分

授業の方法

毎回、教科書のキーセンテンスを繰り返し発音し、授業内に覚えられるよう練習する。

成績評価の方法

毎回提出の宿題プリント（30%）、学期中に数回にわたり行われるスケッチ発表に基づき評価を行う（70%）。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

異文化理解の授業で得た知識を活用します。

テキスト

中川努、青柳りさ著『話せる！音読フランス語200文』第三書房

参考書

辞書・参考書は適宜指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎B I <321>		
教員名	デューポー フロランス		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。

このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然フランス語を覚えていく。

オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。

フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。

到達目標

- ・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。
- ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。
- ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。
- ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。
- ・フランス語検定の5級レベルに合格する。

オーラルと筆記フランス語での到達：

発音の仕方は身につく。
文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。
会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。
受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。
PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。

テーマ：挨拶、自己紹介、他人の紹介、連絡。趣味と余暇。したいこと。（現在形、礼儀要の条件法）

文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。
フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。

資格：Interactions 1 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELFA1' や日本の仏検の5級のレベルを育む教材。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション。 LO クラス内のコミュニケーション (アルファベットと数字)	
	復習： DVD LOを聞く。	60分
第2回	L1-1 自己紹介 (Tu/ Vous)	
	L1-1の宿題	60分

第3回	L1-2 他人の紹介、連絡 (Il/Elle/masculin/féminin)	
	L1-2の宿題	60分
第4回	L2-1 国籍、職業 (être, travailler, habiter, faire)	
	L2-1の宿題 次回のメールセッションの準備：今まで学んだ言い回しを書く練習する。	60分
第5回	メールセッション (フランス語圏の人々とメール交換開始)	
	今までやった聴解の練習をもう一度聞く。	60分
第6回	L2-2 挨拶、自己紹介 (parler une langue) (フォーマル・インフォーマル)	
	L2-2の宿題	60分
第7回	L3-1 連絡先、職業を円滑に聞いて、答える。 (フォーマル・インフォーマル) (不定冠詞の肯定形・否定形)	
	L3-1の宿題	60分
第8回	L3-2 クラスプロジェクト：クラス全員の紹介 trombinoscope de la classe	
	L3-2の宿題	60分

第9回	L4-1 趣味/その程度 (aimer, adorer, détester, préférer + 名詞) (定冠詞)	
	L4-1の宿題	60分
第10回	L4-2 趣味をもっと詳しく言う。	
	L4-2の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成	60分
第11回	L5-1 好きなことをする (aimer, adorer, détester, préférer + 動詞)	
	L5-1の宿題	60分
第12回	L5-2 したいこと。(vouloir, aimerの条件法) (accepter, refuser)	
	L5-2の宿題	60分
第13回	L6-1 なぜ。(理由、意見を述べる。)	
	L6-1の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成 口頭テストの準備にはいる。	60分～
第14回	L6-2 クラスプロジェクト 皆のクリスマスプレゼントを考える。	
	L6-2の宿題 口頭テストの準備	60分～

第15回	口頭テスト	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60分
授業の方法		
積極的な相互学習活動を通じて、初心者でも、日常生活に必要なコミュニケーションスキルを無理なく、かつ早く習得できるよう、最新の学習アプローチ「Approche neuro-linguistique ANL」を用いたコースです。 ANLによる言語の勉強に含まれている能力（例：聞く、読む、話すなど）をしっかりと区切って、勉強をさせることにより、効果アップになります。 または、話す練習で自分の経験や知識を活かして、フランス語能力が一層レベルアップになる。 授業の時：発音と会話優先。発音の練習の後、聞くと話すことだけになる。 隣の人とフランス語の発音をたくさんできる機会を積極的に活躍する。会話のパートナーを変えて、色々な Situations に慣れながら、単語や言い回しの取得を増やしていく。 授業の最後や授業後：書く練習優先。書く宿題は、毎週になり、クラスで学んだことを支えていく。 月一回、フランス語圏の人とフランス語のメールを交換し、実際の筆記のコミュニケーションをとる。メール愛艇の文化を鑑賞し、自分の文化（日本の文化）を説明する力を付けます。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合があります。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
フランス語の文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。 自分の経験と知識を使う。		
テキスト		
Interactions 1 DVD-ROM付 Gaël Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse 著者 Clé International 出版 ISBN 978-2-09-038699-8 3,510円 内税		
参考書		
辞書、他の教科書、インターネットを参考する。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
授業終了後に教室で受け付ける。		

科目名	フランス語基礎B I <322>		
教員名	デューボア フロランス		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。

このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然フランス語を覚えていく。

オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々な文化のあり方を鑑賞する。

フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。

到達目標

- ・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。
- ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。
- ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。
- ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。
- ・フランス語検定の5級レベルに合格する。

オーラルと筆記フランス語での到達：

- 発音の仕方は身につく。
- 文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。
- 会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。
- 受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。
- PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。

テーマ：挨拶、自己紹介、他人の紹介、連絡。趣味と余暇。したいこと。（現在形、礼儀要の条件法）

文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。
フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。
Projet de classe: フランス語圏のフランス語・日本語の辞書作成への参加や貢献

資格：Interactions 1 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1' や日本の仏検の5級のレベルを育む教材。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション。 LO クラス内のコミュニケーション (アルファベットと数字)	
	復習: DVD LOを聞く。	60分
第2回	L1-1 自己紹介 (Tu/ Vous)	
	L1-1の宿題	60分
第3回	L1-2 他人の紹介、連絡 (Il/Elle/masculin/feminin)	
	L1-2の宿題	60分

第4回	L2-1 国籍、職業 (etre, travailler, habiter, faire)	
	L2-1の宿題 次回のメールセッションの準備：今まで学んだ言い回しを書く練習する。	60分
第5回	メールセッション (フランス語圏の人々とメール交換開始)	
	今までやった聴解の練習をもう一度聞く。	60分
第6回	L2-2 挨拶、自己紹介 (parler une langue) (フォーマル・インフォーマル)	
	L2-2の宿題	60分
第7回	L3-1 連絡先、職業を円滑に聞いて、答える。 (フォーマル・インフォーマル) (不定冠詞の肯定形・否定形)	
	L3-1の宿題	60分
第8回	L3-2 クラスプロジェクト： クラス全員の紹介 trombinoscope de la classe	
	L3-2の宿題	60分
第9回	L4-1 趣味/その程度 (aimer, adorer, detester, preferer + 名詞) (定冠詞)	
	L4-1の宿題	60分
第10回	L4-2 趣味をもっと詳しく言う。	
	L4-2の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成	60分
第11回	L5-1 好きなことをする (aimer, adorer, detester, preferer + 動詞)	
	L5-1の宿題	60分
第12回	L5-2 したいこと。 (vouloir, aimerの条件法) (accepter, refuser)	
	L5-2の宿題	60分

第13回	L6-1 なぜ。（理由、意見を述べる。）	
	L6-1の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成 口頭テストの準備にはいる。	60分～
第14回	L6-2 クラスプロジェクト 皆のクリスマスプレゼントを考える。	
	L6-2の宿題 口頭テストの準備	60分～
第15回	口頭テスト	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60分
授業の方法		
積極的な相互学習活動を通じて、初心者でも、日常生活に必要なコミュニケーションスキルを無理なく、かつ早く習得できるよう、最新の学習アプローチ「Approche neuro-linguistique ANL」を用いたコースです。 ANLによる言語の勉強に含まれている能力（例：聞く、読む、話すなど）をしっかりと区切って、勉強をさせることにより、効果アップになります。 または、話す練習で自分の経験や知識を活かして、フランス語能力が一層レベルアップになる。 授業の時：発音と会話優先。発音の練習の後、聞くと話すことだけになる。 隣の人とフランス語の発音をたくさんできる機会を積極的に活躍する。会話のパートナーを変えて、色々な Situations に慣れながら、単語や言い回しの取得を増やしていく。 授業の最後や授業後：書く練習優先。書く宿題は、毎週になり、クラスで学んだことを支えていく。 月一回、フランス語圏の人とフランス語のメールを交換し、実際の筆記のコミュニケーションをとる。メール相手の文化を鑑賞し、自分の文化（日本の文化）を説明する力を付けます。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合がある。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
フランス語の文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。 自分の経験と知識を使う。		
テキスト		
Interactions 1 DVD-ROM付 Gael Crepieux, Olivier Masse, Jean-Philippe Rousse 著者 Cle International 出版 ISBN 978-2-09-038699-8 3,326円 内税		

参考書

辞書、他の教科書、インターネットを参考する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	フランス語基礎BⅠ <323>		
教員名	サックス ジェラルド		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。 このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然フランス語を覚えていく。 オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。 フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。			

到達目標			
・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。 ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。 ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。 ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。 ・フランス語検定の5級レベルに合格する。 オーラルと筆記フランス語での到達： 発音の仕方は身につく。 文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。 会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。 受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。 PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。			

テーマ：挨拶、自己紹介、他人の紹介、連絡。趣味と余暇。したいこと。（現在形、礼儀要の条件法）

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション。 L0 クラス内のコミュニケーション (アルファベットと数字)		
	復習： DVD L0を聞く。		60分
第2回	L1-1 自己紹介 (Tu/ Vous)		
	L1-1の宿題		60分
第3回	L1-2 他人の紹介、連絡 (Il/Elle/masculin/féminin)		
	L1-2の宿題		60分

第4回	L2-1 国籍、職業 (être, travailler, habiter, faire)	
	L2-1の宿題 次回のメールセッションの準備：今まで学んだ言い回しを書く練習する。	60分
第5回	メールセッション (フランス語圏の人々とメール交換開始)	
	今までやった聴解の練習をもう一度聞く。	60分
第6回	L2-2 挨拶、自己紹介 (parler une langue) (フォーマル・インフォーマル)	
	L2-2の宿題	60分
第7回	L3-1 連絡先、職業を円滑に聞いて、答える。 (フォーマル・インフォーマル) (不定冠詞の肯定形・否定形)	
	L3-1の宿題	60分
第8回	L3-2 クラスプロジェクト： クラス全員の紹介 trombinoscope de la classe	
	L3-2の宿題	60分
第9回	L4-1 趣味/その程度 (aimer, adorer, détester, préférer + 名詞) (定冠詞)	
	L4-1の宿題	60分

第10回	L4-2 趣味をもっと詳しく言う。	
	L4-2の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成	60分
第11回	L5-1 好きなことをする (aimer, adorer, détester, préférer + 動詞)	
	L5-1の宿題	60分
第12回	L5-2 したいこと。 (vouloir, aimerの条件法) (accepter, refuser)	
	L5-2の宿題	60分
第13回	L6-1 なぜ。 (理由、意見を述べる。)	
	L6-1の宿題 書く練習：自主練習で、メール作成 口頭テストの準備にはいる。	60分～
第14回	L6-2 クラスプロジェクト 皆のクリスマスプレゼントを考える。	
	L6-2の宿題 口頭テストの準備	60分～
第15回	口頭テスト	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60分

授業の方法 積極的な相互学習活動を通じて、初心者でも、日常生活に必要なコミュニケーションスキルを無理なく、かつ早く習得できるよう、最新の学習アプローチ「Approche neuro-linguistique ANL」を用いたコースです。 ANLによる言語の勉強に含まれている能力（例：聞く、読む、話すなど）をしっかりと区切って、勉強をさせることにより、効果アップになります。 または、話す練習で自分の経験や知識を活かして、フランス語能力が一層レベルアップになる。 授業の時：発音と会話優先。発音の練習の後、聞くと話すことだけになる。 隣の人とフランス語の発音をたくさんできる機会を積極的に活躍する。会話のパートナーを変えて、色々な Situations に慣れながら、単語や言い回しの取得を増やしていく。 授業の最後や授業後：書く練習優先。書く宿題は、毎週になり、クラスで学んだことを支えていく。 月一回、フランス語圏の人とフランス語のメールを交換し、実際の筆記のコミュニケーションをとる。メール愛艇の文化を鑑賞し、自分の文化（日本の文化）を説明する力を付けます。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合がある。
成績評価の方法 授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.
必要な予備知識／先修科目／関連科目 フランス語の文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。 自分の経験と知識を使う。
テキスト Interactions 1 DVD-ROM付 Gaël Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse 著者 Clé International 出版 ISBN 978-2-09-038699-8 3,326円 内税
参考書 辞書、他の教科書、インターネットを参考する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎B I <421>		
教員名	青木 真紀子		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。
コミュニケーションを重視しますので、発音練習を多く行ないます。
仏検5級問題にも挑戦してみましょう。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。
DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。
DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	フランス語のつづりと発音の関係1 簡単なあいさつ	
	学習した内容を復習すること。	60分
第2回	フランス語のつづりと発音の関係2 名前の言い方。	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第3回	フランス語のつづりと発音の関係3 住んでいる場所 10までの数字 habiter活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分

第4回	フランス語のつづりと発音の関係 4 ここまで学んだ表現を使って自己紹介 20までの数字 第一群規則動詞活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第5回	フランス語のつづりと発音の関係 5 否定形の練習 40までの数字	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第6回	フランス語のつづりと発音の関係 6 年齢の表現 100までの数字 avoir活用 人称代名詞強勢形	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第7回	フランス語のつづりと発音の関係 7 職業、身分の表現 etre, faire活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第8回	国籍の表現	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第9回	様々な疑問文 電話の表現 1000台の数字	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分

第10回	～が好きである、好きでない 趣味の表現 lire活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第11回	ここまで学んだ表現を使って自己紹介	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第12回	時刻の表現 comprendre, partir活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第13回	時刻と行為を組み合わせた表現 aller, manger, sortir, prendre活用	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第14回	ここまで学んだ表現を使って自己紹介	
	前回学習した内容の小テストに備えること。復習も忘れずに。	60分
第15回	期末試験	
	ここまで学んだ表現をすべて復習すること。	180分

授業の方法

教科書とプリントを使い、口頭練習をする。
毎回、前回復習の小テストを課す。

成績評価の方法

平常点（ただ出席しているだけでは平常点にならない）と期末試験。
授業に積極的に参加すること。
毎回の小テストも重視する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

話せる！音読フランス語200文 中川努 青柳りさ著 第三書房

参考書

特になし

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎BⅠ <422>		
教員名	土屋 良二		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要
日常生活でよく使われるフランス語の表現を理解し、基礎的なフランス語のコミュニケーション能力の習得を目指す。フランス語の音に慣れ、普段使われることの多い表現・語彙を覚え、繰り返し発話することで、身の回りのことについて表現する力を養成する。

到達目標
D P 1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	名前を言う、尋ねる。数を10まで言い、書けるようにする。アルファベットを言えるようにする。	
	教科書を購入し、ざっと目を通す。	60分
第2回	住んでいるところを言う、尋ねる。数を20まで言い、書けるようにする。否定の表現を理解し、使えるようにする。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第3回	年齢を言う、尋ねる。数を60まで言い、書けるようにする。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分

第4回	ここまでの授業で学習した表現をもとに会話のスケッチを作って練習する	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第5回	スケッチの発表。全員で内容の確認。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第6回	職業・身分を言う、尋ねる。職業の語彙を覚える。数を100まで言い、書けるようにする。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第7回	国籍を言う、尋ねる。国籍の語彙を覚える。動詞êtreとavoirを整理し、理解する。電話番号の言い方を覚える。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第8回	好きなこと・嫌いなことを言う、尋ねる。身の回りの事物を表す語彙を覚える。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第9回	ここまでの授業で学習した表現をもとに会話のスケッチを作って練習する	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分

第10回	時刻を言う、尋ねる。時刻を使った様々な表現を覚える。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第11回	一日の活動を言う、尋ねる。疑問詞を整理して、理解する。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第12回	行き先を言う、尋ねる。様々な建物の語彙を覚える。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第13回	単語のまとめ。いままで授業で学習した表現をもとにどんな会話のスケッチができるか検討する。	
	前回の復習として、教科書の文を音読し、書く練習をする。	60分
第14回	動詞のまとめ。スケッチの作成と練習。	
	9月からの授業全体を再度復習。テストの準備。	60分
第15回	スケッチの発表、これまでに習得した表現の確認テスト。	
	テストの内容を再確認する。テスト後は出来なかったところを見直す。	60分

授業の方法

授業はできる限り多くフランス語に接して音に慣れ、出来るだけ多く発話する機会を持つために、ペアワーク、グループワークなど演習形式の学習活動を中心として展開し、教科書のキーセンテンスを授業内で覚えられるように練習する。

成績評価の方法

授業への積極性、毎回の小テスト、学期中に数回行う会話スケッチの作成と発表に基づいて評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

異文化理解の授業で得た知識を活用して欲しい。

テキスト

中川努、青柳りさ著『話せる！音読フランス語200文』、第三書房、ISBN978-4-8086-2198-8

参考書

辞書・参考書については授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付ける。

科目名	フランス語基礎BⅠ <423>		
教員名	田村 恵子		
科目ナンバー	1701481140	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業では、フランス語を楽しく学んで話せるようになることを目的として勉強していきます。メインになるのは、基礎的な文章の暗記ですが、授業内で何度も練習するので、まったく不安を感じずにコミュニケーション能力を身に付けることができます。細かいことにあまりとらわれず、フランス語を発音する楽しさを味わってほしいクラスです。			
到達目標			
DP1: 基礎的な会話表現を理解できる。外国文化習得の基礎となるフランス語の文章を理解し、運用できるようにする。仏検5級レベルの実力を養成。 DP3. 様々な状況に於いて多様な文化に触れ、コミュニケーションすることができる。 DP5. 言語を活用し、お互いにコミュニケーションすることができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	名前を名乗る。相手の人の名前を尋ねる。数を10まで言え、書けるようにする。		
	教科書を入手し、ざっと目を通す。	60分	
第2回	年齢を尋ね、自分の年齢を答える。数を20まで言えて、書けるようにする。 否定の表現を理解し、言えるようにする。		
	前回の授業の復習をする。 教科書のキーセンテンスの音読。	60分	
第3回	相手の住んでいるところについて尋ねる。 数を40まで言えて書けるようにする。		
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分	

第4回	今までの授業で学習したことをもとに、友達とスケッチ（会話劇）を作ってみる。演じられように練習。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第5回	スケッチについて検討し、練習した後、発表して、皆で内容について確認する。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第6回	年齢について尋ねる。 年齢について答える。 数を100まで言えるようにする。	
	前回の授業の復習をする。単語のスペルを覚える。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第7回	動詞avoirについて、しっかり理解し、覚える。 疑問形容詞 quel について、しっかり理解する。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第8回	職業、身分について尋ね、答える。 その質問について、否定文で答える。 色々な職業の語彙を覚える。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第9回	疑問代名詞（何を、何がe. t. c.）について理解する。 それを使った表現を、いくつか学習する。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分

第10回	主に疑問代名詞を使ったスケッチを、友達と組んで作成し、演じられるよう練習する。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第11回	作成したスケッチを皆で検討し、さらに磨き上げる。 身の回りのもの、文房具についての語彙を学習し、覚える。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第12回	疑問代名詞について、さらに学習し、問題演習。	
	前回の授業の復習をする。教科書のキーセンテンスの音読。	60分
第13回	作ったスケッチに内容を加え、長いスケッチにしてみる。スケッチを発表し、間違いをなくすようにする。	
	前回の授業の復習をする。試験範囲の確認と総復習。	60分
第14回	動詞の総まとめ。 スケッチを再検討。教師の前で演じてみる。	
	後期全体の復習をする。	80分
第15回	クラスメートの前で、スケッチを発表、演じてみる。 今までの動詞と、主な語彙の復習。 色々な国名の形容詞形をリストアップ、春休みの宿題とする。	
	テストについて反省すべき点を考える。	60分

授業の方法

毎回、教科書のキーセンテンスを繰り返し発音し、授業内に覚えられるよう練習する。

成績評価の方法

毎回の小テスト、学期中に数回にわたり行われるスケッチ発表に基づき評価を行う

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

異文化理解の授業で得た知識を活用します。

テキスト

話せる！音読フランス語200文

参考書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

毎回、授業後に対応します。

科目名	スペイン語基礎 A I <131>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <132>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <133>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <134>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <135>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。 学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。 ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <136>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1001481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <331>		
教員名	高島 理恵		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <332>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <333>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <334>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <335>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。 学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。 ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分	
第3回	主格人称代名詞、動詞ser		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分	

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <431>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <432>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <433>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <434>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <435>		
教員名	高島 理恵		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎 A I <500>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。この授業では動詞の現在形の活用を中心とした初級文法を学ぶことによって広大なスペイン語圏の人びとや文化と触れ合うための基礎体力作りをします。
学習する文法事項は以下の通りです。（動詞はすべて直説法現在）

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、発音、アクセント	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	名詞の性・数、定冠詞、不定冠詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	主格人称代名詞、動詞ser	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	形容詞の性・数、所有形容詞前置形	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	ser+形容詞の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tener	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	前置詞、疑問詞、指示形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞estarとhay	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	ser+形容詞とestar +形容詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	tener+名詞、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①基本的なスペイン語の文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の綴り字の読み方について理解できている。
- ④基本的な動詞の活用や形容詞の変化について対応できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎BI、スペイン語会話I、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <131>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <132>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <133>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <134>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <135>		
教員名	ドメネク マリア		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <136>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1001481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <331>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <332>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <333>		
教員名	ゴンサレス ペゴーニャ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <334>		
教員名	ゴンサレス ペゴーニャ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <335>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅠ <431>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <432>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <433>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9 （スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <434>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <435>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎B I <500>		
教員名	ドメネク マリア		
科目ナンバー	1701481240	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎Aで学んだ文法を応用して、スペイン語での会話に慣れ、日常生活で使える表現を身につけていきます。基本文法（動詞活用など）を理解してから、ペアやグループでの会話や発表を通して、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、授業で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	あいさつなどの表現、単語の発音・聞き取り練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	基本単語を使って名詞や冠詞を練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞ser、形容詞、所有形容詞の練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	疑問文と否定文、動詞tenerの練習 自己紹介、出身、家族、職業、人や物の描写	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	数字1-100、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法現在(規則動詞)の練習 日常生活について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	疑問文や前置詞の練習 数字、日付、曜日の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	動詞ser, estar, hayの練習 性質、状態、場所の表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	動詞ser, estar, hayの練習 町にある色々なものを描写する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	動詞tenerの練習 体調の表現、ここまでの復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AI」（日本人教員）と「スペイン語基礎BI」（ネイティブ教員）によるペア授業です。共通のテキストを使います。原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（出席、課題、授業への参加態度、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ① あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ② 基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③ スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、スペイン語会話I、異文化理解A（ことばと文化の窓）、異文化理解B（スペイン語圏）

テキスト

『Español en imágenes』（イメージ・スペイン語）、エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治（共著）、朝日出版社、2500円+税、ISBN 978-4-255-55102-9（スペイン語基礎AI、BI共通）

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	中国語基礎 A I <141>		
教員名	浜田 ゆみ		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 単母音、声調、軽声	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60
第2回	子音、複母音	
	CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60
第3回	鼻母音、声調の変化など	
	CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60

第4回	第1課 どうぞよろしく	
	第1課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第5回	第1課の続き 練習問題	
	第1課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第6回	第2課 到着ロビーで	
	第2課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第7回	第2課の続き 練習問題	
	第2課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第8回	第3課 明日のスケジュール	
	第3課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第9回	第3課の続き 練習問題 第4課 喫茶店で	
	第3課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第4課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60

第10回	第4課の続き 練習問題	
	第4課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第11回	第5課 コンビニで買い物	
	第5課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第12回	第5課の続き 練習問題 総復習	
	第5課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

毎回発音練習を重視します。発音の基礎を学んだ後、各課では新出単語、ポイント（文法の説明）、本文、練習問題の順番で進めていきます。また、数回の小テストを実施します。

なお、この授業は基礎Bと関係して行うため、進度に多少の変更が生じる場合もあります。

成績評価の方法

平常点（授業への参加状況など）20%、小テスト20%、口頭試験20%、筆記試験40%により評価します。

原則として出席は3分の2以上とし、遅刻などが3回あった場合は、1回の欠席となります。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社（2300円＋税）、ISBN 978-4-560-06919-6

テキストは、基礎Aでは講読クラス用、基礎Bでは会話クラス用の2冊を購入して下さい。

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <142>		
教員名	宮島 和也		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	イントロダクション(中国語の概説、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します)		
	発音の練習①		
	シラバスを読み、到達目標などを整理しておいてください。		60分
	発音の復習 CDを聞き、実際に声に出して発音してみてください。		
第2回	発音の練習②		
	発音の復習 CDを聞き、実際に声に出して発音してみてください。		60分
第3回	第1課：「どうぞよろしく」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備		60分

第4回	第1課：「どうぞよろしく」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第5回	第2課：「到着ロビーで」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第6回	第2課：「到着ロビーで」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第7回	第3課：「明日のスケジュール」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第8回	第3課：「明日のスケジュール」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第9回	第4課：「喫茶店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分

第10回	第4課：「喫茶店で」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第11回	第5課：「コンビニで買物」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第12回	第5課：「コンビニで買物」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業2回で1課学ぶくらいのペースで授業を進めます。発音練習の機会をなるべく多く設けますので、積極的に授業に参加しましょう。この授業では特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というとあまり良いイメージが持てないかもしれませんが、文法は効率的に外国語を習得するためのマニュアルとも言えます。練習問題や復習を通じてしっかり身につけましょう。また毎回の授業で小テストがあります。毎回の小テストへの準備を行うことで少しずつ力をつけていきましょう。具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合に依っては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等（オフィス・アワー）

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <143>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第2回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第3回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分

第4回	第1課	
	復習 単語の暗記	60分
第5回	第2課	
	復習 単語の暗記	60分
第6回	第2. 3課	
	復習 単語の暗記	60分
第7回	第3課	
	復習 単語の暗記	60分
第8回	第3. 4課	
	復習 単語の暗記	60分
第9回	第4課	
	復習 単語の暗記	60分

第10回	第4．5課	
	復習 単語の暗記	60分
第11回	第5課	
	復習 単語の暗記	60分
第12回	総復習	
	復習 単語の暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課の文法説明を中心に行い、テキスト本文の音読、練習問題へと発展させ、できるだけ多く聞き、発音することを目標とします。各課の終了時に単語テストを行い、単語の定着を図ります。予習、復習は語学学習においては必要不可欠な要素です。授業外でもCDを聞くなどできるだけ多くの中国語に触れるようにしてください。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）30%、学期末試験（発音試験、筆記試験）70%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 A I <144>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第2回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第3回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分

第4回	第1課	
	復習 単語の暗記	60分
第5回	第2課	
	復習 単語の暗記	60分
第6回	第2. 3課	
	復習 単語の暗記	60分
第7回	第3課	
	復習 単語の暗記	60分
第8回	第3. 4課	
	復習 単語の暗記	60分
第9回	第4課	
	復習 単語の暗記	60分

第10回	第4．5課	
	復習 単語の暗記	60分
第11回	第5課	
	復習 単語の暗記	60分
第12回	総復習	
	復習 単語の暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課の文法説明を中心に行い、テキスト本文の音読、練習問題へと発展させ、できるだけ多く聞き、発音することを目標とします。各課の終了時に単語テストを行い、単語の定着を図ります。予習、復習は語学学習においては必要不可欠な要素です。授業外でもCDを聞くなどできるだけ多くの中国語に触れるようにしてください。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）30%、学期末試験（発音試験、筆記試験）70%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 A I <145>		
教員名	中桐 典子		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	第1課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていく。各課については、まず単語、文法について詳しく説明する。その後、会話文の音読練習を行い、中国人教師の授業（テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワーク）につなげる。大きい声での音読が要求される。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗状況によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素なので、授業外での学習にも積極的に取り組んで頂きたい。

成績評価の方法

- (1) 平常点15%
- (2) 口頭試験25%
- (3) 筆記試験60%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅡ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎・喜多山幸子・松田かの子著 白水社 2300円 ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 A I <146>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <147>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

?中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
 ?中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
 ?中国語の初級文法について理解することができる。
 ?基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション 自己紹介・教科書説明など 発音 単母音・声調	
	教科書を揃えて、CD等動作確認をしておいてください。	60分
第2回	発音 子音・複母音	
	前回の学習範囲も含めて授業前・授業後でも反復練習してください。	60分
第3回	発音 鼻母音・声調の変化・r化音	
	前々回・前回の学習範囲も含めて授業前・授業後でも反復練習してください。	60分

第4回	簡単な言い回し 知って便利な呼び方 知って便利なことば	
	発音練習の総合的復習になります。 一つ一つのフレーズを覚えましょう。 簡体字でしっかりと書けるように復習してください。	60分
第5回	第1課 どうぞよろしく	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第6回	第2課 到着ロビーで	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第7回	第3課 明日のスケジュール	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第8回	第4課 喫茶店で	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第9回	第5課 コンビニで買い物	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分

第10回	第6課 電子辞書がほしい	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第11回	復習1 第1課～第3課 発音練習及びディクテーション練習	
	既習事項の確認及び演習を行いますので、何度も反復して練習しましょう。復習がカギを握ります。	60分
第12回	復習2 第4課～第6課 発音練習及びディクテーション練習	
	既習事項の確認及び演習を行いますので、何度も反復して練習しましょう。復習がカギを握ります。	60分
第13回	口頭試験	
	試験後も、筆記試験の準備をしましょう。	60分
第14回	筆記試験	
	試験後は、次年度学習範囲について、CDなどを聞いてみましょう。	60分
第15回	解説	
	さらに次年度学習範囲について教科書を閲覧しておいてください。	60分

授業の方法

授業には、CALL教室を使います。機器操作の練習なども含めて、意欲的に学べるよう学生自身の環境づくりをしますので、積極的かつ強力なモチベーションを喚起したいと考えます。
また、ペアワークやグループ練習をはじめとして、授業時は必ずリアクションペーパーの記入を通じて、学習態度などを随時点検したいと思います。

成績評価の方法

授業時のリアクションペーパー記入など平常評価（50%）+口答試験・筆記試験（50%）＝成績評価（100%）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷、東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業前後には、随時教員室等で受け付けたいと思います。

科目名	中国語基礎 A I <148>		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。	
	発音	
	到達目標や学びたいことなどを整理しておいてください。 発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分
第2回	発音の練習	
	発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分
第3回	発音の練習	
	発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分

第4回	第1課：「どうぞよろしく」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第5回	第1課：「どうぞよろしく」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第6回	第2課：「到着ロビーで」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第7回	第2課：「到着ロビーで」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第8回	第3課：「明日のスケジュール」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第9回	第3課：「明日のスケジュール」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分

第10回	第4課：「喫茶店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第11回	第4課：「喫茶店で」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第12回	第5課：「コンビニで買物」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業2回で1課すすむくらいのペースで授業を進めます。授業のはじめに新出単語を確認し、テキストの内容を確認します。特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というと、あまり興味が湧かないかもしれませんが、文法は料理の「レシピ」のようなものですのでしっかりと復習して身につけましょう。

また毎回の授業で小テストがあります。小テストを毎回準備することで少しづつ力をつけていきましょう。

具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合によっては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語基礎 A I <149>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1001481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	復習 CDを聞いて発音練習		60分
第2回	発音		
	復習 CDを聞いて発音練習		60分
第3回	発音		
	復習 CDを聞いて発音練習		60分

第4回	第1課	
	復習 単語の暗記	60分
第5回	第2課	
	復習 単語の暗記	60分
第6回	第2. 3課	
	復習 単語の暗記	60分
第7回	第3課	
	復習 単語の暗記	60分
第8回	第3. 4課	
	復習 単語の暗記	60分
第9回	第4課	
	復習 単語の暗記	60分

第10回	第4．5課	
	復習 単語の暗記	60分
第11回	第5課	
	復習 単語の暗記	60分
第12回	総復習	
	復習 単語の暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課の文法説明を中心に行い、テキスト本文の音読、練習問題へと発展させ、できるだけ多く聞き、発音することを目標とします。各課の終了時に単語テストを行い、単語の定着を図ります。予習、復習は語学学習においては必要不可欠な要素です。授業外でもCDを聞くなどできるだけ多くの中国語に触れるようにしてください。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）30%、学期末試験（発音試験、筆記試験）70%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 A I <341>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、A I I・B I Iに加えて中国語会話 I を並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

- ・中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ・中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ・中国語の初級文法について理解することができる。
- ・基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課 京劇を観る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第2回	第8課 ファーストフードで昼食	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第3回	第9課 カラオケ店で	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第4回	第10課 万里の長城に登る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第5回	第11課 診察を受ける	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第6回	第7課～第11課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第7回	第12課 タクシーに乗る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第8回	第13課 修理を積む	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第9回	第14課 訪問する	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第10回	第15課 乾杯！	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第11回	第12課～第15課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第12回	今期の総復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

CALL教室にてCALLシステム併用により教員・学生のみならず学生同士の双方向コミュニケーションを基軸として発音練習を進めます。また、授業中にはリアクションペーパーに授業考察を記入したり、問題演習には個別指導を通じて学習項目の定着を図ります。

成績評価の方法

平常点（授業内リアクションペーパー記入＋問題演習個別指導等）50%＋定期試験50%＝100%（全体評価）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39 さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷、東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <342>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

?中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
 ?中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
 ?中国語の初級文法について理解することができる。
 ?基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション 自己紹介・教科書説明など 発音 単母音・声調	
	教科書を揃えて、CD等動作確認をしておいてください。	60分
第2回	発音 子音・複母音	
	前回の学習範囲も含めて授業前・授業後でも反復練習してください。	60分
第3回	発音 鼻母音・声調の変化・r化音	
	前々回・前回の学習範囲も含めて授業前・授業後でも反復練習してください。	60分

第4回	簡単な言い回し 知って便利な呼び方 知って便利なことば	
	発音練習の総合的復習になります。 一つ一つのフレーズを覚えましょう。 簡体字でしっかりと書けるように復習してください。	60分
第5回	第1課 どうぞよろしく	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第6回	第2課 到着ロビーで	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第7回	第3課 明日のスケジュール	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第8回	第4課 喫茶店で	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第9回	第5課 コンビニで買い物	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分

第10回	第6課 電子辞書がほしい	
	課文の発音・中文日訳については何度も書いて予習復習してください。	60分
第11回	復習1 第1課～第3課 発音練習及びディクテーション練習	
	既習事項の確認及び演習を行いますので、何度も反復して練習しましょう。復習がカギを握ります。	60分
第12回	復習2 第4課～第6課 発音練習及びディクテーション練習	
	既習事項の確認及び演習を行いますので、何度も反復して練習しましょう。復習がカギを握ります。	60分
第13回	口頭試験	
	試験後も、筆記試験の準備をしましょう。	60分
第14回	筆記試験	
	試験後は、次年度学習範囲について、CDなどを聞いてみましょう。	60分
第15回	解説	
	さらに次年度学習範囲について教科書を閲覧しておいてください。	60分

授業の方法

授業には、CALL教室を使います。機器操作の練習なども含めて、意欲的に学べるよう学生自身の環境づくりをしますので、積極的かつ強力なモチベーションを喚起したいと考えます。
また、ペアワークやグループ練習をはじめとして、授業時は必ずリアクションペーパーの記入を通じて、学習態度などを随時点検したいと思います。

成績評価の方法

授業時のリアクションペーパー記入など平常評価（50%）+口答試験・筆記試験（50%）＝成績評価（100%）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷、東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業前後には、随時教員室等で受け付けたいと思います。

科目名	中国語基礎 A I <343>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <344>		
教員名	島田 亜実		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス・発音の基礎①		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを利用し、習った発音を復習する。		60分
第2回	発音の基礎②		
	教科書付属CDを利用し、発音練習する。		60分
第3回	発音の基礎③ 第1課		
	付属CDを利用し発音練習する。 自分の名前を中国語で言えるように練習する。		60分

第4回	第1課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第5回	第2課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第6回	第2課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第7回	第3課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第8回	第3課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第9回	第4課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分

第10回	第4課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第11回	第5課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第12回	第5課 まとめ	
	・付属CDを利用し発音練習 ・まとめプリントの解答	60分
第13回	口頭試験 まとめ	
	・口頭試験の準備 ・まとめプリントの解答	60分
第14回	筆記試験	
	・筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	・最終仕上げ	60分

授業の方法

- ・およそ2回で1課を学ぶペースで授業を進める予定ですが、これはあくまでも目安であり、クラス状況により異なります。
- ・テキストはほぼ同場面で同じ文法項目を扱ったセットのもので、日本人講師は講読用、中国人講師は会話用を使用します。類似した名称のテキスト2冊ですので注意してください。
- ・発音編についてはペアの中国人講師の授業とリレー式で進み、第1課以降はそれぞれで進めます。
- ・各課毎に語句リストと文法のポイントをまとめたプリントを配布します。語句リストは予復習に利用してください。
- ・進度に応じて各課または数課ごとに小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（小テスト約25・授業参画約5）
- (2) 朗読テスト30%
- (3) 筆記試験40%

※遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

※また学期3分の2の出席とは最低限のものであり、実際に15回中5回も欠席してしまうと授業についていくのは難しい。1回抜けただけでも新しい項目の理解の妨げとなるので、とにかく休まずに出席するよう心がけること。

※宿題をやっていないなどの準備不足は平常点から減点する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <345>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <441>		
教員名	浜田 ゆみ		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 単母音、声調、軽声	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60
第2回	子音、複母音	
	CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60
第3回	鼻母音、声調の変化など	
	CDの音声を聞きながら、発音練習をする。	60

第4回	第1課 どうぞよろしく	
	第1課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第5回	第1課の続き 練習問題	
	第1課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第6回	第2課 到着ロビーで	
	第2課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第7回	第2課の続き 練習問題	
	第2課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第8回	第3課 明日のスケジュール	
	第3課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第9回	第3課の続き 練習問題 第4課 喫茶店で	
	第3課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第4課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60

第10回	第4課の続き 練習問題	
	第4課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第11回	第5課 コンビニで買い物	
	第5課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第12回	第5課の続き 練習問題 総復習	
	第5課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

毎回発音練習を重視します。発音の基礎を学んだ後、各課では新出単語、ポイント（文法の説明）、本文、練習問題の順番で進めていきます。また、数回の小テストを実施します。

なお、この授業は基礎Bと関係して行うため、進度に多少の変更が生じる場合もあります。

成績評価の方法

平常点（授業への参加状況など）20%、小テスト20%、口頭試験20%、筆記試験40%により評価します。
原則として出席は3分の2以上とし、遅刻などが3回あった場合は、1回の欠席となります。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社（2300円＋税）、ISBN 978-4-560-06919-6
テキストは、基礎Aでは講読クラス用、基礎Bでは会話クラス用の2冊を購入して下さい。

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <442>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第2回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分
第3回	発音	
	復習 CDを聞いて発音練習	60分

第4回	第1課	
	復習 単語の暗記	60分
第5回	第2課	
	復習 単語の暗記	60分
第6回	第2. 3課	
	復習 単語の暗記	60分
第7回	第3課	
	復習 単語の暗記	60分
第8回	第3. 4課	
	復習 単語の暗記	60分
第9回	第4課	
	復習 単語の暗記	60分

第10回	第4．5課	
	復習 単語の暗記	60分
第11回	第5課	
	復習 単語の暗記	60分
第12回	総復習	
	復習 単語の暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課の文法説明を中心に行い、テキスト本文の音読、練習問題へと発展させ、できるだけ多く聞き、発音することを目標とします。各課の終了時に単語テストを行い、単語の定着を図ります。予習、復習は語学学習においては必要不可欠な要素です。授業外でもCDを聞くなどできるだけ多くの中国語に触れるようにしてください。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）30%、学期末試験（発音試験、筆記試験）70%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 A I <443>		
教員名	宮島 和也		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	イントロダクション(中国語の概説、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します)		
	発音の練習①		
	シラバスを読み、到達目標などを整理しておいてください。		60分
	発音の復習 CDを聞き、実際に声に出して発音してみてください。		
第2回	発音の練習②		
	発音の復習 CDを聞き、実際に声に出して発音してみてください。		60分
第3回	第1課：「どうぞよろしく」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備		60分

第4回	第1課：「どうぞよろしく」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第5回	第2課：「到着ロビーで」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第6回	第2課：「到着ロビーで」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第7回	第3課：「明日のスケジュール」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第8回	第3課：「明日のスケジュール」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第9回	第4課：「喫茶店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分

第10回	第4課：「喫茶店で」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第11回	第5課：「コンビニで買物」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第12回	第5課：「コンビニで買物」 練習問題	
	本文の復習、単語の暗記、小テストの準備	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業2回で1課学ぶくらいのペースで授業を進めます。発音練習の機会をなるべく多く設けますので、積極的に授業に参加しましょう。この授業では特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というとあまり良いイメージが持てないかもしれませんが、文法は効率的に外国語を習得するためのマニュアルとも言えます。練習問題や復習を通じてしっかり身につけましょう。また毎回の授業で小テストがあります。毎回の小テストへの準備を行うことで少しずつ力をつけていきましょう。具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合に依っては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等（オフィス・アワー）

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <444>		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎 A と中国人教師による基礎 B のペアレッスンで行われます。基礎 A では、発音と基本文法を学び、基礎 B では、基礎 A で学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP 5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の 4 点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。	
	発音	
	到達目標や学びたいことなどを整理しておいてください。 発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分
第2回	発音の練習	
	発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分
第3回	発音の練習	
	発音の復習—CDで確認してみよう 実際に声に出して発音してみてください。	60分

第4回	第1課：「どうぞよろしく」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第5回	第1課：「どうぞよろしく」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第6回	第2課：「到着ロビーで」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第7回	第2課：「到着ロビーで」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第8回	第3課：「明日のスケジュール」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第9回	第3課：「明日のスケジュール」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分

第10回	第4課：「喫茶店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第11回	第4課：「喫茶店で」 練習問題	
	本文の復習。フレーズの暗記	60分
第12回	第5課：「コンビニで買物」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文の復習。単語の暗記	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	総まとめ	60分

授業の方法

授業2回で1課すすむくらいのペースで授業を進めます。授業のはじめに新出単語を確認し、テキストの内容を確認します。特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というと、あまり興味が湧かないかもしれませんが、文法は料理の「レシピ」のようなものですのでしっかりと復習して身につけましょう。

また毎回の授業で小テストがあります。小テストを毎回準備することで少しずつ力をつけていきましょう。

具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合によっては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <446>		
教員名	島田 亜実		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス・発音の基礎①	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを利用し、習った発音を復習する。	60分
第2回	発音の基礎②	
	教科書付属CDを利用し、発音練習する。	60分
第3回	発音の基礎③ 第1課	
	付属CDを利用し発音練習する。 自分の名前を中国語で言えるように練習する。	60分

第4回	第1課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第5回	第2課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第6回	第2課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第7回	第3課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第8回	第3課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第9回	第4課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分

第10回	第4課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第11回	第5課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第12回	第5課 まとめ	
	・ 付属CDを利用し発音練習 ・ まとめプリントの解答	60分
第13回	口頭試験 まとめ	
	・ 口頭試験の準備 ・ まとめプリントの解答	60分
第14回	筆記試験	
	・ 筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	・ 最終仕上げ	60分

授業の方法

- ・およそ2回で1課を学ぶペースで授業を進める予定ですが、これはあくまでも目安であり、クラス状況により異なります。
- ・テキストはほぼ同場面で同じ文法項目を扱ったセットのもので、日本人講師は講読用、中国人講師は会話用を使用します。類似した名称のテキスト2冊ですので注意してください。
- ・発音編についてはペアの中国人講師の授業とリレー式で進み、第1課以降はそれぞれで進めます。
- ・各課毎に語句リストと文法のポイントをまとめたプリントを配布します。語句リストは予復習に利用してください。
- ・進度に応じて各課または数課ごとに小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（小テスト約25・授業参画約5）
- (2) 朗読テスト30%
- (3) 筆記試験40%

※遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

※また学期3分の2の出席とは最低限のものであり、実際に15回中5回も欠席してしまうと授業についていくのは難しい。1回抜けただけでも新しい項目の理解の妨げとなるので、とにかく休まずに出席するよう心がけること。

※宿題をやっていないなどの準備不足は平常点から減点する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 A I <500>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481310	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	中国語概説、発音1	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。授業内容の復習	60分
第2回	発音2	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音3	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	発音4、発音まとめ、確認テスト	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	小まとめ、第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課、第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

まず、発音を集中的に学びます。その後テキストに入り、3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説してから、新たに学習した文法項目を使った作文の作成、講読文の読解、練習問題による確認を行います。また講読文、例文の音読も重視し、繰り返し練習をします。毎回小テストを行う予定です。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 B I <141>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎 A と中国人教師による基礎 B のペアレッスンで行われます。基礎 A では、発音と基本文法、基礎 B では、基礎 A で学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP 5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の 4 点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第1課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課 総合練習、第4課 文法	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 会話、総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

発音編の勉強が終了後、2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点 40%（授業中小テスト、会話文の暗唱、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 B I <142>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	・中国語とは：標準語・漢字・発音の概説 ・発音（声調・単母音・子音）		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認すること。 教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第2回	発音（複母音・鼻母音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音（特別表記・声調変化等）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	・発音のまとめ ・第1課「楊麗さんですか」 (自己紹介・身分・国籍の言い方) 第1課の会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第5回	・第1課の復習 ・第2課「荷物は多いですか」 (形容詞で状態を説明する)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第6回	・第2課の続き・会話練習 ・これまでの内容のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第7回	・第3課「明日はどこへ行きますか」 (動詞述語文・疑問詞疑問文・時間を表す語)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第8回	・第3課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第9回	・第4課「「ケーキを食べたいですか」 (「～がしたい」の願望表現・選択疑問文等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分

第10回	・第4課の続き・会話練習 ・これまでの内容のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第11回	・第5課「これはいくらですか」 (数詞・ものの数え方・反復疑問文)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第12回	・第5課の続き・会話練習 ・総復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

基本的に2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、本文、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また各課について小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅡ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <143>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音（単母音・声調・子音）	
	CDを聞き、単母音・声調・子音を復習する。	60
第2回	発音（複合母音・鼻母音・つづりのルール・声調の変化）	
	CDを聞き、複合母音・鼻母音を復習する。	60
第3回	第1課 会話 自己紹介（名前・国籍・身分） 文法 人称代名詞 動詞「是」 一般疑問文	
	CDを聞いて、第1課の会話を暗唱できるようにする。	60
第4回	第1課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第1課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第5回	第2課 会話 形容詞で状態を説明 文法 指示代名詞 形容詞述語文 「的」	
	CDを聞いて、第2課の会話を暗唱できるようにする。	60

第6回	第2課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第2課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第7回	第3課 会話 　いつ何をする 文法 　場所代名詞 動詞述語文 疑問詞疑問文 時間を表す語	
	CDを聞いて、第3課の会話を暗唱できるようにする。	60
第8回	第3課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第3課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第9回	第4課 会話 　やりたいこと 文法 　助動詞「想」 選択疑問文	
	CDを聞いて、第4課の会話を暗唱できるようにする。	60
第10回	第4課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第4課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60

第11回	第5課 会話 買い物する 文法 数詞 量詞 反復疑問文 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第5課の会話を暗唱できるようにする。第5課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第12回	第5課 会話 買い物する 文法 数詞 量詞 反復疑問文 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第5の会話を暗唱できるようにする。第5課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験のために第1課～5課のCDを聞き、暗記します。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験のために第1課～5課のCDを聞き、ピンインや漢字を暗記する。	60
第15回	総まとめ	
	総しあげ	60

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。習得した会話を発表する。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 毎回行う小テスト40%
- (2) 口頭試験20%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠するさらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

1冊めの中国語会話クラス 白水社 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著

参考書

授業開始時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。
随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <144>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命 と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師 による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法 を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これま での「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4			
点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分	
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分	

第4回	第一課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第一課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第二課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第二課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第三課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第三課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第四課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第四課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第五課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。
各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。
大きい声での音読が要求されます。
また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、
授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。

なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。
授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンイン識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅠ <145>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	1 ガイダンス	
	2 発音篇 声調 単母音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	①複合母音 ②子音 ③音節	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第3回	①鼻母音発音 ②轻声 ③アル化 ④声調の組み合わせ	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第4回	第1課 楊麗さんですか（会話文、練習）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 復習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 荷物は多いですか（会話文、練習）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課 復習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 明日はどこへ行きますか（会話文、練習）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課 復習と小テスト 第4課 ケーキを食べたいですか（会話文、練習）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 復習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 これはいくらですか（会話文、練習）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 復習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。 復習の実施。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

発音編の学習を終えた後、2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎課小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点40%（授業中小テスト、会話文の朗読、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅠ <146>		
教員名	費 燕		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 発音 ①	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第2回	発音 ②	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分
第3回	発音 ③	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分

第4回	発音 ④	
	第1課 「楊麗さんですか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 会話練習、トレーニング、リスニング	
	第2課 「荷物は多いですか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 会話練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課 「明日はどこに行きますか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 会話練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課 「ケーキを食べたいですか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 会話練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 「これはいくらですか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 会話練習、トレーニング、リスニング 総復習	
	今まで勉強した内容の復習と確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

発音勉強のあと、基本は2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行います。テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や授業方法については、授業にて直接に指示します。なお、準備学修（予習・復習・授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点 30%（授業中小テスト、音読テスト、授業参加度など）
- (2) 口頭試験 30%
- (3) 筆記試験 40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊目の中国語』 《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著 白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <147>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <148>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	第1課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課 総合練習文法	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課 総合練習 第4課 文法	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 会話、総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

発音編の勉強が終了後、2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点40%（授業中小テスト、会話文の暗唱、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅡ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <149>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1001481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。

? 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。

中国語の初級文法について理解することができる。?

? 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、発音編（単母音、声調）	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音編（軽声、子音、複母音）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音編（鼻母音、声調の変化、儿化音）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	発音総復習、知って便利な呼び方、知って便利なことば	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	教科書の第一課 ①人称代名詞 ②動詞“是” ③否定を表す“不” ④疑問を表す“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	教科書の第二課 ①指示代名詞 ②形容詞述語文 ③疑問詞“怎??” ④“的”の省略	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第三課 ①場所代名詞 ②動詞述語文 ③疑問詞疑問文 ④省略疑問文“?” ⑤時を表すことばの位置	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	教科書の第四課 ①助動詞“想” ②選択疑問文 ③副詞“也” ④動詞の重ね型 ⑤語気助詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第五課 ①数詞 ②量詞の使い方 ③反復疑問文 ④人民元の数え方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第六課 ① 所有を表す“有” ② 所有を表す“在” ③前置詞“?”の使い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

最初の数回は発音の練習を行います。それ以降はテキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行うほか、中間試験、期末試験を実施します。

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30%(3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎A I I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語（会話クラス）』
劉? 喜多山幸子 松田かの子 著
白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅠ <341>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <342>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <343>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）	準備学修の目安（分）	
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分	
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする	60分	

第4回	第一課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第一課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第二課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第二課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第三課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第三課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第四課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第四課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第五課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法 2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。 各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。 大きい声での音読が要求されます。 また、毎回小テストを行います。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。 なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。 授業外での学習にも積極的に取り組んでください。
成績評価の方法 (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど） (2) 口頭試験30% (3) 筆記試験40% 遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠⅠ
テキスト 『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社
参考書 授業中に適宜紹介します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎 B I <344>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎 A と中国人教師による基礎 B のペアレッスンで行われます。基礎 A では、発音と基本文法を学び、基礎 B では、基礎 A で学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の 4 点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	発音の小テスト 第1課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 会話練習と小テスト 第2課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 会話練習と小テスト	
	第1課―第5課の復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

ほぼ2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、宿題の完成状況、小テスト）と期末試験の状況などで総合的に評価します。

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』 《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 B I <345>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	・ 中国語とは：標準語・漢字・発音の概説 ・ 発音（声調・単母音・子音）	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認すること。 教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第2回	発音（複母音・鼻母音）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音（特別表記・声調変化等）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	・発音のまとめ ・第1課「楊麗さんですか」 (自己紹介・身分・国籍の言い方) 第1課の会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第5回	・第1課の復習 ・第2課「荷物は多いですか」 (形容詞で状態を説明する)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第6回	・第2課の続き・会話練習 ・これまでの内容のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第7回	・第3課「明日はどこへ行きますか」 (動詞述語文・疑問詞疑問文・時間を表す語)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第8回	・第3課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第9回	・第4課「ケーキを食べたいですか」 (「～がしたい」の願望表現・選択疑問文等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分

第10回	・第4課の続き・会話練習 ・これまでの内容のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第11回	・第5課「これはいくらですか」 (数詞・ものの数え方・反復疑問文)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第12回	・第5課の続き・会話練習 ・総復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認こと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

基本的に2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、本文、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、各課について小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅡ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <441>		
教員名	但 継紅		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
一年間を通して、発音の基礎（ピンイン）、初級文法、簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）を身に着けることが目標です。 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス 発音①：声調 単母音 複母音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60
第2回	発音②：無気音と有気音 そり舌音 鼻音を伴う母音など		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60
第3回	発音③：声調変化と声調の組み合わせ ごあいさつ		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第8回	第3課、第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60

第10回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第11回	第5課、第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第12回	第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で、基礎的な文法を学び、会話練習や作文などを併行して行うことにより中国語の基礎がためをする。半年を通して、中国語の基礎発音とアクセントの訓練を行い、言葉の表現及び基本的な生活用語を身につける。

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『一冊めの中国語（会話クラス）』 劉? 喜多山幸子 松田かの子 著 白水社 2,415円

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <442>		
教員名	但 継紅		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
一年間を通して、発音の基礎（ピンイン）、初級文法、簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）を身に着けることが目標です。 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 発音①：声調 単母音 複母音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60
第2回	発音②：無気音と有気音 そり舌音 鼻音を伴う母音など		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60
第3回	発音③：声調変化と声調の組み合わせ ごあいさつ		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60

第4回	第1課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第5回	第1課、第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第8回	第3課、第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60

第10回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第11回	第5課、第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第12回	第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で、基礎的な文法を学び、会話練習や作文などを併行して行うことにより中国語の基礎がためをする。半年を通して、中国語の基礎発音とアクセントの訓練を行い、言葉の表現及び基本的な生活用語を身につける。

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『一冊めの中国語（会話クラス）』 劉? 喜多山幸子 松田かの子 著 白水社 2,415円

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <443>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。

? 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。

中国語の初級文法について理解することができる。?

? 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、発音編（単母音、声調）	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音編（軽声、子音、複母音）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音編（鼻母音、声調の変化、儿化音）	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	発音総復習、知って便利な呼び方、知って便利なことば	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	教科書の第一課 ①人称代名詞 ②動詞“是” ③否定を表す“不” ④疑問を表す“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	教科書の第二課 ①指示代名詞 ②形容詞述語文 ③疑問詞“怎??” ④“的”の省略	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第三課 ①場所代名詞 ②動詞述語文 ③疑問詞疑問文 ④省略疑問文“?” ⑤時を表すことばの位置	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	教科書の第四課 ①助動詞“想” ②選択疑問文 ③副詞“也” ④動詞の重ね型 ⑤語気助詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第五課 ①数詞 ②量詞の使い方 ③反復疑問文 ④人民元の数え方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第六課 ① 所有を表す“有” ② 所有を表す“在” ③前置詞“?”の使い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

最初の数回は発音の練習を行います。それ以降はテキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行うほか、中間試験、期末試験を実施します。

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30% (3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎A I I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅠ <444>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③中国語の初級文法について理解することができる。
- ④簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	発音	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第 1 課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験に備え、CDを聞きながら、音読練習。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験に備え、単語、文法事項を万遍なく復習すること。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語基礎 B I <445>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	発音（単母音・声調・子音）		
	CDを聞き、単母音・声調・子音を復習する。		60
第2回	発音（複合母音・鼻母音・つづりのルール・声調の変化）		
	CDを聞き、複合母音・鼻母音を復習する。		60
第3回	第1課 会話 自己紹介（名前・国籍・身分） 文法 人称代名詞 動詞「是」 一般疑問文		
	CDを聞いて、第1課の会話を暗唱できるようにする。		60

第4回	第1課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り		
	第1課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。		60
第5回	第2課 会話 形容詞で状態を説明 文法 指示代名詞 形容詞述語文 「的」		
	CDを聞いて、第2課の会話を暗唱できるようにする。		60
第6回	第2課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り		
	第2課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。		60
第7回	第3課 会話 いつ何をする 文法 場所代名詞 動詞述語文 疑問詞疑問文 時間を表す語		
	CDを聞いて、第3課の会話を暗唱できるようにする。		60
第8回	第3課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り		
	第3課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。		60
第9回	第4課 会話 やりたいこと 文法 助動詞「想」 選択疑問文		
	CDを聞いて、第4課の会話を暗唱できるようにする。		60

第10回	第4課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第4課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第11回	第5課 会話 買い物する 文法 数詞 量詞 反復疑問文	
	CDを聞いて、第5課の会話を暗唱できるようにする。第5課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第12回	第5課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第5課の会話を暗唱できるようにする。第5課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験のために第1課～6課のCDを聞き、暗記します。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験のために第1課～6課のCDを聞き、ピンインや漢字を暗記する。	60
第15回	総まとめ	
	総しあげ	60

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。習得した会話を発表する。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 毎回行う小テスト40%
- (2) 口頭試験20%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠するさらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

1冊めの中国語会話クラス 白水社 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著

参考書

授業開始時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。
随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎 B I <446>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	発音の小テスト 第1課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第1課 会話練習と小テスト 第2課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第3課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第3課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第4課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第4課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第5課 単語、本文の音読 基本表現の理解と応用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第5課 会話練習と小テスト	
	第1課―第5課の復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。 復習の実施。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

ほぼ2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、宿題の完成状況、小テスト）と期末試験の状況などで総合的に評価します。

(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）

(2) 口頭試験30%

(3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』 《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅠ <500>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701481340	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ? 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。? ? 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、発音編（単母音、声調）		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	発音編（軽声、子音、複母音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	発音編（鼻母音、声調の変化、儿化音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	発音総復習、知って便利な呼び方、知って便利なことば	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	教科書の第一課 ①人称代名詞 ②動詞“是” ③否定を表す“不” ④疑問を表す“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	教科書の第二課 ①指示代名詞 ②形容詞述語文 ③疑問詞“怎??” ④“的”の省略	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第三課 ①場所代名詞 ②動詞述語文 ③疑問詞疑問文 ④省略疑問文“?” ⑤時を表すことばの位置	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	教科書の第四課 ①助動詞“想” ②選択疑問文 ③副詞“也” ④動詞の重ね型 ⑤語気助詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第五課 ①数詞 ②量詞の使い方 ③反復疑問文 ④人民元の数え方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第六課 ① 所有を表す“有” ② 所有を表す“在” ③前置詞“?”の使い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

最初の数回は発音の練習を行います。それ以降はテキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行うほか、中間試験、期末試験を実施します。

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30% (3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎A I I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	韓国語基礎 A I <I>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001481410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎B I」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて	
	ハングルについて調べる。	60分
第2回	1部第1課 基本母音	
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音	
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法 初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。
成績評価の方法 1) 課題、授業への参加度 30% 2) 小テスト、中間テストなど30% 3) 期末テスト 40%
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.
必要な予備知識／先修科目／関連科目 特になし
テキスト 文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、
参考書 授業中に適宜紹介する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎 A I <2>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎B I」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて	
	ハングルについて調べる。	60分
第2回	1部第1課 基本母音	
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音	
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎 A I <3>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎B I」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて	
	ハングルについて調べる。	60分
第2回	1部第1課 基本母音	
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音	
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎 A I <4>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎B I」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて		
	ハングルについて調べる。		60分
第2回	1部第1課 基本母音		
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音		
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎 A I <5>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001481410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎B I」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて	
	ハングルについて調べる。	60分
第2回	1部第1課 基本母音	
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音	
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅠ <Ⅰ>		
教員名	桔川 純子		
科目ナンバー	1001481440	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎AⅠ」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて		
	ハングルについて調べる。		60分
第2回	1部第1課 基本母音		
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音		
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅠ <2>		
教員名	宋 美玲		
科目ナンバー	1001481440	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎AⅠ」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて		
	ハングルについて調べる。		60分
第2回	1部第1課 基本母音		
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音		
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅠ <3>		
教員名	桔川 純子		
科目ナンバー	1001481440	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎AⅠ」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて	
	ハングルについて調べる。	60分
第2回	1部第1課 基本母音	
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音	
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅠ <4>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481440	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎AⅠ」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて		
	ハングルについて調べる。		60分
第2回	1部第1課 基本母音		
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音		
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅠ <5>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481440	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
この授業は、韓国語を初めて学ぶ人のための基礎クラスあり、「韓国語基礎AⅠ」とリレーで行う授業である。ハングルの文字と発音そして単語と基本文法を学び、「書く・読む」に重点をおいて進める。韓国語の発音に慣れるため、読む練習を繰り返し行う。新しく習った単語を用いて日常的で頻繁に使う表現を作文しながら学習する。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① ハングル文字と発音を修得し、韓国語の仕組みが理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、自己紹介、ハングルについて		
	ハングルについて調べる。		60分
第2回	1部第1課 基本母音		
	①習った文字を声を出して読む。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	1部第2課 基本子音 第3課 子音一濃音		
	①習った文字を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	1部第4課 合成母音	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	1部第5課 パッチム	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	1部第6課 日本語のハングル表記 第7課 基本的な発音ルール	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第1課 대학생입니다. 大学生です。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	120分
第9回	2部第2課 전공이 뭐예요? 専攻は何ですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第3課 누나가 있어요? お姉さんがいますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第5課 이 치마는 얼마입니까? このスカートはいくらですか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第6課 몇 시부터 몇 시까지 아르바이트를 합니까? 何時から何時までアルバイトをしますか。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第7課 어머니께서 한국에 가십니다. 母が韓国に行きます。	
	①習った単語を声を出して読み、暗記する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テスト範囲を復習する。	120分

授業の方法

初めて学習する言語なので、文字と発音に重点をおいて進める。文法事項に関してはテキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

文珍瑛・郭珍京著、『いっしょにコリアン』（基礎編）、白帝社、2019年、

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <111>		
教員名	中島 万紀子		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

前年度に学習した、ドイツ語基礎AⅠの続きを、同じテキストを用いて、さらに学んでいく。学習内容は、三基本形を中心にして、過去形、完了形、関係代名詞、zu不定詞、受動態などに及ぶ。各課の例文なども、複雑なものになり、中級ドイツ語への足がかりとなるような、授業にしていきたい。

到達目標

ドイツ語の三基本形のさまざまな形態が理解出来る。また、それを用いて作られた、過去形、完了形、受動態の文章が理解できる。話法の助動詞、zu不定詞、関係代名詞などを用いた、さまざまな文型が理解でき、かなり複雑で、まとまった文章を、読んだり、書いたりすることができる。
買い物をしたり、旅行に行ったりしたときの、簡単な会話が話せるように、ドイツ語の発声に慣れていく。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ドイツ語基礎AⅠの6課までの簡単な復習。 第7課 話法の助動詞の、説明及び練習問題。	
	ドイツ語の動詞の現在人称変化、冠詞と名詞、前置詞などの復習。 話法の助動詞の、予習。	40分
第2回	第7課の復習。 第8課 動詞の3基本形、過去形の説明。	
	第7課の復習。 第8課の予習。	40分
第3回	第8課の復習と、練習問題。 第9課 現在完了形の説明。	
	第8課の復習。 第9日の予習。	40分

第4回	第9課の復習と、練習問題。 自己紹介のしかた、及び序数。	
	自己紹介の仕方、及び序数の予習 第9課の復習。	40分
第5回	46ページの読み物を読む。	
	46ページ、読み物の予習。	30分
第6回	47ページの読み物を読む。 第10課 分離動詞の説明。	
	47ページ及び、第10課 分離動詞の予習。	30分。
第7回	第10課 分離動詞の練習問題。 第11課 形容詞の説明。	
	第10課の復習。 第11課の予習。	30分。
第8回	第11課 形容詞の説明の続き。 練習問題。	
	第11課の復習と、形容詞の比較の予習。	30分
第9回	第12課 再帰動詞・esの用法の説明。	
	第11課の復習。 第12課の予習。	30分

第10回	第12課の練習問題。 第13課 関係代名詞の説明。	
	第12課の復習。 第13課の予習。	30分
第11回	第13課の練習問題。 第16課 分詞・zu不定詞の説明。	
	第13課の復習。 第16課の予習。	30分
第12回	第16課の練習問題。 第14課 受動の説明。	
	第16課の復習。 第14課の予習。	40分
第13回	第14課の練習問題。 第15課 接続法の説明。	
	第14課の復習。 第15課の予習。	40分
第14回	第15課の練習問題。 テキスト第7課～15課までのまとめと質問。	
	第8～16課までの質問事項をまとめてくること。	40分
第15回	到達度確認テスト ドイツ語全般についての質疑応答	
	ほぼ1年にわたって学んできたドイツ語の実力を、試すことで中級のドイツ語の展望をしてほしい。	60分

授業の方法

テキストに添って授業を進める。積極的に発声、発言し、練習問題を解いていくことで、基礎的なドイツ語力が、養われると信じてほしい。必ず、辞書を持参して、授業に参加すること。予習、講義で抱いた疑問点は、授業のなかで、すみやかに、質問して、解決をはかること。

成績評価の方法

平常点（授業の参力度、レポート提出、文法テスト） 50%、到達度確認テスト 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

三基本形を用いての、過去形、完了形、受動態の文章が読み書きできる。

関係代名詞、zu不定詞、再帰動詞などを用いた、複雑な文章が、読み書きできる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

基礎ドイツ語A1で学習する、平易なドイツ語が、辞書を用いてよめること。

テキスト

本郷、佐藤、河田、渡辺・著 『CD付き 気分はドイツ』（三修社）

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

疑問点は、なるべく、授業内に解決すること。

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <112>		
教員名	渡辺 広佐		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
基礎ドイツ語文法を学ぶ（その後半）			
到達目標			
ドイツ語の基礎的な文章構造を理解する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス／授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方等を説明する。 2018年度後期のおおまかな復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義 内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準 等について確認する。		60分
第2回	Lektion 8 複合動詞、再帰、非人称の主語es		
	【復習】話法の助動詞、未来形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）		60分
第3回	Lektion8 複合動詞、再帰、非人称の主語es（つづき）		
	【復習】話法の助動詞、未来形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）		60分

第4回	Lektion 9 形容詞	
	【復習】複合動詞、再帰、非人称の主語es（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第5回	Lektion 9 形容詞（つづき）	
	【復習】形容詞（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第6回	Lektion 10 動詞の3基本形、過去人称変化	
	【復習】形容詞（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第7回	第7回 Lektion 10 動詞の3基本形、過去人称変化（つづき）	
	【復習】動詞の3基本形、過去人称変化（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第8回	第8回 Lektion 11 完了形	
	【復習】動詞の3基本形、過去人称変化（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第9回	第9回 Lektion 11 完了形（つづき）	
	【復習】完了形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分

第10回	第10回 Lektion 12 受動態、zu不定 詞、分詞	
	【復習】完了形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第11回	第11回 Lektion 12 受動態、zu不定 詞、分詞(つづき)	
	【復習】 受動態、zu不定 詞、分詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第12回	Lektion 13 指示代名詞、関係代名詞	
	【復習】 受動態、zu不定 詞、分詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第13回	第13回 Lektion 13 指示代名詞、関係代名詞（つづき）	
	【復習】 指示代名詞、関係代名詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第14回	Lektion 14 接続法（概説） いままでの復習	
	【復習】 指示代名詞、関係代名詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	120分
第15回	到達度確認テスト	
	到達度確認テストに備え、万全の準備をすること！	180分

授業の方法

一方的に説明を聞くだけでは身につくものではない。重要な語形変化はいうにおよばず、基本的で身近な文を選んで、くりかえし（とくに口頭で）練習すると同時に、小テストも実施する。時間の許す限り、ドイツ語圏の文化、社会状況などにも触れ、ドイツ語への関心を高めたい。

成績評価の方法

試験を中心とする総合評価。ただし、4回以上欠席した者は、原則として評価の対象としない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

基礎ドイツ語文法を学ぶ（その前半）を受講しているか、それと同等の知識があること。

テキスト

森／渡辺『クヴェレ・ドイツ文法』（改訂版）同学社

参考書

特になし。必要とあれば、その都度紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <200>		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
理工学部の学生のみなさんを対象とした、昨年度後期の「ドイツ語基礎AⅠ」の継続の授業です。この「ドイツ語基礎AⅡ」では、初級ドイツ文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を目的とします。 またテキストの進度にあわせて文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、少しずつドイツ語に慣れていきます。 できるだけ楽しくドイツ語が学びたいと思います。 この授業と継続のドイツ語基礎AⅡを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・ドイツ語の発音のルールを理解し、簡単な文章を読むことができる。 ・定冠詞、不定冠詞、形容詞の格変化、および動詞の人称変化を理解できる。 ・基本的なドイツ語の文法構造を理解している。 ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット		
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。		60分
第2回	Lektion 1 人称代名詞		
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。		60分
第3回	Lektion 2 買い物・値段・プレゼントの表現		
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。		60分

第4回	Lektion 3 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 4 接続詞・定動詞の位置	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 5 週末や休暇の予定・天候・一日の行動の表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	Lektion 6 動詞の3基本形・過去形・未来形	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 7 過去の出来事・時を表す表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 8 過去の出来事・位置を表す表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 9 完了時称	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 10 複合動詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 11 修理・家事・閉店時間	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの内容を再確認する。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

音読を行った後で、文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明しますが、期末試験は実施いたしません。成績評価は目安として、授業への参加・受講態度（60%）、小テスト・課題等実施状況（40%）によって総合的に評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して下さい。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありません。

テキスト

教室において、教材を配布します。

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <311>		
教員名	三浦 國泰		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

- 1) ドイツ語基礎AⅡを継続学習する。
- 2) ドイツ語という言葉の世界を直接体験し、ドイツ語圏の文化に関心をもつ。
- 3) 国際感覚を身につける。

到達目標

- 1) 基本的なドイツ語構文を身につける。
- 2) ドイツ語検定試験3級合格をめざす。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	イントロダクション ・学習上の注意事項。 ・ドイツ語基礎AⅡの復習。	
	【予習・復習】 シラバスをよく読んでおくこと。	30
第2回	Lektion 6 (1) ・冠詞類・人称代名詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第3回	Lektion 6 (2) ・同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第4回	Lektion 6 (3) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第5回	Lektion 7 (1) ・ 前置詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第6回	Lektion 7 (2) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第7回	Lektion 7 (3) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第8回	Lektion 8 (1) ・ 形容詞・命令	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第9回	Lektion 8 (2) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第10回	Lektion 8 (3) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第11回	Lektion 9 (1) ・ 分離動詞・不定詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第12回	Lektion 9 (2) ・ 同上	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第13回	Lektion 10 (1) ・ 話法の助動詞・未来	
	【予習・復習】 ここまでのテキストを再度大きな声で音読すること。基礎的な文法事項を確認すること。	120
第14回	Lektion 10 (2) ・ 同上	
	【予習・復習】 前回と同様のことを再度反復すること。	120
第15回	到達度確認テストと到達度の確認	
	【予習・復習】 確認テストの準備。	120

授業の方法

- ・積極的に授業に参加すること。
- ・視聴覚教材（ビデオ、CD）などを積極的に利用する。
- ・受講者の理解度にあわせてすすめる。

成績評価の方法

テスト（60%）、平常点（20%）、授業への積極的な参加（20%）、などを総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

（関連科目）

必要な予備知識は特にない。ドイツの歴史と文化A・B、ヨーロッパの文学A・B、ドイツ文化・文化史特講A・B、などが参考になる。

テキスト

CD付き

ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>

著者：三室次雄、ヴォルフガング・シュレヒト

出版社：三修社

参考書

授業中に紹介する

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎AII <312>		
教員名	工藤 真一		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
近年、異文化理解、異文化交流という言葉が耳にする機会が増えてきたように感じますが、その言葉の背景には、自国をも含む広範な文化現象全般に対する様々な視点が含まれていると思われます。その際、文化の異なる人々との交流や、世界情勢へのアクセスにおいて、最も重要な役割を果たすのは言語です。 その意味において、外国語学習は、多くの文化が行き来する交差点へと導いてくれるはずです。文法、会話、DVDなどによる現代ドイツ事情を無理なく楽しみながら学習できるような内容から成り立っている下記のテキストを使用しながら進めていきますが、テキストの他にも様々な教材（CD、DVD等）、資料等も折にふれ使用していく予定です。 それ以外にも、この時間では、特に、「日本におけるドイツ」、「ドイツにおける日本」という視点に立った内容にも力を入れていきたいと思ひます。また初級ドイツ語の授業を通して習得した知識の復習を交えながら、さらにブラッシュアップすることも目指します。			
到達目標			
ドイツ語基礎AIに引き続き、このクラスでは、まだ未習となっていた項目が授業の中心となります。 同時に、2年次に履修する中級ドイツ語への橋渡しをする期間でもあり、これまでに学び、習得した文法知識をさらに定着させ、再確認して、簡単な作文、やさしい会話練習、また、ドイツ語基礎AIと同様に、担当者作成の練習プリントなどにより、「生きたドイツ語」が身につくようにステップ・アップしていく内容を備えています。 安心して受講して下さい。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	話法の助動詞 (1)		
	使用テキストの、1課から5課までの復習をする。 この課の単語を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60	
第2回	話法の助動詞 (2)		
	この課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60	
第3回	分離動詞		
	この課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60	

第4回	形容詞の語尾	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第5回	zu 不定詞（句）	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第6回	動詞の3基本形	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。 付属CDを聞く。 動詞の3基本形の小テストに備える。	60
第7回	現在完了形	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第8回	過去人称変化	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第9回	再帰表現	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60

第10回	形容詞・副詞の比較	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第11回	数詞（2）	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第12回	曜日・四季・月	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第13回	関係代名詞	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第14回	文法補足	
	の課の単語を辞書で調べる。 この課の練習問題を辞書で調べる。付属CDを聞く。	60
第15回	まとめ	
	到達度確認テスト	60

授業の方法

- 1) 成績評価とも関連しますが、授業中の無自覚な私語や、遅刻などはその対策を明確に示すつもりです。提出物についても、その内容をよく吟味するとともに、提出期限の厳守を求めます。
- 2) 辞書について一言。毎時間ごとの携帯を、授業出席の最低条件とします。毎時間、辞書は使用し、記述内容についても確認します。辞書チェックすることもあるかも知れません。
- 3) 授業中の、携帯電話、スマートフォンなどの使用については、その使用を禁止します。授業中は、マナーモード設定にしてください。
- 4) シラバスに従って、毎回ごとの授業計画に沿ったテキストの総合的な復習と予習。特に課ごとの単語。

成績評価の方法

先ず何よりも、評価の第一は、本人、各自のやる気のある、無し。

具体的には、授業時における各個人の発表を50%、定期試験を40%、レポート提出、小テスト等を10%の割合で評価し、これらの総合評価を最終評価とします。

原則として、全授業回数、15回中、13回以上の出席を定期試験の受験資格とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

テキスト

テキスト名 : クロイツング・ネオ
著者 : 小野寿美子、中川明博、他著
出版社 : 朝日出版社
ISBN : 978-4-255-25345-9

参考書

適宜、必要に応じて、教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後、教室であらゆる質問にお答え致します。遠慮なく、いつでもどうぞ！

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <411>		
教員名	渡辺 広佐		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
基礎ドイツ語文法を学ぶ（その後半）			
到達目標			
ドイツ語の基礎的な文章構造を理解する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス／授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方等を説明する。 2018年度後期のおおまかな復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義 内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準 等について確認する。		60分
第2回	Lektion 8 複合動詞、再帰、非人称の主語es		
	【復習】話法の助動詞、未来形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）		60分
第3回	Lektion8 複合動詞、再帰、非人称の主語es（つづき）		
	【復習】話法の助動詞、未来形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）		60分

第4回	Lektion 9 形容詞	
	【復習】複合動詞、再帰、非人称の主語es（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第5回	Lektion 9 形容詞（つづき）	
	【復習】形容詞（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第6回	Lektion 10 動詞の3基本形、過去人称変化	
	【復習】形容詞（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第7回	Lektion 10 動詞の3基本形、過去人称変化（つづき）	
	【復習】動詞の3基本形、過去人称変化（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第8回	Lektion 11 完了形	
	【復習】動詞の3基本形、過去人称変化（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第9回	Lektion 11 完了形（つづき）	
	【復習】完了形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分

第10回	Lektion 12 受動態、zu不定 詞、分詞	
	【復習】完了形（発音練習も） 【予習】練習問題をやる（発音練習も）	60分
第11回	Lektion 12 受動態、zu不定 詞、分詞(つづき)	
	【復習】 受動態、zu不定 詞、分詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第12回	Lektion 13 指示代名詞、関係代名詞	
	【復習】 受動態、zu不定 詞、分詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第13回	Lektion 13 指示代名詞、関係代名詞（つづき）	
	【復習】 指示代名詞、関係代名詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	60分
第14回	Lektion 14 接続法（概説） いままでの復習	
	【復習】 指示代名詞、関係代名詞（発音練習も） 【予習】 練習問題をやる（発音練習も）	120分
第15回	到達度確認テスト	
	到達度確認テストに備え、万全の準備をすること！	180分

授業の方法

一方的に説明を聞くだけでは身につくものではない。重要な語形変化はいうにおよばず、基本的で身近な文を選んで、くりかえし（とくに口頭で）練習すると同時に、小テストも実施する。時間の許す限り、ドイツ語圏の文化、社会状況などにも触れ、ドイツ語への関心を高めたい。

成績評価の方法

試験を中心とする総合評価。ただし、4回以上欠席した者は、原則として評価の対象としない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

基礎ドイツ語文法を学ぶ（その前半）を受講しているか、それと同等の知識があること。

テキスト

森／渡辺『クヴェレ・ドイツ文法』（改訂版）同学社

参考書

特になし。必要とあれば、その都度紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎AII <412>		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

ドイツ語基礎AI に引き続き、このドイツ語基礎AIIでは初級ドイツ語文法の基礎知識（話す・聞く・読む・書く）の習得および基本的な運用能力の養成を行います。

この授業では、主に文法の基礎的な内容（動詞の3基本形、受動態、関係代名詞など）に関する知識を修得します。またテキストの進度にあわせて、文法事項の確認問題や単語・例文の復習を行いながら基礎力の定着を図り、少しずつドイツ語に慣れていきます。

この授業と継続のドイツ語基礎AIIIを履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になります。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。
- ・動詞の人称変化、助動詞、受動態、完了形、形容詞の格変化など文法を体系的に理解できている。
- ・基本的なドイツ語の文法構造を理解できる。
- ・ドイツ語の簡単な文章の意味を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Lektion 7 人称代名詞	
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第2回	Lektion 8 前置詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第3回	Lektion 9 接続詞・定動詞の位置	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第4回	Lektion 10 動詞の3基本形・過去と未来の人称変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 11 完了時称	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 12 複合動詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	Lektion 13 話法の助動詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	中間試験・まとめ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 14 形容詞の格変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 15 形容詞・副詞の変化	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 16 受動態	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 17 疑問代名詞・指示代名詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 18 関係代名詞・関係副詞	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	期末試験	
	期末テストの内容を再確認する。	60分
第15回	試験の講評	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

文章の理解、会話演習、文法説明、異文化世界の理解など総合的な能力の育成に努めます。さらに問題演習によってトレーニングを行い、形態や構造上の文法事項の定着化を図ります。より詳細な授業計画や方法については、授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学学習において必要不可欠な要素です。別途eラーニング学習や反転授業（自宅等でネットで事前に授業の動画を閲覧すること）も課題としますので、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

成績評価は、中間テスト・学期末試験の成績（40％）、受講態度・授業での積極的取り組み（40％）、予習・復習への取り組み（20％）によって評価します。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となります。授業に出席して積極的に参加することが求められます。

授業内試験の内容については、授業において指示します。授業に関する質問・相談がある場合には、授業後教室等で随時受け付けます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

可能であれば、ドイツ語基礎AIIIも履修してください。また基礎BII・BIIIも履修することが望ましいです。ドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

『ドイツ語文法へのアプローチ』、馬上徳著、郁文堂 ISBN:9784261011982

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語基礎AⅡ <413>		
教員名	清水 威能子		
科目ナンバー	1C01481020	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

外国語でのコミュニケーション能力や情報活用能力を養うことにより、将来の選択肢が広がります。この授業は、そのための実用的なドイツ語の基礎力を養成します。具体的には、ドイツ語基礎Ⅰの内容を復習しながら、引き続き基礎的な文法や表現を学び、できるだけ多くの問題練習やパートナー練習を行い、ドイツ語を実践的に学びます。

また言語だけではなく、映画などの映像資料や音楽を通して、ドイツ語圏の国（ドイツ、オーストリア、スイス）の都市、文化、歴史、社会についても学び、ヨーロッパや世界情勢について理解を深めます。

到達目標

- ① ドイツ語の基礎的な文法を理解し、対話練習を通して学習成果を共有する。
- ② ドイツ語技能検定試験４級程度の語学力を修得する。
- ③ ドイツ語圏の都市、文化、社会について説明できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音と文法の復習 ・ドイツ語の歌で、発音を復習する。 ・2～4課の内容をプリントで復習する。	
	テキストの1～4課を復習・確認する。	60分
第2回	文法の復習と8課 前置詞 ・5～7課の内容をプリントで復習する。 ・0から100まで覚え、聴き取る練習を行う。 ・前置詞の用法を学ぶ。	
	テキストの5～7課を復習・確認する。	60分
第3回	8課 前置詞の応用 ・テキストの練習問題で、前置詞を復習する。 ・パートナーを組んで前置詞の応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、36頁の練習問題を解く。	60分

第4回	9課 接続詞・定動詞の位置 ・動詞と結びつく前置詞を、プリントで復習する。 ・様々な接続詞を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、プリントの問題を解く。	60分
第5回	10課 動詞の3基本形・過去と未来の人称変化 ・テキストの練習問題で、接続詞を復習する。 ・過去形と未来形を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、40頁の練習問題を解く。	60分
第6回	11課 完了時称（現在完了・過去完了・未来完了） ・テキストの練習問題で、過去形と未来形を復習する。 ・完了時称を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、45～46頁の練習問題を解く。	60分
第7回	12課 複合動詞 ・テキストの練習問題で、完了時称を復習する。 ・複合動詞を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、50頁の練習問題を解く。	60分
第8回	8～11課の理解度確認の小テスト、ドイツ語圏の都市と文化を学ぶ ・8～11課について筆記試験を行う。 ・映像を用いて、ドイツ語圏の都市と文化を紹介する。	
	テスト範囲を復習する。	120分
第9回	13課 話法の助動詞 ・テキストの練習問題で、複合動詞を復習する。 ・話法の助動詞を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	第7回の授業の要点をノートで確認し、53～54頁の練習問題を解く。	60分

第10回	14課 形容詞の格変化 ・テキストの練習問題で、助動詞を復習する。 ・形容詞の格変化を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、58～59頁の練習問題を解く。	60分
第11回	15課 形容詞・副詞の比較 ・テキストの練習問題で、形容詞の格変化を復習する。 ・形容詞・副詞の比較を学び、パートナーを組んで応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、63頁の練習問題を解く。	60分
第12回	16課 受動態、19課 再帰動詞 ・テキストの練習問題で、形容詞・副詞の比較を復習する。 ・受動態と再帰動詞を学び、応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、66～67頁の練習問題を解く。	60分
第13回	20課 非人称動詞、21課 不定詞 ・テキストの練習で、受動態と再帰動詞を復習する。 ・非人称動詞と不定詞を学び、応用練習を行う。	
	前回の授業の要点をノートで確認し、70頁と81～82頁の練習を解く。	60分
第14回	到達度確認の期末試験、ドイツ語圏の歴史を学ぶ ・主に12～15課について筆記試験を行う。 ・映像を用いて、ドイツ語圏の歴史を紹介する。	
	試験範囲を復習する。	120分
第15回	期末試験の解説、ドイツ語圏の社会を学ぶ ・試験結果により、理解が定着していない箇所を解説する。 ・映像を用いて、ドイツ語圏の社会を紹介する。	
	試験で正答できなかった箇所を確認する。	60分

授業の方法

講義形式で発音や文法事項などを説明した後、問題練習やパートナー練習を行います。

成績評価の方法

授業時の発表や課題達成度などの積極的な姿勢（30%）、小テスト（30%）、期末試験（40%）により総合的に判断します。出席は単位取得の前提条件（全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また上記の到達目標に従い、その達成度により評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

並行して、ドイツ語基礎BⅡを履修して下さい。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に効果的です。

テキスト

『ドイツ文法へのアプローチ』、馬上徳 里村和秋、郁文堂
（昨年度のドイツ語基礎AⅠで使用したテキスト）

参考書

文法書・参考書については、授業時に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後の教室で、あるいは随時、電子メールで受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎BII <111>		
教員名	泉 ポグミワ		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
ドイツ語圏の日常生活で良く使われる表現を少しずつ段階的に学んでいく。教科書に沿って学習を進めるとともに、ペアを組んで実際に声に出して会話の練習をする。基礎的な文法も一通り学ぶ。さらにドイツ語圏諸国の事情、風俗習慣、文化などについての知識も得られるようにする。			
到達目標			
日常生活を中心にした、生きた現代ドイツ語の会話を習得する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	オリエンテーション 教科書、授業の進め方などを紹介する。		
	第1回授業の後、教科書全体に目を通す。	30分	
第2回	第7課 持ち物 所持品、品物の感想、買い物をする 指示代名詞、人称代名詞(3人称) 冠詞類I 1格と4格		
	学習した内容を復習する。	60分	
第3回	第7課 持ち物 不定冠詞と定冠詞、否定文の作り方(2) 不定代名詞、否定代名詞の4格		
	学習した内容を復習する。	60分	

第4回	第8課 住居 住宅、部屋、家具の位置、家具と広さ 前置詞(1) an, auf, inなど 定冠詞などの3画	
	学習した内容を復習する。	60分
第5回	第8課 住居 前置詞(1)の続き 疑問詞wie teer, wie gro?	
	学習した内容を復習する。	60分
第6回	第9課 時刻と日付 時刻、時間、一日の生活、日付、誕生日、予定 非人称動詞の主語es, 前置詞von, nach, umなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第7回	第9課 時刻と日付 分離動詞、序数	
	学習した内容を復習する。	60分
第8回	第10課 週末の後 過去の出来事、経験を話す、メールを書く 現在完了形	
	学習した内容を復習する。	60分
第9回	第10課 週末の後 現在完了、sein, habenの過去人称変化	
	学習した内容を復習する。	60分

第10回	第11課 街と大学 街と大学の建物、道案内、交通手段、大学生生活 Sieに対する命令形	
	学習した内容を復習する。	60分
第11回	第11課 街と大学 疑問詞womit, 副詞 hier, da, dorなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第12回	第12課 休暇の前 休暇の計画（活動、場所、期間、同伴者）、手紙の書き方 話法の助動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第13回	第12課 休暇の前 疑問詞wohin, mit wemなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第14回	復習	
	今までに学んだ事柄を総復習する。	120分
第15回	学期テスト	
	特になし。	20分

授業の方法

教科書を使用し、初めから順を追って学習する。ビデオ教材も使用する。折に触れて、プリントなども配布する。

成績評価の方法

出席率、平常点および試験で評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

CD付き スツェーネン1 場面で学ぶドイツ語 佐藤修子他 三修社

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語基礎B II <112>		
教員名	泉 ポグミワ		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
現代ドイツ語の生きた話し言葉による会話の練習を行なう。教科書に沿って学習を進める。特に日常会話でよく使われる基本的な表現に重点をおく。文例の音読、会話の練習と並行して、基礎的な文法を一通り学べるようにする。ドイツ語圏諸国の事情、風俗習慣、文化などについての知識も得られるようにする			
到達目標			
ドイツ語の基礎を習得し、簡単な日常会話ができるようになる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	オリエンテーション 前期と同じく、教材を用いて、会話、音読の練習をし、それと並行して文法事項も学ぶ。授業中、できるだけ学生同士での会話の練習もする。		
	教科書全体に目を通す。	30分	
第2回	第10課 週末の予定 前置詞の格支配、前置詞と冠詞の融合、um... zu不定詞		
	学習した内容を復習する。	60分	
第3回	読み物1 プレーメン 所有格2格、形容詞1		
	学習した内容を復習する。	60分	

第4回	第11課 電話で約束する 分離動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第5回	第12課 インフォメーションで 話法の助動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第6回	第13課 一日の過ごし方 再帰動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第7回	第14課 週末のできごと 現在完了・過去分詞の作り方	
	学習した内容を復習する。	60分
第8回	第15課 メールと履歴書 現在完了2・過去	
	学習した内容を復習する。	60分
第9回	読み物2 ブレーメンの音楽隊 過去人称変化	
	学習した内容を復習する。	60分

第10回	第16課 サイクリングに行こう 副文・比較表現	
	学習した内容を復習する。	60分
第11回	第17課 パーティーで 関係代名詞、形容詞2	
	学習した内容を復習する。	60分
第12回	第18課 ハンブルクへ行く 接続法	
	学習した内容を復習する。	60分
第13回	読み物3 メルヘン街道 受動態	
	学習した内容を復習する。	60分
第14回	後期の総復習	
	後期に学んだ事柄、特に文法事項を総復習する。	120分
第15回	学期テスト	
	特になし。	なし

授業の方法

教科書を使用し、初めから順を追って学習する。ビデオ教材も使用する。折に触れて、プリントなども配布する。

成績評価の方法

出席率、平常点および試験で評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Dialog --- ドイツ語へのキックオフ Vers.5 近藤 弘他 郁文堂

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語基礎BII <311>		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業ではドイツ語の総合的学習の入門です。様々な日常生活のテーマを中心に、平易なドイツ語を聞く、読む、書く、話す練習を行います。語彙や文の構造、基本的な文法事項などを学習します。又、ドイツ語圏の人々の生活や習慣にも触れていきます。ドイツ語の習得の際、それに平行して一つのヨーロッパの異文化を知り、新しい世界や考え方に会い、その面白さ楽しさを味わいながら自分を広げることができます。これからの国際交流において外国能力はより重要です。

到達目標

教科書に沿ってドイツ語の基礎的な文法事項や語彙などを学習し、パートナーやグループワークでそれをじっくりと練習します。ゲームなども取り入れながら楽しく学びます。又、発音練習にも重きを置きます。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション： 授業のやり方と進め方、成績評価の説明、教科書の使い方など、 ドイツ語について	
	復習	15分
第2回	(第4課) Meine Wohnung ストーリーの聞き取り練習 住まいについて	
	復習	15分
第3回	Die Wohnung gefaellt mir sehr gut. 形容詞 対話練習、 単語練習	
	復習	15分

第4回	Du hast aber schoene Moebel ! 家具について 対話練習、 単語練習	
	復習	15分
第5回	Wohnungsanzeigen lesen ドイツのライフスタイルについて	
	復習	15分
第6回	(第5課) Mein Tag ストーリーの聞き取る練習	
	復習	15分
第7回	Wie spaet ist es? 時刻の言い方 対話練習	
	復習	15分
第8回	Ich raeume die Wohnung auf. 1日の過ごし方 分離動詞	
	復習	15分
第9回	一週間のスケジュールを読む、書く、語る 対話練習、 単語練習	
	復習	15分

第10回	Ein Tag in Berlin 首都ベルリンについて	
	復習	15分
第11回	(第6課) Freizeit ストーリーの聞き取る練習	
	復習	15分
第12回	Das Wetter ist schoen. 天気と気候について 対話練習	
	復習	15分
第13回	Freizeit und Hobbys 趣味と自由時間の過ごし方 メールを読む、書く	
	復習	15分
第14回	一学期のまとめ 期末テストの説明 授業のアンケート	
	復習	15分
第15回	期末テスト	
	復習	15分

授業の方法

授業はパートナーやグループワークを中心に行いますので積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

期末テスト50%、平常点50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

テキスト

Schritte international 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch) Hueber ISBN: 978-3-19-001851-2

参考書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語基礎BII <312>		
教員名	三浦 國泰		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

- 1) ドイツ語基礎B Iを継続学習する。
- 2) 日常生活に使える生きたドイツ語を身につけ、実践的に活用する。
- 3) ドイツ語という言葉の世界を直接体験し、ドイツ語圏の文化に関心をもつ。
- 4) 多様な異文化に接することによって、国際感覚を身につける。

到達目標

- 1) 日常生活に必要な基礎的な会話能力を身につける。
- 2) ドイツ語検定試験3級合格をめざす。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション	
	【予習・復習】 シラバスをよく読んでおくこと。	30
第2回	Lektion 5 Eine Reise nach Spanien (1)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第3回	Lektion 5 Eine Reise nach Spanien (2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第4回	Lektion 5 Eine Reise nach Spanien (3) ・複数・不規則動詞・文の形 (2) ・四季・曜日名	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第5回	Lektion 6 Motorrad oder Wagen (1)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第6回	Lektion 6 Motorrad oder Wagen (2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第7回	Lektion 6 Motorrad oder Wagen (3) ・冠詞類・人称代名詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第8回	Lektion 7 Freizeit und Wochenende (1)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第9回	Lektion 7 Freizeit und Wochenende (2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60

第10回	Lektion 7 Freizeit und Wochenende (3) ・前置詞	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第11回	Lektion 8 Zimmersuche (1)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第12回	Lektion 8 Zimmersuche (2)	
	【予習・復習】 テキストをよく読むこと。	60
第13回	Lektion 8 Zimmersuche (3) ・形容詞・命令	
	【予習・復習】 ここまでのテキストを再度大きな声で音読すること。基礎的な文法事項を確認すること。	120
第14回	文法の総復習	
	【予習・復習】 前回と同様のことを再度反復すること。	120
第15回	到達度確認テストと講評	
	【予習・復習】 確認テストの準備。	120

授業の方法

- ・積極的に会話に参加すること。
- ・視聴覚教材（ビデオ、CD）などを積極的に利用する。
- ・受講生の理解度にあわせて授業をすすめる。

成績評価の方法

テスト（60％）、平常点（20％）、授業への積極的な参加（20％）、などを総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

（関連科目）

必要な予備知識は特にない。ドイツの歴史と文化A・B、ヨーロッパの文学A・B、ドイツ文化・文化史特講A・B、などが参考になる。

テキスト

CD付き
ドイチュ・プラクティッシュ<ロート>
著者：シュレヒト／三室
出版社：三修社

参考書

授業中に紹介する

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎BII <411>		
教員名	泉 ポグミワ		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
現代ドイツ語の生きた話し言葉による会話の練習を行なう。教科書に沿って学習を進める。特に日常会話でよく使われる基本的な表現に重点をおく。文例の音読、会話の練習と並行して、基礎的な文法を一通り学べるようにする。ドイツ語圏諸国の事情、風俗習慣、文化などについての知識も得られるようにする			
到達目標			
ドイツ語の基礎を習得し、簡単な日常会話ができるようになる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	オリエンテーション 前期と同じく、教材を用いて、会話、音読の練習をし、それと並行して文法事項も学ぶ。授業中、できるだけ学生同士での会話の練習もする。		
	教科書全体に目を通す。	30分	
第2回	第10課 週末の予定 前置詞の格支配、前置詞と冠詞の融合、um... zu不定詞		
	学習した内容を復習する。	60分	
第3回	読み物1 プレーメン 所有格2格、形容詞1		
	学習した内容を復習する。	60分	

第4回	第11課 電話で約束する 分離動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第5回	第12課 インフォメーションで 話法の助動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第6回	第13課 一日の過ごし方 再帰動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第7回	第14課 週末のできごと 現在完了・過去分詞の作り方	
	学習した内容を復習する。	60分
第8回	第15課 メールと履歴書 現在完了2・過去	
	学習した内容を復習する。	60分
第9回	読み物2 ブレーメンの音楽隊 過去人称変化	
	学習した内容を復習する。	60分

第10回	第16課 サイクリングに行こう 副文・比較表現	
	学習した内容を復習する。	60分
第11回	第17課 パーティーで 関係代名詞、形容詞2	
	学習した内容を復習する。	60分
第12回	第18課 ハンブルクへ行く 接続法	
	学習した内容を復習する。	60分
第13回	読み物3 メルヘン街道 受動態	
	学習した内容を復習する。	60分
第14回	後期の総復習	
	後期に学んだ事柄、特に文法事項を総復習する。	120分
第15回	学期テスト	
	特になし。	なし

授業の方法

教科書を使用し、初めから順を追って学習する。ビデオ教材も使用する。折に触れて、プリントなども配布する。

成績評価の方法

出席率、平常点および試験で評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Dialog --- ドイツ語へのキックオフ Vers. 5 近藤 弘他 郁文堂

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語基礎B II <412>		
教員名	泉 ポグミワ		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
ドイツ語圏の日常生活で良く使われる表現を少しずつ段階的に学んでいく。教科書に沿って学習を進めるとともに、ペアを組んで実際に声に出して会話の練習をする。基礎的な文法も一通り学ぶ。さらにドイツ語圏諸国の事情、風俗習慣、文化などについての知識も得られるようにする。			
到達目標			
日常生活を中心にした、生きた現代ドイツ語の会話を習得する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	オリエンテーション 教科書、授業の進め方などを紹介する。		
	第1回授業の後、教科書全体に目を通す。	30分	
第2回	第7課 持ち物 所持品、品物の感想、買い物をする 指示代名詞、人称代名詞(3人称) 冠詞類Ⅰ 1格と4格		
	学習した内容を復習する。	60分	
第3回	第7課 持ち物 不定冠詞と定冠詞、否定文の作り方(2) 不定代名詞、否定代名詞の4格		
	学習した内容を復習する。	60分	

第4回	第8課 住居 住宅、部屋、家具の位置、家具と広さ 前置詞(1) an, auf, inなど 定冠詞などの3画	
	学習した内容を復習する。	60分
第5回	第8課 住居 前置詞(1)の続き 疑問詞wie teer, wie gro?	
	学習した内容を復習する。	60分
第6回	第9課 時刻と日付 時刻、時間、一日の生活、日付、誕生日、予定 非人称動詞の主語es, 前置詞von, nach, umなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第7回	第9課 時刻と日付 分離動詞、序数	
	学習した内容を復習する。	60分
第8回	第10課 週末の後 過去の出来事、経験を話す、メールを書く 現在完了形	
	学習した内容を復習する。	60分
第9回	第10課 週末の後 現在完了、sein, habenの過去人称変化	
	学習した内容を復習する。	60分

第10回	第11課 街と大学 街と大学の建物、道案内、交通手段、大学生生活 Sieに対する命令形	
	学習した内容を復習する。	60分
第11回	第11課 街と大学 疑問詞womit, 副詞 hier, da, dorなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第12回	第12課 休暇の前 休暇の計画（活動、場所、期間、同伴者）、手紙の書き方 話法の助動詞	
	学習した内容を復習する。	60分
第13回	第12課 休暇の前 疑問詞wohin, mit wemなど	
	学習した内容を復習する。	60分
第14回	復習	
	今までに学んだ事柄を総復習する。	120分
第15回	学期テスト	
	特になし。	20分

授業の方法

教科書を使用し、初めから順を追って学習する。ビデオ教材も使用する。折に触れて、プリントなども配布する。

成績評価の方法

出席率、平常点および試験で評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

CD付き スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語 佐藤修子他 三修社

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語基礎BII <413>		
教員名	中島 万紀子		
科目ナンバー	1701481050	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
前年度に用いたものと同じ教科書を使用して、ドイツ語の、総合的な力を、さらにつけていく。日本からミュンヘンに留学した女子大学生を、主人公にして、友人との待ち合わせ、自転車の修理、買い物や料理、病気になったときの対応など、実際の生活の場面で必要な、言い回しを学んでいく。			
到達目標			
文法的には、前年度の動詞の現在人称変化、名詞の性・格、および、定冠詞・不定冠詞の学習を踏まえて、さらに高度な表現をまんでいく。前置詞の復習から始まって、分離動詞、動詞の三基本形、それに基づいた過去形、完了形、そして、再帰動詞や、zu不定詞などを用いた表現も、まなぶ。過去形と、完了形を学習することで、会話の幅は、いちだんと、広がるものと思われる。読む、書く、話す、聴くを、出来る限り、バランス良く学ぶことで、外国語習得の相乗効果が期待できると考えられる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	動詞の現在人称変化、名詞の性・格、冠詞などの復習。また、それらを利用した文章、会話の反復学習。		
	教科書1課から4課までを読んで、CD音源を聞いて、内容の確認をすること。	60分	
第2回	前置詞の復習。分離動詞の説明。第5課のスケッチ1を読む。その練習問題。		
	第4課の前置詞の復習。第5課のスケッチ1を読んで、内容を把握すること。	40分	
第3回	話法の助動詞の説明。第5課のスケッチ2を読む。また、その練習問題を解く。		
	第5課スケッチ1の復習。スケッチ2の予習。	40分	

第4回	第5課の復習を音源を聞き、文法を確認しながらする。	
	第5課全体の復習。とくに、分離動詞と、話法の助動詞を用いた表現に慣れる。	30分
第5回	三基本形と完了形の説明。および、第6課のスケッチ1を読む。	
	第6課のスケッチ1の予習。	40分
第6回	分離動詞、非分離動詞の完了形の説明。および、第6課のスケッチ2を読む。	
	第6課のスケッチ1の復習。 スケッチ2の予習。	30分
第7回	第6課の復習を、音源を聞き、文法を確認しながらする。練習問題を解きながら、完了表現を再確認する。	
	第6課全体の復習。	30分
第8回	前置詞の高度な表現を説明。第7課のスケッチ1を読み、練習問題を解く。	
	第7課のスケッチ1の予習。	30分。
第9回	第7課のスケッチ1の復習。過去時制の説明。スケッチ2を読む。	
	第7課スケッチ2の予習。	30分

第10回	第7課全体の復習。練習問題を解きながら、前置詞と、過去形の確認。	
	第7課の復習。	30分
第11回	再帰動詞の説明。第8課スケッチ1を読む。	
	第8課スケッチ1の予習。	30分
第12回	従属接続詞の説明。第8課スケッチ2を読む。	
	第8課スケッチ2の予習。	30分
第13回	第8課全体の復習。練習問題を解きながら、再帰動詞と副文の確認。	
	第8課の復習。	30分
第14回	第5課～第8課までの復習。とりわけ、日常会話でよく使用する、完了形を中心に復習する。 質疑応答。	
	第5課から、第8課までの復習をしてりかいてできないところを質問できるようにしておくこと。	40分
第15回	到達度確認テスト。 授業のまとめ。	
	完了形を中心に、学習内容を確認すること。	120分

授業の方法

授業は、読む、聴く、話す、などの多角的な方向から実践するので、集中して参加すること。スキットを読んだり、練習問題を解いたりすることも毎回、行うので、必ず、辞書を持参して参加し、わからないことは、その場で、解決するように努力すること。

成績評価の方法

授業の参力度（出席回数3分の2以上、講義中の発言、質問、発表の積極度） 50%、および、到達度確認テストでの成績 50%で、総合評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

前年度に、「ドイツ語基礎BⅠ」を、受講していること。授業の性格上、ドイツ語文法の授業を受講し、その教科書を常に携帯、参考にすることが、望ましい。

テキスト

飯田道子・江口直光 著 『アプファールト 〈ノイ〉』 三修社、2015年。

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎A II <121>		
教員名	中野 明		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
18年度後期の続きになります。フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっています。後期に開始するこの授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習します。文法内容としては、動詞の現在時制と冠詞類を中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指します。			
到達目標			
基本的なフランス語の文法構造を理解し、簡単なフランス語で発話できるようになる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	Leçon 7補充プリント。 Leçon 9 否定文における冠詞の変形。 女性形容詞の特殊な形。		
	復習 7課補充プリントを練習する。 教科書9課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。		60分
	予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		
第2回	Leçon 7補充プリント。 Leçon 9 否定文における冠詞の変形。 女性形容詞の特殊な形。		
	復習 7課補充プリントを復習する。 教科書9課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。		60分
	予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		
第3回	Leçon 8補充プリント。 Leçon 10 数字(1~30)。 疑問副詞。 Leçon 7の小テスト+動詞小テスト(6)。		
	復習 8課補充プリントを練習する。 教科書10課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。		60分
	予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		
第4回	Leçon 8補充プリント。 Leçon 10 数字(1~30)。 疑問副詞。		
	復習 8課補充プリントを練習する。 教科書10課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。		60分
	予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		

第5回	Leçon 9補充プリント。 Leçon 11 時刻の言い方。 時の前置詞。 動詞finir, partirの活用。 Leçon 8の小テスト+動詞小テスト（7）。	
	復習 9課補充プリントを練習する。 教科書 1 1 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	Leçon 9補充プリント。 Leçon 11 時刻の言い方。 時の前置詞。 動詞finir, partirの活用。	
	復習 9課補充プリントを練習する。 教科書 1 1 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	Leçon 10補充プリント。 Exercices 3 (Leçon 9～Leçon 11) Leçon 9の小テスト+動詞小テスト（8）。	
	復習 1 0 課補充プリントを練習する。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	Leçon 10補充プリント。 Leçon 12 補語人称代名詞。 指示代名詞ça。 動詞attendreの活用。	
	復習 1 0 課補充プリントを練習する。 教科書 1 2 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	Leçon 11補充プリント。 Leçon 12 補語人称代名詞。 指示代名詞ça。 動詞attendreの活用。 Leçon 10の小テスト+動詞小テスト（9）。	
	復習 1 1 課補充プリントを練習する。 教科書 1 2 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	Leçon 11補充プリント。 Leçon 13 代名動詞。 近接未来と近接過去。 動詞aller, venirの活用	
	復習 1 1 課補充プリントを練習する。 教科書 1 3 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	Leçon 12補充プリント。 Leçon 13 代名動詞。 近接未来と近接過去。 動詞aller, venirの活用 Leçon 11の小テスト+動詞小テスト（10）。	
	復習 1 2 課補充プリントを練習する。 教科書 1 3 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	Leçon 12補充プリント。 Leçon 14 部分冠詞。 中性代名詞en。 動詞boireの活用。	
	復習 1 2 課補充プリントを練習する。 教科書 1 4 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	Leçon 14 部分冠詞。 中性代名詞en。 動詞boireの活用。 Leçon 15 命令形。中性代名詞y。天候の表現。 動詞voirの活用 Leçon 12の小テスト+動詞小テスト（11）。	
	復習 教科書 1 4 課、1 5 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	Leçon 16 比較の表現。 指示代名詞celui, celle。 Leçon 17 複合過去形。	
	復習 教科書 1 6 課、1 7 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。 予習 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第15回	Leçon 18 単純未来形。 学期末テスト	
	復習 期末テストの内容を再確認する。 教科書 1 8 課本文をCDで聴き、音読と暗誦をする。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 20% 2) 小テストの成績50% 3) 最終試験 30%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

「パスカル・オ・ジャポン」（白水社） 藤田裕二著 ISBN978-4-560-06083-4

フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は、授業中および授業前・授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎AⅡ <122>		
教員名	太西 雅一郎		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。この授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の過去時制と未来時制、条件法などを中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の4 級レベルに合格する。 D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	前半内容の復習		
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第2回	第13課 直接目的の人称代名詞		
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第3回	第14課 間接目的の人称代名詞		
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分

第4回	第15課 代名動詞の直接法現在	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	第16課 非人称動詞	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	第17課 直接法半過去	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	第18課 関係代名詞	
	中間テストの内容を再度復習する。 復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	第13～18課までの復習	
	中間テストの内容を再確認する。 復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第9回	第19課 直接法単純未来	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	第20課 特殊な代名詞	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	第21課 ジェロンディフ	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	第22課 条件法現在	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	第23課 接続法現在	
	復習として本文の音読、既習事項の確認。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	Appendice	
	補足と最終テストの範囲を再度復習する。	60分
第15回	第19～23課までの復習	
	最終テストの内容を再確認する。	90分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加、毎回の授業開始時と終了時におこなう小テスト 60%
- 2) Exercices3を用いて行う中間試験の成績20%
- 3) Exercices4と5を用いて行う最終試験 20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』、白水社、2300円＋税

参考書

仏和辞典

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎AII <321>		
教員名	林 ゆき		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

2018年度後期の基礎AIの続きです。フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっています。このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読み書く能力の基礎を養成します。文法内容としては、目的語となるさまざまな代名詞と様々な動詞の現在・過去、未来に関わる形を学んでいきます。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。
DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。
DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction AIの復習	
	前学期の復習をする。授業後は次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	Leçon 6 : 動詞aller, venirの直説法現在、近接未来と近接過去	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	Leçon 7 : 動詞prendre, faireの直説法現在、非人称構文	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	Leçon 7 (2) : 疑問形容詞、週・曜日・月の表現	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	Leçon 8 : 疑問代名詞、疑問副詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	Leçon 8 (2) : 様々な否定表現、100までの数	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	Leçon 9 : 不定詞を伴って用いられる動詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	Leçon 9 (2) : 補語人称代名詞	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	中間テスト Leçon 10 : 比較級・最上級	
	中間テストの範囲を復習。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	Leçon 10 (2) : 現在分詞とジェロンディフ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	Leçon 11 : 中性代名詞、動詞savoirとconnaître	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	Leçon 12 : 直説法複合過去 (1) 過去分詞、助動詞の使い分け	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	Leçon 12 (2) : 直説法複合過去 (2) 否定形、疑問形	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	今学期の学習内容のまとめ	
	期末テストの範囲を再度復習する。	60分
第15回	Examen final	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テストあるいは中間試験の成績30%
- 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

服部悦子ほか『《プティ》シェリーとフランス語―仏検5級・4級対応フランス語文法』 三修社
フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎AⅡ <322>		
教員名	江島 宏隆		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。この授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の過去時制と未来時制、条件法などを中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。
DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。
DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション。 フランス語基礎AⅠですでに学んだ内容を確認し、さらに文法知識を習得するための基礎固めをおこなう。	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第2回	部分冠詞。そしてフランス語の冠詞について概観する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第3回	「～できる」、「～したい」という表現。 中性代名詞en。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第4回	比較級と最上級。 30から100までの数字。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	目的語補語人称代名詞（「私を」、「私に」等々の表現）。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	複合過去（その1）。助動詞にavoirを用いる複合過去について学ぶ。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	複合過去（その2）。助動詞に?treを用いる複合過去について学ぶ。 天候に関する表現。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	代名動詞（主語と同じものをさす代名詞をともなう動詞）。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	代名詞動詞の複合過去。 命令法。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	ジェロンディフ。 さまざまな否定の表現。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	直説法半過去（「～していた」、「～したものだった」という表現）。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	関係代名詞。 単純未来（未来についての表現）。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	条件法現在。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	「接続法」について。 フランス語における法と時制について概観する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第15回	これまで学習した内容の総復習。	
	これまで学習した内容を総復習する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえでフランス語の発音に慣れるための時間を割きつつ、基本的な表現を覚えることが中心になります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 20% 2) 各課終了後に実施する試験の総合80%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、動詞のいろいろな時制や法についての理解）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語AⅠが既習であることが望ましい。

テキスト

江島泰子著『アレグレス』第三書房、2400円（前年度「フランス語AⅠ」で用いた教科書を継続使用）。フランス語の辞書は適宜指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問は授業後に受け付けます。毎回の授業でわからないところを残さないようにしてください。

科目名	フランス語基礎AⅡ <323>		
教員名	青木 真紀子		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、基礎的なフランス語の文法を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。 コミュニケーションも重視しますので、発音練習を多く行ないます。 仏検5級問題にも挑戦してみましょう。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	前期の復習 第7課 それは誰ですか？ 疑問代名詞qui, que il y a , 定冠詞の縮約		
	文法の確認 音読	60分	
第2回	前回の復習 第8課 冷たいものが欲しい vouloir, prendre 部分冠詞 女性形容詞の特殊な形		
	文法の確認 音読	60分	
第3回	第9課 手伝ってくれますか venirと近接過去 ir動詞 補語人称代名詞		
	文法の確認 音読	60分	

第4回	第10課 鴨肉のローストを作りました 複合過去	
	文法の確認 音読	60分
第5回	第10課の続き 複合過去 中性代名詞 en, y	
	文法の確認 音読	60分
第6回	第11課 とても面白かった 半過去	
	文法の確認 音読	60分
第7回	複合過去、半過去を使った文章の練習	
	単語と文法の確認 音読 練習問題の復習	2時間以上
第8回	第11課の続き savoir, connaitre	
	文法の確認 音読	60分
第9回	第12課 急がないといけない！ 非人称構文 代名動詞	
	文法の確認 音読	60分

第10回	第12課の続き 代名動詞復習 感嘆文quel, que	
	文法の確認 音読	60分
第11回	第13課 こちらのほうが小さい 比較級	
	文法の確認 音読	60分
第12回	第13課の続き 最上級 指示代名詞celui	
	文法の確認 音読	60分
第13回	第14課 シェフになる！ 単純未来	
	文法の確認 音読	60分
第14回	第14課の続き 命令法	
	文法の確認 音読	60分
第15回	期末テスト	
	単語と文法の確認 音読 練習問題の復習	2時間以上

授業の方法

文法事項の説明。
ディialogの発音と内容。
練習問題。

成績評価の方法

平常点とテストから総合的に判断する。毎回小テストを課す。
出席と授業への取り組みも重視する。ただ出席しているだけでは評価できない。
欠席の多い学生の単位は認められない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎A1

テキスト

タルト・タタン
藤田裕二、東海麻衣子著
駿河台出版社

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業後に教室で受け付ける。

科目名	フランス語基礎AⅡ <421>		
教員名	松下 彩子		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
2017年度後期の基礎AⅠの継続です。フランス語の文法構造の基礎を中心に学びます。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いです。文法においては英語と異なる特徴ももっています。このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読み書く能力の基礎を養成します。文法内容としては、目的語となるさまざまな代名詞と様々な動詞の現在・過去、未来に関わる形を学んでいきます。前の学期に修得すべきことが土台となって、今学期の学習が始まりますので、十分に復習して、今学期に臨んでください。			

到達目標			
次の3点を目標にします： DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	変則的な第1群規則動詞、数詞20-69 第10課のダイアログ音読		
	前学期の事項をよく復習しておくこと。該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		90分
第2回	時刻表現、時の前置詞 第10課のダイアログ音読		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		60分
第3回	補語(目的語)人称代名詞(1・2人称) 第11課のダイアログ音読		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		60分

第4回	補語（目的語）人称代名詞（3人称） 第12課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第5回	動詞FAIRE、代名動詞 第12課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第6回	第2群規則動詞、命令文・命令法 第13課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第7回	部分冠詞、数量表現 第13課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第8回	中性代名詞EN 第14課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第9回	動詞活用のおまとめ 第14課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分

第10回	複合過去 第15課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第11回	複合過去（続）、中性代名詞Y 第16課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第12回	動詞VENIR、近接過去 第17課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第13回	直説法単純未来、非人称構文 第17課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第14回	比較級、指示代名詞、第18課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント、単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第15回	期末テスト	
	再度文法事項を復習する。	60分

授業の方法

予習は必須です。授業では、それに基づいて口頭・筆記の練習を行います。また、教科書のダイアログの音読練習を行います。随時小テストを行います。

成績評価の方法

1) 中間テスト 50% 2) 期末テスト 50%を基本とし、授業への積極的な参加と、小テストを加味します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。フランス語の基礎的な文法の理解と語彙が修得できているかを中心に評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎AI（登録必須）

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社, 2006, ISBN 978-4-560-06083-4, ￥2 0 0 0（＋税）
2018年度後期のAIの授業で使った教科書と同じものです。

参考書

必要があれば授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は、授業前、授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎AⅡ <422>		
教員名	横山 裕人		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
2018年度後期の基礎AⅠの継続です。フランス語の文法構造の基礎を中心に学びます。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いです、文法においては英語と異なる特徴ももっています。このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読み書く能力の基礎を養成します。文法内容としては、目的語となるさまざまな代名詞と様々な動詞の現在・過去、未来に関わる形を学んでいきます。前の学期に修得すべきことが土台となって、今学期の学習が始まりますので、十分に復習して、今学期に臨んでください。			

到達目標			
次の3点を目標にします： DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	変則的な第1群規則動詞、数詞1-20 第10課のダイアログ音読		
	前学期の事項をよく復習しておくこと。該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		90分
第2回	時刻表現、時の前置詞 第10課のダイアログ音読		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		60分
第3回	第2群規則動詞、命令文・命令法 第11課のダイアログ音読		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。		60分

第4回	補語（目的語）人称代名詞（1・2人称） 第12課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第5回	補語（目的語）人称代名詞（3人称） 第12課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第6回	動詞FAIRE、代名動詞 第13課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第7回	部分冠詞、数量表現 第13課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第8回	中間テスト	
	中間テストの範囲を再度復習。	60分
第9回	中性代名詞EN、動詞活用のもとめ 第14課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分

第10回	複合過去 第15課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第11回	複合過去（続）、中性代名詞Y 第16課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第12回	動詞VENIR、近接過去 第17課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第13回	直説法単純未来、非人称構文 第18課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第14回	比較級、指示代名詞 第18課のダイアログ音読	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。教科書ダイアログの音読練習を行う。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を再度復習。	60分

授業の方法

2018年度後期の基礎AIと同様、学習に必要なプリント類は、事前に成蹊ポータル授業資料にアップされます。これらを随時ダウンロードして、指示された予習を行なってください。予習は必須です。授業では、それに基づいて口頭・筆記の練習を行います。また、教科書のダイアログの音読練習を行います。

成績評価の方法

1) 予習ドリル30%、2) 中間テスト30%、 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。フランス語の基礎的な文法の理解と語彙が修得できているかを中心に評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎AI（登録必須）

テキスト

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』白水社、2006、ISBN 978-4-560-06083-4、¥ 2 0 0 0（＋税）
2018年度後期のAIの授業で使った教科書と同じものです。

参考書

必要があれば授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

オフィスアワーはポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎AⅡ <423>		
教員名	筒井 由美子		
科目ナンバー	1701481120	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
フランス語の文法構造の基礎を中心に学ぶ授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっている。この授業では、このような文法構造の特徴を理解して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の過去時制と未来時制、条件法などを中心にフランス語文法の基礎となる輪郭をつかむことを目指す。			
到達目標			
DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化の習得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化について対応できる。フランス語検定の4級レベルに合格する。 DP3・様々な状況の中で多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	フランス語基礎AⅠで学んだことを動詞の現在形の活用を中心に復習する。 授業後半はleçon 11 命令法		
	テキストの1年次後期で学んだところを復習しておくこと。	60分	
第2回	leçon 10 形容詞、副詞の比較級・最上級		
	復習として練習問題に目をとおす。	60分	
第3回	leçon 12 目的語人称代名詞		
	復習として練習問題に目をとおす。	60分	

第4回	leçon 13 直説法複合過去形	
	復習として直説法複合過去形の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分
第5回	leçon 14 代名動詞	
	復習として代名動詞の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分
第6回	leçon 15 関係代名詞、指示代名詞	
	復習として練習問題に目をとおす。	60分
第7回	代名詞強勢形、中性代名詞 15課までの補足とまとめ（1）	
	復習として15課までで学んだことを確認。	60分
第8回	15課までの補足とまとめ（2）	
	復習として15課までで学んだことを確認。	60分
第9回	leçon 16 直説法半過去形、直説法大過去形	
	復習として直説法半過去形の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分

第10回	leçon 17 受動態、現在分詞とジェロンディフ	
	復習として練習問題に目をとおす。	60分
第11回	leçon 18 直説法単純未来、直説法前未来	
	復習として直説法単純未来の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分
第12回	leçon 19 条件法現在、条件法過去	
	復習として条件法現在の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分
第13回	leçon 20 接続法現在、接続法過去	
	復習として接続法現在の活用を覚える。練習問題に目をとおす。	60分
第14回	20課までの復習とまとめ	
	復習として20課までで学んだことを確認。	60分
第15回	到達度確認テスト	
	到達度確認テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿ってフランス語の文法構造をバランス良く学習します。授業は文法を理解したうえで、テキストの練習問題をやりながら、基本的な表現を覚えることと、フランス語の文章を読み解くことが中心になります。動詞の活用の小テストを随時行い、また学期の途中で文法の中間テストをします。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

先修科目 フランス語基礎 A I 関連科目 フランス語基礎 B I、B II

テキスト

森 繁 著『ラ・フォーレ フランス語基礎文法一』朝日出版社 ISBN 978-4-255-35240-4 2200円＋税

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けますが、授業中に分からないことがあったら、授業の途中でも構わないので遠慮せず、その都度その場で質問して下さい。

科目名	フランス語基礎BⅡ <121>		
教員名	林 ゆき		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	Introduction: BIの内容の復習		
	前学期の復習をする。授業後は次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第2回	Leçon 10 : クラブ活動について話す		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第3回	Leçon 11 : 習慣について話す		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分

第4回	Leçon 11 (2) : 好き嫌いについて話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	Leçon 12 : 週末の過ごし方について話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	Leçon 12 (2) : しなくてははいけないことについて話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	Leçon 13 : 時間について話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	中間テスト Leçon 14 : 休暇中の活動について話す	
	中間テストの範囲を復習する。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	Leçon 14 (2) : 過去の出来事の感想を言う	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	Leçon 15 : 経験について話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	Leçon 16 : 地理について話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	Leçon 17 : 天候について話す	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	Leçon 18 : 子どもの頃の話をする	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	今学期に学習したことのまとめ	
	期末テストの範囲を再度復習する。	60分
第15回	Examen final	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿って各セクションをバランス良く学習します。授業はフランス語を多く聞き話す機会を確保するためにペアでの練習なども取り入れ、具体的な状況での基本的な表現を使えるようにすることが中心になります。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テストあるいは中間試験の成績30%
- 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（基本的表現を聞いて理解する、基本的表現を発話できる、他者と応答を展開する）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

『Moi, je ... コミュニケーション』Vannieuwenhuijse他著 アルマ出版
フランス語の辞書は適時指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語基礎BⅡ <122>		
教員名	横山 裕人		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
2018年度後期の基礎BⅠの継続です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、文法においては英語と異なる特徴ももっています。このような文法構造に留意して、フランス語の基本的な表現に慣れつつ、読み書く能力の基礎を養成します。目的語となるさまざまな代名詞と様々な動詞の現在・過去、未来に関わる形を学んだ上で様々な表現を口頭で練習していきます。前の学期に修得すべきことが土台となって、今学期の学習が始まりますので、十分に復習して、今学期に臨んでください。			
到達目標			
次の3点を目標にします： D P 3 ・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 1 ・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の4級レベルに合格する。 D P 5 ・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	買物に関する表現など：変則的な第1群規則動詞、数詞		
	前学期の事項をよく復習しておくこと。該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	90分	
第2回	時刻に関する表現など：時刻表現、時の前置詞		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分	
第3回	選択に関する表現など：第2群規則動詞、命令文・命令法		
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分	

第4回	交際に関する表現など：補語（目的語）人称代名詞（1・2人称）	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第5回	探索・訪問に関する表現など：補語（目的語）人称代名詞（3人称）	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第6回	日常動作に関する表現など：動詞FAIRE、代名動詞	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第7回	中間テスト	
	テストの範囲を再度復習。	90分
第8回	数量に関する表現など：部分冠詞、数量表現	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第9回	飲食に関する表現など：中性代名詞EN、動詞活用まとめ	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分

第10回	過去の行動を表現する：複合過去	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第11回	過去の行動を表現する：複合過去（続）、中性代名詞Y	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第12回	出身に関する表現など：動詞VENIR、近接過去	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第13回	天候に関する表現、未来の行動を表現する：直説法単純未来、非人称構文	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第14回	比較の表現：比較級、指示代名詞	
	該当する文法解説プリント・単語プリントを予習する。	60分
第15回	期末テスト	
	テストの範囲を再度復習。	90分

授業の方法

2018年度後期の基礎BIと同様、学習に必要なプリント類は、事前に成蹊ポータル授業資料にアップされます。これらを随時ダウンロードして、指示された予習を行なってください。予習は必須です。授業では、それに基づいて口頭・筆記の練習を行います。

成績評価の方法

1) 予習ドリル30%、2) 中間テスト30%、3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。フランス語の基礎的な文法と語彙を理解し口頭で応用できているかを中心に評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎BI（登録必須）

テキスト

教科書は使いません。必要なプリントはすべて成蹊ポータルのこの科目の授業資料にアップされます。

参考書

必要があれば授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

オフィスアワーはポータルサイトで周知する。

科目名	フランス語基礎BII <321>		
教員名	デュボア フロランス		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然なフランス語を覚えていく。

オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々の文化のあり方を鑑賞する。

フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。

テーマ：

動作〔現在形、過去形（複合過去）、未来形（近接未来）、礼儀要の条件法、命令形〕、
余暇・生活環境・招待・したいことと予定・待ち合わせ・食べ物・飲食店での注文、アドバイス

文法：

動詞の活用 of 基本的なパターンになる直法現在形と過去形（複合過去）、未来形（近接未来）
命令形
礼儀要の条件法

到達目標

- ・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。
- ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。
- ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。
- ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。

- ・フランス語検定の5級レベルに合格する。

オーラルと筆記フランス語での到達：

発音の仕方は身につく。
文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。
会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。
受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。
PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。

テーマ：趣味と余暇。したいこと。経験。

文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。
フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。
フランス語圏のフランス語・日本語の辞書作成に貢献する。

資格：Interactions 1 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1' や日本の仏検の4級のレベルを育む教材。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	復習 L5 物事を好む・したいこと Faire ce qu'on aime (aimer faire quelque chose - envies)	
	L5の宿題1	60分
第2回	L5 pratique orale & film	
	L5の宿題2	60分
第3回	L6 望み・願望 Cadeaux (avoir- J'aimerais, Je voudrais...)	
	L6の宿題1	60分

第4回	L6 pratique orale & document audio	
	L6の宿題2 書く練習：メール作成（自主練習）	90分
第5回	L7 簡単な説明・位置づけ1 Ma ville et mon quartier (etre + 位置づけ1 & connaitre)	
	L7の宿題1	60分
第6回	L7 pratique orale & document audio	
	L7の宿題2	60分
第7回	L8 生活環境・位置付2 Ma maison (Il y a, il n'y a pas + 位置づけ2)	
	L8の宿題1	60分
第8回	L8 pratique orale & document audio	
	L8の宿題2	60分
第9回	L10 Activites & Rendez-vous (動作・devoir, pouvoir)	
	L10の宿題1 書く練習：メール作成（自主練習）	90分
第10回	L10 pratique orale & film	
	L10の宿題2	60分
第11回	L11 生活のリズム Ma journee (commencer, finir, prendre, partir)	
	L11の宿題1	60分
第12回	L11 遊びに出る。 Voyage 交通手段・レストランでの注文 (aller, partir, arriver, rentrer)	
	L11の宿題2	60分
第13回	食生活、買い物・明日の予定 Achats (部分冠詞・近接未来)	
	宿題 書く練習：メール作成（自主練習） 期末口頭テストの準備	60分 必要な時間をとる。

第14回	昨日のことを語る Ma journée d'hier (複合過去)	
	宿題 期末口頭テストの準備	60分 必要な時間をとる。
第15回	期末口頭テストを行う。	
	Projet de classe: Contribution au dictionnaire de la francophonie フランス語圏の辞書作成へ貢献: 自分で学んだフランス語圏の語彙を記録と日本語訳 テスト後、自分の期末テストについて 考える。	60分 必要な時間をとる。
授業の方法		
クラスでは、聞く、読む、話す、書く、そしてまた、話す。 なるべく日本語を使わない。 言葉が忘れた時、知らない時に、辞書や教材の参考を積極的にやる。または、積極的に教員にフランス語で質問する。 教科書の宿題し、メールをフランス語で書いて、クラスで学んだ言葉や文法や言い回しの書き方を覚えていく。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合があります。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト (30%)、メール、発表、期末試験の成績 (70%) 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準 (学則39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
登録必須のフランス語基礎A (文法クラス) での勉強を怠らないこと。		
テキスト		
Interactions 1 DVD-ROM 付 Cle International 出版, Gael Crepieux, Olivier Masse, Jean-Philippe Rousse ISBN 978-2-09-038699-8 本体価格 3,510円 (内税)		
参考書		
仏和・和仏の辞書は必ず持参し、いつもでも見れるようにする。 他の教科書、インターネット参考する。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
授業終了後に教室で受け付ける。		

科目名	フランス語基礎BII <322>		
教員名	デュポー フロランス		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然なフランス語を覚えていく。

オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々な文化のあり方を鑑賞する。

フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。

テーマ：

動作〔現在形、過去形（複合過去）、未来形（近接未来）、礼儀要の条件法、命令形〕、
余暇・生活環境・招待・したいことと予定・待ち合わせ・食べ物・飲食店での注文、アドバイス

文法：

動詞の活用的基本的なパターンになる直法現在形と過去形（複合過去）、未来形（近接未来）
命令形
礼儀要の条件法

到達目標

- ・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。
- ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。
- ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。
- ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。

- ・フランス語検定の5級レベルに合格する。

オーラルと筆記フランス語での到達：

発音の仕方は身につく。
文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。
会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。
受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。
PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。

テーマ：趣味と余暇。したいこと。経験。

文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。
フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。
Projet de classe: フランス語圏の辞書作成へ貢献：自分で学んだフランス語圏の語彙を記録と日本語訳

資格：Interactions 1 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1' や日本の仏検の4級のレベルを育む教材。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	復習 L5 物事を好む・したいこと Faire ce qu'on aime (aimer faire quelque chose - envies)	
	L5の宿題1	60分
第2回	L5 pratique orale & film	
	L5の宿題2	60分
第3回	L6 望み・願望 Cadeaux (avoir - J'aimerais, Je voudrais...)	
	L6の宿題1	60分

第4回	L6 pratique orale & document audio	
	L6の宿題 2 書く練習：メール作成（自主練習）	90分
第5回	L7 簡単な説明・位置づけ1 Ma ville et mon quartier (etre - 位置づけ1 & connaitre)	
	L7 の宿題 1	60分
第6回	L7 pratique orale & document audio	
	L7の宿題 2	60分
第7回	L8 生活環境・位置付 2 Ma maison (Il y a, il n'y a pas + 位置づけ2)	
	L8の宿題 1	60分
第8回	L8 pratique orale & document audio	
	L8の宿題 2	60分
第9回	L10 Activites & Rendez-vous (動作・devoir, pouvoir)	
	L10の宿題 1 書く練習：メール作成（自主練習）	90分
第10回	L10 pratique orale & film	
	L10の宿題 2	60分
第11回	L11 生活のリズム Ma journee (commencer, finir, prendre, partir)	
	L11の宿題 1	60分
第12回	L11 旅に出る Voyage 交通手段・レストランでの注文 (aller, partir, arriver, rentrer, recommander)	
	L11の宿題 2	60分

第13回	食生活、買い物、明日の予定 Achats (部分冠詞・近接未来)	
	宿題 期末口頭テストの準備 書く練習：メール作成 (自主練習)	60分 必要な時間を掛ける。
第14回	昨日のことを語る Ma journée d'hier	
	宿題 期末口頭テストの準備	60分 必要な時間を掛ける。
第15回	期末口頭テスト行う。	
	テスト後、自分の期末テストについて考える。 Projet de classe: Contribution au dictionnaire de la francophonie フランス語圏の辞書作成へ貢献：自分で学んだフランス語圏の語彙を記録と日本語訳	60分 必要な時間を掛ける。
授業の方法		
クラスでは、聞く、読む、話す、書く、そしてまた、話す。 なるべく日本語を使わない。 言葉が忘れた時、知らない時に、辞書や教材の参考を積極的にやる。または、積極的に教員にフランス語で質問する。 教科書の宿題し、メールをフランス語で書いて、クラスで学んだ言葉や文法や言い回しの書き方を覚えていく。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合がある。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
登録必須のフランス語基礎A（文法クラス）での勉強を怠らないこと。		
テキスト		
Interactions 1 DVD-ROM 付 Cle International 出版、Gael Crepieux, Olivier Masse, Jean-Philippe Rousse ISBN 978-2-09-038699-8 本体価格 3,326円（内税）		
参考書		
仏和・和仏の辞書は必ず持参し、いつもでも見れるようにする。 他の教科書、インターネット参考する。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
授業終了後に教室で受け付ける。		

科目名	フランス語基礎BII <323>		
教員名	サックス ジェラルド		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
このフランス語の小級クラスの時間にフランス語を聞くと話すだけ。オーラルコミュニケーション能力を著しく発展させる。受講生は、クラスの仲間たちとインターアクションしながら、自分のフランス語を自分で発展させていく。基礎（模範）から学んで、自分の経験や知識を加えて、洗練された会話内容になります。より高い効果の会話のプラクティス時間です。その方法で、フランス語の発音、文法、言い回しを楽しく学んで、自然なフランス語を覚えていく。 オーラルコミュニケーション能力を支えるため、授業外、書く練習しながら筆記フランス語能力を養う。教材に入っている書く練習以外、受講生はフランス語のメールをフランス語圏の人と交換し、本格的なフランス語でのコミュニケーションの経験を果たすことになる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々の文化のあり方を鑑賞する。 フランス語圏の人と会うならば、ベーシックコミュニケーションを楽に取れるようにする。 テーマ： 動作〔現在形、過去形（複合過去）、未来形（近接未来）、礼儀要の条件法、命令形〕、 余暇・生活環境・招待・したいことと予定・待ち合わせ・食べ物・飲食店での注文、アドバイス 文法： 動詞の活用 of 基本的なパターンになる直法現在形と過去形（複合過去）、未来形（近接未来） 命令形 礼儀要の条件法			

到達目標			
・基本的なフランス語表現を聞いて理解できる。 ・使用頻度の高いフランス語の基本的表現をスムーズに発音することができる。 ・会話の文化的背景なども踏まえたフランス語特有の表現方法が理解できる。 ・自己表現から対話へと展開するためのフランス語能力を習得している。 ・フランス語検定の5級レベルに合格する。 オーラルと筆記フランス語での到達： 発音の仕方は身につく。 文法は例で覚えていく。自然に、自然な話し方になる。 会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。 受講生は、自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。 PCを通じて、インフォーマルなメールの書き方を習得する。 テーマ：趣味と余暇。したいこと。経験。 文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。 フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。 フランス語圏のフランス語・日本語の辞書作成に貢献する。 資格：Interactions 1 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1' や日本の仏検の4級のレベルを育む教材。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	復習 L5 物事を好む・したいこと Faire ce qu'on aime (aimer faire quelque chose - envies)		
	L5の宿題1		60分
第2回	L5 pratique orale & film		
	L5の宿題2		60分

第3回	L6 望み・願望 Cadeaux (avoir- J'aimerais, Je voudrais...)	
	L6の宿題1	60分
第4回	L6 pratique orale & document audio	
	L6の宿題2 書く練習：メール作成（自主練習）	90分
第5回	L7 簡単な説明・位置づけ1Ma ville et mon quartier (etre + 位置づけ1 & connaitre)	
	L7の宿題1	60分
第6回	L7 pratique orale & document audio	
	L7の宿題2	60分
第7回	L8 生活環境・位置付2 Ma maison (Il y a, il n'y a pas +位置づけ2)	
	L8の宿題1	60分
第8回	L8 pratique orale & document audio	
	L8の宿題2	60分

第9回	L 10 Activites & Rendez-vous (動作・devoir, pouvoir)	
	L 10の宿題1 書く練習：メール作成 (自主練習)	9 0 分
第10回	L 10 pratique orale & film	
	L10の宿題2	6 0 分
第11回	L 11 生活のリズム Ma journee (commencer, finir, prendre, partir)	
	L11の宿題1	6 0 分
第12回	L 11 遊びに出る。 Voyage 交通手段・レストランでの注文 (aller, partir, arriver, rentrer)	
	L 11の宿題2	6 0 分
第13回	食生活、買い物・明日の予定 Achats (部分冠詞・近接未来)	
	宿題 書く練習：メール作成 (自主練習) 期末口頭テストの準備	6 0 分 必要な時間をとる。
第14回	昨日のことを語る Ma journee d'hier (複合過去)	
	宿題 期末口頭テストの準備	6 0 分 必要な時間をとる。

第15回	期末口頭テストを行う。	
	Projet de classe: Contribution au dictionnaire de la francophonie フランス語圏の辞書作成へ貢献：自分で学んだフランス語圏の語彙を記録と日本語訳 テスト後、自分の期末テストについて考える。	60分 必要な時間をとる。
授業の方法		
クラスでは、聞く、読む、話す、書く、そしてまた、話す。 なるべく日本語を使わない。 言葉が忘れた時、知らない時に、辞書や教材の参考を積極的にやる。または、積極的に教員にフランス語で質問する。 教科書の宿題し、メールをフランス語で書いて、クラスで学んだ言葉や文法や言い回しの書き方を覚えていく。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合がある。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
登録必須のフランス語基礎A（文法クラス）での勉強を怠らないこと。		
テキスト		
Interactions 1 DVD-ROM 付 Cle International 出版、Gael Crepieux, Olivier Masse, Jean-Philippe Rousse ISBN 978-2-09-038699-8 本体価格 3,326円（内税）		
参考書		
仏和・和仏の辞書は必ず持参し、いつもでも見れるようにする。 他の教科書、インターネット参考する。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
授業終了後に教室で受け付けます。		

科目名	フランス語基礎BⅡ <421>		
教員名	青木 真紀子		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得します。必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用の練習のためにはフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きます。
コミュニケーションを重視しますので、発音練習を多く行ないます。
仏検5級問題にも挑戦してみましょう。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。
DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。
DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第8課 興味を述べる 定冠詞の縮約 補語人称代名詞	
	文法の確認 音読	60分
第2回	第8課の復習と練習問題 第9課 誘う 代名動詞	
	文法の確認 音読	60分
第3回	第9課 中世代名詞 y 動詞 vouloir	
	文法の確認 音読	60分

第4回	第9課の復習と練習問題 第10課 天候と時刻を言う 非人称構文	
	文法の確認 音読	60分
第5回	第10課 命令形 感嘆文 練習問題	
	文法の確認 音読	60分
第6回	第10課の復習 第11課 数量を表す 部分冠詞 中性代名詞 en	
	文法の確認 音読	60分
第7回	第11課 数の表現 復習と練習問題	
	文法の確認 音読	60分
第8回	第11課の復習	
	文法の確認 音読 練習問題復習	2時間以上
第9回	第12課 比較する 比較級 単純未来	
	文法の確認 音読	60分

第10回	第12課の復習と練習問題 ここまでの総復習	
	文法の確認 音読	60分
第11回	第13課 過去のことを話す 複合過去	
	文法の確認 音読	60分
第12回	第13課 複合過去の復習 半過去	
	文法の確認 音読	60分
第13回	第13課の復習と練習問題	
	文法の確認 音読	60分
第14回	複合過去や半過去を使った様々な文章の練習	
	文法の確認 音読	60分
第15回	期末テスト	
	文法の確認 音読 練習問題復習	2時間以上

授業の方法

文法事項の説明。
ディアログの発音と内容。
練習問題。

成績評価の方法

平常点とテストから総合的に判断する。小テストを毎回課す。
出席と授業への取り組み方も重視する。ただ出席しているだけでは評価できない。
欠席の多い学生の単位は認められない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎BI

テキスト

パリ・ボルドー
藤田裕二著
朝日出版社
2500円＋税
参考書

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業後に教室で受け付ける。

科目名	フランス語基礎BII <422>		
教員名	土屋 良二		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
フランス語の基礎を学ぶ。日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、読み、書き、話し、聞く基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を習得する。具体的な状況で使割れることの多い表現・語彙を学習するとともに、必要とされる文法の理解も深める。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の5級、4級レベルに合格する。 D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	LECON 6 服装や外観について説明する		
	フランス語基礎BIで学習した範囲を見直す。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。		60分
第2回	LECON 6 持ち主を言う・尋ねる		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。		60分
第3回	LECON 7 行き先を言う・尋ねる		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。		60分

第4回	LECON 7 交通手段について説明する	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第5回	LECON 8 天気の表現を覚える	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第6回	LECON 8 時刻の表現を使えるようにする	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第7回	LECON 9 食生活について説明する	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第8回	LECON 9 分量の表現を覚える	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第9回	LECON 10 日常の活動を語る（1） 代名動詞の使い方に慣れる。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分

第10回	LECON 10 日常の活動を語る（2） 様々な不規則動詞を使って表現する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第11回	LECON 11 過去の出来事を語る（1） 複合過去形を使って動作を表す。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第12回	LECON 12 過去の出来事を語る（2） 複合過去形を使って移動を表現する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第13回	LECON 13 過去の習慣や状態を語る。 半過去形の使い方に慣れる。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認。小テストの準備。	60分
第14回	総復習	
	到達度確認テストの範囲を再度復習。小テストの準備。	60分
第15回	到達度確認テストと講評	
	テストの内容を再確認する。テスト後は出来なかったところを見直す。	60分

授業の方法

授業はできる限り多くフランス語に接して音に慣れ、学習者自身も出来るだけ多く発話する機会を持つために、ペアワーク、グループワークなど演習形式の学習活動を中心として展開する。また、毎回授業の始めに前回の学習内容に関する小テストを行う。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素なので、授業外での学習にも積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 40% 2) 小テストの成績20% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

Emmanuel Antier、三上純子他著『フラッシュ！-絵とアクティヴィテで学ぶフランス語-』（駿河台出版社）2,600円
ISBN978-4-411-01118-3

参考書

辞書・参考書については授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付ける。

科目名	フランス語基礎BII <423>		
教員名	田村 恵子		
科目ナンバー	1701481150	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を身に着けることが目標です。必要な文法の理解も深めながら、具体的な使用頻度の高い表現を学習します。 フランス語が話せるようになるためには、フランス語を多く聞いて音に慣れ、自分で発音する経験が大切なので、声を出して話してみる演習を繰り返し行います。少しずつ上手になることは、とても気持ちの良い体験です。			
到達目標			
DP1. 基礎的な会話表現を理解できる。外国文化習得の基礎となるフランス語の文章の意味を理解し運用することができる。仏検4級レベルの実力の養成。			
DP3. 様々な状況において多様な文化に触れ、コミュニケーションができる。			
DP5. 言語を活用し、お互いにコミュニケーションすることができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	Introduction B I の内容の復習		
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第2回	「これは誰？」の表現の勉強 電話番号の表現について復習する		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第3回	数についての復習。 自分の携帯番号を言う復習。 友達の携帯番号について尋ねる。		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分

第4回	好きなもの、こと、そして、好きでないものやことについて、話してみる。 趣味についての語彙を学習し、覚える。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第5回	好きなこと、嫌いなことについてのスケッチを3～4人のグループで作ってみる。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第6回	スケッチについて確認し、演じる練習をする。 なるべく臨場感を出せるように努力する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第7回	時間の尋ね方、答え方について学習する。 自分の一日の予定について、フランス語で表現する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第8回	交通機関についての語彙、表現を学習。 自分の一日の予定を、さらに詳しく表現する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第9回	一日の予定についてのスケッチをグループで作成する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分

第10回	スケッチ内容を確認、発表できるように練習する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第11回	スケッチを教師の前で演じる。 自分の一日を時系列に沿って表現する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第12回	代名動詞について学習する。 se lever, se réveiller について理解する。 発音練習とこれらの動詞を使った短文作り。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第13回	今まで学習した表現を使ったスケッチをグループで作成する。 内容について、教師と確認する。	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分
第14回	12か月のフランス語の発音とスペルを覚える。 前回、作成したスケッチについて、改良すべき点があれば手を加え、練習。	
	期末テストの範囲を再度復習。	60分
第15回	スケッチを発表。 一年間のまとめとして、重要な表現の確認をする。	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

テキストに沿って学習します。授業はフランス語を多く聞き話す機会を確保するためにペアでの練習なども取り入れます。詳細な授業計画や方法については授業で直接指示しますが、授業の進行によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（基本的表現を聞いて理解する、基本的表現を発話できる、他者と応答を展開する）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎AⅠ, BⅠを履修していること。

テキスト

『話せる！音読フランス語200文』 第三書房

参考書

授業中に適宜紹介します。

昨年の復習として、白水社『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！』を通読しておく、授業が分かりやすく、より効果的です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます

科目名	スペイン語基礎AII <131>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <132>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <133>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <134>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <135>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <136>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1001481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎A II <331>		
教員名	高島 理恵		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <332>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <333>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <334>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <335>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <431>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <432>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AII <433>		
教員名	渡辺 雅哉		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎A II <434>		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AⅡ <435>		
教員名	高島 理恵		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AⅡで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎A II <500>		
教員名	愛場 百合子		
科目ナンバー	1701481220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペイン語基礎AIIで学んだことを振り返り、文章の読み方、表現の仕方を学びつつ、スペイン語の基礎を固めていきます。後期に学習する文法事項の要点は以下の通りです。（動詞はすべて直説法）			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。 ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。 ④スペイン語で平易な文章を作文できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎AIIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	直説法現在（語幹母音変化動詞）、直説法現在（1人称単数が不規則な動詞）		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、序数		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在（これまでの動詞）の復習、時間表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	再帰動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	再帰動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	天候表現、gustar型動詞(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	gustar型動詞(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	所有形容詞（前置形、後置形）(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	所有形容詞（前置形、後置形）(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	ここまでの復習 現在完了、点過去、線過去のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

「スペイン語基礎AII」（日本人教員）と「スペイン語基礎BII」（ネイティブ教員）によるペア授業です。前半(AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

原則として文法説明を日本人教員が、発音・会話練習をネイティブ教員が担当します。辞書を必ず持参してください。

予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。また、小テストや課題を適宜実施します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の基本的な文法構造を理解できる。
- ②スペイン語の基本的な文章の意味を理解することができる。
- ③スペイン語の不規則動詞や再帰動詞の活用について対応できる。
- ④スペイン語で平易な文章を作文できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI、BI、BII、スペイン語会話I、II、スペイン語基礎AIII、BIII、異文化理解A、異文化理解B（スペイン語圏）
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話I（前期）、II（後期）」、「スペイン語基礎AIII（後期）、BIII（後期）」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AI, BI)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <131>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <132>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <133>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅠ、BⅢⅠ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅠ(後期)、BⅢⅠ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <134>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <135>		
教員名	ドメネク マリア		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <136>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1001481250	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <331>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <332>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <333>		
教員名	ゴンサレス ペゴーニャ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <334>		
教員名	ゴンサレス ペゴーニャ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <335>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <431>		
教員名	サンス アルセニオ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。 ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。 ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。 ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <432>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <433>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BII <434>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BIIに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BIで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <435>		
教員名	ブラド エウヘニオ デル		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BⅡ <500>		
教員名	ドメネク マリア		
科目ナンバー	1701481250	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

スペイン語基礎BⅡに引き続き、スペイン語に慣れ親しみ、身につけることを目標とする実用スペイン語の授業です。基本文法、動詞活用を理解してから、ペアやグループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス、スペイン語基礎BⅡで学んだ内容の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第3回	不規則動詞の練習、頻度、時刻の表現、さまざまな疑問文	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第4回	不規則動詞の練習、tenerの用法、経過時間、序数、時刻、日付の復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第5回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、買い物で使う表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第6回	間接・直接目的格、前置詞格人称代名詞の練習、依頼の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第7回	再帰動詞の練習(1) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第8回	再帰動詞の練習(2) さまざまな日常の活動を述べる	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第9回	天候表現、予定を述べる、人を誘う	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

第10回	gustar型動詞の練習、好みについて話す	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第11回	gustar型動詞の練習、衣類と色の表現	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第12回	所有形容詞(前置形・後置形)の練習、地図で説明する	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第13回	ここまでの復習	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分

授業の方法

ペア授業方式をとり、日本人教員の授業と共通のテキストを使用します。テキストの他にプリントやビデオを用い、スペイン語での様々な表現が出来るように、ペアやグループで会話の練習をします。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず先生に質問してください。

成績評価の方法

平常点(出席、課題、授業への参加態度、小テストなど)40%、試験60%を目安に評価します。コミュニケーションに重きを置きますので、授業中の活動に積極的に参加することが求められます。よって平常点を重視します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①あいさつや自己紹介などの日常表現を使うことができる。
- ②基本的な構文をいろいろな表現に応用することができる。
- ③スペイン語の発音や聞き取りに慣れる。
- ④ネイティブスピーカーと簡単なコミュニケーションがとれる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ、BⅠ、AⅡ、スペイン語会話Ⅰ、Ⅱ、スペイン語基礎AⅢⅢ、BⅢⅢ、異文化理解A、異文化理解B(スペイン語圏)
※2年生から履修できる自由選択科目「スペイン語会話Ⅰ(前期)、Ⅱ(後期)」、「スペイン語基礎AⅢⅢ(後期)、BⅢⅢ(後期)」を履修することで、スペイン語をさらにインテンシブに学ぶことができます。

テキスト

前半(スペイン語基礎AⅠ、BⅠ)で使用したテキストを引き続き使います。

参考書

必要に応じて授業内で紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	中国語基礎AⅡ <141>		
教員名	浜田 ゆみ		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第5課までの復習 第6課 電子辞書がほしい	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 第6課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第2回	第6課の続き 練習問題 第7課 京劇を見る	
	第6課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第7課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第3回	第7課の続き 練習問題	
	第7課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60

第4回	第8課 ファーストフード店で昼食	
	第8課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第5回	第8課の続き 練習問題 第9課 カラオケ店で	
	第8課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第9課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第6回	第9課の続き 練習問題	
	第9課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第7回	第10課 万里の長城に登る	
	第10課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第8回	第10課の続き 練習問題	
	第10課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第9回	第11課 診察を受ける	
	第11課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60

第10回	第 1 1 課の続き 練習問題	
	第 1 1 課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第11回	第 1 2 課 タクシーに乗る	
	第 1 2 課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第12回	第 1 2 課の続き 総復習	
	第 1 2 課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

毎回発音練習を重視します。各課では新出単語、ポイント（文法の説明）、本文、練習問題の順番で進めていきます。また、数回の小テストを実施します。

なお、この授業は基礎Bと関係して行うため、進度に多少の変更が生じる場合もあります。

成績評価の方法

平常点（授業への参加状況など）20%、小テスト20%、口頭試験20%、筆記試験40%により評価します。

原則として出席は3分の2以上とし、遅刻などが3回あった場合は、1回の欠席となります。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社（2300円＋税）、ISBN 978-4-560-06919-6

テキストは、基礎Aでは講読クラス用、基礎Bでは会話クラス用の2冊を購入して下さい。

参考書

特になし

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <142>		
教員名	宮島 和也		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、第6課までの復習		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分
第2回	第7課：「京劇を見る」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分
第3回	第7課：「京劇を見る」 練習問題 第8課：「ファーストフード店で昼食」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分

第4回	第8課：「ファーストフード店で昼食」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第5回	第9課：「カラオケ店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第6回	第9課：「カラオケ店で」 練習問題 第10課：「万里の長城に登る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第7回	第10課：「万里の長城に登る」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第8回	第11課：「診察を受ける」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第9回	第11課：「診察を受ける」 練習問題 第12課：「タクシーに乗る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分

第10回	第12課：「タクシーに乗る」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第11回	第13課：「修理を頼む」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第12回	第13課：「修理を頼む」 練習問題 第13課までの復習	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業3回で2課を学ぶくらいのペースで授業を進めます。発音練習の機会をなるべく多く設けますので、積極的に授業に参加しましょう。この授業では特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というとあまり良いイメージが持てないかもしれませんが、文法は効率的に外国語を習得するためのマニュアルとも言えます。練習問題や復習を通じてしっかり身につけましょう。また毎回の授業で小テストがあります。毎回の小テストへの準備を行うことで少しずつ力をつけていきましょう。具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合に依っては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <143>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課	
	復習 単語暗記	60分
第2回	第7・8課	
	復習 単語暗記	60分
第3回	第8課	
	復習 単語暗記	60分

第4回	第9課	
	復習 単語暗記	60分
第5回	第9. 10課	
	復習 単語暗記	60分
第6回	第10課	
	復習 単語暗記	60分
第7回	第11課	
	復習 単語暗記	60分
第8回	第11. 12課	
	復習 単語暗記	60分
第9回	第12課	
	復習 単語暗記	60分

第10回	第 1 2 . 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第11回	第 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第12回	第 1 4 課 様態補語	
	復習 単語暗記	6 0 分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	6 0 分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	6 0 分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	6 0 分

授業の方法

講義による文法説明の後、置き換え練習等によって基礎文法を定着させます。前期よりも更に多く聞き、多く話すことを目標とし、耳と口のトレーニングを重視した授業を行います。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）30%、学期末試験（発音試験、筆記試験）70%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <144>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第7課		
	復習 単語暗記		60分
第2回	第7．8課		
	復習 単語暗記		60分
第3回	第8課		
	復習 単語暗記		60分

第4回	第 9 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第5回	第 9 . 1 0 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第6回	第 1 0 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第7回	第 1 1 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第8回	第 1 1 . 1 2 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第9回	第 1 2 課	
	復習 単語暗記	6 0 分

第10回	第 1 2 . 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第11回	第 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第12回	第 1 4 課 様態補語	
	復習 単語暗記	6 0 分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	6 0 分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	6 0 分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	6 0 分

授業の方法

講義による文法説明の後、置き換え練習等によって基礎文法を定着させます。前期よりも更に多く聞き、多く話すことを目標とし、耳と口のトレーニングを重視した授業を行います。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）３０％、学期末試験（発音試験、筆記試験）７０％

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『１冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <145>		
教員名	中桐 典子		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分	
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分	
第3回	第8課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分	

第4回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第12課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第12課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていく。各課については、まず単語、文法について詳しく説明する。その後、会話文の音読練習を行い、中国人教師の授業（テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワーク）につなげる。大きい声での音読が要求される。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗状況によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素なので、授業外での学習にも積極的に取り組んで頂きたい。

成績評価の方法

- (1) 平常点15%
- (2) 口頭試験25%
- (3) 筆記試験60%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎・喜多山幸子・松田かの子著 白水社 2300円 ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎AⅡ <146>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	発音及び1～6課の復習		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第5回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第6回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第7回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第8回	小まとめ
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第9回	第10課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3～4回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <147>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
・中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ・中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ・中国語の初級文法について理解することができる。 ・基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	第7課 京劇を観る		
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。		60分
第2回	第8課 ファーストフードで昼食		
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。		60分
第3回	第9課 カラオケ店で		
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。		60分

第4回	第10課 万里の長城に登る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第5回	第11課 診察を受ける	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第6回	第7課～第11課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第7回	第12課 タクシーに乗る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第8回	第13課 修理を積む	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第9回	第14課 訪問する	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第10回	第15課 乾杯！	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第11回	第12課～第15課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第12回	今期の総復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

CALL教室にてCALLシステム併用により教員・学生のみならず学生同士の双方向コミュニケーションを基軸として発音練習を進めます。また、授業中にはリアクションペーパーに授業考察を記入したり、問題演習には個別指導を通じて学習項目の定着を図ります。

成績評価の方法

平常点（授業内リアクションペーパー記入＋問題演習個別指導等）50%＋定期試験50%＝100%（全体評価）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39 さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷，東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <148>		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。 第6課：「電子辞書がほしい」 本文の発音練習		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。	60分	
第2回	第6課：「電子辞書がほしい」 本文の発音練習、文法解説、練習問題		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分	
第3回	第6課：「電子辞書がほしい」 練習問題		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの準備。	60分	

第4回	第七課：「京劇を見る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第5回	第七課：「京劇を見る」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの準備。	60分
第6回	第八課：「ファーストフード店で昼食」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第7回	中間試験	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 中間テストの準備	60分
第8回	第八課「ファーストフード店で昼食」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第9回	第九課：「カラオケ店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの準備。	60分

第10回	第九課：「カラオケ店で」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第11回	第十課：「万里の長城に登る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの準備。	60分
第12回	第十課：「万里の長城に登る」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第15回	最終仕上げ	
	総まとめ	60分

授業の方法

授業2回で1課すすむくらいのペースで授業を進めます。授業のはじめに新出単語を確認し、テキストの内容を確認します。特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というと、あまり興味が湧かないかもしれませんが、文法は料理の「レシピ」のようなものですのでしっかりと復習して身につけましょう。

また毎回の授業で小テストがあります。小テストを毎回準備することで少しずつ力をつけていきましょう。

具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合によっては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語基礎 AⅡ <149>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1001481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課	
	復習 単語暗記	60分
第2回	第7・8課	
	復習 単語暗記	60分
第3回	第8課	
	復習 単語暗記	60分

第4回	第9課	
	復習 単語暗記	60分
第5回	第9. 10課	
	復習 単語暗記	60分
第6回	第10課	
	復習 単語暗記	60分
第7回	第11課	
	復習 単語暗記	60分
第8回	第11. 12課	
	復習 単語暗記	60分
第9回	第12課	
	復習 単語暗記	60分

第10回	第12. 13課	
	復習 単語暗記	60分
第11回	第13課	
	復習 単語暗記	60分
第12回	第14課 様態補語	
	復習 単語暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

講義による文法説明の後、置き換え練習等によって基礎文法を定着させます。前期よりも更に多く聞き、多く話すことを目標とし、耳と口のトレーニングを重視した授業を行います。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）３０％、学期末試験（発音試験、筆記試験）７０％

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『１冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <341>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

- ・中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ・中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ・中国語の初級文法について理解することができる。
- ・基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課 京劇を観る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第2回	第8課 ファーストフードで昼食	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第3回	第9課 カラオケ店で	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第4回	第10課 万里の長城に登る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第5回	第11課 診察を受ける	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第6回	第7課～第11課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第7回	第12課 タクシーに乗る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第8回	第13課 修理を積む	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第9回	第14課 訪問する	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第10回	第15課 乾杯！	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第11回	第12課～第15課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第12回	今期の総復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

CALL教室にてCALLシステム併用により教員・学生のみならず学生同士の双方向コミュニケーションを基軸として発音練習を進めます。また、授業中にはリアクションペーパーに授業考察を記入したり、問題演習には個別指導を通じて学習項目の定着を図ります。

成績評価の方法

平常点（授業内リアクションペーパー記入＋問題演習個別指導等）50%＋定期試験50%＝100%（全体評価）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39 さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷，東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <342>		
教員名	大野 広之		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

- ・中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ・中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ・中国語の初級文法について理解することができる。
- ・基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課 京劇を観る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第2回	第8課 ファーストフードで昼食	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第3回	第9課 カラオケ店で	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第4回	第10課 万里の長城に登る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第5回	第11課 診察を受ける	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第6回	第7課～第11課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第7回	第12課 タクシーに乗る	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第8回	第13課 修理を積む	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第9回	第14課 訪問する	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分

第10回	第15課 乾杯！	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第11回	第12課～第15課 復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第12回	今期の総復習	
	CDの聞き取り及び教科書の通読を通じて概略を掴むこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

CALL教室にてCALLシステム併用により教員・学生のみならず学生同士の双方向コミュニケーションを基軸として発音練習を進めます。また、授業中にはリアクションペーパーに授業考察を記入したり、問題演習には個別指導を通じて学習項目の定着を図ります。

成績評価の方法

平常点（授業内リアクションペーパー記入＋問題演習個別指導等）50%＋定期試験50%＝100%（全体評価）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39 さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎・喜多山・松田共著『1冊目の中国語 講読クラス』（白水社、2016.3.第25刷、東京）ISBN978-4-560-06919-6

参考書

授業進行に応じて随時指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <343>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	発音及び1～6課の復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第2回	第7課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第3回	第7課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第4回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	小まとめ	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3～4回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <344>		
教員名	島田 亜実		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	基礎AⅡの復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
	基礎AⅡの内容を復習しておく。		
	※テキストのほか、前年後期に基礎AⅡで配布した補助プリントも持ってくること。		
第2回	第7課		
	付属CDを利用し発音練習する。		60分
	各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		
第3回	第7課		
	付属CDを利用し発音練習する。		60分
	各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		

第4回	第8課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第5回	第8課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第6回	第9課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第7回	第9課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第8回	第10課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第9回	第10課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分

第10回	第11課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第11回	第11課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第12回	まとめ	
	・付属CDを利用し発音練習 ・まとめプリントの解答	60分
第13回	口頭試験（テキスト朗読） まとめ	
	・口頭試験の準備 ・まとめプリントの解答	60分
第14回	筆記試験	
	・筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	・最終仕上げ	60分

授業の方法

- ・2回で1課を学ぶペースで授業を進める予定ですが、これはあくまでも目安であり、クラス状況により異なります。
- ・教材は基礎A Iと同じテキストを引き続き使用します。基礎A Iで配布した補助プリントも持ってきてください。
- ・各課毎に語句リストと文法のポイントをまとめたプリントを配布します。語句リストは予復習に利用してください。
- ・進度に応じて各課または数課ごとに小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（小テスト約25・授業参画約5）
- (2) 朗読テスト30%
- (3) 筆記試験40%

※遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。
※上記の学期3分の2の出席とは最低限のものであり、実際には15回中5回も休んでしまうと授業についていくのは難しい。
1回抜けただけでも新しい項目の理解の妨げとなるので、なるべく欠席しないようこころがけること。
※宿題をやっていないなどの準備不足は平常点から減点する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I、中国語会話 I

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <345>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1001481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	発音及び1～6課の復習		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第5回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第6回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第7回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第8回	小まとめ
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分
第9回	第10課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。60分

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3～4回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <441>		
教員名	浜田 ゆみ		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	第5課までの復習 第6課 電子辞書がほしい		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 第6課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。		60
第2回	第6課の続き 練習問題 第7課 京劇を見る		
	第6課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第7課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。		60
第3回	第7課の続き 練習問題		
	第7課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。		60

第4回	第8課 ファーストフード店で昼食	
	第8課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第5回	第8課の続き 練習問題 第9課 カラオケ店で	
	第8課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。 第9課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第6回	第9課の続き 練習問題	
	第9課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第7回	第10課 万里の長城に登る	
	第10課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第8回	第10課の続き 練習問題	
	第10課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第9回	第11課 診察を受ける	
	第11課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60

第10回	第 1 1 課の続き 練習問題	
	第 1 1 課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第11回	第 1 2 課 タクシーに乗る	
	第 1 2 課の単語と本文をCDで聞き、ポイントのページも読んでおく。	60
第12回	第 1 2 課の続き 練習問題 総復習	
	第 1 2 課本文の音読練習をし、練習問題を予習しておく。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

毎回発音練習を重視します。各課では新出単語、ポイント（文法の説明）、本文、練習問題の順番で進めていきます。また、数回の小テストを実施します。

なお、この授業は基礎Bと関係して行うため、進度に多少の変更が生じる場合もあります。

成績評価の方法

平常点（授業への参加状況など）20%、小テスト20%、口頭試験20%、筆記試験40%により評価します。

原則として出席は3分の2以上とし、遅刻などが3回あった場合は、1回の欠席となります。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語 講読クラス』劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社（2300円＋税）、ISBN 978-4-560-06919-6

テキストは、基礎Aでは講読クラス用、基礎Bでは会話クラス用の2冊を購入して下さい。

参考書

特になし

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <442>		
教員名	木谷 富士子		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第7課		
	復習 単語暗記		60分
第2回	第7・8課		
	復習 単語暗記		60分
第3回	第8課		
	復習 単語暗記		60分

第4回	第9課	
	復習 単語暗記	60分
第5回	第9. 10課	
	復習 単語暗記	60分
第6回	第10課	
	復習 単語暗記	60分
第7回	第11課	
	復習 単語暗記	60分
第8回	第11. 12課	
	復習 単語暗記	60分
第9回	第12課	
	復習 単語暗記	60分

第10回	第 1 2 . 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第11回	第 1 3 課	
	復習 単語暗記	6 0 分
第12回	第 1 4 課 様態補語	
	復習 単語暗記	6 0 分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の準備	6 0 分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の準備	6 0 分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	6 0 分

授業の方法

講義による文法説明の後、置き換え練習等によって基礎文法を定着させます。前期よりも更に多く聞き、多く話すことを目標とし、耳と口のトレーニングを重視した授業を行います。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）３０％、学期末試験（発音試験、筆記試験）７０％

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『１冊めの中国語 講読クラス』（劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社）
（中国語基礎Bで使用するテキスト『一冊目の中国語 会話クラス』とペアになります。）

参考書

授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅡ <443>		
教員名	宮島 和也		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、第6課までの復習		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分
第2回	第7課：「京劇を見る」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分
第3回	第7課：「京劇を見る」 練習問題 第8課：「ファーストフード店で昼食」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	本文・単語の復習、小テストの準備		60分

第4回	第8課：「ファーストフード店で昼食」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第5回	第9課：「カラオケ店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第6回	第9課：「カラオケ店で」 練習問題 第10課：「万里の長城に登る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第7回	第10課：「万里の長城に登る」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第8回	第11課：「診察を受ける」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第9回	第11課：「診察を受ける」 練習問題 第12課：「タクシーに乗る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分

第10回	第12課：「タクシーに乗る」 練習問題	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第11回	第13課：「修理を頼む」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第12回	第13課：「修理を頼む」 練習問題 第13課までの復習	
	本文・単語の復習、小テストの準備	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業3回で2課を学ぶくらいのペースで授業を進めます。発音練習の機会をなるべく多く設けますので、積極的に授業に参加しましょう。この授業では特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というとあまり良いイメージが持てないかもしれませんが、文法は効率的に外国語を習得するためのマニュアルとも言えます。練習問題や復習を通じてしっかり身につけましょう。また毎回の授業で小テストがあります。毎回の小テストへの準備を行うことで少しずつ力をつけていきましょう。具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合に依っては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <444>		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。 第6課：「電子辞書がほしい」 本文の発音練習		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。	60分	
第2回	第6課：「電子辞書がほしい」 本文の発音練習、文法解説、練習問題		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分	
第3回	第七課：「京劇を見る」 本文の発音練習、文法事項の確認		
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの暗記。	60分	

第4回	第七課：「京劇を見る」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第5回	第八課：「ファーストフード店で昼食」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの暗記。	60分
第6回	第八課「ファーストフード店で昼食」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第7回	第九課：「カラオケ店で」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの暗記。	60分
第8回	第九課：「カラオケ店で」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第9回	第十課：「万里の長城に登る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの暗記。	60分

第10回	第十課：「万里の長城に登る」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第11回	第十一課：「万里の長城に登る」 本文の発音練習、文法事項の確認	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 フレーズテストの暗記。	60分
第12回	第十一課：「診察を受ける」 練習問題	
	テキストの文章を実際に口に出して発音してみましょう。 文法事項の復習。 単語テストの準備。	60分
第13回	口頭試験	
	筆記試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	口頭試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

授業2回で1課すすむくらいのペースで授業を進めます。授業のはじめに新出単語を確認し、テキストの内容を確認します。特に文法の解説や練習問題に力を入れます。「文法」というと、あまり興味が湧かないかもしれませんが、文法は料理の「レシピ」のようなものですのでしっかりと復習して身につけましょう。

また毎回の授業で小テストがあります。小テストを毎回準備することで少しづつ力をつけていきましょう。

具体的な授業の計画や方法については、授業内で解説しますが、授業の進捗具合に依っては内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

口頭試験（30%）、筆記試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加度（10%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

劉穎、喜多山幸子、松田かの子『1冊めの中国語（購読クラス）』、白水社。ISBN：9 7 8-4-5 6 0-0 6 9 1 9-6

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語基礎AⅡ <445>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	発音及び1～6課の復習		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	小まとめ	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3～4回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について解説し、講読文の音読練習・読解を行い、その課で学習した文法を定着させるために単文作成や語順練習を行います。毎回繰り返し音読練習をし、小テストを実施します。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <446>		
教員名	島田 亜実		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎 A と中国人教師による基礎 B のペアレッスンで行われます。基礎 A では、発音と基本文法を学び、基礎 B では、基礎 A で学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。			
② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。			
③ 中国語の初級文法について理解することができる。			
④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	基礎 AⅠの復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
	基礎 AⅠの内容を復習しておく。		
	※テキストのほか、前年後期に基礎 AⅠで配布した補助プリントも持ってくること。		
第2回	第7課		
	付属CDを利用し発音練習する。		60分
	各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		
第3回	第7課		
	付属CDを利用し発音練習する。		60分
	各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		

第4回	第8課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第5回	第8課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第6回	第9課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第7回	第9課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第8回	第10課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第9回	第10課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分

第10回	第11課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第11回	第11課	
	付属CDを利用し発音練習する。 各課毎に配布される語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第12回	まとめ	
	・ 付属CDを利用し発音練習 ・ まとめプリントの解答	60分
第13回	口頭試験（テキスト朗読） まとめ	
	・ 口頭試験の準備 ・ まとめプリントの解答	60分
第14回	筆記試験	
	・ 筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	・ 最終仕上げ	60分

授業の方法

- ・2回で1課を学ぶペースで授業を進める予定ですが、これはあくまでも目安であり、クラス状況により異なります。
- ・教材は基礎A Iと同じテキストを引き続き使用します。基礎A Iで配布した補助プリントも持ってきてください。
- ・各課毎に語句リストと文法のポイントをまとめたプリントを配布します。語句リストは予復習に利用してください。
- ・進度に応じて各課または数課ごとに小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（小テスト約25・授業参画約5）
- (2) 朗読テスト30%
- (3) 筆記試験40%

※遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。
※上記の学期3分の2の出席とは最低限のものであり、実際には15回中5回も休んでしまうと授業についていくのは難しい。
1回抜けただけでも新しい項目の理解の妨げとなるので、なるべく欠席しないようこころがけること。
※宿題をやっていないなどの準備不足は平常点から減点する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎B I、中国語基礎B I I、中国語会話 I

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎 AⅡ <500>		
教員名	土屋 肇枝		
科目ナンバー	1701481320	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 基礎単語の暗記及び簡単な文章を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	後期学習内容（第1～6課）の復習	
	授業内容の復習	60分
第2回	第7課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第3回	第7課、第8課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分

第4回	第8課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第5回	第9課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第6回	第9課、第10課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第7回	第10課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第8回	小まとめ、中間テスト	
	授業内容の復習	60分
第9回	第11課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分

第10回	第11課、第12課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第11回	第12課	
	授業内容の復習、単語テストに備えた学習	60分
第12回	第13課	
	授業内容の復習	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説してから、新たに学習した文法項目を使った作文の作成、講読文の読解、練習問題による確認を行います。また講読文、例文の音読も重視します。毎回小テストを行います。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《講読クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

適宜紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <141>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	前期学習内容の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	第6課 文法、会話		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分
第3回	第6課 総合練習		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60分

第4回	第7課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第7課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	中国文化の紹介	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第8課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第8課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第9課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第9課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第10課、総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回の授業で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点40%（授業中小テスト、会話文の暗唱、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <142>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	・発音の復習 ・基礎Ⅰで習った内容の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認すること。 学修済みの各課本文を音読し、復習する。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分
第2回	・第6課「電子辞書を持っていますか」 （「～を持っている」／所有を表す・「～にある、いる」／所在を表す・二者間の距離を表す）		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分
第3回	・第6課の続き・会話練習		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分

第4回	・第7課「京劇のチケットを買いました」 (連動文・完了の表現・二つの疑問詞)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第5回	・第7課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第6回	・第8課「ファーストフード店がありますか」 (「～に～がある、いる」／存在を表す・「～で～をする」／前置詞の使い方等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第7回	・第8課の続き・会話練習 ・第6課～8課のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第8回	・第9課「中国の歌が歌えますか」 (習得・可能性・許可を表す三つの助動詞)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第9回	・第9課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分

第10回	・第10課「長城に行ったことがありますか」 (時刻の言い方・過去の経験を表す・方向補語等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う内容に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第11回	・第10課の続き・会話練習 ・第9課、第10課のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。これまでの内容を復習する。	60分
第12回	・総復習 (会話・作文・質疑等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。これまでの内容を総復習する。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

基本的に2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また各課について小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡI <143>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡI・BⅡIに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	第7課 会話 (～しましょう) 文法 連動文 動詞の完了表現 疑問詞 (なんの・どうやって)		
	CDを聞いて、第7課の会話を暗唱できるようにする。		60
第2回	第7課練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り		
	第7課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。		60
第3回	第8課 会話 (～がありますか) 文法 動詞「有」 前置詞「在」 変化を表す「了」		
	CDを聞いて、第8課の会話を暗唱できるようにする。		60
第4回	第8課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り		
	第8課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。		60

第5回	第9課 会話 (～ができますか) 文法 助動詞「会・能」	
	CDを聞いて、第9課の会話を暗唱できるようにする。	60
第6回	第9課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第9課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第7回	第10課 会話 (～に行ったことがありますか) 文法 時刻 動作の回数 動詞の経験態	
	CDを聞いて、第10課の会話を暗唱できるようにする。	60
第8回	第10課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取る	
	第10課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第9回	第11課 会話 (病院で) 文法 比較表現 行った動作について説明する	
	CDを聞いて、第11課の会話を暗唱できるようにする。	60
第10回	第11課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第11課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60

第11回	第12課 会話 (タクシーで) 文法 結果補語 (～から～まで) 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第12課の会話を暗唱できるようにする。第12課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第12回	第13課 会話 (クレームを言う) 文法 期日・曜日・番号 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第13課の会話を暗唱できるようにする。第13課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験のために第7課～13課のCDを聞き、暗記します。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験のために第7課～13課のCDを聞き、ピンインや漢字を暗記する。	60
第15回	総まとめ	
	総しあげ	60
授業の方法 3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。習得した会話を発表する。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。		

成績評価の方法 (1) 毎回行う小テスト40% (2) 口頭試験20% (3) 筆記試験40% 遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠するさらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ
テキスト 1冊めの中国語会話クラス 白水社 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著
参考書 授業開始時に担当教員より随時紹介します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付けます。 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <144>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第6課		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第 1 1 課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第 1 1 課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第12~15課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2 回一課を学ぶペースで授業を進めていきます。
各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、
会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。
大きい声での音読が要求されます。
また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、
授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。

なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。
授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

(1) 平常点30%（出欠、授業参加、小テスト発表など）
(2) 口頭試験30%
(3) 筆記試験40%
遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。更に上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得など）
がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅡ <145>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：			
① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	秋学期学習内容の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	第6課 文法、会話		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	
第3回	第6課 総合練習		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	

第4回	第7課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第7課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	中国文化の紹介	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第8課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第8課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第9課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第9課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第10課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回の授業で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点40%（授業中小テスト、会話文の暗唱、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <146>		
教員名	費 燕		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
発音よければ半ばよしと言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	前期授業内容の復習 第6課 「電子辞書を持っていますか」 音読練習、新出表現の確認		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第6課 会話の練習、トレーニング、リスニング		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課 「京劇のチケットを買いました」 音読練習、新出表現の確認		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第7課 会話の練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課 「ファーストフード店がありますか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第8課 会話の練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課 「中国の歌が歌えますか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第9課 会話の練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課 「長城に行ったことがありますか」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課 会話の練習、トレーニング、リスニング	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課 「お腹をこわしました」 音読練習、新出表現の確認	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課 会話の練習、トレーニング、リスニング 第6課～第11課の総合復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行います。テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や授業方法については、授業にて直接に指示します。なお、準備学修（予習・復習・授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点 30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験 30%
- (3) 筆記試験 40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊目の中国語』 《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著 白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <147>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第5課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第6課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第6課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第7課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第5回	第7課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第6回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第7回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第8回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第9回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	総復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。／ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <148>		
教員名	楊 晶		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅡ・BⅡに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	秋学期学習内容の復習	
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	第6課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第3回	第6課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分

第4回	第7課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第7課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	中国文化の紹介	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第8課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第8課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第9課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第9課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課 文法、会話	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第10課 総合練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

2回の授業で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点40%（授業中小テスト、会話文の暗唱、出席状況など）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験30%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <149>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1001481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ? 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。? ? 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、発音編（単母音、声調）		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	発音編（軽声、子音、複母音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	
第3回	発音編（鼻母音、声調の変化、儿化音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	

第4回	発音総復習、知って便利な呼び方、知って便利なことば	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	教科書の第一課 ①人称代名詞 ②動詞“是” ③否定を表す“不” ④疑問を表す“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	教科書の第二課 ①指示代名詞 ②形容詞述語文 ③疑問詞“怎??” ④“的”の省略	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第三課 ①場所代名詞 ②動詞述語文 ③疑問詞疑問文 ④省略疑問文“?” ⑤時を表すことばの位置	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	教科書の第四課 ①助動詞“想” ②選択疑問文 ③副詞“也” ④動詞の重ね型 ⑤語気助詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第五課 ①数詞 ②量詞の使い方 ③反復疑問文 ④人民元の数え方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第六課 ① 所有を表す“有” ② 所有を表す“在” ③前置詞“?”の使い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

最初の数回は発音の練習を行います。それ以降はテキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行うほか、中間試験、期末試験を実施します。

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30% (3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎A I I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅡ <341>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第5課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第6課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第6課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第 7 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第5回	第 7 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第6回	第 8 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第7回	第 8 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第8回	第 9 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第9回	第 9 課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	総復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。／ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <342>		
教員名	徐 送迎		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第5課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第2回	第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第3回	第6課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第4回	第7課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第5回	第7課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第6回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第7回	第8課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第8回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。
第9回	第9課
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。

第10回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	総復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。／ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <343>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	第6課		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第12~15課文法ポイント	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。 次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2 回一課を学ぶペースで授業を進めていきます。
各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、
会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。
大きい声での音読が要求されます。
また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、
授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。

なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。
授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

(1) 平常点30%（出欠、授業参加、小テスト発表など）
(2) 口頭試験30%
(3) 筆記試験40%
遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。更に上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得など）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅡ <344>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	1課-6課の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第7課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用会話練習と小テスト		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課 会話練習と小テスト		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	中間テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課 会話練習と小テスト 総合復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。 復習の実施。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法 2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習・授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的取り組んでください。
成績評価の方法 (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど） (2) 口頭試験30% (3) 筆記試験40% 遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎 BⅠ、中国語会話Ⅰ
テキスト 『1冊めの中国語』 《会話クラス》 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著 白水社
参考書 授業中に適宜紹介します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <345>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1001481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	・発音の復習 ・基礎Ⅰで習った内容の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認すること。 学修済みの各課本文を音読し、復習する。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分
第2回	・第6課「電子辞書を持っていますか」 （「～を持っている」／所有を表す・「～にある、いる」／所在を表す・二者間の距離を表す）		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分
第3回	・第6課の続き。会話練習		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。		60分

第4回	・第7課「京劇のチケットを買いました」 (連動文・完了の表現・二つの疑問詞)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第5回	・第7課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第6回	・第8課「ファーストフード店がありますか」 (「～に～がある、いる」／存在を表す・「～で～をする」／前置詞の使い方等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第7回	・第8課の続き・会話練習 ・第6課～8課のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第8回	・第9課「中国の歌が歌えますか」 (習得・可能性・許可を表す三つの助動詞)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第9回	・第9課の続き・会話練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分

第10回	・第10課「長城に行ったことがありますか」 (時刻の言い方・過去の経験を表す・方向補語等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。次回授業で扱う内容に目を通し、未知語の意味を確認する。	60分
第11回	・第10課の続き・会話練習 ・第9課、第10課のまとめ復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。これまでの内容を復習する。	60分
第12回	・総復習 (会話・作文・質疑等)	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読する。これまでの内容を復習する。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。 試験のために備えること。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

基本的に2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また各課について小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <441>		
教員名	但 継紅		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
半年を通して、発音の基礎（ピンイン）、初級文法、簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）を身に着けることが目標です。 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ① 連動文 ② “什?” +名詞 ③完了の“了” ④疑問詞“怎?” ■時を表すことば		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。		60
第2回	①変化を表す“了” ②動詞“有”(存在) ③前置詞“在”		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60
第3回	復習・練習		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。		60

第4回	①助動詞“可以”“会”“能” ②動詞“喜?” ③前置詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第5回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第6回	①時刻の言い方 ②経験を表す“?” ③動作の回数を表す言い方 ④方向補語	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第7回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第8回	①主述述語文 ②“有点儿” ③“是～的” ④比較の表現	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60

第10回	①結果補語 ②“从～到～” ③二つの目的語を持つ動詞 ■時間の長さの言い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第11回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第12回	様態補語、復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で、基礎的な文法を学び、会話練習や作文などを併行して行うことにより中国語の基礎がためをする。半年を通して、中国語の基礎発音とアクセントの訓練を行い、言葉の表現及び基本的な生活用語を身につける。

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『一冊めの中国語（会話クラス）』 劉? 喜多山幸子 松田かの子 著 白水社 2,415円

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <442>		
教員名	但 継紅		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音がよければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
半年を通して、発音の基礎（ピンイン）、初級文法、簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）を身に着けることが目標です。 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス ① 連動文 ② “什?”+名詞 ③完了の“了” ④疑問詞“怎?” ■時を表すことば		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60	
第2回	①変化を表す“了” ②動詞“有”（存在） ③前置詞“在”		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60	
第3回	復習・練習		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60	

第4回	①助動詞“可以”“会”“能” ②動詞“喜?” ③前置詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第5回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第6回	①時刻の言い方 ②経験を表す“?” ③動作の回数を表す言い方 ④方向補語	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第7回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第8回	①主述述語文 ②“有点儿” ③“是～的” ④比較の表現	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60

第10回	①結果補語 ②“从～到～” ③二つの目的語を持つ動詞 ■時間の長さの言い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第11回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第12回	様態補語、復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60

授業の方法

まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で、基礎的な文法を学び、会話練習や作文などを併行して行うことにより中国語の基礎がためをする。半年を通して、中国語の基礎発音とアクセントの訓練を行い、言葉の表現及び基本的な生活用語を身につける。

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『一冊めの中国語（会話クラス）』 劉? 喜多山幸子 松田かの子 著 白水社 2,415円

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <443>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			
到達目標			
中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ? 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 中国語の初級文法について理解することができる。? ? 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、発音編（単母音、声調）		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。	60分	
第2回	発音編（軽声、子音、複母音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	
第3回	発音編（鼻母音、声調の変化、儿化音）		
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分	

第4回	発音総復習、知って便利な呼び方、知って便利なことば	
	教科書付属CDを聞き、発音練習をする。	60分
第5回	教科書の第一課 ①人称代名詞 ②動詞“是” ③否定を表す“不” ④疑問を表す“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	教科書の第二課 ①指示代名詞 ②形容詞述語文 ③疑問詞“怎??” ④“的”の省略	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第三課 ①場所代名詞 ②動詞述語文 ③疑問詞疑問文 ④省略疑問文“?” ⑤時を表すことばの位置	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	教科書の第四課 ①助動詞“想” ②選択疑問文 ③副詞“也” ④動詞の重ね型 ⑤語気助詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第五課 ①数詞 ②量詞の使い方 ③反復疑問文 ④人民元の数え方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第六課 ① 所有を表す“有” ② 所有を表す“在” ③前置詞“?”の使い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

最初の数回は発音の練習を行います。それ以降はテキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行うほか、中間試験、期末試験を実施します。

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30%(3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅡⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎BⅡ <444>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身に着けると同時に基礎文法も身に着けていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用していき、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。			

到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身に着ける。 ②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③中国語の初級文法について理解することができる。 ④簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第6課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第2回	第6課（練習問題と書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第3回	第7課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第4回	第7課（練習問題と書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第8課（練習問題と書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第9課（練習問題と書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課（練習問題、書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課（単語テスト、文法、本文）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課（練習問題、書取テスト）	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	教科書付属CDを聞き、繰り返し音読練習をし、口頭試験に備えること。	60分
第14回	筆記試験	
	文法事項について万遍なく復習する。	60分
第15回	解説	
	文法事項について万遍なく復習する	60分

授業の方法

2回で1課～2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

4回欠席すると、期末試験が受けられなくなるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知する。

科目名	中国語基礎BⅡ <445>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。

なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする：

- ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。
- ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。
- ③ 中国語の初級文法について理解することができる。
- ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第7課 会話 (～しましょう) 文法 連動文 動詞の完了表現 疑問詞 (なんの・どうやって)	
	CDを聞いて、第7課の会話を暗唱できるようにする。	60
第2回	第7課練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第7課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第3回	第8課 会話 (～がありますか) 文法 動詞「有」 前置詞「在」 変化を表す「了」	
	CDを聞いて、第8課の会話を暗唱できるようにする。	60

第4回	第8課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第8課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第5回	第9課 会話 （～ができますか） 文法 助動詞「会・能」	
	CDを聞いて、第9課の会話を暗唱できるようにする。	60
第6回	第9課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第9課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第7回	第10課 会話 （～に行ったことがありますか） 文法 時刻 動作の回数 動詞の経験態	
	CDを聞いて、第10課の会話を暗唱できるようにする。	60
第8回	第10課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第10課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第9回	第11課 会話 （病院で） 文法 比較表現 行った動作について説明する	
	CDを聞いて、第11課の会話を暗唱できるようにする。	60

第10回	第11課 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	第11課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第11回	第12課 会話 (タクシーで) 文法 結果補語 (～から～まで) 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第12課の会話を暗唱できるようにする。第12課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第12回	第13課 会話 (クレームを言う) 文法 期日・曜日・番号 練習問題 補充単語・文型の練習 応用会話の聞き取り	
	CDを聞いて、第13課の会話を暗唱できるようにする。第13課の練習問題に出る単語や文型を暗記し、言えるようにする。	60
第13回	口頭試験	
	口頭試験のために第7課～13課のCDを聞き、暗記します。	60
第14回	筆記試験	
	筆記試験のために第7課～13課のCDを聞き、ピンインや漢字を暗記する。	60
第15回	総まとめ	
	総しあげ	60

授業の方法

3回で2課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。習得した会話を発表する。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。
より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 毎回行う小テスト40%
- (2) 口頭試験20%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠するさらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅡ、中国語基礎BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

1冊めの中国語会話クラス 白水社 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著

参考書

授業開始時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。
随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <446>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の命と言われる「四声」の感覚を徹底的に身につけると同時に基礎文法も身につけていきます。日本人教師による基礎Aと中国人教師による基礎Bのペアレッスンで行われます。基礎Aでは、発音と基本文法を学び、基礎Bでは、基礎Aで学んだことを運用し、コミュニケーション力を高めていきます。これまでの「受験英語」とは違う外国語学習を体験できるはずです。 なお、できれば、AⅠⅠ・BⅠⅠに加えて中国語会話Ⅰを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の習得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指し、下記の4点を到達目標とする： ① 中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につける。 ② 中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができる。 ③ 中国語の初級文法について理解することができる。 ④ 簡単な日常会話（挨拶、自己紹介など）ができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	1課-6課の復習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第7課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用会話練習と小テスト		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第7課 会話練習と小テスト		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第8課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第8課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	第9課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第9課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	中間テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第10課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課 会話練習と小テスト	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課 単語・本文の音読 基本表現の理解と運用	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第11課 会話練習と小テスト 総合復習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。 復習の実施。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

2回で1課を学ぶペースで授業を進めていきます。各課については、まず単語、文法について簡単に解説し（詳しい説明は日本人先生のクラスで行う）、会話文の音読練習を行い、テーマに即した簡単な会話やペアワーク、グループワークを行います。大きい声での音読が要求されます。また、毎回小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習・授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるため、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡ、中国語基礎 BⅠ、中国語会話Ⅰ

テキスト

『1冊めの中国語』 《会話クラス》 劉穎・喜多山幸子・松田かの子著 白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BⅡ <500>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701481350	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。後期では、基礎的な種々の文法事項について勉強していく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。			
到達目標			
前期に学んだ発音や文法を復習しながら、さらに複雑な文法事項を学んでいきます。例文を読み、反復を繰り返して、基礎文法の定着を目指すとともに、中国語検定試験3級合格を目指すべく、中国語での表現力の向上をはかります。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	前期の復習		
	前期の復習	60分	
第2回	教科書の第7課 ① 連動文 ② “什?”+名詞 ③完了の“了” ④疑問詞“怎?” ⑤時を表すことば		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分	
第3回	教科書の第8課 ①変化を表す“了” ②動詞“有”（存在） ③前置詞“在”		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分	

第4回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	教科書の第9課 ①助動詞“可以”“会”“能” ②動詞“喜?” ③前置詞“?”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第6回	教科書の第10課 ①時刻の言い方 ②経験を表す“?” ③動作の回数を表す言い方 ④方向補語	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	教科書の第11課 ①主述述語文 ②“有点儿” ③“是～的” ④比較の表現	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	教科書の第12課 ①結果補語 ②“从～到～” ③二つの目的語を持つ動詞 ④時間の長さの言い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	復習・練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	教科書の第13課 ①“是”の省略 ②使役動詞 “?” “叫” ③番号の言い方 ④曜日の言い方 ⑤“几”と“多少”	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	教科書の第14課 ①様態補語 ②動作の進行を表す言い方	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

前期同様、テキストに従って会話や文法事項を学び、新しい文法事項は練習問題や補足プリントで強化をはかります。このクラスは文法の解説に重きをおきますが、必ず発音をチェックします。また、単語や文法事項を説明したあと、学生に例文や本文を訳して貰ったり、作文をして貰ったりします。授業中に学生を直接指名しますので、積極的に参加して下さい。授業中に小テストを行う

成績評価の方法

きわめて出席を重要視します（2/3以上の出席率）、出席率20%、(1) 平常点30%（授業中単語テスト、音読テストなど）、(2) 口頭試験30%(3) 筆記試験40%。また学習意欲、期末試験の状況など総合的な判断によって成績をつけます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A I、中国語基礎A I I、中国語基礎B I I

テキスト

『1冊めの中国語』《会話クラス》 劉穎、喜多山幸子、松田かの子著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	韓国語基礎AⅡ <1>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001481420	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎BⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎AⅡ <2>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481420	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎BⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、復習		
	習った文法を復習する。	60分	
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎AⅡ <3>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481420	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎BⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎AⅡ <4>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481420	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎BⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎AⅡ <5>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001481420	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎BⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅡ <1>		
教員名	桔川 純子		
科目ナンバー	1001481450	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎AⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習		
	習った文法を復習する。		60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。		60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅡ <2>		
教員名	宋 美玲		
科目ナンバー	1001481450	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎AⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、復習		
	習った文法を復習する。	60分	
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅡ <3>		
教員名	桔川 純子		
科目ナンバー	1001481450	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎AⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅡ <4>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481450	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎AⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。 ② 韓国語で日常会話ができる。 ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、復習		
	習った文法を復習する。	60分	
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語基礎BⅡ <5>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481450	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は韓国語の基礎クラスであり、「韓国語基礎AⅡ」とリレーで行う授業である。基礎Ⅰで学んだ「書く・読む」と基本文法を定着させながら、より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現と文法を学習する。

到達目標

DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 基本的な文法と簡単な作文を習得し、韓国語の仕組みがより詳しく理解できる。
- ② 韓国語で日常会話ができる。
- ③ 韓国語の特有な表現が学び、その背景である文化や歴史が理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、復習	
	習った文法を復習する。	60分
第2回	2部第8課 졸업하면 뭐하고 싶습니까? 卒業したら何したいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第3回	2部第9課 가끔 중국 음식을 만듭니다. たまに中華料理を作ります。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第4回	2部第10課 한국에 가야 해요. 韓国に帰らなければなりません。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	2部第11課 감기에 걸려서 병원에 갔어요. 風邪をひいて病院に行きました。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	2部第12課 학교 정문 앞에서 만날까요? 学校の正門の前で会いましょうか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	2部第13課 생각보다 안 매워요. 思ったより辛くないですよ。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画の鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	2部第14課 컴퓨터를 쓸 수 있어요. パソコンが使えます。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	2部第15課 주말에 바빠요? 週末に忙しいですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	2部第16課 배달이 빨라서 편리해요. 配達が速くて便利です。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	2部第17課 한국의 가을 하늘은 어때요? 韓国の秋の空はどうですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	2部第18課 좋아하는 작가는 누구예요? 好きな作家は誰ですか。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	2部第19課 좋은 추억을 잘 기억하겠습니다. よい思い出を大切に記憶します。	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

基本文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 課題、授業への参加度 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語会話Ⅰ」

テキスト

学期のはじめに紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語基礎AIII <I>		
教員名	清水 威能子		
科目ナンバー	1001481030	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
ドイツ語の会話や読解に必要な文法の基礎固めを行い、ドイツ語の検定試験や留学の準備などに対応できるドイツ語の基礎力を養成します。文法の練習は、実用的な表現を中心に行い、ドイツの文化や社会についても紹介します。 検定試験の過去問などで基礎的な文法を復習・確認した後、ドイツ語基礎A I と A II で学んでいない（あるいは時間をかけて学ぶことができなかった）文法事項、例えば受動態、関係代名詞、分詞の用法、接続法などをゆっくりと学びます。それと共に、日常使われている単語や熟語を学び、語彙力の補強も行います。			

到達目標			
① ドイツ語の基礎を確実に身につける（ドイツ語技能検定試験4～3級程度の語学力）。 ② 身近にある物や日常の出来事を、ドイツ語で表現できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方、予習・復習の仕方などを説明する。		
	ドイツ語基礎Aで使ったテキストで、どこまで理解しているかを確認する。		60分
第2回	文法の復習1（動詞と助動詞） ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。		
	プリントの問題を予習する。		60分
第3回	文法の復習2（冠詞類） ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。		
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。		60分

第4回	文法の復習3（前置詞、代名詞） ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第5回	文法の復習4（形容詞の格変化、形容詞の名詞化） ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第6回	形容詞と副詞の比較表現 ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第7回	受動態の表現 ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第8回	関係代名詞、関係副詞の表現 ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第9回	再帰代名詞と再帰動詞の表現 ・文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分

第10回	非人称動詞、esの用法 ・ 文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第11回	zu不定詞と分詞の表現 ・ 文法を確認した後、練習問題やパートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第12回	接続法 ・ 接続法について説明した後、練習問題を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第13回	接続法の応用 ・ 日常使われる接続法の表現を学び、パートナー練習を行う。語彙を増やす。	
	前回の授業内容を復習し、次回のプリントの問題を予習する。	60分
第14回	到達度確認の期末試験、ドイツ語圏の文化 ・ 基礎的な文法の理解度を確認する筆記試験を行う。 ・ 映画を通してドイツ語圏の文化を学ぶ。	
	試験範囲を復習する。	120分
第15回	期末試験の解説、ドイツ語圏の社会 ・ 試験結果により、理解が定着していない箇所を解説する。 ・ 映画を通してドイツ語圏の社会を学ぶ。	
	試験で正答できなかった箇所を確認する。	60分

授業の方法

講義形式で文法事項や語彙などを説明した後、問題練習とパートナー練習を行います。

成績評価の方法

授業時の課題達成度などの積極的な姿勢（50%）、期末試験（50%）により総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また上記の到達目標に従い、その達成度により評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎AⅠ、AⅡを履修していることが望まれます。またドイツ語基礎BⅢやドイツ語会話を履修することも、ドイツ語の上達に効果的です。

テキスト

プリントを配布します。

参考書

文法書・参考書については、授業時に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後の教室で、あるいは随時、電子メールで受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎AIII <2>		
教員名	工藤 真一		
科目ナンバー	1001481030	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語の文法はきわめて合理的、論理的に組み立てられています。発音も例外が少なく規則的です。こうした文法上のいろいろな規則を合理的な順序に従って学びながら、ドイツの社会や現代生活のいろいろな側面にも触れられるような授業となるように計画しています。

大学で二つめの外国語を学ぶことは、言葉というものについての知識を一層幅広いものにするとのみならず、物事を複眼的に眺める批判的精神を培う上にも有益な刺激を与えてくれるはずです。

近年、「異文化理解」という言葉を耳にする機会が増えてきたように感じますが、その言葉の背景には、自国をも含む広範な文化現象全般に対する様々な視点が含まれていると思われます。この時間ではその意味からも、特に「日本におけるドイツ」、「ドイツにおける日本」という視点に立った授業も進めていきたいと考えています。

下記のテキストを使用しながら進めていきますが、テキストの他にも様々な教材（CD、DVD等）、資料等も折にふれ使用していく予定です。

また、担当者作成の、ドイツ語練習プリントを用意しています。必要に応じて配付、使用し、徹底した反復練習ができるように努めます。

授業内で、授業の後半部に、1970年以降、現在に至るまでのドイツのRock, Popsにも触れてみたいと思います。担当者作成の原曲の歌詞カード、日本語訳歌詞も配付します。

到達目標

ドイツという国と人びとのありようと、文化、福祉、環境、共生、現代家族のあり方、近・現代史の問題などを、ドイツだけではなく日本も含めて、ドイツというスクリーンに写して考えてみたいと思います。

テキストは基礎的な文法事項を確認・練習できるように、コンパクトな会話文で構成され、同時に、その文法知識を用いてさらなる表現力を養うことのできる内容を備えています。また、簡単な作文や、やさしい会話練習などにより、「生きたドイツ語」が身につくようにステップ・アップしていく内容も備えています。

安心して受講して下さい。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ドイツ語の挨拶	
	当日の授業で扱う章に目を通しておくこと 付属のCDを聞く	30
第2回	数詞について	
	当日の授業で扱う章に目を通しておくこと 付属のCDを聞く	60
第3回	Lektion 1 Ich heie Tanaka Makoto (1) タナカ マコトと申します 人称。動詞。	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60

第4回	Lektion 1 Ich heie Tanaka Makoto (2) タナカ マコトと申します 疑問詞	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第5回	Lektion 2 Was machst du? (1) 何をしているの? 名詞	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60
第6回	Lektion 2 Was machst du? (2) 何をしているの? 語順	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第7回	Lektion 3 Was kostet der Hut? (1) その帽子はいくらですか? 定冠詞	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60
第8回	Lektion 3 Was kostet der Hut? (2) その帽子はいくらですか? 名詞の複数形	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第9回	Lektion 4 Ich moechte eine Tasse Kaffee (1) コーヒーが一杯欲しい 不定冠詞	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60

第10回	Lektion 4 Ich moechte eine Tasse Kaffee (2) コーヒーが一杯欲しい 所有冠詞。否定冠詞。	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第11回	Lektion 5 Hier spricht Sabine (1) こちらはザビーネです 不規則な動詞の変化。	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60
第12回	Lektion 5 Hier spricht Sabine (2) こちらはザビーネです 疑問代名詞	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第13回	Was nimmst du? (1) 何を注文するの? 人称代名詞	
	当日の授業で扱う章の単語の意味を調べる 付属のCDを聞く	60
第14回	Lektion 6 Was nimmst du? (2) 何を注文するの? 非人称のes	
	この章に付属する練習問題 付属のCDを聞く	60
第15回	まとめ	
	今期の学習内容についてのまとめと、理解度を確認するためのテストに備えて、準備する。	60

授業の方法

- 1) 成績評価とも関連しますが、授業中の無自覚で迷惑な私語や目に余る遅刻などは、その対策を明確に示すつもりです。課題提出物についても、その内容をよく吟味するとともに、提出期限の厳守を求めます。
- 2) 辞書について一言。辞書携帯を毎時間の出席の最低条件とします。辞書は毎時間使用し、その使用法についても説明します。辞書チェックをすることもあるかもしれません。
- 3) また、授業中の携帯電話等の使用については、その都度授業が中断されるばかりか、その他の出席者の迷惑にもなりますので、その使用を固く禁止します。
授業中は、マナーモード。

成績評価の方法

まず、なによりも本人のやる気のあるなし。次に具体的には、授業時における各個人の発表を50%、定期試験を40%、レポート提出、小テスト等を10%の割合で評価し、これらの総合評価を最終評価とします。授業時の辞書携帯も評価に含む。前期、全授業時間数15回の中、13回以上の出席を定期試験の受験資格とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

原則として、一年次のドイツ語初級クラス修了者。

テキスト

教科書：ドイツ語インフォメーション neu 2
著者：秋田 静男、江口 陽子、他 著
出版社：朝日出版社 ISBN 978-4-255-25358-9

参考書

辞書、参考書など、詳しくは開講後、必要に応じて教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後、教室であらゆる質問にお答え致します。遠慮なく、いつでもどうぞ！

科目名	ドイツ語基礎BIII <1>		
教員名	天沼 春樹		
科目ナンバー	1001481060	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
ドイツ語BI・BIIを既修の学生対象に、ドイツ語の表現力と読解、ならびにヒアリング(初級から中級程度)の演習をおこなう。教材は、すべて講師作成のオリジナルプリントまたは冊子を教場で配布する。独和辞書は必携のこと。また、受講生の「現状を把握したのち、適切なグレードにてブラッシュアップ」していく。			
到達目標			
ドイツ語の表現力と読解、ならびにヒアリング(初級から中級程度)の向上。およびドイツ文化圏についての教養をふかめる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ドイツ語を学ぶということ。使える語学とは。 かんたんな読解力テスト。筆記。		
	自分のドイツ語能力の確認。	60分	
第2回	視聴覚教材によるヒアリング・ドイツ語文法の確認と中級の文法事項練習。まずは、短文の読解から(プリント)		
	配布教材(読解)の予習。初回に指示する	60分	
第3回	同上		
	配布教材(読解)の予習。	60分	

第4回	同上	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第5回	同上	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第6回	ドイツの映画を見る。(字幕付き)1 ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第7回	ドイツの映画を見る。(字幕付き)2 ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第8回	ドイツの映画を見る。(字幕付き)3 ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第9回	ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分

第10回	ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第11回	ドイツ語の短編小説を読む。(プリント)	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第12回	時事的現代文にとりくむ① ニュース記事などプリント配布。	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第13回	時事的現代文に取り組む② ニュース記事などプリント配布	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第14回	時事的現代文にとりくむ③ ニュース記事などプリント配布	
	配布教材(読解)の予習。	60分
第15回	筆記試験 詳細は授業時に説明する。	
	本学期の総復習	60分

授業の方法

読解練習/視聴覚教材による聞き取り練習を交互におこなう。

成績評価の方法

学期末の筆記試験。(平常学習の成果も評価する)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語Ⅰ、Ⅱを修了していること。

テキスト

開講時にプリント(または冊子として)配布する。

参考書

その都度、能力をみて指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	ドイツ語基礎BIII <2>		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1001481060	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この「ドイツ語基礎BIII」は、ドイツ語基礎BIIの継続のクラスで、初級読本・会話入門のためのクラスです。 この授業では、簡単な文章を読んだり、やさしい単語を使って簡単な会話の練習を行ったりしながら、少しずつドイツ語への理解を深めていきます。この授業を履修することによって、ドイツ語検定試験4級に合格するレベルに到達することが到達目標になりますので、そのために、随時検定試験4級3級の問題を教材として使う予定です。 またテキストの学習だけでなく、ドイツやドイツ語に関連する内容も随時提供していく予定です。学生のみさんの積極的な参加を望みます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・ドイツ語の発音や文章の読み方について理解できている。 ・基本的なドイツ語の表現をすることができる。 ・ドイツ語の基本的な文章の意味を理解することができる。 ・ドイツ語の検定試験4級に合格できるレベルに到達する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、ドイツ語の概要の説明）、アルファベット		
	次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分	
第2回	復習		
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分	
第3回	Lektion 1 挨拶・人と知り合う・紹介		
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分	

第4回	Lektion 2 時の表現・人を誘う・食べ物と飲み物	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第5回	Lektion 3 家族・所持品	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第6回	Lektion 4 買い物・値段・プレゼント	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第7回	検定試験問題演習（5級）	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第8回	Lektion 5 一日の予定・天候	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第9回	Lektion 6 過去の出来事	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分

第10回	Lektion 7 場所の表現	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第11回	Lektion 8 病気・計画	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第12回	Lektion 9 家事・閉店時間・レシピ	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。次回授業で扱う章に目を通し、単語の意味などを確認する。	60分
第13回	Lektion 10 別れ・非現実の仮定	
	前回の授業の内容を復習し、要点をノートに整理する。期末試験のための準備する。	60分
第14回	検定試験問題演習（4級）	
	期末テストの内容を再確認する。	60分
第15回	検定試験問題演習（3級）	
	期末テストの内容を再確認する。	60分

授業の方法

実際のドイツ語の文章に触れながら、文の理解、会話演習、文法説明、異文化の理解など総合的な能力の育成に努めます。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

開講時に担当者が説明します。成績評価は目安として、授業への参加・受講態度（60%）、小テスト・課題等実施状況（40%）によって総合的に評価し、試験は実施しません。ただし出席は単位取得の前提条件（最低で全授業数の2/3以上出席）となりますので、きちんと出席して積極的に授業参加することが求められます。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また上記に掲げた到達目標（発音の理解、人称変化・格変化、文法構造の理解、基本的な文章の理解）をどの程度達成できたかを評価の基準とします。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

ドイツ語基礎AIIIも履修することが望ましいです。またドイツ語会話を履修することもドイツ語の上達に重要です。

テキスト

教室にてプリント・教材を配布します。

参考書

独和辞書や文法書・参考書の選択については教室で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーは学内専用ホームページで周知します。

科目名	フランス語基礎AⅢⅠ		
教員名	松下 彩子		
科目ナンバー	1001481130	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
フランス語の文法構造の基礎をさらに展開する授業です。フランス語は、語彙においては英語との共通点が多いのですが、名詞系列での男性・女性の区別(文法上の性)や動詞系列での人称語尾変化の多様性など、英語とは異なる特徴ももっています。フランス語基礎AⅠ、AⅡの習得をうけたこの授業では、このような文法構造の特徴をより深く理解してフランス語の基本的な表現をさらに増やしつつ、読む能力を中心に学習する。文法内容としては、動詞の条件法や接続法、過去時制と未来時制のより多様な使用法などを中心にフランス語文法の基礎を展開させ、フランス語の発展科目への導入を目指します。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。フランス語の綴り字の読み方について理解できる。基本的な動詞の活用・時制や形容詞の変化などについて対応できる。フランス語検定の4級、3級レベルに合格する。			
D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。			
D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	授業計画は以下のとおりですが、受講者の状況を見て進めますので、多少の変更の可能性もあります。 Introduction テキスト解説、文法事項入門		
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分	
第2回	テキスト講読、書き取り、文法事項(複合過去、代名動詞)		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分	
第3回	テキスト講読、書き取り、文法事項(代名動詞の複合過去)		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分	

第4回	テキスト講読、書き取り、文法事項（半過去）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第5回	テキスト講読、書き取り、文法事項（大過去）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第6回	テキスト講読、書き取り、文法事項（関係代名詞）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第7回	テキスト講読、文法事項（命令形と補語人称代名詞）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第8回	テキスト講読、書き取り、文法事項（現在分詞、ジェロンディフ受動態）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第9回	テキスト講読、書き取り、文法事項（受動態）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分

第10回	テキスト講読、書き取り、文法事項（最上級）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第11回	テキスト講読、書き取り、文法事項（強調構文と中性代名詞）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第12回	テキスト講読、書き取り、文法事項（条件法）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第13回	テキスト講読、書き取り、文法事項（接続法）	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第14回	テキスト講読、書き取り、文法事項（間接話法と時制の一致）	
	期末テストの範囲を再度復習。	90分
第15回	Final Exam	
	期末テストの内容を再確認する。	90分

授業の方法

この授業は、いままでの習得した文法力をさらに伸ばすために、基礎文法の復習と中級文法から上の項目を重点的に学んでいきます。それと並行して毎回まとまりのあるテキストを読んでいきます。テキストは受講者のレベルを見ながら、毎回さまざまな分野のものをプリントして配布します。フランス語の発音を定着させるためにテキストの音読も取り入れます。毎回簡単な文章の書き取りをして、書くことにも慣れるようにします。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

異文化理解A、異文化理解B、 フランス語基礎AⅠ、AⅡ、BⅠ、BⅡ

テキスト

毎回プリント配布

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	フランス語基礎B III		
教員名	松下 彩子		
科目ナンバー	1001481160	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業では、日常生活でよく使われるフランス語の表現に慣れ、話す・聞くといった基礎的なフランス語のコミュニケーション能力をさらに深く習得します。フランス語基礎BⅠ、BⅡで学んだ必要な文法事項の理解も深めながら、それと同時に具体的な状況で想定される使用頻度の高い表現などを学習します。運用練習のためにフランス語を多く聞いて音に慣れ、積極的に発音してみる訓練に重点を置きながら、基礎的な会話能力をさらに発展させ、フランス語の発展科目への導入を目指す。

到達目標

D P 1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定の4級、3級レベルに合格する。

D P 3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

D P 5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業計画は以下のとおりですが、受講者の状況を見て進めますので、多少の変更の可能性もあります。 Introduction 聞き取り入門、会話(あいさつ、自己紹介)	
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第2回	聞き取り、会話(あいさつ)、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第3回	聞き取り、会話(自己紹介、国籍、出身を言う)、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分

第4回	聞き取り、会話（自己紹介、住んでいるところを言う自分が話せる言語を言う）文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第5回	聞き取り、会話（否定する、身近なものの名前を言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第6回	聞き取り、会話（職業を尋ねる、元気かどうか尋ねる、体の調子を言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第7回	聞き取り、会話（名前や職業、身分を尋ねる）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第8回	聞き取り、会話（時刻を言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第9回	聞き取り、会話（家族について言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分

第10回	聞き取り、会話（感想を言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第11回	聞き取り、会話（人や物を描写する）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第12回	聞き取り、会話（好き、嫌いを言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第13回	聞き取り、会話（過去のことを言う）、文法解説	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第14回	聞き取り、会話（過去のことを言うⅡ）、文法解説	
	期末テストの範囲を再度復習。	90分
第15回	Final Exam	
	期末テストの内容を再確認する。	90分

授業の方法

毎回聞き取り問題を行い、そのあと会話の練習をしていきます。会話をするためにも文法力が必要になりますので、随時文法構造を解説し、基礎文法の定着をはかります。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学習（予習・復習、授業外の課題）はフランス語学習において必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 30% 2) 小テストあるいは中間試験の成績30% 3) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（文法構造の理解、基本的文章の理解、発音の仕方の理解、活用や性・数による変化）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

異文化理解A、異文化理解B、フランス語基礎AⅠ、AⅡ、BⅠ、BⅡ

テキスト

毎回プリント配布

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	スペイン語基礎AIII <1>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1001481230	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。スペイン語を使えば、約4億人の話者を擁する世界のスペイン語圏にことばを通じてアプローチできます。せっかく1年間学んだスペイン語。その基礎を活かして、次の実践レベルに進みましょう。 本科目（および基礎BIII）は、2年前期の「スペイン語基礎AII・BII」の後継科目として、後期に開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、初級から中級へと学習を深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。 AIIIは文法中心、BIIIはコミュニケーション中心の授業です。AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII、BIIIに加えてスペイン語会話IIを並行学習してみてください。週3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・基礎A/AII・B/BIIで学んだ基礎文法を固める。 ・基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・西検4級（文法を一通り終了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス スペイン語基礎A/AIIで学んだ内容の復習(1) ※1年目の教科書を持ってくるください。	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。1年目に使った教科書を見直す。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。 1年目に使った教科書を見直す。	60分
第2回	スペイン語基礎A/AIIで学んだ内容の復習(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	スペイン語基礎A/AIIで学んだ内容の復習(3)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	直説法現在完了、点過去、線過去 -3つの時制のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	直説法現在完了 -現在完了の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	直説法点過去(1) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	直説法点過去(2) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法線過去(1) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法線過去(2) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	現在分詞、現在進行形 -英語の-ing形と使い方も似ています。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	関係詞の用法 -文の中にもう一つ文を埋め込んでみよう。こんなに複雑なことも言えるようになります。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	直説法未来と過去未来 -スペイン語の未来とは？過去（からみた）未来とは？	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	接続法現在と命令形のイントロダクション -相手に何かしてもらいたい、意見を伝えたい、etc. 日常会話に欠かせない表現。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

スペイン語基礎AIII（本科目）は文法中心、BIIIはコミュニケーション中心の授業です。
AIIIでは、AI・AIIの続きを、同じ教科書を使って学習します。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。
また、小テストや課題を随時実施します。
辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。
授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。
よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。
- ・基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。
- ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ・3年次科目への導入を目指す。
- ・西検4級（文法を一通り終了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：

スペイン語基礎AI、スペイン語基礎AII、スペイン語基礎BI、スペイン語基礎BII、スペイン語基礎BIII、スペイン語会話I、スペイン語会話II

テキスト

※1年目に使用した教科書を引き続き参照しますので、授業に持参してください。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎AIII <2>		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1001481230	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。スペイン語を使えば、約4億人の話者を擁する世界のスペイン語圏にことばを通じてアプローチできます。せっかく1年間学んだスペイン語。その基礎を活かして、次の実践レベルに進みましょう。 本科目（および基礎BIII）は、2年前期の「スペイン語基礎AII・BII」の後継科目として、後期に開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、初級から中級へと学習を深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。 AIIIは文法中心、BIIIはコミュニケーション中心の授業です。AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII、BIIIに加えてスペイン語会話IIを並行学習してみてください。週3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。 ・基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・西検4級（文法を一通り終了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス スペイン語基礎AI/AIIで学んだ内容の復習(1) ※1年目の教科書を持ってきてください。		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。1年目に使った教科書を見直す。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。 1年目に使った教科書を見直す。		60分
第2回	スペイン語基礎AI/AIIで学んだ内容の復習(2)		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	スペイン語基礎AI/AIIで学んだ内容の復習(3)		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	直説法現在完了、点過去、線過去 -3つの時制のイントロダクション	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	直説法現在完了 -現在完了の練習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	直説法点過去(1) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	直説法点過去(2) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	直説法線過去(1) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	直説法線過去(2) -過去に2種類。過去の出来事を点と線にとらえてみよう。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	現在分詞、現在進行形 -英語の-ing形と使い方も似ています。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	関係詞の用法 -文の中にもう一つ文を埋め込んでみよう。こんなに複雑なことも言えるようになります。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	直説法未来と過去未来 -スペイン語の未来とは？過去（からみた）未来とは？	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	接続法現在と命令形のイントロダクション -相手に何かしてもらいたい、意見を伝えたい、etc. 日常会話に欠かせない表現。	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	到達度確認テストの解説と総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

スペイン語基礎AIII（本科目）は文法中心、BIIIはコミュニケーション中心の授業です。
AIIIでは、AI・AIIの続きを、同じ教科書を使って学習します。
予習・復習を心がけ、分からないことは後回しにせず教員に質問してください。
また、小テストや課題を随時実施します。
辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。
授業を中心に据えて、予習・復習しながら継続的に学ぶことが大切です。
よって平常点を重視します。（出席については初回の授業で担当教員から説明がありますので、必ず参加してください。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。
- ・基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。
- ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ・3年次科目への導入を目指す。
- ・西検4級（文法を一通り終了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：

スペイン語基礎AⅠ、スペイン語基礎AⅡ、スペイン語基礎BⅠ、スペイン語基礎BⅡ、スペイン語基礎BⅢ、スペイン語会話Ⅰ、スペイン語会話Ⅱ

テキスト

※1年目に使用した教科書を引き続き参照しますので、授業に持参してください。

参考書

辞書などについては授業内で指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語基礎BIII <1>		
教員名	小川 かなえ		
科目ナンバー	1001481260	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。スペイン語を話せば、約4億人の話者を擁する世界のスペイン語圏に言語を通じてアプローチできます。せっかく1年間学んだスペイン語。その基礎を活かして、次の実践レベルに進みましょう。 本科目（および基礎AIII）は、2年前期の「スペイン語基礎AII・BII」の後継科目として、後期に開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、初級から中級へと学習を深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AIIIは文法中心、BIII（本科目）はコミュニケーション中心の授業です。AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII、BIIIに加えてスペイン語会話IIを並行学習してみてください。週3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・基礎A/AII・B/BIIで学んだ基礎文法を固める。 ・学んだ文法をベースにして、様々な場面でのコミュニケーションに応用する。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・西検4級（文法を一通り修了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業オリエンテーション レベルの確認 学生による自己紹介 ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60
第2回	スペイン語基礎の復習（1） ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60
第3回	スペイン語基礎の復習（2） ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60

第4回	日常生活の様々な活動（１） 過去分詞、現在完了の用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第5回	日常生活の様々な活動（２） 過去分詞、現在完了を用いて会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第6回	過去の出来事を述べる（１） 点過去の活用と用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第7回	過去の出来事を述べる（２） 点過去を用いて日記の書き方などを練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第8回	過去の出来事を述べる（３） 線過去の活用と用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第9回	過去の出来事を述べる（４） 思い出を語る、昔話を書く練習などをする	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60

第10回	現在分詞、現在進行形の用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第11回	未来について話す（1） 未来と過去未来の活用と用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第12回	未来について話す（2） 未来と過去未来の活用と用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第13回	意見を述べる、相手に何かを頼む 接続法現在と命令形のイントロダクション 初歩的な表現を使って会話練習する	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】到達度確認テストの準備をする。	120
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60
第15回	テストの返却と解説、および総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60

授業の方法

スペイン語基礎BIII（本科目）はコミュニケーション中心の授業です（スペイン語基礎AIIIは文法中心）。BIIIでは、BI・BIIで学んだ内容を復習しながら、未習文法を身に付けつつ、会話、作文等でコミュニケーション力を伸ばします。1年目の教科書を参照しますので、少なくとも最初の3回は授業に持ってきてください（そのあとは教員の指示に従うこと）。新しい教科書は特に指定しません。必要な資料は教員が配布します。辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とします。

- ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。
- ・学んだ文法をベースにして、様々な場面でのコミュニケーションに応用する。
- ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ・3年次科目への導入を目指す。
- ・西検4級（文法を一通り修了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）

必要な予備知識／先修科目／関連科目

スペイン語基礎AI、スペイン語基礎AII、スペイン語基礎BI、スペイン語基礎BII、スペイン語基礎AIII、スペイン語会話I、スペイン語会話II

テキスト

※1年目に使用した教科書を引き続き参照しますので、授業に持参してください。

参考書

授業内で適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	スペイン語基礎BIII <2>		
教員名	ドメネク マリア		
科目ナンバー	1001481260	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペイン語はスペインでのみ話されている言語ではありません。スペイン語を学ぶということは、スペインを含め20を超える国や地域の文化的・歴史的背景をかいま見ることです。スペイン語を話せば、約4億人の話者を擁する世界のスペイン語圏に言語を通じてアプローチできます。せっかく1年間学んだスペイン語。その基礎を活かして、次の実践レベルに進みましょう。 本科目（および基礎AIII）は、2年前期の「スペイン語基礎AII・BII」の後継科目として、後期に開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、初級から中級へと学習を深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AIIIは文法中心、BIII（本科目）はコミュニケーション中心の授業です。AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII、BIIIに加えてスペイン語会話IIを並行学習してみてください。週3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。 ・学んだ文法をベースにして、様々な場面でのコミュニケーションに応用する。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・西検4級（文法を一通り修了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	授業オリエンテーション レベルの確認 学生による自己紹介 ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60	
第2回	スペイン語基礎の復習（1） ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60	
第3回	スペイン語基礎の復習（2） ※1年目に使った教科書を持ってきてください		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60	

第4回	日常生活の様々な活動（１） 過去分詞、現在完了の用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第5回	日常生活の様々な活動（２） 過去分詞、現在完了を用いて会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第6回	過去の出来事を述べる（１） 点過去の活用と用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第7回	過去の出来事を述べる（２） 点過去を用いて日記の書き方などを練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第8回	過去の出来事を述べる（３） 線過去の活用と用法を理解する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第9回	過去の出来事を述べる（４） 思い出を語る、昔話を書く練習などをする	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60

第10回	現在分詞、現在進行形の用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第11回	未来について話す（1） 未来と過去未来の活用と用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第12回	未来について話す（2） 未来と過去未来の活用と用法を理解し、会話練習する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う部分に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60
第13回	意見を述べる、相手に何かを頼む 接続法現在と命令形のイントロダクション 初歩的な表現を使って会話練習する	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】到達度確認テストの準備をする。	120
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60
第15回	テストの返却と解説、および総まとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60

授業の方法

スペイン語基礎BIII（本科目）はコミュニケーション中心の授業です（スペイン語基礎AIIIは文法中心）。BIIIでは、BI・BIIで学んだ内容を復習しながら、未習文法を身に付けつつ、会話、作文等でコミュニケーション力を伸ばします。1年目の教科書を参照しますので、少なくとも最初の3回は授業に持ってきてください（そのあとは教員の指示に従うこと）。新しい教科書は特に指定しません。必要な資料は教員が配布します。辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）40%、試験60%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とします。

- ・基礎AI/AII・BI/BIIで学んだ基礎文法を固める。
- ・学んだ文法をベースにして、様々な場面でのコミュニケーションに応用する。
- ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ・3年次科目への導入を目指す。
- ・西検4級（文法を一通り修了）手前までのレベルに到達する。（西検5級程度）

必要な予備知識／先修科目／関連科目

スペイン語基礎AI、スペイン語基礎AII、スペイン語基礎BI、スペイン語基礎BII、スペイン語基礎AIII、スペイン語会話I、スペイン語会話II

テキスト

※1年目に使用した教科書を引き続き参照しますので、授業に持参してください。

参考書

授業内で適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎AⅢⅢ <1>		
教員名	中桐 典子		
科目ナンバー	1001481330	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
基礎AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡで学んだ四声、ピンイン、基礎文法を復習しつつ、初級段階の学習をさらに深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AⅢⅢは日本人教師による文法中心の授業、BⅢⅢは中国人教師によるコミュニケーション中心の授業です。 AⅢⅢとBⅢⅢはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AⅢⅢ・BⅢⅢに加えて中国語会話Ⅱを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。			
・基礎AⅠ、AⅡの習得を受けて、文法構造の基礎的理解をさらに展開する。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・文法構造の特徴をより深く理解して、読む能力も養成する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・「中国語検定試験」4級以上の合格を目指す。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス 中国語基礎AⅠ・基礎AⅡの復習		
	AⅠ・AⅡで学んだ文法事項を復習。既習語の意味を確認。	60分	
第2回	第93回中国語検定試験4級 過去問題		
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分	
第3回	第92回中国語検定試験4級 過去問題		
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分	

第4回	第91回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分
第5回	第90回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分
第6回	第2回から第5回までの復習	
	第2回から第5回までを復習しておく。	60分
第7回	第89回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分
第8回	第88回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分
第9回	第87回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分

第10回	第86回中国語検定試験4級 過去問題	
	指示された文法問題を解いておく。未知語の意味を確認。	60分
第11回	第7回から第10回までの復習	
	第7回から第10回までの復習をしておく。	60分
第12回	和文中訳の総まとめ	
	指示された和文中訳の問題を解いておく。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施。	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ。	60分

授業の方法

1年次後期、2年次前期で学んだ文法項目を復習しつつ、未習の文法を学んでいく。中国語検定試験4級の過去問題の中から空所補充・語順整序・和文中訳の問題を抜き出し、解いていく。その過程で、なぜそのような答えになるのかを文法的に解説する。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗状況によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は中国語学習において必要不可欠な要素なので、授業外での学習にも積極的に取り組んで頂きたい。

成績評価の方法

- (1) 平常点15%
- (2) 口頭試験25%
- (3) 筆記試験60%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡⅠ、中国語基礎BⅢⅠⅠ、中国語会話Ⅰ、中国語会話ⅡⅠ

テキスト

プリント配布。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語基礎A III <2>		
教員名	島田 亜実		
科目ナンバー	1001481330	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
基礎AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡで学んだ四声、ピンイン、基礎文法を復習しつつ、初級段階の学習をさらに深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AIIIは日本人教師による文法中心の授業、BIIIは中国人教師によるコミュニケーション中心の授業です。 AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII・BIIIに加えて中国語会話Ⅱを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・基礎AⅠ、AⅡの習得を受けて、文法構造の基礎的理解をさらに展開する。 ・語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。 ・文法構造の特徴をより深く理解して、読む能力も養成する。 ・3年次科目への導入を目指す。 ・「中国語検定試験」4級以上の合格を目指す。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	発音・第1～2課 【復習】 動詞述語文・形容詞述語文・各種疑問文 ほか		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを利用し、習った発音を復習する。		60分
第2回	第3～5課 【復習】 数量・「いくつ」の尋ね方・”有”と”在” ほか		
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		60分
第3回	第3～5課 【復習】 数量・「いくつ」の尋ね方・”有”と”在” ほか		
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。		60分

第4回	第6～8課 【復習】連動文・2つの”了” 二重目的語 ほか	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第5回	第6～8課 【復習】連動文・2つの”了” 二重目的語 ほか	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第6回	第9～11課 【復習】 possibleの助動詞・経験を表す助詞 様態補語・結果補語 ほか	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第7回	第9～11課 【復習】 possibleの助動詞・経験を表す助詞 様態補語・結果補語 ほか	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第8回	第12～13課 【復習】 方向補語 “把”構文 ほか	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第9回	第13～14課 方向補語の派生用法・可能補語(1)・受け身	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分

第10回	第14～15課 方向補語の派生用法・可能補語（１）・受け身 可能補語（２）・存現文・反語文	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第11回	第15～16課 可能補語（２）・存現文・反語文 疑問詞の不定用法・疑問詞の呼応用法・強調構文（２）	
	付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。	60分
第12回	第16課・まとめ	
	・ 付属CDを利用し発音練習する。 語句リストへの記入やドリルの解答など、予復習に努める。 ・ まとめプリントの解答	60分
第13回	口頭試験 まとめ	
	・ 口頭試験の準備 ・ まとめプリントの解答	60分
第14回	筆記試験	
	・ 筆記試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	・ 最終仕上げ	60分

授業の方法

- ・テキストは初級向けですが基礎Ⅰの共通テキストよりも単語数や文法項目が多いものを使用します。前半の既習項目についてはスピードをあげて復習しながら進め、後半の未習の項目については丁寧に進める予定です。基礎をしっかりと固めることで検定4級の合格をより確実なものにし、中級への橋渡しとします。
- ・進度に応じて各課または数課ごとに小テストを行います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接紹介しますが、クラス状況に応じ復習に重点を置くなど、内容を一部変更する場合があります。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は語学習得のための必要不可欠な要素です。授業外での学習にも積極的に取り組んでください。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（小テスト・授業参画）
- (2) 朗読テスト30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は、欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡⅠ、中国語基礎BⅢⅠⅠ、中国語会話Ⅰ、中国語会話ⅡⅠ

テキスト

『しっかり初級中国語』 石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語基礎BIII <I>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1001481360	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
基礎AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡで学んだ四声、ピンイン、基礎文法を復習しつつ、初級段階の学習をさらに深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AIIIは日本人教師による文法中心の授業、BIIIは中国人教師によるコミュニケーション中心の授業です。 AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII・BIIIに加えて中国語会話Ⅱを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。			
到達目標			
DP3（他者との協働）を実現するために、次の6点を到達目標とする。 ・基礎BⅠ、Ⅱの学習を受けて、基本的な表現を聞いて理解できる。 ・使用頻度の高い基本的表現の発音に習熟する。 ・会話の文化的背景なども踏まえた特有の表現方法が理解できる。 ・自己表現から対話へと展開するための中国語能力を習得する。 ・「中国語検定試験」の4級合格を目指す。 ・中国人観光客と簡単な会話ができるようになる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、発音の復習、第1課の予習		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。教科書を購入しておくこと。		60分
第2回	発音の復習 第1課 中国の方ですか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表		
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。		60分
第3回	第2課 あなたの家はどこにありますか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表		
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。		60分

第4回	第3課 今日はどこに行きますか 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第5回	第3課、第4課 娘は切符を買う必要がありますか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第6回	第4課 娘は切符を買う必要がありますか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第7回	第5課 お手伝いしましょうか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	Web教材で練習問題Ⅰ、Ⅱについて予習する。問題Ⅰを音読し、問題Ⅱを解いておく。次回の単語テストの準備。	60分
第8回	第5課、第6課 ちょっと見てもいいですか 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第9回	第6課 ちょっと見てもいいですか 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分

第10回	第7課 旅行に来たのですか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第11回	第8課 もちろん登ってみたいです 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第12回	第9課 路に迷いましたか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。単語テスト、書取テストに備えておくこと。	60分
第13回	口頭試験	
	教科書の付属CDを繰り返し聞き、新出単語、本文を覚えておくこと。	60分
第14回	筆記試験	
	文法事項について万遍なく復習すること。	60分
第15回	解説	
	教科書付属CDで各課の本文について音読練習を繰り返すこと。	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。赤ちゃんが母語を習得する際の過程と似ています。1コマ授業のうち、履修者が中国語を聞き、話す時間は3/4の程度で、日本語解説を聞く時間は1/4程度です。

毎回の授業の冒頭に単語テストを行い、その後中国語による文法項目の導入、文型練習、文法解説、ヒヤリング、書き取りテスト、寸劇を行っていきます。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中単語テスト、書取テストなど）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

4回欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅠⅠ、中国語基礎AⅠⅠⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅠⅠ、中国語会話Ⅰ、中国語会話ⅠⅠ

テキスト

『中国語のおもてなし 入門編』本間由香利、蘇紅著（郁文堂）

参考書

授業時に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語基礎BIII <2>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1001481360	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
基礎AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡで学んだ四声、ピンイン、基礎文法を復習しつつ、初級段階の学習をさらに深めていきます。留学、語学検定や3年次以降の継続学習を目指す方におすすめです。AIIIは日本人教師による文法中心の授業、BIIIは中国人教師によるコミュニケーション中心の授業です。 AIIIとBIIIはセットで履修することが望ましいですが、片方だけ選ぶこともできます。 なお、できれば、AIII・BIIIに加えて中国語会話Ⅱを並行学習してみてください。週3回、教師の下で中国語に触れることにより、基礎段階の学習をより効率的、効果的に進めることができます。 この授業は、今期使うテキストによって、日本で中国人をもてなす会話を中心に学習する。			
到達目標			
・基礎BⅠ、Ⅱの学習を受けて、基本的な表現を聞いて理解できる。 ・使用頻度の高い基本的表現の発音に習熟する。 ・会話の文化的背景なども踏まえた特有の表現方法が理解できる。 ・自己表現から対話へと展開するための中国語能力を習得している。 ・「中国語検定試験」の4級合格を目指す。 ・中国人観光客とふれあいのときに使う会話を話せるようにする。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	発音の復習 第1課 中国の方ですか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表		
	シラバスを読み、授業の進め方、評価基準等について確認する。 教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第2回	第2課 あなたの家はどこにありますか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分
第3回	第3課 今日はどこに行きますか 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表		
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。		60分

第4回	第4課 娘は切符を買う必要がありますか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第5回	第5課 お手伝いしましょうか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を1読み暗唱できるようにする。	60分
第6回	第6課 ちょっと見てもいいですか 会話の聞き取り練習 発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第7回	第7課 旅行に来たのですか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第8回	第8課 もちろん登ってみたいです 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第9回	第9課 路に迷いましたか？ 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分

第10回	第10課 まず券売機で食券を買います 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第11回	第11課 ビールを一本注文しました 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。次回の授業で扱う課に目を通し、未知語の意味を確認。	60分
第12回	第12課 中国語がお上手ですね 会話本文 練習問題 会話本文の音読や暗唱の発表	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読し暗唱できるようにする。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

単語、基本文型、スキット、置き換えなどいくつかのパターンを用いて授業を進めます。またロールプレイ、寸劇などにより、気軽に、楽しくコミュニケーション能力を身につけていきます

成績評価の方法

- 1) 平常点40% (授業中小テスト、会話発表など)
- (2) 口頭試験20%
- (3) 筆記試験40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに上記に掲げた到達目標（声調感覚の習得、ピンインの識別、初級文法の習得）がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ、中国語基礎AⅡⅠ、中国語基礎AⅡⅡⅠ、中国語基礎BⅠ、中国語基礎BⅡⅠ、中国語会話Ⅰ、中国語会話ⅡⅠ

テキスト

中国語のおもてなし 入門編 本間由香利 蘇紅 著 郁文堂

参考書

授業中に適時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。/ 随時、電子メールで受け付けます。

科目名	韓国語基礎AⅢⅢ <1>		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001481430	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語の基礎を終えた学生と同等なレベルの学生を対象にする授業である。この授業のみ受講するのも可能だが、「韓国語基礎BⅢ」とセット受講することを勧める。基礎で学んだ文法を復習しながら、新たな文法を学ぶ。より自然な表現を身につけるために繰り返し練習し、新しく習った単語を用いて日常的な表現を作文しながら学習する。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 中級レベルの語学力を身につけ、韓国語でコミュニケーションができる。 ② 言葉の背景にある意味を理解し、異文化に対する理解ができる。 ③ 異文化理解を通じて、自分を客観化し他者を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、復習		
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分	
第2回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分	
第3回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分	

第4回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第5回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第6回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第7回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画鑑賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分

第10回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第11回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第12回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第13回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第14回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

文法に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的に取り組みが必要である。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど 30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ・Ⅱ」と「韓国語基礎BⅠ・Ⅱ・Ⅲ」
「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」

テキスト

授業中に紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知する。

科目名	韓国語基礎 A III <2>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481430	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、1年程度の韓国語学習を終えた学生を対象にします。韓国語は日本語と語順が似ているだけでなく、共通の「漢字語」も多いため、日本語が話せる人にとっては大変勉強しやすい外国語であるといえます。地道な努力を重ねれば、数年後には新聞記事を読んだり、簡単な日常会話をしたり、韓国映画やK-Popを楽しんだり、等々、出来るようになるはずです。

到達目標

- 1) 「文字」と「発音」を完璧に覚える。
- 2) 授業中に一定の単語を暗記する。
- 3) 簡単な日常会話ができるようにする。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス	
	・なし	60分
第2回	「文字」と「発音」の復習Ⅰ	
	・関連事項の暗記	60分
第3回	「文字」と「発音」の復習Ⅱ	
	・関連事項の暗記	60分

第4回	(表現1) -(으)세요? お～ですか。(尊敬)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第5回	(表現2) -(으)려고 해요. ～しようと思います(意図)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第6回	(表現3) -(으)면, ～たら(仮定、条件)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第7回	(表現4) -(아/어)도 돼요. ～してもいいです。(許可)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第8回	(表現5) -기로 했어요. ～することにしました。(決心)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第9回	中間テスト	
	・総復習	120分

第10回	(表現6) -(아/어) 봤어요. ~してみました。(経験)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第11回	(表現7) -(아/어) 주세요. ~してください。(依頼)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第12回	(表現8) -(으)니까, ~だから(理由)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第13回	(表現9) -네요. ~ですね(感嘆)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第14回	(表現10) -(으)ㄴ 때, ~する時(場合・時間)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第15回	期末テスト	
	・総復習	120分

授業の方法

基本的に、授業はテキストを中心に進めます。言語能力とは読むこと、話すこと、聞くこと、書くことの四つのバランスによって決められるものです。そのため、本授業では、テキストだけでなく多様な副教材を用い、韓国語能力の総合的な向上を目指します。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加30%
- 2) 中間テスト35%
- 3) 期末テスト35%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」、「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎AⅡ」、「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語基礎BⅢ」
「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」
「異文化理解B（韓国語圏）」

テキスト

授業ガイダンスのとき、紹介します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語基礎BIII <1>		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001481460	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、1年程度の韓国語学習を終えた学生を対象にします。韓国語は日本語と語順が似ているだけでなく、共通の「漢字語」も多いため、日本語が話せる人にとっては大変勉強しやすい外国語であるといえます。地道な努力を重ねれば、数年後には新聞記事を読んだり、簡単な日常会話をしたり、韓国映画やK-Popを楽しんだり、等々、出来るようになるはずです。

到達目標

- 1) 「文字」と「発音」を完璧に覚える。
- 2) 授業中に一定の単語を暗記する。
- 3) 簡単な日常会話ができるようにする。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス	
	・なし	60分
第2回	「文字」と「発音」の復習Ⅰ	
	・関連事項の暗記	60分
第3回	「文字」と「発音」の復習Ⅱ	
	・関連事項の暗記	60分

第4回	(表現1) -(으)ㄴ 거예요. ~するつもりです。(意志)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第5回	(表現2) -(아/어)야 해요. ~しなければなりません(義務)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第6回	(表現3) -지 마세요. ~ないでください。(禁止)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第7回	(表現4) -(아/어)서, ~て、~ので、(理由)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第8回	(表現5) -고 싶어요. ~したいです。(希望)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第9回	中間テスト	
	・総復習	120分

第10回	(表現6) -(아/어) 보세요. ~してみてください。(勧誘)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第11回	(表現7) -(으)ㄴ 수 있어요. ~することができます。(可能)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第12回	(表現8) -을/ㄴ 것 같아요. ~そうです。(推測)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第13回	(表現9) -(으)면서, . ~しながら(同時)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第14回	(表現10) -(아/어) 지다, ~くなる(状態の変化)	
	・単語の暗記 ・表現文作成の練習をする	60分
第15回	期末テスト	
	・総復習	120分

授業の方法

基本的に、授業はテキストを中心に進めます。言語能力とは読むこと、話すこと、聞くこと、書くことの四つのバランスによって決められるものです。そのため、本授業では、テキストだけでなく多様な副教材を用い、韓国語能力の総合的な向上を目指します。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加30%
- 2) 中間テスト35%
- 3) 期末テスト35%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」、「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎AⅡ」、「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語基礎AⅢ」
「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」
「異文化理解B（韓国語圏）」

テキスト

授業ガイダンスのとき、紹介します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語基礎BIII <2>		
教員名	桔川 純子		
科目ナンバー	1001481460	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は、韓国語の基礎を終えた学生と同等のレベルの学生を対象とした授業です。基礎で学んだ文法を復習しながら、新たな文法を学んでいきます。また、K-POPや映画、ドラマなどの映像を見て、韓国社会の雰囲気を感じながら、実践的な表現を学び練習します。韓国語のレベルアップを目指すために、ほかの授業も並行して受講することをお勧めします。

到達目標

- 1) 中級レベルの文法が理解できる。
- 2) 日常会話ができる。
- 3) メールを書く。
- 4) 韓国語の特有な表現を読解でき、その背景を理解すること。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 第1課 何年度入学ですか 丁寧形の表現を学ぶ。	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第2回	第2課 韓国語を一生懸命勉強するつもりです 「～するつもりです」「～で」「～ですね」という表現を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第3回	第3課 いま、あの靴、ちょっと見せてください 「～だが」という表現、「形容詞の現在連体形」を学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分

第4回	第4課 よく行く韓国料理の店があれば紹介してください 「假定形」「否定形」「動詞現在連体形」を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第5回	第5課 一緒に撮った写真を添付しました 「動詞の過去連体形」「変速用言」「～ですね」という表現を学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第6回	第6課 発表の時間に遅れてすみません 「尊敬形」「連用形」「不可能形」を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第7回	第7課 暑い夏にサムゲタンを食べます 「～したことがある」「～している」という表現、不規則活用を学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第8回	第8課 「重くないので一人でしますよ」 「～ている」「～から」という表現、語尾の表現を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	120分
第9回	第9課 パソコンちょっと借りてもいいですか 「～だが」「～ても」という表現、不規則活用を学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分

第10回	第10課 リムジンパスのほうがいいでしょうね 「～するつもり」「～しなければならない」という表現、語尾を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第11回	第11課 陶磁器も作ってみましたか 「～しましょうか」「～してみる」「～できる」という表現を学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第12回	第12課 韓国の会社に就職しようと思っています 「～みたいだ」「～しようと思う」「～してはいけない」という表現を学ぶ OK-POPの歌詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第13回	○これまでに学んだ表現の復習 OK-popの歌詞、ドラマの台詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第14回	○これまでに学んだ表現の復習 ○OK-popの歌詞、ドラマの台詞から学ぶ	
	①習った文法を復習する。 ②次回授業で扱う章に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法

新たな文法を学びながら、日常的に頻繁に使う表現を作文し、ペアーで練習したり、多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにします。また、副教材として映像や音楽を積極的に用います。

より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示しますが、授業の進捗状況、また受講者の学習状況によっては、内容を一部変更する場合があります。小テストなども頻繁に行いますので、準備学修（予習・復習、授業外の課題）が必要になります。授業外での学習にも積極的に取り組んで下さい。

成績評価の方法

- 1) 授業への積極的な参加 30%
- 2) 小テスト、中間テストなど 30%
- 3) 期末テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」と「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎AⅡ」と「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語基礎AⅢ」
「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」

テキスト

李潤玉他『改訂版 韓国語の世界へ（初中級編）』朝日出版社、2015年、2,020円＋税

※テキストは、受講者の学習状況によって変更する場合があります。第1回目の授業のときに指示します。

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	ドイツ語演習言語と文化 I		
教員名	清水 威能子		
科目ナンバー	1201485010	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

ドイツ語の総合的な運用力を身につけるために、読解、作文、会話、リスニングの練習を行いながら、ドイツ語圏の文化、歴史、社会も学びます。

日本とドイツの文化や習慣の違いをテーマとしたテキストを読み、その内容を応用して、自分の言いたいことを表現する練習、語彙力の補強、ドイツの日常生活について聴き取る練習を行います。さらに、映画やドキュメンタリー映像を通してドイツ語圏の文化や社会を紹介し、希望者がいれば、短期・長期留学や検定試験の準備も行います。

到達目標

- ① 多様なドイツ語の文章を、辞書を用いて理解することができる。
- ② 日常生活において、ドイツ語で自己表現ができる。
- ③ ドイツ語圏の文化や社会について知識を深め、説明できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方、予習・復習の仕方などを説明する。	
	ドイツ語の基礎文法を確認する。この授業で学びたいこと、要望を考える。	30分
第2回	初対面での中級会話 ・初対面での表現を確認する。 ・ドイツ語の語順の原則を復習する。	
	プリントの問題を予習する。	60分
第3回	ドイツの空港にて ・関係代名詞の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次の文章の内容を把握する。	60分

第4回	前回のテキストの応用 ・ 関係代名詞を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第5回	検定試験の過去問を用いた読解練習 ・ 受講生に適切なレベルの過去問を扱い、解答と解説を行う。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第6回	ツーリスト・インフォメーションにて ・ 助動詞の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第7回	前回のテキストの応用 ・ 助動詞を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第8回	ホテルにて ・ 指示代名詞の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第9回	前回のテキストの応用 ・ 指示代名詞を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分

第10回	検定試験の模擬問題を用いた読解練習 ・受講生に適切なレベルの模擬問題を扱い、解答と解説を行う。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第11回	レストランで ・分詞の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第12回	前回のテキストの応用 ・分詞を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第13回	鉄道でのドイツ国内旅行 ・テキストで読解練習とリスニングを行う。 ・鉄道旅行での表現を学ぶ。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第14回	到達度確認の期末試験、ドイツ語圏の文化 ・読解力を確認する筆記試験を行う。 ・映画を通してドイツ語圏の文化を学ぶ。	
	試験範囲を復習する。	120分
第15回	期末試験の解説、ドイツ語圏の社会 ・試験結果により、理解が定着していない箇所を解説する。 ・映画を通してドイツ語圏の社会を学ぶ。	
	試験で正答できなかった箇所を確認する。	60分

授業の方法

講義形式でテキストの背景や語彙などを説明した後、受講生に分担してテキスト内容などを発表してもらいます。さらに受講生でパートナーを組み、会話練習も行います。

成績評価の方法

授業時の課題達成度などの積極的な姿勢（50%）、期末試験（50%）により総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また上記の到達目標に従い、その達成度により評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

1年程度のドイツ語の学習歴。

テキスト

プリントを配布します。

参考書

文法書・参考書については、授業時に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後の教室で、あるいは随時、電子メールで受け付けます。

科目名	ドイツ語演習言語と文化II		
教員名	清水 威能子		
科目ナンバー	1201485020	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ドイツ語の総合的な運用力を身につけるために、読解、作文、会話、リスニングの練習を行いながら、ドイツ語圏の文化、歴史、社会も学びます。

日本とドイツの文化や習慣の違いをテーマとしたテキストを読み、その内容を応用して、自分の言いたいことを表現する練習、語彙力の補強、ドイツの日常生活について聴き取る練習を行います。さらに、映画やドキュメンタリー映像を通してドイツ語圏の文化や社会を紹介し、希望者がいれば、短期・長期留学や検定試験の準備も行います。

到達目標

- ① 多様なドイツ語の文章を、辞書を用いて理解することができる。
- ② 様々な場面において、ドイツ語で自己表現ができる。
- ③ ドイツ語圏の文化や社会について知識を深め、説明できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方、予習・復習の仕方などを説明する。	
	ドイツ語の基礎文法を確認する。この授業で学びたいこと、要望を考える。	30分
第2回	買い物 ・序数の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第3回	前回のテキストの応用 ・序数を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分

第4回	アパート探し ・ 従属接続詞と複文の復習、読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第5回	前回のテキストの応用 ・ 従属接続詞と複文を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第6回	検定試験の過去問を用いた読解練習 ・ 受講生に適切なレベルの過去問を扱い、解答と解説を行う。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第7回	ハイキング ・ 受動態の復習と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第8回	前回のテキストの応用 ・ 受動態を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第9回	招待 ・ 接続法Ⅱ式の文法説明と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分

第10回	前回のテキストの応用 ・接続法Ⅱ式を用いた会話、作文、リスニングの練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の問題を予習する。	60分
第11回	病院にて ・接続法Ⅰ式の文法説明と読解練習	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第12回	検定試験の模擬問題を用いた読解練習 ・受講生に適切なレベルの模擬問題を扱い、解答と解説を行う。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第13回	ドイツの発明品 ・テキストで読解練習とリスニングを行う。 ・車やMP3などのドイツの歴史的発明について学ぶ。	
	前回の授業内容を復習し、次回の文章の内容を把握する。	60分
第14回	到達度確認の期末試験、ドイツ語圏の文化 ・読解力を確認する筆記試験を行う。 ・映画を通してドイツ語圏の文化を学ぶ。	
	試験範囲を復習する。	120分
第15回	期末試験の解説、ドイツ語圏の社会 ・試験結果により、理解が定着していない箇所を解説する。 ・映画を通してドイツ語圏の社会を学ぶ。	
	試験で正答できなかった箇所を確認する。	60分

授業の方法

講義形式でテキストの背景や語彙などを説明した後、受講生に分担してテキスト内容などを発表してもらいます。さらに受講生でパートナーを組み、会話練習も行います。

成績評価の方法

授業時の課題達成度などの積極的な姿勢（50%）、期末試験（50%）により総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また上記の到達目標に従い、その達成度により評価します。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

1年程度のドイツ語の学習歴。

テキスト

プリントを配布します。

参考書

文法書・参考書については、授業時に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後の教室で、あるいは随時、電子メールで受け付けます。

科目名	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1101485090	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

このクラスは様々なテーマについてドイツ語でプレゼンテーション練習をする中級ドイツ語クラスです。まず初めの段階では身近な事柄を使いプレゼンテーションの仕方を習い、そして次第に文化的なテーマにも触れ、それらについても取り入れてゆく予定です。ドイツ語圏の国々の習慣や自然、お祭り、また、名所、有名人など（作家、画家、音楽家など）。受講者の提案も歓迎です。学習方法は、ペアワークやグルプワークで各テーマに必要な語彙や慣用句を学習し、色々なプレゼンテーションスキルの練習を試みます。例えば、メモを取る、スピーチの流れを決める、あらすじをまとめるなど、また、メモを使って簡単な文章を話す、呼吸の取り方、発音など、色々な点についても勉強します。時間の枠を決めて練習を行うことや、プレゼンテーション後、それについて皆で質問やコメントしたり、話し合いも行います。

到達目標

1年目に学習したドイツ語の能力をさらに高める。語彙や慣用句を増やし、それを応用する。正しい発音の重要性が分かるようにする。コミュニケーション能力を高める。ドイツ語圏の国々について様々な情報を得る。プレゼンテーションの準備をグループワークで行う、チームワークの楽しさを体験する。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション：授業のやり方、進め方の説明 自己紹介 ドイツ語圏の国々について語り合う	
	復習	15分
第2回	テーマ 1 ― 準備	
	復習	15分
第3回	テーマ 1 ― プレゼンテーション	
	復習	15分

第4回	テーマ 2 ― 準備	
	復習	15分
第5回	テーマ 2 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第6回	テーマ 3 ― 準備	
	復習	15分
第7回	テーマ 3 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第8回	テーマ 4 ― 準備	
	復習	15分
第9回	テーマ 4 ― プレゼンテーション	
	復習	15分

第10回	テーマ 5 — 準備	
	復習	15分
第11回	テーマ 5 — プレゼンテーション	
	復習	15分
第12回	テーマ 6 — 準備	
	復習	15分
第13回	テーマ 6 — プレゼンテーション	
	復習	15分
第14回	テーマ 7 — 準備	
	復習	15分
第15回	テーマ 7 — プレゼンテーション	
	復習	15分

授業の方法

授業はペアワークやグループワークを中心に行いますので積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

テキスト

なし。 授業でプリントを配布する。

参考書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語演習プレゼンテーションII		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1101485100	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

このクラスは様々なテーマについてドイツ語でプレゼンテーション練習をする中級ドイツ語クラスです。まず初めの段階で身近な事柄を使いプレゼンテーションの仕方を習い、そして次第に文化的なテーマにも触れ、それらについても取り入れてゆく予定です。ドイツ語圏の国々の習慣や自然、お祭り、また、名所、有名人など（作家、画家、音楽家など）。受講者の提案も歓迎です。学習方法は、ペアワークやグループワークで各テーマに必要な語彙や慣用句を学習し、色々なプレゼンテーションスキルの練習を試みます。例えば、メモを取る、スピーチの流れを決める、あらすじをまとめるなど、また、メモを使って簡単な文章を話す、呼吸の取り方、発音など、色々な点について勉強します。時間の枠を決めて練習を行うことや、プレゼンテーション後、それについて皆で質問やコメントしたり、話し合いも行います。

到達目標

1年目に学習したドイツ語の能力をさらに高める。語彙や慣用句を増やし、それを応用する。正しい発音の重要性が分かるようにする。コミュニケーション能力を高める。ドイツ語圏の国々について様々な情報を得る。プレゼンテーションの準備をグループワークで行う、チームワークの楽しさを体験する。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション：授業のやり方、進め方の説明 自己紹介 ドイツ語圏の国々について語り合う	
	復習	15分
第2回	テーマ 8 — 準備	
	復習	15分
第3回	テーマ 8 — プレゼンテーション	
	復習	15分

第4回	テーマ 9 ― 準備	
	復習	15分
第5回	テーマ 9 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第6回	テーマ 10 ― 準備	
	復習	15分
第7回	テーマ 10 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第8回	テーマ 11 ― 準備	
	復習	15分
第9回	テーマ 11 ― プレゼンテーション	
	復習	15分

第10回	テーマ 1 2 ― 準備	
	復習	15分
第11回	テーマ 1 2 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第12回	テーマ 1 3 ― 準備	
	復習	15分
第13回	テーマ 1 3 ― プレゼンテーション	
	復習	15分
第14回	テーマ 1 4 ― 準備	
	復習	15分
第15回	テーマ 1 4 ― プレゼンテーション	
	復習	15分

授業の方法

授業はペアワークやグループワークで中心に行いますので積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

テキスト

なし。 授業でプリントを配布する。

参考書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語演習言語と文化Ⅰ		
教員名	太西 雅一郎		
科目ナンバー	1201485210	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
初めてフランス語にチャレンジする人、あるいは初級をひととおり学んだ人を対象にした授業です。 基本的なフランス語の規則を学びながら、読む・話すといった能力をのばしていきます。 テキストの内容は、初めてフランスを訪れた日本の学生がパリやボルドーを旅して、フランスの世界遺産や食文化への興味を深める、そして大学卒業後に再びフランスを訪れるというものです。			
到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解することができ る。状況に応じた基本的表現を理解し運用できる。フランス語検定の4級、3級レベルに合格する。 D P 3・多様な文化に触れ、相互理解を深める。 D P 5. 言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	初めて学ぶ人も含めて、基本的な文法を確認する		
	次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	60分	
第2回	第1課 エマニュエル・マクロン大統領 初級のおさらいも兼ねながら進めます		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分	
第3回	第2課 フランス極右勢力		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分	

第4回	第3課 EU都市ストラスブール	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第5回	第1～3課までの復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第6回	第4課 シモーヌ・ヴェーユ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第7回	第5課 ロラン・ギャロス	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第8回	第6課 サッカー女子ワールドカップ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第9回	第4～6課の復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分

第10回	第7課 食事の宅配	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第11回	第8課 社会貢献	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第12回	第9課 夏休み	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第13回	第10課 コンシエルジュ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第14回	第7～10課の復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第15回	全体のまとめ	
	これまでの学習内容の総復習。	60分

授業の方法

フランス語をはじめて学ぶ人でも準備学習をおこなえば履修することができます。
初級の知識の復習や確認をおこないながら、確実に理解できるようにゆっくりと進めていきます。
簡単な練習問題もこなしながら理解を深められるようにおこないます。

成績評価の方法

毎回の授業内容の理解度80%
練習問題への回答20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標、フランス語検定4級程度の文法構造の理解と、3級への準備学習がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎AⅠ、AⅡ、AⅢ、BⅠ、BⅡ、BⅢで学んだ基礎となる知識。

テキスト

加藤晴久、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2019年度版』（朝日出版社）、1900円
I S B N978-4-255-35302-9

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。/メールで受け付けます。/初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	フランス語演習言語と文化II		
教員名	太西 雅一郎		
科目ナンバー	1201485220	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
初めてフランス語にチャレンジする人、あるいは初級をひととおり学んだ人を対象にした授業です。基本的なフランス語の規則を学びながら、読む・話すといった能力をのばしていきます。テキストの内容は、初めてフランスを訪れた日本の学生がパリやボルドーを旅して、フランスの世界遺産や食文化への興味を深める、そして大学卒業後に再びフランスを訪れるというものです。			

到達目標			
D P 1・基本的なフランス語の文法構造を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解することができる。状況に応じた基本的表現を理解し運用できる。フランス語検定の4級、3級レベルに合格する。 D P 3・多様な文化に触れ、相互理解を深める。 D P 5. 言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第11課 フランスの外国人医師		
	今回分の予習と復習、次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		60分
第2回	第12課 平均余命		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		90分
第3回	第13課 パパママと同居の大人		
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。		90分

第4回	第11～13課の復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第5回	第14課 1日延ばし	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第6回	第15課 ジャガイモ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第7回	第16課 バゲット	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第8回	第14～16課の復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第9回	第17課 オーギュスト・エスコフィエ	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分

第10回	第18課 バレンタイン・デー	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第11回	第19課 日本酒	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第12回	第20課 フランス語になった日本語	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第13回	第16～20課の復習	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第14回	補足 フランスの企業	
	復習として本文の音読。次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認。	90分
第15回	補足 フランスの国防	
	これまでの学習内容の総復習。	60分

授業の方法

フランス語をはじめて学ぶ人でも準備学習をおこなえば履修することができます。
初級の知識の復習や確認をおこないながら、確実に理解できるようにゆっくりと進めていきます。
簡単な練習問題もこなしながら理解を深められるようにおこないます。

成績評価の方法

毎回の授業内容の理解度80%
練習問題への回答20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標、フランス語検定3級程度の文法構造の理解と、準2級への準備学習がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎AⅠ、AⅡ、AⅢ、BⅠ、BⅡ、BⅢでの学習内容を確実なものにしておくこと

テキスト

加藤晴久、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2019年度版』（朝日出版社）、1900円
I S B N 978-4-255-35302-9

参考書

授業中に適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。/メールで受け付けます。/初回の授業で指示します。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	フランス語演習検定対策Ⅰ		
教員名	土屋 良二		
科目ナンバー	1201485250	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

フランス語を使いこなす力を身につける。すでに学んだフランス語の基礎知識を日常的なコミュニケーションの場でどのように生かしてゆくか、実用の観点から復習・発展させる。発音、動詞の活用、構文、語彙様々な観点から既習事項を復習・整理し、また、未習事項とコミュニケーションに必要な基本表現を補いつつフランス語の言葉のしくみを考えることで、さらなるスキルアップのための「読み・書き・聞き・話す」総合的な語学力を養う。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定で各自が目標とする級に合格する。

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	フランス語の検定試験について	
	既習事項を確認する	60分
第2回	冠詞類の使い分けについて	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第3回	動詞1ー現在形の活用について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分

第4回	動詞 2－命令形について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第5回	動詞 3－過去形について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第6回	動詞 4－ジェロンディフ・受動態について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第7回	動詞 5－未来形について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第8回	代名詞 1－人称代名詞について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第9回	代名詞 2－中性代名詞について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分

第10回	代名詞 3－その他の代名詞について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第11回	構文 1－不定詞の働きについて	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第12回	構文 2－語順について、受動態について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第13回	構文 3－非人称構文、関係代名詞	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第14回	ここまでの復習	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分
第15回	試験と解説	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	6 0 分

授業の方法

各自の検定級の目標に合わせて、未習事項を補い、既習事項の定着を測る問題に個人あるいはグループで取り組む。受講者のレベルに合わせて、シラバスの内容は調整される可能性がある。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 60% 2) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎を履修しておくことが望ましい。

テキスト

富田正二著『ニヴォー・カトルー教室で学ぶ仏検4級』、駿河台出版社

参考書

仏和辞書は必ず持参すること。参考書は必要があれば授業中に指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問は授業の前後に教室で受ける。

科目名	フランス語演習検定対策II		
教員名	土屋 良二		
科目ナンバー	1201485260	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

フランス語を使いこなす力を身につける。すでに学んだフランス語の基礎知識を日常的なコミュニケーションの場でどのように生かしてゆくか、実用の観点から復習・発展させる。発音、動詞の活用、構文、語彙様々な観点から既習事項を復習・整理し、また、未習事項とコミュニケーションに必要な基本表現を補いつつフランス語の言葉のしくみを考えることで、さらなるスキルアップのための「読み・書き・聞き・話す」総合的な語学力を養う。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化修得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を修得できる。フランス語検定で各自が目標とする級に合格する。

DP3・様々な状況のなかで多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	比較する構文について	
	既習事項を確認する。	60分
第2回	場所・位置・方向などを表す前置詞について1	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第3回	場所・位置・方向などを表す前置詞について2	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分

第4回	時を表す前置詞について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第5回	その他の前置詞について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第6回	予定について話す・提案する表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第7回	意向を尋ねる・好みを言う表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第8回	相手に勧める・買い物をする表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第9回	行き先・所在を尋ねる表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分

第10回	人や物の特徴を言う表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第11回	体調について言う表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第12回	依頼する表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第13回	電話での表現について	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第14回	総復習	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分
第15回	試験と解説	
	既習事項を確認し、課題に取り組む。	60分

授業の方法

各自の検定級の目標に合わせて、未習事項を補い、既習事項の定着を測る問題に個人あるいはグループで取り組む。受講者のレベルに合わせて、シラバスの内容は調整される可能性がある。

成績評価の方法

1) 授業への積極的な参加 60% 2) 最終試験 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語基礎を履修しておくことが望ましい。

テキスト

富田正二著『ニヴォー・カトル-教室で学ぶ仏検4級』、駿河台出版社
ISBN978-4-411-00821-3

参考書

仏和辞書は必ず持参すること。参考書は必要があれば授業中に指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問は授業の前後に教室で受ける。

科目名	フランス語演習プレゼンテーション I		
教員名	デュボア フロランス		
科目ナンバー	1201485290	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要
色々なプレゼンテーションがフランス語でできるようになる中級フランス語コースです。 様々のテーマを色々なスタイルと時間の枠で話をまとめて、プレゼンテーションができるようにチャレンジするクラスです。それができるように、各テーマのために2つのクラスを渡っていく。一回目のクラスには、ひとテーマについて3段階で準備する。語彙を習得し、想像力や思考力を問（養い）、話をあらすじでまとめる。二回目の授業のとき、そのあらすじに沿って発表し、その後、ミニディベートを行う。 プレゼンテーションのスタイルは、日本風、フランス風、フォーマル、カジュアル、質疑スタイルを学ぶ。口頭と筆記でも。筆記発言は、色々なフランス語圏の人とメール交換を行うとき（リアルコミュニケーションの場面）、自分の発表を伝える。発表時間：5分、10分、15分* オラール発言能力を優先として授業を行うが聴解練習（テーマの語彙を紹介する資料）と筆記練習もある。筆記練習はフランス語圏の人とメール交換し、授業内容で出たテーマや自由な話題を通じて、リアルコミュニケーションをとる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々な文化のあり方を鑑賞する。 * 受講生のフランス語のレベルにより、要求されるプレゼンテーションの時間（長さ）が調整するケースがあります。

到達目標
フランス語能力への到達： * 幾つかのテーマ専用の語彙を習得する。 * 言葉のレベルが増える。 * 知っている言葉で、表現する能力を生かす。 * 与えられた時間で考えをまとめる。 * スピーチの solutions de secours（スピーチのトラブルシューターのコツ）を学ぶ。 * 日本の論旨とフランス風の論旨の違いを知ったうえ、フランス風でプレゼン能力を強化する。 * 論議力を伸ばす。 * オラールの発言能力と筆記発言能力を同時に養う。 * 色々なリアルコミュニケーションの経験を募る。（ディベートのとき：リアルオラールコミュニケーション；メールのとき：筆記のと文化的なリアルコミュニケーション） * ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELFA2から DELFB1 (B2) や日本の仏検の3級～2級（準一級）のレベルを育むコース。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Orientation Choix des themes Theme 1: se presenter 5 mn, 10 mn Se presenter 15 mn（筋書き）	60分
第2回	Theme 1: se presenter 15mn Complement et variations de style formel, informel Reviser	60分
第3回	Theme 2 5 mn, 10mn Theme 2 Plan（筋書き） pour 15 mn de presentation Theme 2 pour une presentation de 15 mn（展開）	60分

第4回	Theme 2: Presentation de 15mn Complement-debat et variations de style formel, informel	
	Exercice de communication ecrite: Mail 1	60分
第5回	Theme 3 5 mn, 10mn Theme 3 Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 3 pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第6回	Theme 3: Presentation de 15mn Complement-debat et variations de style japonais/ francais	
	Reviser	60分
第7回	Theme 4: 5 mn, 10mn Theme 4 Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 4 pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第8回	Theme 4: Presentation de 15mn Complement et variations de style japonais/ francais	
	Exercice de communication ecrite: Mail 2	60分
第9回	Theme 5 5 mn, 10mn Theme 5 Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 5 pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第10回	Theme 5: Presentation de 15mn Complement-debat et variations de style japonais/ francais	
	Reviser	60分
第11回	Theme 6 5 mn, 10mn Theme 6 Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 6 pour une presentation de 15 mn (展開)	60分

第12回	Theme 6: Presentation de 15mn Complement et variations de style classique - participatif	
	Exercice de communication ecrite: Mail 3	60分
第13回	Theme 7: 5 mn, 10mn Theme 7 Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 7 pour une presentation de 15 mn (展開) Preparation du test oral	60分 必要な時間を取る。
第14回	Theme 7: Presentation de 15mn Complement-debat et variations de style classique - participatif	
	Preparation du test oral	60分 必要な時間を取る。
第15回	Test oral Contribution au dictionnaire Francais de la francophonie -Japonais	
	Inscrire au dictionnaire	60分
授業の方法		
自己紹介以外のテーマは、受講生が選ぶ。 受講生は、学期で7回わって15分間発表し、実力をつけるために、 1) あらゆるな資料から語彙の習得30分 (目安) 2) 5分と10分のプレゼンができるように、話の筋書きを考えて、発表の構想をメモにする 5分、10分 3) 5分と10分のプレゼンする。 各受講生にあたって、5分と10分 4) 15分のプレゼンの筋書きを考えて、メモにする。 15分 (目安) 次の授業に、15分のプレゼンテーションを行う。 15分 (目安) 違うスタイルの勉強し、スタイルを変えてみる。45分 (目安) 新スタイルでの発表 15分 (目安) 宿題あり：プレゼンの筋書き、または展開を書く。月一回メールをフランス語圏の人に送る。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題 (50%)、メール、発表、期末試験の成績 (50%) 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		

必要な予備知識／先修科目／関連科目

直接法（現在形、複合過去、半過去、単純未来）（DELF A2のレベル、仏検3級のレベル）の勉強済みは望ましいですか最低限、現在形や複合過去を学んだことあり。

テキスト

テキストは授業時にプリントを配布します。

参考書

和仏・仏和辞書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業が終わったあと受けます。

科目名	フランス語演習プレゼンテーションII		
教員名	デゥボー フロランス		
科目ナンバー	1201485300	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要
色々なプレゼンテーションがフランス語でできるようになる中級フランス語コースです。 様々のテーマを色々なスタイルと時間の枠で話をまとめて、プレゼンテーションができるようにチャレンジするクラスです。それができるように、各テーマのために2つのクラスを渡っていく。一回目のクラスには、ひとテーマについて3段階で準備する。語彙を習得し、想像力や思考力を問（養い）、話をあらすじでまとめる。二回目の授業のとき、そのあらすじに沿って発表し、その後、ミニディベートを行う。 プレゼンテーションのスタイルは、日本風、フランス風、フォーマル、カジュアル、質疑スタイルを学ぶ。口頭と筆記でも。筆記発言は、色々なフランス語圏の人とメール交換を行うとき（リアルコミュニケーションの場面）、自分の発表を伝える。発表時間：5分、10分、15分*。 オラール発言能力を優先として授業を行うが聴解練習（テーマの語彙を紹介する資料）と筆記練習もある。筆記練習はフランス語圏の人とメール交換し、授業内容で出たテーマや自由な話題を通じて、リアルコミュニケーションをとる。メール交換で得たフランス語圏特有な表現を集めて、フランス語圏のフランス語・日本語の辞書に記載することによって、改めて様々な文化のあり方を鑑賞する。 *受講生のフランス語のレベルにより、要求されるプレゼンテーションの時間（長さ）が調整するケースがあります。。

到達目標
フランス語能力への到達： * 幾つかのテーマ専用の語彙を習得する。 * 言葉のレベルが増える。 * 知っている言葉で、表現する能力を生かす。 * 与えられた時間で考えをまとめる。 * スピーチの solutions de secours（スピーチのトラブルシューターのコツ）を学ぶ。 * 日本の論旨とフランス風の論旨の違いを知ったうえ、フランス風でプレゼン能力を強化する。 * 論議力を伸ばす。 * オラールの発言能力と筆記発言能力を同時に養う。 * 色々なリアルコミュニケーションの経験を募る。（ディベートのとき：リアルオラールコミュニケーション；メールのとき：筆記のと文化的なリアルコミュニケーション） * ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A2から DELF B1 (B2) や日本の仏検の3級～2級（準一級）のレベルを育むコース。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Orientation Choix des themes Theme 8 : se presenter 5mn, 10 mn Se presenter 15 mn (筋書き)	60分
第2回	Theme 8: se presenter 15mn Complement et variation de style formel/ informel revision	60分
第3回	Theme 9: 5 mn, 10 mn Theme 9: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation Theme 9: pour une presentation de 15 mn (展開)	60分

第4回	Theme 9 : 15mn Complement-debat et variation de style formel / informel	
	Exercice de communication ecrite: Mail 4	60分
第5回	Theme 10: 5 mn, 10 mn Theme 10: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 10: pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第6回	Theme 10: 15mn Complement-debat et variation de style japonais / francais	
	revision	60分
第7回	Theme 11: 5 mn, 10 mn Theme 11: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 11: pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第8回	Theme 11: 15mn Complement-debat et variation de style japonais/ francais	
	Exercice de communication ecrite: Mail 5	60分
第9回	Theme 12: 5 mn, 10 mn Theme 12: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 12: pour une presentation de 15 mn (展開)	60分
第10回	Theme 12: 15mn Complement-debat et variation de style japonais / francais	
	revision	60分
第11回	Theme 13: 5 mn, 10 mn Theme 13: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 13: pour une presentation de 15 mn (展開)	60分

第12回	Theme 13: 15mn Complement-debat et variation de style classique/ participatif	
	Exercice de communication ecrite: Mail 6	60分
第13回	Theme 14: 5 mn, 10 mn Theme 14: Plan (筋書き) pour 15 mn de presentation	
	Theme 14: pour une presentation de 15 mn (展開) Preparation du test oral	60分 必要な時間をとる。
第14回	Theme 14: 15mn Complement-debat et variation de style classique / participatif	
	Preparation du test oral	60分 必要な時間をとる。
第15回	Test oral contribution au dictionnaire francais de la francophonie	
	contribution au dictionnaire francais de la francophonie	60分

授業の方法

自己紹介以外のテーマは、受講生が選ぶ。

受講生は、学期で7回わたって15分間発表し、実力をつけるために、

- 1) あらゆるな資料から語彙の習得30分 (目安)
- 2) 5分と10分のプレゼンができるように、話の筋書きを考えて、発表の構想をメモにする 5分、10分
- 3) 5分と10分のプレゼンする。 各受講生にあたって、5分と10分
- 4) 15分のプレゼンの筋書きを考えて、メモにする。 15分 (目安)

次の授業に、15分のプレゼンテーションを行う。 15分 (目安)

違うスタイルの勉強し、スタイルを変えてみる。45分 (目安)

新スタイルでの発表 15分 (目安)

宿題あり：プレゼンの筋書き、または展開を書く。月一回メールをフランス語圏の人に送る。

成績評価の方法

授業への積極性や宿題 (50%)、メール、発表、期末試験の成績 (50%)

毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語の主な時制と代名詞の制度を勉強したこと。

テキスト
テキストは授業時にプリントを配布します。
参考書
辞書など。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
質問を授業後受けます。

科目名	スペイン語演習言語と文化Ⅰ		
教員名	細谷 広美		
科目ナンバー	1201485410	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
1～2年で学んだスペイン語の初級文法の残り部分（接続法等）を終えた後、スペイン語を読む力を養う中級レベルの学習をおこないます。スペイン語はスペインのみならず、ラテンアメリカ・カリブ海地域、アメリカ合衆国のラティーノ（Latino/Latina）の人々の間で広く使用されている言語です。近年はスペイン語の歌がヒットチャートの上位に入っています。ラテンアメリカ・カリブ海地域での調査研究経験が豊富な教員により、時折映画等を交えスペイン語圏の人々の歴史、社会、文化に関する知識を学びつつ進めていきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・スペイン語を、辞書等を使用しつつも、自分の力で読むことができる読解力をつける。 ・スペイン語圏の歴史、社会、文化に関する知識を得る。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	導入	
	テキストの予習。	60分
第2回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第3回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分

第4回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第5回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第6回	スペイン語映画1 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景についての理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第7回	スペイン語映画2 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第8回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第9回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分

第10回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第11回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第12回	スペイン語映画3 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第13回	スペイン語映画4 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景についての理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第14回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第15回	テキスト	
	これまでの授業の復習をする。	60分

授業の方法

テキストにそって進めていきます。必ず予習、復習をして下さい。

成績評価の方法

平常点 50%、学期末試験 50%。できるだけスペイン語にふれる機会をつくり、日々の学習を欠かさないで下さい。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

本授業はスペイン語初級文法を学んだ（1年次から2年次）既習者を対象にします。後期開講のスペイン語演習言語と文化Ⅱの継続受講が必要です。

テキスト

第1回目の授業の際に受講生と話し合い、受講生のレベル及び関心に応じて決めます。

参考書

辞書は西和辞典の他に、西英・英西辞典も持っているといいです。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語演習言語と文化II		
教員名	細谷 広美		
科目ナンバー	1201485420	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
スペイン語の中級レベルの学習をおこないます。スペイン語はスペインのみならず、ラテンアメリカ・カリブ海地域、アメリカ合衆国のラティーノ (Latino/Latina)の人々の間で広く話されている言語です。本授業ではスペイン語を読む力を養います。あわせて、スペイン語圏の映画をみることを含め、ラテンアメリカ・カリブ海地域地域を中心にスペイン語圏の歴史、社会、文化について学んでいきます。			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・スペイン語を、辞書等を使用しつつも、自分の力で読むことができる読解力をつける。 ・スペイン語圏の歴史、社会、文化に関する知識を得る。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
第1回	導入		
	テキストの予習。		60分
第2回	テキスト		
	テキストの予習と復習をする。		60分
第3回	テキスト		
	テキストの予習と復習をする。		60分

第4回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第5回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第6回	スペイン語映画1 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているかを知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第7回	スペイン語映画2 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているかを知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第8回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第9回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分

第10回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第11回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第12回	スペイン語映画3 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第13回	スペイン語映画4 スペイン語圏の映画をみて、スペイン語が実際にどのように使用されているか知るとともに、スペイン語を話す人々の文化的背景について理解を深めます。	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第14回	テキスト	
	テキストの予習と復習をする。	60分
第15回	テキスト	
	これまでの授業の復習をする。	60分

授業の方法

テキストにそって進めていきます。必ず予習、復習をして下さい。

成績評価の方法

平常点70%、学期末試験30%。できるだけスペイン語にふれる機会をつくり、日々の学習を欠かさないで下さい。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

本授業はスペイン語初級文法を一通り学んだ既習者を対象にします。前期開講のスペイン語演習言語と文化Ⅰとの継続受講が必要です。（ただし、留学経験者、スペイン語既修者等はこの限りではありません）

テキスト

第1回目の授業の際に受講生と話し合い、受講生のレベル及び関心に応じて決めます。

参考書

辞書は西和辞典の他に、西英・英西辞典も持っているといいです。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語演習プレゼンテーション I		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1101485490	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

本科目は、2年後期の「スペイン語基礎AIII・BIII」の後継科目として開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、未習文法を学び、スペイン語でプレゼンテーションする力を身に付けます。特に、留学や実用会話での表現力アップを目指す方におすすめです。語学検定での面接にも役立つでしょう。

なお、できれば、本科目に加えて「スペイン語会話III, IV」、「スペイン語演習 言語と文化I, II」を並行学習してみてください。週2回ないし3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

・DP1（教養の修得）、DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。
- ②語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ③グループやペアでプレゼンテーション（スペイン語圏の国々や日本についての紹介等）ができるようになる。
- ④西検4級程度のレベルに到達する。（直説法、接続法を含む）

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス	
	【復習】スペイン語について 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第2回	Unidad 1 Los países de Hispanoamérica	
	【復習】スペイン語圏の国々 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第3回	Unidad 2 Presentaciones	
	【復習】直説法現在：動詞 ser・estar 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分

第4回	Unidad 3 Mi familia	
	【復習】直説法現在：動詞 tener 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第5回	Unidad 4 Mi universidad	
	【復習】直説法現在：動詞 haber 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第6回	Unidad 5 Mi vida en la universidad	
	【復習】直説法現在：規則動詞・不規則動詞 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第7回	Unidad 6 Mis planes para el verano	
	【復習】直説法現在：不規則動詞 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第8回	Unidad 7 Un día normal	
	【復習】直説法現在：再帰動詞・動詞gustar 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第9回	Unidad 8 Una receta de cocina	
	【復習】直説法現在：直接目的格人称代名詞 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分

第10回	Unidad 9 Mi casa	
	【復習】直説法現在：現在完了 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第11回	Unidad 10 Gustos y aficiones	
	【復習】直説法現在：動詞gustar 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第12回	Unidad 11 Fiestas y tradiciones	
	【復習】直説法現在：seの用法 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第13回	Unidad 12 Mis últimas vacaciones	
	【復習】直説法点過去 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第14回	Repaso general	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分
第15回	Presentación del último trabajo	
	最終プレゼンテーション	60分

授業の方法

文法解説を行ったあとに読解・聴解・作文などを練習しながら受講生のレベルに合わせて進みます。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）60%、授業でのプレゼンテーション40%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の文法を一通り身に付けている。
- ②日常会話レベルの語彙と表現力を身に付けている。
- ③スペイン語でプレゼンテーションする力を身に付けている。
- ④西検4級程度のレベルに到達している。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI・AII、スペイン語基礎BI・BII、スペイン語基礎AIII・BIII、スペイン語会話I～IV、スペイン語演習 言語と文化I・II、スペイン語演習 検定対策I・II

テキスト

『書ける！スペイン語1 (Por Escrito 1)』 Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano, 齊藤華子著、同学者出版、定価 2600円、ISBN 978-4-8102-0426-1

参考書

1年～2年生で使用したテキスト・『西和・和西事典』

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	スペイン語演習プレゼンテーションII		
教員名	又吉 和魅		
科目ナンバー	1101485500	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

本科目は、2年後期の「スペイン語基礎AIII・BIII」の後継科目として開講される自由選択科目です。基礎文法を復習しつつ、未習文法を学び、スペイン語でプレゼンテーションする力を身に付けます。特に、留学や実用会話での表現力アップを目指す方におすすめです。語学検定での面接にも役立つでしょう。

なお、できれば、本科目に加えて「スペイン語会話III, IV」、「スペイン語演習 言語と文化I, II」を並行学習してみてください。週2回ないし3回、教師の下でスペイン語に触れることにより、学習をより効率的、効果的に進めることができます。

到達目標

・DP1（教養の修得）、DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

- ①基礎文法をベースにして、より体系的な文法を身に付ける。
- ②語彙を増やし、実践的な表現力に対応する。
- ③グループやペアでプレゼンテーション（スペイン語圏の国々や日本についての紹介等）ができるようになる。
- ④西検4級程度のレベルに到達する。（直説法、接続法を含む）

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業ガイダンス	
	【復習】前期までに学んだ内容 【予習】次の授業で扱う内容を参考書などで調べておく。	60分
第2回	Unidad 1 Carta a una amiga	
	【復習】現在進行形 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第3回	Unidad 2 Biografías	
	【復習】直説法点過去 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分

第4回	Unidad 3 Recuerdos de infancia	
	【復習】直説法線過去 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第5回	Unidad 4 El mejor viaje de mi vida	
	【復習】直説法点過去・線過去 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第6回	Unidad 5 Querido diario	
	【復習】過去分詞・現在完了 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第7回	Unidad 6 La vida en 2050	
	【復習】直説法未来 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第8回	Unidad 7 Contar una historia	
	【復習】直説法過去完了 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第9回	Unidad 8 Vida sana	
	【復習】直説法過去未来 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分

第10回	Unidad 9 Opiniones	
	【復習】接続法現在 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第11回	Unidad 10 Proyectos para el futuro	
	【復習】接続法現在 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第12回	Unidad 11 Espero que estés bien	
	【復習】接続法現在完了 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第13回	Unidad 12 Buscando trabajo	
	【復習】接続法過去 【予習】新しい単語の意味や表現などを確認する。	60分
第14回	Repaso general	
	【復習】後期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分
第15回	Presentación del último trabajo	
	最終プレゼンテーション	60分

授業の方法

文法解説を行ったあとに読解・聴解・作文などを練習しながら受講生のレベルに合わせて進みます。

成績評価の方法

平常点（授業への参加態度、課題、小テストなど）60%、授業でのプレゼンテーション40%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ①スペイン語の文法を一通り身に付けている。
- ②日常会話レベルの語彙と表現力を身に付けている。
- ③スペイン語でプレゼンテーションする力を身に付けている。
- ④西検4級程度のレベルに到達している。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AI・AII、スペイン語基礎BI・BII、スペイン語基礎AIII・BIII、スペイン語会話I～IV、スペイン語演習 言語と文化I・II、スペイン語演習 検定対策I・II

テキスト

『書ける！スペイン語 2 (Por escrito 2)』 Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano, 齊藤華子著、同学社出版、定価 2600円、ISBN 978-4-8102-0427-8

参考書

1年～2年生で使用したテキスト・『西和・和西事典』

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	中国語演習言語と文化Ⅰ		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1201485610	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業は中国語基礎（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）で学習したことを基礎に、より高度な中国語の能力を習得することを目的としています。これまで学習した文法事項の復習、発音の復習と矯正を授業内で適宜行うとともに、新たな文法事項等の解説をします。

また授業で用いるテキストは日本人と中国人の「出会い」と「別れ」をテーマにしたものです。テキストの中では日本と中国の文化の違いや言語の違い等がクローズアップされています。このような教科書を用いることで、近年の中国の様子や文化・習慣などを概観することも目的の一つとしています。中国の新たな一面について、中国語を通して一緒に考えてみましょう。

基礎的な会話を思い出しながら練習をしていきましょう。

〔注意〕中国語演習 言語と文化Ⅰは中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）の履修者、修了者のための授業です。中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）を履修せずに当該科目を履修することはできません。なお、基礎AⅢ、BⅢについては履修の有無にかかわらず履修可能です。

到達目標

- ・DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現すべく、具体的には以下の内容の習得を目標とします：
- ・正確な発音を調音できる。
- ・発音を正確に聞き分けることができる。
- ・テキストの文法事項を習得し、説明することができる。
- ・より難易度の高い、やや長めの文の構造と内容を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス： 授業の内容、目標について紹介し、これまでの学習歴や興味について質問します。	
	中国語の発音・文法事項を少し思い出しておいてください。	60分
第2回	発音1 Bridge 1A 第一課 「出会い」	
	単語テスト	60分
第3回	発音2 Bridge 1B 第一課 「出会い」 練習問題	
	フレーズテスト	60分

第4回	発音3 Bridge 2A 第二課 「邂逅 めぐりあい」	
	単語テスト	60分
第5回	発音4 Bridge 2B 第二課 「邂逅 めぐりあい」 練習問題	
	フレーズテスト	60分
第6回	発音まとめ Bridge 3A 第三課 「偶然」	
	単語テスト	60分
第7回	Bridge 3B 第三課 「偶然」 練習問題	
	フレーズテスト	60分
第8回	Bridge 4A 中間試験	
	試験実施	60分
第9回	Bridge 4B 第四課 「料理」	
	単語テスト	60分

第10回	第四課 「料理」 練習問題	
	フレーズテスト	60分
第11回	第五課 「会話」	
	単語テスト	60分
第12回	第五課 「会話」 練習問題	
	フレーズテスト	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

下記の通りの順に授業を進めていきます。

①「発音」

教科書の前半部分にある「発音」を簡単に復習します（第6回目の授業まで）。たとえば「これはいくらですか？」等の簡単なフレーズ。

②「Bridge 1A～4B」

中国語でのコミュニケーションで最も基本的なフレーズを復習・確認します（第9回の授業まで）。

③「本文」

④「練習問題」・「文法事項確認」

具体的な授業の計画と方法は授業内で解説しますが、授業の進捗によっては内容を一部変更する可能性もあります。

成績評価の方法

筆記試験（期末筆記30%、口頭30%、中間20%）、平常点（20%、課題、小テスト、授業参加度）を総合して評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡの修了者、もしくはこれと同等の能力を有するもの
中国語基礎AⅢ・基礎BⅢについては履修の有無を問いません

テキスト

田原／相原茂／殷文怡 『君に捧ぐ永遠』 朝日出版社

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語演習言語と文化II		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1201485620	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業は中国語基礎（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）で学習したことを基礎に、より高度な中国語の能力を習得することを目的としています。これまで学習した文法事項の復習、発音の復習と矯正を授業内で適宜行うとともに、新たな文法事項等の解説をします。

また授業で用いるテキストは日本人と中国人の「出会い」と「別れ」をテーマにしたものです。テキストの中では日本と中国の文化の違いや言語の違い等がクローズアップされています。このような教科書を用いることで、近年の中国の様子や文化・習慣などを概観することも目的の一つとしています。中国の新たな一面について、中国語を通して一緒に考えてみましょう。

基礎的な会話を思い出しながら練習をしていきましょう。

〔注意〕中国語演習 言語と文化Ⅰは中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）の履修者、修了者のための授業です。中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）を履修せずに当該科目を履修することはできません。なお、基礎AⅢ、BⅢについては履修の有無にかかわらず履修可能です。

到達目標

- ・DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現すべく、具体的には以下の内容の習得を目標とします：
- ・正確な発音を調音できる。
- ・発音を正確に聞き分けることができる。
- ・テキストの文法事項を習得し、説明することができる。
- ・より難易度の高い、やや長めの文の構造と内容を理解することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス： 授業の内容、目標について紹介し、これまでの学習歴や興味について質問します。	
	これまでの文法、発音の復習。	60分
第2回	第六課 「老城区」	
	単語暗記	60分
第3回	第六課 「老城区」 練習問題	
	フレーズ暗記	60分

第4回	第七課 「アフター5」	
	単語暗記	60分
第5回	第七課 「アフター5」 練習問題	
	フレーズ暗記	60分
第6回	第八課 「休暇」	
	単語暗記	60分
第7回	第八課 「休暇」 練習問題	
	フレーズ暗記	60分
第8回	中間試験	
	試験準備	120分
第9回	第九課 「故郷」	
	単語暗記	60分

第10回	第九課 「故郷」 練習問題	
	フレーズ暗記	60分
第11回	第十課 「告白」	
	単語暗記	60分
第12回	第十課 「告白」 練習問題	
	フレーズ暗記	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の準備	120分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の準備	120分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	120分

授業の方法

下記の通りの順に授業を進めていきます。

①「発音」

教科書の前半部分にある「発音」を簡単に復習します（第6回目の授業まで）。10分程度。

②「Bridge 1A～4B」

中国語でのコミュニケーションで最も基本的なフレーズを復習・確認します（第9回の授業まで）。たとえば「これはいくらですか？」等の簡単なフレーズ。

③「本文」

④「練習問題」・「文法事項確認」

具体的な授業の計画と方法は授業内で解説しますが、授業の進捗によっては内容を一部変更する可能性もあります。

成績評価の方法

筆記試験（期末筆記30%、口頭30%、中間20%）、平常点（20%、課題、小テスト、授業参加度）を総合して評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡの修了者、もしくはこれと同等の能力を有するもの
中国語基礎AⅢ・基礎BⅢについては履修の有無を問いません

テキスト

田原／相原茂／殷文怡 『君に捧ぐ永遠』 朝日出版社

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語演習検定対策 I		
教員名	中桐 典子		
科目ナンバー	1201485650	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

[テーマ] 今までに学んだ語法知識の総復習をするとともに、中国語検定試験で必要とされる和文中訳やリスニングの力を養成する。
 [概要] 中国語検定試験4級合格レベルの力をつけることを目標とする。中国語検定試験の過去問題を解きながら、つまづきやすい箇所を取り上げ、解説を加えていく。

到達目標

DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指す。
 具体的には、2017年6月、あるいは11月に行われる中国語検定試験で4級に合格することを目標とする。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス：中国語検定試験の傾向・授業の進め方を説明	
	ネットで「日本中国語検定試験協会」のホームページを読む。	60分
第2回	第93回中国語検定試験4級 リスニング問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第3回	第93回中国語検定試験4級 筆記問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分

第4回	第92回中国語検定試験4級 リスニング問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第5回	第92回中国語検定試験4級 筆記問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第6回	第91回中国語検定試験4級 リスニング問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第7回	第91回中国語検定試験4級 筆記問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第8回	第90回中国語検定試験4級 リスニング問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第9回	第90回中国語検定試験4級 筆記問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分

第10回	第89回中国語検定試験4級 リスニング問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第11回	第89回中国語検定試験4級 筆記問題	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第12回	第2回から第11回までの総復習	
	今学期学習した項目の総復習	90分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	90分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	90分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	90分

授業の方法

講義演習方式。

中国語検定試験の過去問題を解きながら解説を加えていく。

リスニング対策として希望者には検定試験の過去問CDをコピーしてスクリプトと一緒に渡すので、申し出ること。

毎回、発音・和文中訳・リスニングの小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト30%、口頭試験20%、筆記試験50%により、総合的に評価する。なお、欠席は厳しく減点し、検定試験合格者には加点をする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A・B（I・II）の履修を前提とする。

リスニング力強化のため、中国人教師の授業を多く履修することを勧める。

[関連科目]中国語基礎A・B（I・II）、中国語会話I・II、中国語演習活用B I

テキスト

プリント配布

参考書

『出るところだけ！中国語検定4級 合格一直線』長澤文子・盧尤著 アスク出版 1600円 ISBN978-4-87217-836-4

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語演習検定対策II		
教員名	中桐 典子		
科目ナンバー	1201485660	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
[テーマ] 今までに学んだ語法知識の総復習をするとともに、中国語検定試験で必要とされる文法理解や和文中訳の力を養成する。 [概要] 中国語検定試験3級合格レベルの力をつけることを目標とする。中国語検定試験の過去問題を解きながら、つまづきやすい箇所を取り上げ、解説を加えていく。			
到達目標			
DP 1（教養の習得）、DP 3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）の実現を目指す。 具体的には、2018年3月に行われる中国語検定試験で3級に合格することを目標とする。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス：中国語検定試験の傾向・授業の進め方を説明		
	ネットで「日本中国語検定試験協会」のホームページを読む。		60分
第2回	第94回中国語検定試験3級		
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。		90分
第3回	第94回中国語検定試験3級		
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。		90分

第4回	第93回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第5回	第93回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第6回	第92回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第7回	第92回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第8回	第91回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第9回	第91回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分

第10回	第90回中国語検定試3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第11回	第90回中国語検定試験3級	
	小テストに備えた学習（発音・和文中訳・リスニング）。 次回授業で扱う箇所の予習。	90分
第12回	第2回から第11回までの総復習	
	今学期学習した項目の総復習	90分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	90分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	90分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	90分

授業の方法

講義演習方式。

中国語検定試験の過去問題を解きながら解説を加えていく。

リスニング対策として、希望者には検定試験の過去問CDをコピーしてスクリプトと一緒に渡すので、申し出ること。

毎回、発音・和文中訳・リスニングの小テストをする。

成績評価の方法

小テスト30%、口頭試験20%、筆記試験50%により、総合的に評価する。なお、欠席は厳しく減点し、検定試験合格者には加点をする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎A・B（I・II）の履修を前提とする。

リスニング対策として、中国人教師の授業を多く履修することを勧める。

[関連科目]中国語基礎A・B（I・II）、中国語会話I・II、中国語演習検定対策I

テキスト

プリント配布

参考書

『出るとこだけ！中国語検定3級 合格一直線』長澤文子・盧尤著 アスク出版 ISBN 978-4-87217-921-7

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語演習プレゼンテーションⅠ		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1201485690	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ等）を終えて、さらに中国語能力の向上を目指すクラスです。このクラスは中国語を用いたプレゼンテーションの技術を磨くことを目標の一つとしていますが、授業の中心となるのはこれまでの復習と新しい語彙や文法の確認です。基礎的な会話の練習や読解なども行います。 具体的には、一回の授業の内、2／3は新たな題材の発音練習や文法解説を行い、残りの時間でその授業で習ったことをクラスの中である程度暗記してもらい発表する練習を行います。発表時間は一人につき数分の予定です。毎回の授業で簡単な発表練習をすることで、中国語でのプレゼンテーションの技法を身に着けましょう。授業で用いるテーマは交通や学校のことのような身近な内容を中心にする予定です。また授業内では読解・作文の練習もしたいと思います。 授業で扱う教科書では、日中の文化の差がしばしばクローズアップされており、中国の文化面についても学べるように進めていきたいと思っています。			
〔注意〕中国語演習 プレゼンテーションⅠは中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）の履修者、修了者のための授業です。中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）を履修せずに当該科目を履修することはできません。なお、基礎AⅢ、BⅢについては履修の有無にかかわらず履修可能です。			
到達目標			
・DP3（他者との協働）、Dp4（表現力、発信力）を実現すべく、具体的には以下の内容の習得を目標とします： ・より正確な発音で発表ができる ・中国語で発表ができる ・プレゼンテーションの技術を学ぶこと			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。 ----- プレゼンテーションについて		
	到達目標や学びたいことなどを整理しておいてください。		60分
第2回	第一課 「大学生活」		
	単語暗記		60分
第3回	第一課 「大学生活」 復習 練習問題・暗記練習		
	フレーズ暗記		60分

第4回	第二課 「大学的作息時間」	
	単語暗記	60分
第5回	第二課 「大学的作息時間」 練習問題・暗記練習	
	フレーズ暗記	60分
第6回	第三課 「早飯」	
	単語暗記	60分
第7回	第三課 「早飯」 練習問題・暗記練習	
	フレーズ暗記	60分
第8回	中間試験・プレゼン練習	
	中間試験・プレゼン練習 準備	60分
第9回	第四課 「喝茶」	
	単語暗記	60分

第10回	第四課 「喝茶」 練習問題・暗記練習	
	フレーズ暗記	60分
第11回	第五課 「飲食」	
	単語暗記	60分
第12回	第五課 「飲食」 練習問題・暗記練習	
	フレーズ暗記	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験の実施	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験の実施	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

この授業は中国語でのプレゼンテーション能力を身につけることを目的としていますが、授業の中心となるのはこれまでの復習と新しい語彙や文法の確認です。
また授業の最後に（授業2回に1回のペース）、その日に習った内容を暗記してそれぞれ簡単に発表してもらいます（毎回授業内で暗記の時間を設けます）。発表時間は一人につき1～2分です。授業で発表練習することで、中国語でのプレゼンテーションに慣れてもらえるようにします。
はじめのうちは身の回りのことを題材とした簡単な内容の文章を暗記し発表してもらいます。具体的な内容については、受講者の希望や能力をある程度反映したいと思います。

成績評価の方法

試験（期末40%、中間20%）、授業への参加度（20%）、小テスト（20%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語基礎AⅢ・基礎BⅢ 等

テキスト

陳淑梅／陸薇 『ことばと文化 一挙兩得 中級中国語』 朝日出版社

参考書

授業内で適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語演習プレゼンテーションII		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1201485700	単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ等）を終えて、さらに中国語能力の向上を目指すクラスです。このクラスは中国語を用いたプレゼンテーションの技術を磨くことを目標の一つとしていますが、授業の中心となるのはこれまでの復習と新しい語彙や文法の確認です。基礎的な会話の練習や読解なども行います。 具体的には、一回の授業の内、2／3は新たな題材の発音練習や文法解説を行い、残りの時間でその授業で習ったことをクラスの中である程度暗記してもらい発表する練習を行います。発表時間は一人につき数分の予定です。毎回の授業で簡単な発表練習をすることで、中国語でのプレゼンテーションの技法を身に着けましょう。授業で用いるテーマは交通や学校のことのような身近な内容を中心にする予定です。また授業内では読解・作文の練習もしたいと思います。 授業で扱う教科書では、日中の文化の差がしばしばクローズアップされており、中国の文化面についても学べるように進めていきたいと思っています。			
〔注意〕中国語演習 プレゼンテーションⅠは中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）の履修者、修了者のための授業です。中国語基礎科目（AⅠ・BⅠ、AⅡ・BⅡ）を履修せずに当該科目を履修することはできません。なお、基礎AⅢ、BⅢについては履修の有無にかかわらず履修可能です。			
到達目標			
・DP3（他者との協働）、Dp4（表現力、発信力）を実現すべく、具体的には以下の内容の習得を目標とします： ・より正確な発音で発表ができる ・中国語で発表ができる ・プレゼンテーションの技術を学ぶこと			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業の目標、希望することなどをアンケート形式で質問します。 ----- プレゼンテーションについて		
	到達目標や学びたいことなどを整理しておいてください。		60分
第2回	第六課 「生活習慣」		
	単語テスト		60分
第3回	第六課 「生活習慣」 練習問題・暗記練習		
	フレーズテスト		60分

第4回	第七課 「交通」	
	単語テスト	60分
第5回	第七課 「交通」 練習問題・暗記練習	
	フレーズテスト	60分
第6回	第八課 「学園祭」	
	単語テスト	60分
第7回	第八課 「学園祭」 練習問題・暗記練習	
	フレーズテスト	60分
第8回	中間試験・暗記練習	
	試験準備	60分
第9回	第九課 「体育」	
	単語テスト	60分

第10回	第九課 「体育」 練習問題・暗記練習	
	フレーズテスト	60分
第11回	第十課 「歌舞伎と京劇」	
	単語テスト	60分
第12回	第十課 「歌舞伎と京劇」 練習問題・暗記練習	
	フレーズテスト	60分
第13回	筆記試験	
	筆記試験の準備	60分
第14回	口頭試験	
	口頭試験の準備	60分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	60分

授業の方法

この授業は中国語でのプレゼンテーション能力を身につけることを目的としていますが、授業の中心となるのはこれまでの復習と新しい語彙や文法の確認です。
また授業の最後に（授業2回に1回のペース）、その日に習った内容を暗記してそれぞれ簡単に発表してもらいます（毎回授業内で暗記の時間を設けます）。発表時間は一人につき1～2分です。授業で発表練習することで、中国語でのプレゼンテーションに慣れてもらえるようにします。
はじめのうちは身の回りのことを題材とした簡単な内容の文章を暗記し発表してもらいます。具体的な内容については、受講者の希望や能力をある程度反映したいと思います。

成績評価の方法

試験（期末40%、中間20%）、授業への参加度（20%）、小テスト（20%）を総合的に判断します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語基礎AⅢ・基礎BⅢ

テキスト

陳淑梅／陸薇 『ことばと文化 一挙兩得 中級中国語』 朝日出版社

参考書

授業内で適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語演習検定対策Ⅰ		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001485850	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
韓国語を１年以上学習して初級レベルを終えた者を対象に検定試験の対策を通し、総合的な韓国語能力の向上を図る。 「ハングル」能力検定４～３級を中心に、試験の形式や出題傾向を理解し、合格のための力をつける。 授業では「ハングル」能力検定の初級～中級に重点を置くが、韓国語能力検定試験の対策についても扱う。			
到達目標			
①初・中級レベルの韓国語が理解できる。 ②検定試験の種類・形式・傾向に関する知識をつける。 ③学んだ文法・語彙を応用する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・各自、自己紹介をする。 ・目標を設定する。		
	【予習】韓国語の既習内容の概要を復習する。		60
第2回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認		
	【復習】授業の内容の復習		60
第3回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認		
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習		60

第4回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第5回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第6回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第7回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第8回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	テストの解説 出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【復習】授業の内容の復習	60

第10回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第11回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第12回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第13回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第14回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第15回	到達度確認テストおよびテストの解説	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

検定試験の出題形式・傾向を解説し、実際に過去問題や模擬試験を解いていく。
詳細は授業中に説明するが、内容は状況に応じて変更する可能性がある。

成績評価の方法

到達度確認テスト2回（各35%）、授業の参加度・提出物（30%）の総合評価。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ

テキスト

授業中に指定する。
必要に応じてプリントも配布。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語演習検定対策II		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1001485860	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
韓国語を1年以上学習して初級レベルを終えた者を対象に検定試験の対策を通し、総合的な韓国語能力の向上を図る。 「ハングル」検定3～準2級を中心に、試験の形式や出題傾向を理解し、合格のための力をつける。 授業では「ハングル」検定の中級に重点を置くが、韓国語能力検定試験の対策についても扱う。			
到達目標			
①中級レベルの韓国語が理解できる。 ②検定試験の種類・形式・傾向に関する知識をつける。 ③学んだ文法・語彙を応用する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・各自、自己紹介をする。 ・目標を設定する。		
	【予習】韓国語を学ぶ動機、学習歴などを(日本語で)話せるように準備する。		60
第2回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認		
	【復習】授業の内容の復習		60
第3回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認		
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習		60

第4回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第5回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第6回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第7回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第8回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	テストの解説 出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【復習】授業の内容の復習	60

第10回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第11回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第12回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第13回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第14回	出題形式の解説・練習・間違いやすい問題の確認	
	【予習】語彙リストの指定範囲の暗記 【復習】授業の内容の復習	60
第15回	到達度確認テストおよび解説	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

検定試験の出題形式・傾向を解説し、実際に過去問題や模擬試験を解いていく。
詳細は授業中に説明するが、内容は状況に応じて変更する可能性がある。

成績評価の方法

到達度確認テスト2回（各35%）、提出課題・授業の参加度（30%）の総合評価。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

韓国語Ⅰ・Ⅱ

テキスト

授業中に指定する。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語演習プレゼンテーションⅠ		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001485890	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語中級以上のレベルの人を対象にする。学んだ文法を復習しながら、応用力を身につけることと韓国語の資料（映像、文献など）を用いて韓国の文化・社会について調べ、韓国社会に対する理解を深めることを目標とする。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、2（課題の発見と解決）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 韓国語でプレゼンテーションし、自分の意見を韓国語で伝えることができる。 ② 言葉の背景にある意味を理解し、異文化に対する理解ができる。 ③ 異文化理解を通じて、自分を客観化し他者を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス、自己紹介		
	学んだ文法を復習		60分
第2回	1. 韓国の食文化 1		
	教材の翻訳		60分
第3回	2. 韓国の食文化 2		
	教材の翻訳		60分

第4回	3. 発表 1	
	発表準備	120分
第5回	4. 韓国のインターネット文化 1	
	教材の翻訳	60分
第6回	5. 韓国のインターネット文化 2	
	教材の翻訳	60分
第7回	6. 発表 2	
	発表準備	120分
第8回	7. 韓国人の名前 1	
	教材の翻訳	60分
第9回	8. 韓国人の名前 2	
	教材の翻訳	60分

第10回	9. 発表 3	
	発表準備	120分
第11回	10. 韓国の節句 1	
	教材の翻訳	60分
第12回	11. 韓国の節句 2	
	教材の翻訳	60分
第13回	12. 発表 4	
	発表準備	120分
第14回	13. 余暇の過ごし方	
	教材の翻訳	60分
第15回	期末テスト	
	テスト範囲を復習	120分

授業の方法

細かい文法説明より内容把握を重点をおいて進めて行く。深い議論、討論ができるよう、事前に提示された資料の翻訳、予習が必須となる。受講者全員、関心のあるテーマを選択し、韓国語で発表する。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。

成績評価の方法

- 1) 授業への参加度 30%
- 2) 発表 30%
- 3) テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語」関連授業

テキスト

授業中に紹介する。

参考書

日韓辞書、韓日辞書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語演習プレゼンテーションII		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1001485900	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語中級以上のレベルの人を対象にする。学んだ文法を復習しながら、応用力を身につけることと韓国語の資料（映像、文献など）を用いて韓国の文化・社会について調べ、韓国社会に対する理解を深めることを目標とする。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、2（課題の発見と解決）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 韓国語でプレゼンテーションし、自分の意見を韓国語で伝えることができる。 ② 言葉の背景にある意味を理解し、異文化に対する理解ができる。 ③ 異文化理解を通じて、自分を客観化し他者を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス、復習		
	学んだ文法を復習		60分
第2回	1. 韓国の教育 1		
	教材の翻訳		60分
第3回	2. 韓国の教育 2		
	教材の翻訳		60分

第4回	3. 発表 1	
	発表準備	120分
第5回	4. 韓国の住宅事情 1	
	教材の翻訳	60分
第6回	5. 韓国の住宅事情 2	
	教材の翻訳	60分
第7回	6. 発表 2	
	発表準備	120分
第8回	7. 韓国の大学生生活 1	
	教材の翻訳	60分
第9回	8. 韓国の大学生生活 2	
	教材の翻訳	60分

第10回	9. 発表 3	
	発表準備	120分
第11回	10. 韓国人の宗教 1	
	教材の翻訳	60分
第12回	11. 韓国人の宗教 2	
	教材の翻訳	60分
第13回	12. 発表 4	
	発表準備	120分
第14回	13. 韓国の交通	
	教材の翻訳	60分
第15回	期末テスト	
	テスト範囲を復習	120分

授業の方法

細かい文法説明より内容把握を重点をおいて進めて行く。深い議論、討論ができるよう、事前に提示された資料の翻訳、予習が必須となる。受講者全員、関心のあるテーマを選択し、韓国語で発表する。より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。

成績評価の方法

- 1) 授業への参加度 30%
- 2) 発表 30%
- 3) テスト 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語」関連授業

テキスト

授業中に紹介する。

参考書

日韓辞書、韓日辞書

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドイツ語会話Ⅰ <Ⅰ>		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1401486010	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業ではドイツ語会話を練習します。ドイツ語の初心者、ドイツ語会話が初めての学生、ドイツ語会話を復習したい学生のための授業です。ドイツ語圏の国々への旅行や、短期留学、留学を考えている皆さんも歓迎です。様々な日常生活の場面での会話を通じてドイツ語圏の国々の習慣や文化にも触れて行きます。ドイツ映画を見て、さらにドイツ語に馴染み、生活文化とその雰囲気を体験する予定です。

到達目標

色々なテーマを取り上げ、ドイツ語会話を練習します。

例文を聴く、読む、これらの語彙や慣用句、言い回し（イディオム）を学びます。会話に必要な文構造や文法事項をパートナーやグループワークの練習で身につけます。役割分担によって自由に話せる練習も行いたいと思います。その際、発音練習にも重点が置かれます。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション： 授業のやり方と進め方、成績評価の説明など、 ドイツ語について	
	復習	15分
第2回	ドイツ語圏の国々について 挨拶と自己紹介	
	復習	15分
第3回	好きなことについて話す プロフィールを書く	
	復習	15分

第4回	学校生活について 数字を練習	
	復習	15分
第5回	クラスルームと文房具について 単語を覚えるためのゲーム	
	復習	15分
第6回	時刻、日付け、曜日を表現する 1日スケジュールを描写する	
	復習	15分
第7回	インタビュー、対話練習 プレゼンテーション	
	復習	15分
第8回	休日の過ごし方について 待ち合わせ対話を練習する	
	復習	15分
第9回	できること、できないことについて話す 許可を求める	
	復習	15分

第10回	買い物する 品物と値段の表現する	
	復習	15分
第11回	対話練習、ゲーム、 プレゼンテーション	
	復習	15分
第12回	映画を見る、ディスカッション	
	復習	15分
第13回	映画を見る、ディスカッション	
	復習	15分
第14回	学期のまとめ 授業のアンケート	
	復習	15分
第15回	まとめ	
	復習	15分

授業の方法

授業はパートナーやグループワークを中心に行いますので積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目**テキスト**

なし

参考書**質問・相談方法等(オフィス・アワー)**

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語会話Ⅰ <2>		
教員名	トロル ヘルマン		
科目ナンバー	1401486010	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

The basics of German language

到達目標

We follow our textbook.

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction: Germany	
	Repeat	20
第2回	The German language	
	Repeat	30
第3回	Lesson 1a	
	Repeat lesson 1a	30

第4回	Lesson 1b	
	Repeat lesson 1b	30
第5回	Lesson 2a	
	Repeat lesson 2a	30
第6回	Lesson 2b	
	Repeat lesson 2b	30
第7回	Lesson 3	
	Repeat lesson 3	30
第8回	Short test and video	
	Repeat lesson 1 to 3	60
第9回	Lesson 4a	
	Repeat lesson 4a	40

第10回	Lesson 4b	
	Repeat lesson 4b	40
第11回	Lesson 5a	
	Repeat lesson 5a	40
第12回	Lesson 5b	
	Repeat lesson 5b	40
第13回	General review	
	Repeat lesson 3 to 5	50
第14回	Short test and video	
	Repeat lesson 1 to 5	60
第15回	Summary	
	None	20

授業の方法

We follow the textbook, step by step.

成績評価の方法

2 short tests (80%)
class participation (20%)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/
Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

None

テキスト

Einfaches Deutsch mit Umweltgedanken
(Troll/Ogushi)
Daisan Shobo (alt)
ISBN 978-4-8086-1186-6

参考書

文法から学べるドイツ語
(Ogasawara/Troll)
ナツメ社
ISBN 978-4-8163-3820

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。 専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語会話II <I>		
教員名	赤池 エルフリーデ		
科目ナンバー	1401486020	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
この授業ではドイツ語会話を練習します。ドイツ語の初心者、ドイツ語会話のはじめての学生、ドイツ語会話を復習したい学生のための授業です。ドイツ語圏の国々への旅行や、短期留学、留学を考えている皆さんも歓迎です。様々な日常生活の場面での会話を通じてドイツ語圏の国々の習慣や文化にも触れて行きます。ドイツ映画を見て、さらにドイツ語に馴染み、生活文化とその雰囲気を体験する予定です。			

到達目標			
色々なテーマを取り上げ、ドイツ語会話を練習します。 例文を聴く、読む、これらの語彙や慣用句、言い回し（イディオム）を学びます。会話に必要な文構造や文法事項をパートナーやグループワークの練習で見につけます。役割分担によって自由に話せる練習も行いたいと思います。その際、発音練習にも重点が置かれます。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	イントロダクション： 授業の説明 前期の復習、挨拶と自己紹介		
	復習		15分
第2回	日常生活について話す 自分の気持ちを表現する		
	復習		15分
第3回	食習慣について話す 対話練習、プレゼンテーション		
	復習		15分

第4回	食文化について レストランで注文する	
	復習	15分
第5回	休日の過ごし方について 休日のプランを立てる	
	復習	15分
第6回	休日の出来事を話す ブログを書く	
	復習	15分
第7回	お客を招待する お祝いの言葉	
	復習	15分
第8回	過去の出来事について話す インタビュー	
	復習	15分
第9回	街について話す 道案内の説明	
	復習	15分

第10回	ベルリンについて	
	復習	15分
第11回	旅行の計画を立てる ハガキを書く	
	復習	15分
第12回	映画を見る、ディスカッション	
	復習	15分
第13回	映画を見る、ディスカッション	
	復習	15分
第14回	一学期のまとめ 授業のアンケート	
	復習	15分
第15回	まとめ	
	復習	15分

授業の方法

授業はパートナーやグループワークを中心に行いますので積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目**テキスト**

なし

参考書**質問・相談方法等(オフィス・アワー)**

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	ドイツ語会話II <2>		
教員名	トロル ヘルマン		
科目ナンバー	1401486020	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

The basics of German language

到達目標

We follow our textbook.

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction: Germany	
	None	20
第2回	The German language and its specialty	
	Repeat	20
第3回	Lesson 6, repeat	
	Repeat lesson 6	20

第4回	Lesson 7a	
	Repeat lesson 7a	30
第5回	Lesson 7b	
	Repeat lesson 7b	30
第6回	Lesson 8a	
	Repeat lesson 8a	30
第7回	Lesson 8b	
	Repeat lesson 8b	30
第8回	Short test and video	
	Repeat lesson 6 to 8	60
第9回	Lesson 9a	
	Repeat lesson 9a	40

第10回	Lesson 9b	
	Repeat lesson 9b	40
第11回	Lesson 10	
	Repeat lesson 10	40
第12回	Lesson 11	
	Repeat lesson 11	40
第13回	Lesson 12	
	Repeat lesson 12	50
第14回	Short test and video	
	Repeat lesson 6 to 12	60
第15回	General review	
	None	20

授業の方法

We follow the textbook, step by step.

成績評価の方法

2 short tests (80%)
class participation (20%)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

None

テキスト

Einfaches Deutsch mit Umweltgedanken
(Troll/Ogushi)
Daisan Shobo (alt)
ISBN 978-4-8086-1186-6

参考書

文法から学べるドイツ語
(Ogasawara/Troll)
ナツメ社
ISBN 978-4-8163-3820

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。 専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	ドイツ語会話III		
教員名	トロル ヘルマン		
科目ナンバー	1201486030	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

The basics of German language
ドイツ語と英語
Germanic

到達目標

We follow our textbook.

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction: Germany ドイツin Europe	
	Repeat	20
第2回	The German language ドイツとドイツ語	
	Repeat	30
第3回	Lesson 1a 発音	
	Repeat lesson 1a	30

第4回	Lesson 1b 発音と書き方	
	Repeat lesson 1b	30
第5回	Lesson 2a 挨拶の表現	
	Repeat lesson 2a	30
第6回	Lesson 2b 動詞	
	Repeat lesson 2b	30
第7回	Lesson 3 名詞と文法的な性	
	Repeat lesson 3	30
第8回	Short test and video	
	Repeat lesson 1 to 3	50
第9回	Lesson 4a 疑問文	
	Repeat lesson 4a	30

第10回	Lesson 4b 質問と答え方	
	Repeat lesson 4b	30
第11回	Lesson 5a 簡単な会話を聞いて	
	Repeat lesson 5a	30
第12回	Lesson 5b Listen and write 聴くと書く	
	Repeat lesson 5b	30
第13回	General review	
	Repeat lesson 3 to 5	40
第14回	Short test and video	
	Repeat lesson 1 to 5	40
第15回	Summary まとめ	
	None	20

授業の方法

We follow the textbook, step by step.

成績評価の方法

2 short tests (80%)
class participation (20%)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/
Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

None

テキスト

Einfaches Deutsch mit Umweltgedanken
(Troll/Ogushi)
Daisan Shobo (alt)
ISBN 978-4-8086-1186-6

参考書

文法から学べるドイツ語
(Ogasawara/Troll)
ナツメ社
ISBN 978-4-8163-3820

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。

科目名	ドイツ語会話IV		
教員名	トロル ヘルマン		
科目ナンバー	1201486040	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

The basics of German language
ドイツ語はどんな言語ですか

到達目標

We follow our textbook.
教科書を使って

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction: Germany ドイツとドイツ語	
	None	20
第2回	The German language, repetition	
	Repeat	20
第3回	Lesson 6a	
	Repeat lesson 6a	20

第4回	Lesson 6b	
	Repeat lesson 6b	30
第5回	Lesson 7a	
	Repeat lesson 7a	30
第6回	Lesson 7b	
	Repeat lesson 7b	30
第7回	Lesson 8	
	Repeat lesson 8	30
第8回	Short test and video	
	Repeat lesson 6 to 8	60
第9回	Lesson 9	
	Repeat lesson 9	40

第10回	Lesson 10	
	Repeat lesson 10	40
第11回	Lesson 11	
	Repeat lesson 11	40
第12回	Lesson 12a	
	Repeat lesson 12a	40
第13回	Lesson 12b	
	Repeat lesson 12b	50
第14回	Short test and video	
	Repeat lesson 6 to 12	60
第15回	General review	
	None	20

授業の方法

We follow the textbook, step by step.

成績評価の方法

2 short tests (80%)
class participation (20%)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/
Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

None

テキスト

Einfaches Deutsch mit Umweltgedanken
(Troll/Ogushi)
Daisan Shobo
ISBN 978-4-8086-1186-6

参考書

文法から学べるドイツ語
(Ogasawara/Troll)
ナツメ社
ISBN 978-4-8163-3820

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。 専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	フランス語会話Ⅰ <1>		
教員名	サックス ジェラルド		
科目ナンバー	1401486210	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
会話表現学習のために編まれた教科書『フランス語の音色（CD付き）』を使って授業を進めます。フランス語会話Ⅰは、フランス人教員が担当し、フランス語をじかに聞き、じかに話すという実践的会話力を身につけるとともに、基礎フランス語の確実な理解を目指します。			
到達目標			
DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化習得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を習得できる。フランス語検定の4級レベルに合格する。 DP3・様々な状況の中で多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。 DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	教科書の構成に従い概ね以下の内容を学習します。		
	Introduction		
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。		60
第2回	Leçon 1 名詞の性と数		
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。		
			60
第3回	Leçon 2 形容詞の性・数一致と位置		
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。		
			60
第4回	Leçon 3 部分冠詞		
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。		
			60

第5回	Leçon 4 -er 規則動詞の直説法現在	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第6回	Leçon 5 -ir 規則動詞の直説法現在	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第7回	BILAN 1 まとめ	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第8回	Leçon 6 疑問代名詞	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第9回	Leçon 7 近接未来	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第10回	Leçon 8 前置詞 deと定冠詞 le	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60

第11回	Leçon 9 直接目的語・強勢形の人称代名詞	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第12回	Leçon 10 間接目的語の人称代名詞	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第13回	BILAN 2 これまでのまとめ	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第14回	復習	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第15回	前期試験	
	授業で学んだことをよく復習しておくこと。	60
授業の方法		
会話の練習（ロールプレー）をしながら、質問への答え方や会話の進め方を習得します。それと同時に、宿題を通じて、書く能力を学んでもらいます。		
成績評価の方法		
授業への積極的な出席を基本とする平常点（10%）、課題や小テスト（10%）、期末試験の成績（80%）を考慮して総合的に判断する。		

成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.
必要な予備知識／先修科目／関連科目 特になし
テキスト 『フランス語の音色（CD付）』 中村 敦子 著 B5 64ページ 並製 定価：2300円＋税 ISBN978-4-411-01125-1 C1085 奥付の初版発行年月：2017年02月／[2017年02月01日刊行] Le Dico 仏和辞典（フランス語の辞書は必ず購入しておくこと）
参考書 辞書・参考書は適宜指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語会話Ⅰ <2>		
教員名	デゥボー フロランス		
科目ナンバー	1401486210	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
フランスの社会 フランスの現代社会におけるオラルコミュニケーション、ジェスチャーコミュニケーション&筆記デジコミュニケーション フランスの映画 フランス語圏の国々の文化			

到達目標			
フランス語能力を磨く。 自然な会話ができるようになる。スムーズなジェスチャー、オラルコミュニケーションと筆記デジコミュニケーションをとる力になる。 語彙を増やす。 他クラスに学んだ文法を使えるようになる。			
文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。 フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。 フランスの映画の特徴を発見する。映画の作成について、またはフランスの映画の世界について話すことができるようになる。			
資格：Texto 2 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A2 や日本の仏検の3級のレベルを育む教材。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	Orientation L1-1 S'engager, agir	
	L1 devoirs 1	60
第2回	L1-2 S'engager pour sa santé	
	L1 devoirs 2	60 60分
第3回	L1-3 S'investir	
	L1 devoirs 3	60

第4回	L1-4 culture: gestes d'engagement dans les films	
	L1 devoirs 4 Mail (フランス語圏の人々とメール交換開始)	60
第5回	L2-1 Voyager: Organiser	
	L2 devoirs 1	60
第6回	L2-1 Voyager: Louer pour un séjour	
	L2 devoirs 2	60
第7回	L2-3 Voyager: Itinéraire	
	L2 devoirs 3	60
第8回	L2-4 Culture: Nice	
	L2 Mail 2	60
第9回	L3-1 Raconter: Expérience personnelle	
	L3 devoirs 1	60

第10回	L3-2 Raconter: Une personne célèbre	
	L3 devoirs 2	60
	L3 devoirs 2	
第11回	L3-3 Raconter: Un changement de vie	
	L3 devoirs 3	60
第12回	L3-4 Culture: Vous avez dit «café»?	
	L3 Mail 3	60
第13回	L4-1 S'exprimer: Goûts	
	L4 devoirs 1	60
第14回	L4-2 S'exprimer: Problèmes et solutions	
	L4 devoirs 2 口頭テストの準備	90
第15回	Test oral	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60

授業の方法

積極的な相互学習活動を通じて、話す練習で自分の経験や知識を活かして、フランス語能力が一層レベルアップになる。

授業の時：会話優先。聞くと話すことだけになる。

オラルの文法の復習をできるだけ少なくし、聞く、話す時間を拡大する。楽しく学んだジェスチャーを使ってみる。

聞く、見る。語彙のリストに参考し、会話の中にすぐ取り組む。

会話のパートナーを頻度高く変えて、色々な Situations に慣れながら、単語や言い回しの取得を増やしていく。

授業後：書く練習（宿題）。

月一回、フランス語圏の人とフランス語のメールを交換し、実際の筆記のコミュニケーションをとる。メール相手の文化を鑑賞し、自分の文化（日本の文化）を説明する力を付けます。

尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合があります。

成績評価の方法

授業への積極性や宿題と小テスト（40%）、メール、発表、期末試験の成績（60%）

毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語の直説法の現在形と複合過去の習得済み。文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。自分の経験と知識を使う。

テキスト

Texte 2

DVD-ROM付

Marie-José Lopes, Jean-Thierry Le Bougnec 著者

Hachette 出版

ISBN 978-2-01-401586-7

3,537 円 内税

参考書

辞書、他の教科書、インターネットを参考する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	フランス語会話II <1>		
教員名	サックス ジェラルド		
科目ナンバー	1401486220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

会話表現学習のために編まれた教科書『フランス語の音色（CD付き）』を使って授業を進めます。フランス語会話IIは、フランス人教員が担当し、フランス語をじかに聞き、じかに話すという実践的会話力を身につけるとともに、基礎フランス語の確実な理解を目指します。

到達目標

DP1・基本的なフランス語の会話表現を理解できる。外国文化習得の基礎となるフランス語の基本的な文章の意味を理解し運用することができる。状況に応じたコミュニケーション能力を習得できる。フランス語検定の4級レベルに合格する。

DP3・様々な状況の中で多様な文化に触れ、相互理解を深めることができる。

DP5・言語を通しての相互理解の上で、自己の意見を発信できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	教科書の構成に従い概ね以下の内容を学習します。	
	CIVILISATION フランスの都市紹介	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第2回	Leçon 11 代名動詞	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第3回	Leçon 12 複合過去（1）	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60

第4回	Leçon 13 複合過去（2）	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0
第5回	Leçon 14 中性代名詞 en, y	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0
第6回	Leçon 15 比較級	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0
第7回	BILAN 3 まとめ	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0
第8回	Leçon 16 直説法半過去	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0
第9回	Leçon 17 関係代名詞	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	6 0

第10回	Leçon 18 直説法単純未来	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第11回	Leçon 19 条件法現在	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第12回	Leçon 20 接続法現在形	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第13回	BILAN 4 これまでのまとめ	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第14回	復習	
	単語を調べる、宿題を解く、例文を音読するなどの予習・復習。	60
第15回	後期試験	
	授業で学んだことをよく復習しておくこと。	60

授業の方法

会話の練習（ロールプレー）をしながら、質問への答え方や会話の進め方を習得します。それと同時に、宿題を通じて、書く能力を学んでもらいます。

成績評価の方法

授業への積極的な出席を基本とする平常点（10%）、課題や小テスト（10%）、期末試験の成績（80%）を考慮して総合的に判断する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

原則的に前期履修者を対象とします

テキスト

『フランス語の音色（CD付）』

中村 敦子 著

B5 64ページ 並製

定価：2300円＋税

ISBN978-4-411-01125-1 C1085

奥付の初版発行年月：2017年02月／[2017年02月01日刊行]

Le Dico 仏和辞典（フランス語の辞書は必ず購入しておくこと）

参考書

辞書・参考書は適宜指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	フランス語会話II <2>		
教員名	デュボー フロランス		
科目ナンバー	1401486220	単位数	1
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
フランスの社会 フランスの現代社会におけるオラルコミュニケーション、ジェスチャーコミュニケーション&筆記デジコミュニケーション フランその映画 フランス語圏の国々の文化			
到達目標			
フランス語能力を磨く。 自然な会話ができるようになる。スムーズなジェスチャー、オラルコミュニケーションと筆記デジコミュニケーションをとる力になる。 語彙を増やす。 他クラスに学んだ文法を使えるようになる。 文化：フランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。 フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。 フランスの映画の特徴を発見する。映画の作成について、またはフランスの映画の世界について話すことができるようになる。 資格：Texto 2 は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A2 や日本の仏検の3級のレベルを育む教材。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	L4-3 S'exprimer:Donner son opinion		
	L4 devoirs 3		60
第2回	L4-4 Culture:Vous avez dit «café»? Suite		
	L4 Mail 4		60
第3回	L5-1 Travailler: Règles pour un entretien		
	L5 devoirs 1		60

第4回	L5-2 Travailler: Donner des conseils	
	L5 devoirs 2	60
第5回	L5-3 Travailler: Égalité	
	L5 devoirs 3	60
第6回	L5-4 Travailler: Un job	
	L5 Mail 5	60
第7回	Activite spéciale: La francophonie et la Francophonie Découverte et approfondissement 受講生は、調べて、まとめて、 ミニ発表し、感想を述べる。	
	宿題 : Projet de classe: Présenter de grands francophones. (Préparation)	60
第8回	Projet de Classe: Présentation et débat	
	宿題 1 : Projet de classe: Correction de la présentation de grands francophones 宿題 2 : Transcrire et compléter la partie «opinions» du débat	60

第9回	L6-1 Vivre: Règles en société	
	L6 devoirs 1	60
第10回	L6-2 Vivre: Citoyen du monde	
	L6 devoirs 2	60
第11回	L6-3 Vivre: Urbanisme	
	L6 devoirs 3	60
第12回	L6-4 Vivre: Cohabiter	
	L6 Mail 6	60
第13回	L7-1 Consommer: Poser des question sur un objet	
	L7 devoirs 1	60

第14回	L7-2 Consommer: Pub magazine, pub radio	
	L7 devoirs 2 Préparation du test oral	90
第15回	Test oral	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60
授業の方法		
積極的な相互学習活動を通じて、話す練習で自分の経験や知識を活かして、フランス語能力が一層レベルアップになる。		
授業の時：会話優先。聞くと話すことだけになる。 オラルの文法の復習をできるだけ少なくし、聞く、話す時間を拡大する。楽しく学んだジェスチャーを使ってみる。		
聞く、見る。語彙のリストに参考し、会話の中にすぐ取り組む。 会話のパートナーを頻度高く変えて、色々な Situations に慣れながら、単語や言い回しの取得を増やしていく。		
授業後：書く練習（宿題）。 月一回、フランス語圏の人とフランス語のメールを交換し、実際の筆記のコミュニケーションをとる。メール相手の文化を鑑賞し、自分の文化（日本の文化）を説明する力を付けます。		
尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合があります。		
成績評価の方法		
授業への積極性や宿題と小テスト（40%）、メール、発表、期末試験の成績（60%） 毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
フランス語の直説法の現在形と複合過去の習得済み。文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。 自分の経験と知識を使う。		
テキスト		
Texto 2 DVD-ROM付 Marie-José Lopes, Jean-Thierry Le Bougnec 著者 Hachette 出版 ISBN 978-2-01-401586-7 3,537 円 内税		
参考書		
辞書、他の教科書、インターネットを参考する。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
授業終了後に教室で受け付ける。		

科目名	フランス語会話III		
教員名	デゥボー フロランス		
科目ナンバー	1201486230	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
フランスの若者の今 フランス語圏の国々の若者の今 日本の若者の今			
到達目標			
オーラルコミュニケーションと筆記デジコミュニケーションに慣れて、その能力を伸ばす： 発音の仕方は身につく。 文法は例・パターンで覚えていく。自然に、自然な話し方になる。 会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。 自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。 PCを通じて、フランス語入力は簡単にできるようになる。 文化：フランスやフランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。 フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。 資格：Les jeunes Français d'aujourd'hui は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1.2 や日本の仏検の3級のレベルを育む教材。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	Orientation 東京のフランス人 1		
	復習：自己紹介を書く。		60
第2回	東京のフランス人 2 ・自己紹介・自分の学校		
	復習：自分の学校について書く。		60
第3回	趣味について語る 1		
	復習：自分の趣味、娯楽について書く。		60
第4回	趣味について語る 2 ・自分の趣味について語る		
	復習：日本人が好きなフランスの物とは。 (書く練習) 次回のメールセッションの準備：今まで学んだ言い回しを書く練習する。		60

第5回	デジコミュニケーション：メールをフランス語で書く。Mail 1 (フランス語圏の人々とメール交換開始)	
	フランス語圏の国々はどんな国かを調べておく。	60
第6回	フランスでの食生活 1	
	復習：自分の食生活・作文	60
第7回	フランス人の食生活 2・自分の食生活・好きな料理	
	復習：好きな料理のレシピ	60
第8回	日本食のイメージ 1	
	復習：フランスの食事のイメージ	60
第9回	日本食のイメージ 2・フランスの食事のイメージ&経験を語る	
	復習：日本でのフランス料理について書く。 Mail 2	60
第10回	ブルターニュの音楽祭・Les Vieilles-Charruésフェスティバル 1	
	復習：気に入ったイベントについての感想	60
第11回	ブルターニュの音楽祭 2・フランスと日本の行事	

	復習：若い日本人はどんなイベントが好きか。	60
第12回	パリに住む、地方に住む 1	
	復習：自分が住みたいところについて書く。	60
第13回	パリに住む、地方に住む 2 ・ 自分のまち・自分の住みたいまち	
	復習：日本の若者の未来のまちとは。 Mail 3	60
第14回	Grand Exercice de Pratique orale : フランスと日本の若者のあり方（まとめ） 自分のメール相手の国の若者のあり方（ミニ発表）	
	口頭テストの準備	60
第15回	口頭テスト	
	口頭テストでうまくいったところ、上手にできなかったところを考える。	60
授業の方法		
一課は、授業の2コマ。 授業1：読解と聴を通じて、語彙や言い回しのパターンを学んで（45分）、いろいろなミニ会話で使ってみる（45分）。宿題で自分で言ったことや伝えたいことを書く。 授業2：文法や翻訳の練習を通じて、パターンの正確さを確かめ、今度は、他の受講生とのQ&Aの会話で、自分の事、日本やフランスフランス語圏国々若者について語る、話、聞く、比べる。宿題でまとめる。 月一回、フランス語圏の若とメール交換し、必要な情報を得るようにする。リアルコミュニケーションを通じて、自分の個性、文化の個性を活かし、誇り、楽しく伝えてゆく。そして、メール相手のことや国の若者について積極的にクラスの仲間に伝えるようにする。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合があります。		

成績評価の方法

授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%）
毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語の直説法現在と複合過去の習得済み。文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。
自分の経験と知識を使う。

テキスト

Les jeunes Français d'aujourd'hui
CD-ROM付
Sakurako Inoue, Vincent Brancourt 著者
朝日出版
ISBN 978-4-255-35263-3

2,300円＋税

参考書

辞書、他の教科書、インターネットを参考する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	フランス語会話IV		
教員名	デューボア フロランス		
科目ナンバー	1201486240	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
フランスの若者の今 フランス語圏の国々の若者の今 日本の若者の今			
到達目標			
オラルコミュニケーションと筆記デジコミュニケーションに慣れて、その能力を伸ばす： 発音の仕方は身につく。 文法は例・パターンで覚えていく。自然に、自然な話し方になる。 会話を簡単に交わせるようになるから、フランス語を学ぶのは、楽しくなる。 自分のフランス語能力の発展ができるように勉強の自立性は生まれる。 PCを通じて、フランス語入力は簡単にできるようになる。 文化：フランスやフランス語圏の国や人々について知識を得る。自分の文化を見つめて説明ができるようになる。 フランスの社会のあり方が少しわかるようになる。 資格：Les jeunes Français d'aujourd'hui は、ヨーロッパ共通参照枠のフランス語能力試験 DELF A1.2 や日本の仏検の3級のレベルを育む教材。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	Chloé の一日 1：生活習慣		
	復習：自分の一日の出来事を書く。(作文)		60
第2回	Chloé の一日 2：Mode		
	復習：自分の衣類について書く。若い日本人は、何を着ているかも書く。		60
第3回	ヴァカンスとアルバイト 1：何をしたか。		
	復習：自分の夏休みのヴァカンスのミニ日記		60
第4回	ヴァカンスとアルバイト 2：バイトについて		
	復習：自分のバイトについて語る。日本の若者とバイトの事情。 Mail 4		60

第5回	演劇との出会い 1 : 過去の出来事を語る。	
	復習 : 自分の経験を語る。	60
第6回	演劇との出会い 2 : Spectacle	
	復習 : 好きなショーについて語り、印象も記す。	60
第7回	家庭の事情 1 : 家庭について語る。	
	復習 : 自分の家族に事情	60
第8回	家庭の事情 2 : カップル	
	復習 : 日本の家族、カップルについて書く。 Mail 5	60
第9回	就職問題 1 : 雇用	
	復習 : 自分の経験で、履歴書をフランス語で作成してみる。	60
第10回	就職問題 2 : フランスと日本の違い	
	復習 : 日本とフランスの労働世界のイメージ	60
第11回	バカロレアを受けてから、どうする? 1 : 未来の予定と希望	

第12回	復習： 自分の未来の予定と希望を書く。	60
	バカロレアを受けてから、どうする？ 2 : 日本のフランスの学校生活の差異	
第13回	復習：日本のフランスの学校生活の違いを説明する。 Mail 6	60
	2つのVTR: 就職と Noël 見て、かたる。感想を述べる。	
第14回	メル相手から来たメールの内容を整理し、3つのカテゴリーで分ける（国の紹介・伝統・生活（学校、労働、家族、住まい等）。その国の若者はどういう風に暮らすか考えて、15行でまとめる。	60
	メール相手の国の若者は、どんな人、そしてどう暮らしているかを発表する。（テストではありません。）	
第15回	口頭テストの準備	60
	口頭テスト	
第15回	口頭テストは、うまくいったかどうか考える。	60
授業の方法 一課は、授業の2コマ。 授業1：読解と聴を通じて、語彙や言い回しのパターンを学んで（45分）、いろいろなミニ会話で試してみる（45分）。宿題で自分で言ったことや伝えたいことを書く。 授業2：文法や翻訳の練習を通じて、パターンの正確さを確かめ、今度は、他の受講生とのQ&Aの会話で、自分の事、日本やフランスやフランス語圏の国々若者について語る、話、聞く、比べる。宿題でまとめる。 月一回、フランス語圏の若とメール交換し、必要な情報を得るようにする。リアルコミュニケーションを通じて、自分の個性、文化の個性を活かし、誇り、楽しく伝えてゆく。そして、メール相手のことや国の若者について積極的にクラスの仲間に伝えるようにする。 尚、受講生のフランス語の知識や授業の進捗によって、授業内容を一部変更する場合がある。		

成績評価の方法

授業への積極性や宿題と小テスト（30%）、メール、発表、期末試験の成績（70%）
毎週の授業への出席証明は、宿題の提出です。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フランス語の直説法現在と複合過去の習得済み。文法のクラスや他のクラスで学ぶ知識を活かす。
自分の経験と知識を使う。

テキスト

Les jeunes Français d'aujourd'hui
CD-ROM付
Sakurako Inoue, Vincent Brancourt 著者
朝日出版
ISBN 978-4-255-35263-3

2,300円＋税

参考書

辞書、他の教科書、インターネットを参考する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	スペイン語会話Ⅰ <Ⅰ>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1401486410	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1. 日常の基本的な会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。
2. テキスト、ビデオ、CDを使って、スペイン語圏の国々への関心を喚起します。
3. 学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。
4. できる限り学生の必要性やレベルに合わせて授業を進めて行くつもりです。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とします。

- ①文法のレベル：直説法現在形を使いこなせるようになる。
 - ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。
 - ③スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。
- ※出来る限り学生の希望をとり入れて授業の構成していきます。
 ※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業のオリエンテーション	
	【予習】 シラバスの講義内容を読んでおく 【復習】 授業の進め方や評価を確認する	60分
第2回	スペイン語の発音の特徴、あいさつ、自己紹介 (スペイン語文の作り方I)	
	【復習】 授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	人を紹介する、家族や友達の話、色々な質問をする (スペイン語文の作り方II)	
	【復習】 授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】 次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	人や物を描写する、色々なものの特徴を話す (ser動詞と形容詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	～はいつですか（日付や生年月日） どこかに行きたい時、道に迷った時（動詞estarとhay）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	大学での生活、日常の活動を話す 現在形(-ar, -er, -ir動詞の規則活用)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	仕事や将来のことを話す 現在形(-ar, -er, -ir動詞の規則活用) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	趣味や余暇について話す 現在形(不規則規則活用) (1) 日常の活動を話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	何をしているのですか 現在進行形の用法	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	～しませんか(勧誘)、丁寧に断る時の表現 未来の予定を話す(ir a +不定詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	～してはいけません、～しなければいけません 義務や禁止、許可を求める表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	趣味や好みを話す ～してもらえませんか(依頼する時の表現)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	体調を伝える、病院で使える表現 ～はどうですか(何かを勧める時の表現)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習とまとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

テキストの各課のダイアログを読み、ペアで練習します。

- ・発音、文章の理解と作文にも配慮します。
- ・時々、スペイン語圏の文化に関するDVDや歌を紹介します。
- ・グループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%(そのうち20%はプレゼンテーション)を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「スペイン語基礎AI/AII」, 「スペイン語基礎B1/BII」

この授業ではコミュニケーションを重視しますが、詳細な文法説明が必要ななら日本語で説明します。

テキスト

Ambar: curso de español (アンバル: スペイン語講座)

フアン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

参考書

必要に応じて紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業中に教室で受け付ける。

科目名	スペイン語会話Ⅰ <2>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1401486410	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1. 日常の基本的な会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。
2. テキスト、ビデオ、CDを使って、スペイン語圏の国々への関心を喚起します。
3. 学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。
4. できる限り学生の必要性やレベルに合わせて授業を進めて行くつもりです。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とします。

- ①文法のレベル：直説法現在形を使いこなせるようになる。
 - ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。
 - ③スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。
- ※出来る限り学生の希望をとり入れて授業の構成していきます。
 ※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	授業のオリエンテーション	
	【予習】シラバスの講義内容を読んでおく 【復習】授業の進め方や評価を確認する	60分
第2回	スペイン語の発音の特徴、あいさつ、自己紹介 (スペイン語文の作り方I)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	人を紹介する、家族や友達の話、色々な質問をする (スペイン語文の作り方II)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	人や物を描写する、色々なものの特徴を話す (ser動詞と形容詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	～はいつですか（日付や生年月日） どこかに行きたい時、道に迷った時（動詞estarとhay）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	大学での生活、日常の活動を話す 現在形(-ar, -er, -ir動詞の規則活用)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	仕事や将来のことを話す 現在形(-ar, -er, -ir動詞の規則活用) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	趣味や余暇について話す 現在形(不規則規則活用) (1) 日常の活動を話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	何をしているのですか 現在進行形の用法	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	～しませんか(勧誘)、丁寧に断る時の表現 未来の予定を話す(ir a +不定詞)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	～してはいけません、～しなければいけません 義務や禁止、許可を求める表現	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	趣味や好みを話す ～してもらえませんか(依頼する時の表現)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	体調を伝える、病院で使える表現 ～はどうですか(何かを勧める時の表現)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習とまとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

テキストの各課のダイアログを読み、ペアで練習します。

- ・発音、文章の理解と作文にも配慮します。
- ・時々、スペイン語圏の文化に関するDVDや歌を紹介します。
- ・グループで会話をしたり、発表したりしながら、スペイン語の学習を楽しもうと思います。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%(そのうち20%はプレゼンテーション)を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「スペイン語基礎AI/AII」, 「スペイン語基礎B1/BII」

この授業ではコミュニケーションを重視しますが、詳細な文法説明が必要なら日本語で説明します。

テキスト

Ambar: curso de español (アンバル: スペイン語講座)

フアン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

参考書

必要に応じて紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業中に教室で受け付ける。

科目名	スペイン語会話II <1>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1401486420	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

1. 日常の基本的な会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。
2. テキスト、ビデオ、CDを使って、スペイン語圏の国々への関心を喚起します。
3. 学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。
4. できる限り学生の必要性やレベルに合わせて授業を進めて行くつもりです。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とします。

- ①文法のレベル：直説法現在（規則動詞・不規則動詞）、点過去、線過去を使いこなせるようになる。
- ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。
- ③スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。

※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスの講義内容を読んでおく 【復習】授業の進め方や評価を確認する	60分
第2回	前期の復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	1日の行動を述べる：再帰動詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	食べ物について話す：動詞gustar	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞interesar, parecer, dolerを使って話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	視聴覚資料（映画など）鑑賞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	家族と職業について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	日常生活について話す（ここまで習った動詞や再帰動詞の復習）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	週末の出来事を話す（過去形）（1）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	週末の出来事を話す(過去形) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	子供のころの出来事を話す(過去形) (1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	子供のころの出来事を話す(過去形) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	学んだことを駆使してプレゼンテーションにチャレンジ	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習とまとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

- ・テキストの各課のダイアログを読み、ペアで練習します。
- ・発音、文章の理解と作文にも配慮します。
- ・時々、スペイン語圏の文化に関するビデオやラテンアメリカの歌を紹介します。
- ・ラテンアメリカの国々について、パワーポイントでグループ発表してもらう場合があります。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%(そのうち20%はプレゼンテーション)を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ、スペイン語基礎AⅢⅠ・BⅢⅠ、スペイン語会話Ⅰ

※この授業ではコミュニケーションを重視しますが、必要に応じて文法の復習をおこないます。

テキスト

Ambar: curso de español (アンバル：スペイン語講座)

フアン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

参考書

必要に応じて紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	スペイン語会話II <2>		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1401486420	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

1. 日常の基本的な会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。
2. テキスト、ビデオ、CDを使って、スペイン語圏の国々への関心を喚起します。
3. 学生が積極的に参加できるように授業を進めていきます。
4. できる限り学生の必要性やレベルに合わせて授業を進めて行くつもりです。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とします。

- ①文法のレベル：直説法現在（規則動詞・不規則動詞）、点過去、線過去を使いこなせるようになる。
- ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。
- ③スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。

※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスの講義内容を読んでおく 【復習】授業の進め方や評価を確認する	60分
第2回	前期の復習	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	1日の行動を述べる：再帰動詞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	食べ物について話す：動詞gustar	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	動詞interesar, parecer, dolerを使って話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	視聴覚資料（映画など）鑑賞	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	家族と職業について話す	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	日常生活について話す（ここまで習った動詞や再帰動詞の復習）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	週末の出来事を話す（過去形）（1）	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	週末の出来事を話す(過去形) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	子供のころの出来事を話す(過去形) (1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	子供のころの出来事を話す(過去形) (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	学んだことを駆使してプレゼンテーションにチャレンジ	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習とまとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

- ・テキストの各課のダイアログを読み、ペアで練習します。
- ・発音、文章の理解と作文にも配慮します。
- ・時々、スペイン語圏の文化に関するビデオやラテンアメリカの歌を紹介します。
- ・ラテンアメリカの国々について、パワーポイントでグループ発表してもらう場合があります。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%(そのうち20%はプレゼンテーション)を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：スペイン語基礎AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ、スペイン語基礎AⅢⅠ・BⅢⅠ、スペイン語会話Ⅰ

※この授業ではコミュニケーションを重視しますが、必要に応じて文法の復習をおこないます。

テキスト

Ambar: curso de español (アンバル：スペイン語講座)

フアン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

参考書

必要に応じて紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	スペイン語会話III		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1201486430	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1. スペイン語圏の国々への関心を深めます。
2. 日常の会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。
3. 文法事項の理解を深め、音声学習・文章作成にも力を入れます。

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とします。

- ①文法レベル：直説法現在、点過去、線過去、現在完了を使いこなせるようになる。
 - ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。
 - ③日記や手紙などの文章作成力、物語などの文章理解力を伸ばす。
 - ④スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。
- ※出来る限り学生の希望をとり入れて授業を構成していきます。
※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	1年次の復習(1) (直説法現在)	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	60分
第2回	1年次の復習(2) (直説法点過去、線過去、現在完了)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第3回	日記の書き方(1) スペイン語で日記を書き、コメントする	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第4回	日記の書き方(2) スペイン語で日記を書き、コメントする	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	スペイン語圏の生活習慣を説明する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	スペイン語圏の文化(1) 映画についてスペイン語で意見交換	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	スペイン語圏の文化(2) 音楽についてスペイン語で意見交換	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	プレゼンテーション(自由テーマ)と意見交換 (1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	プレゼンテーション(自由テーマ)と意見交換 (2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	プレゼンテーション(自由テーマ)と意見交換 (3)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	スペイン語で手紙やメールを書く(1)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	スペイン語で手紙やメールを書く(2)	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	場面別会話練習：病院や旅行での会話	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習とまとめ	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

ペアやグループでの発表、日記の提出を中心に、受講生に積極的に参加してもらうように配慮します。その他に1ヶ月に1度位の割合で歌や踊りを体験したりビデオを見たりする機会を設けます。
復習しながら進めますので、学習のブランクがある方も履修が可能です。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とします。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「スペイン語基礎AI/AII」「スペイン語基礎BI/BII」「スペイン語会話I/II」を履修済みか、同等の学力をもつ人が対象です。

※基礎文法、特に動詞の活用に関する知識を前提とします。

※復習しながら進めますので、学習のブランクがある方も履修が可能です。

テキスト

テキストは特に使用しません。資料は教員が配布します。

参考書

Ambar: curso de español (アンバル: スペイン語講座)

ファン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

中西千夏(著)『旅の指さし会話帳(12)スペイン』情報センター出版局

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	スペイン語会話Ⅳ		
教員名	三輪 イルマ		
科目ナンバー	1201486440	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
1. スペイン語圏の国々への関心を深めます。 2. 日常の会話ができるように、コミュニケーション能力を高めます。 3. 文法事項の理解を深め、音声学習・文章作成にも力を入れます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とします。 ①文法レベル：直説法の復習、命令形と接続法 ②日常会話や手紙などでのコミュニケーション能力を高める。 ③日記や手紙などの文章作成力、物語などの文章理解力を伸ばす。 ④スペイン語圏のどこでも買い物や一人旅行などができる異文化理解力を身に付ける。 ※出来る限り学生の希望をとり入れて授業の構成していきます。 ※下記の予定は受講生の習熟度を見ながら適宜調整します。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	夏休みの出来事を話す、日記を書く練習		
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。		60分
第2回	ラテンアメリカの国々の習慣について話す(クリスマス、誕生日、その他の祭り)(1)		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分
第3回	ラテンアメリカの国々の習慣について話す(クリスマス、誕生日、その他の祭り)(2)		
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。		60分

第4回	スペイン語圏の童話や伝説の紹介	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第5回	物語 1 (読解と意見交換) テーマについて話し合う	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第6回	物語 2 (読解と意見交換) テーマについて話し合う	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第7回	物語 3 (読解と意見交換) テーマについて話し合う	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第8回	物語 4 (読解と意見交換) 発表を準備する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第9回	物語 5 (読解と意見交換) 発表を準備する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分

第10回	物語 6 (読解と意見交換) 発表を準備する	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第11回	物語 7 (読解と意見交換) グループで発表	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第12回	物語 8 (読解と意見交換) グループで発表	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第13回	物語 9 (読解と意見交換) グループで発表	
	【復習】授業で学んだ部分を見直し、出された課題に取り組む。 【予習】次回授業で扱う章に目を通し、未知語の意味などを確認する。	60分
第14回	到達度確認テスト	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	120分
第15回	テストの復習	
	【復習】半期で学んだことを総復習する。 【予習】未習の範囲を把握し、今後の学習の見通しを立てる。	60分

授業の方法

ペアやグループでの発表、日記の提出を中心に、受講生に積極的に参加してもらうように配慮します。その他に1ヶ月に1度位の割合で歌や踊りを体験したりビデオを見たりする機会を設けます。
復習しながら進めますので、学習のブランクがある方も履修が可能です。

成績評価の方法

平常点(参加態度、授業中の活動、課題など)60%、試験40%を目安に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

さらに、上記の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とします。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「スペイン語基礎AI/AII」「スペイン語基礎BI/BII」「スペイン語会話I/II」を履修済みか、同等の学力をもつ人が対象です。

※基礎文法、特に動詞の活用に関する知識を前提とします。

※復習しながら進めますので、学習のブランクがある方も履修が可能です。

テキスト

テキストは特に使用しません。資料は教員が配布します。

参考書

Ambar: curso de español (アンバル: スペイン語講座)

フアン カルロス モヤノ ロペス, カルロス ガルシア ルイス-カスティージョ, 高松英樹著, 弘学社

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	中国語会話 I <1>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1701486610	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。
 毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第1課 会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第2回	第2課 会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第3回	第3課 会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分

第4回	第4課 会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第5回	第5課 会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第6回	第6課 会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第7回	第7課 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第8回	第8課 会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第9回	第9課 会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分

第10回	第10課 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第11回	第11課 会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第12回	第12課 会話を学習する 文法を学習する 主述述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 1～12課の文を全部暗唱できるようにする。	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 1～12課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする。	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式で授業を進めていきます。各課で設定された日常生活の多くの場面において、学習者が単語と基本文型を応用しながら役柄にチャレンジし、ロールプレーと寸劇により、楽しく会話力を身につけていきます。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話 I <2>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1701486610	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	第1課 会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第2回	第2課 会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第3回	第3課 会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第4回	第4課 会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第5課 会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第6課 会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第7課 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第8課 会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第9課 会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第10課 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第11課 会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第12課 会話を学習する 文法を学習する 主述述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 1～12課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 1～12課の文のピンイン、漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。赤ちゃんが母語を習得する際の過程と似ています。1コマ授業のうち、履修者が中国語を聞き、話す時間は3/4の程度で、日本語解説を聞く時間は1/4程度です。

毎回の授業の冒頭に単語テストを行い、その後中国語による文法項目の導入、文型練習、文法解説、ヒヤリング、書き取りテスト、寸劇を行っていきます。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語会話 I <3>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701486610	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。
 毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第1課 会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第2回	第2課 会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第3回	第3課 会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60

第4回	第4課 会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第5回	第5課 会話を学習する 文法を学習する <是>の文 電話番号の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第6回	第6課 会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞<なに>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第7回	第7課 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞<～で>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第8回	第8課 会話を学習する 文法を学習する <～が好きだ> <この～>の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第9回	第9課 会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞<～に>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60

第10回	第10課 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第11回	第11課 会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第12回	第12課 会話を学習する 文法を学習する 主述述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 1～12課の文を全部暗唱できるようにする	120
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 1～12課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	120
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書などは、授業開始時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。
随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語会話 I <4>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701486610	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	第1課 会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第2回	第2課 会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第3回	第3課 会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第4回	第4課 会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第5課 会話を学習する 文法を学習する <是>の文 電話番号の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第6課 会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞<なに>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第7課 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞<～で>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第8課 会話を学習する 文法を学習する <～が好きだ> <この～>の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第9課 会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞<～に>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第10課 会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第11課 会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第12課 会話を学習する 文法を学習する 主述述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 1～12課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 1～12課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話Ⅰ <5>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701486610	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

〔テーマ・概要〕

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。

毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

〔到達目標〕

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第1課 会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第2回	第2課 会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第3回	第3課 会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第4回	第4課 会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第5課 会話を学習する 文法を学習する <是>の文 電話番号の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第6課 会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞<なに>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第7課 会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞<~で>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第8課 会話を学習する 文法を学習する <~が好きだ> <この~>の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第9課 会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞<~に>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第10課 会話を学習する 文法を学習する 比較文 <少しも～しない>の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第11課 会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 <来+数量>の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第12課 会話を学習する 文法を学習する 主述述語文	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 1～12課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 1～12課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロール

プレと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

成績評価の方法

毎行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20

点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話II <1>		
教員名	劉 雅新		
科目ナンバー	1701486620	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要
1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。 授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

到達目標
DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。 ② 中国語の会話において的確な表現ができる力を身につける。 ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。 ④ 簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	第13課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第2回	第14課 会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第3回	第15課 会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分

第4回	第16課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第5回	第17課 会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第6回	第18課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第7回	第19課 会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第8回	第20課 会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第9回	第21課 会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分

第10回	第22課 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第11回	第23課 会話を学習する 文法を学習する 様態補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第12回	第24課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする。	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 13～24課の文を全部暗唱できるようにする。	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 13～24課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする。	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式で授業を進めていきます。各課で設定された日常生活の多くの場面において、学習者が単語と基本文型を応用しながら役柄にチャレンジし、ロールプレーと寸劇により、楽しく会話力を身につけていきます。

成績評価の方法

- (1) 平常点30%（授業中小テスト、出席率、授業態度、課題完成度等）
- (2) 口頭試験30%
- (3) 筆記試験40%

遅刻3回は欠席1回とする。学期の3分の1以上欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話II <2>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1701486620	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。 授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。			

到達目標			
DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。 ② 中国語の会話において的確な表現ができる力を身につける。 ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。 ④ 簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第13課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第2回	第14課 会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第3回	第15課 会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分

第4回	第16課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第17課 会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第18課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第19課 会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第20課 会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第21課 会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第22課 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第23課 会話を学習する 文法を学習する 様態補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第24課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験のための復習 13～24課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験のための復習 13～24課の文のピンイン、漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。赤ちゃんが母語を習得する際の過程と似ています。1コマ授業のうち、履修者が中国語を聞き、話す時間は3/4の程度で、日本語解説を聞く時間は1/4程度です。

毎回の授業の冒頭に単語テストを行い、その後中国語による文法項目の導入、文型練習、文法解説、ヒヤリング、書き取りテスト、寸劇を行っていきます。

成績評価の方法

平常点（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）40%、期末口頭テストが20%、筆記テストが40%。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語会話II <3>		
教員名	余 瀾		
科目ナンバー	1701486620	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。
 毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

到達目標

DP5（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
- ② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
- ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第13課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第2回	第14課 会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第3回	第15課 会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60

第4回	第16課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第5回	第17課 会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第6回	第18課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第7回	第19課 会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第8回	第20課 会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第9回	第21課 会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60

第10回	第22課 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第11回	第23課 会話を学習する 文法を学習する 様態補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第12回	第24課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 13～24課の文を全部暗唱できるようにする	120
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 13～24課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	120
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話を身につけていく。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ、中国語会話Ⅱ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書などは、授業開始時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。
随時、電子メールで受け付けます。

科目名	中国語会話II <4>		
教員名	凌 慶成		
科目ナンバー	1701486620	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。 授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。			

到達目標			
DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。 ② 中国語の会話において的確な表現ができる力を身につける。 ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。 ④ 簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第13課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第2回	第14課 会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第3回	第15課 会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分

第4回	第16課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第17課 会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第18課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第19課 会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第20課 会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第21課 会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第22課 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第23課 会話を学習する 文法を学習する 様態補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第24課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 13～24課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 13～24課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ

テキスト

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話II <5>		
教員名	張 竹翠		
科目ナンバー	1701486620	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。 授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。			
到達目標			
DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。 ① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。 ② 中国語の会話において的確な表現ができる力を身につける。 ③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。 ④ 簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話を身につける。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	第13課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第2回	第14課 会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分
第3回	第15課 会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>		
	CDを聞き、暗唱できるようにする		60分

第4回	第16課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第5回	第17課 会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第6回	第18課 会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第7回	第19課 会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第8回	第20課 会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第9回	第21課 会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分

第10回	第22課 会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞<できる>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第11回	第23課 会話を学習する 文法を学習する 様態補語	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第12回	第24課 会話を学習する 文法を学習する 助動詞<できる> 時量補語 <～するつもりだ>	
	CDを聞き、暗唱できるようにする	60分
第13回	口頭試験	
	試験ための復習 13～24課の文を全部暗唱できるようにする	60分
第14回	筆記試験	
	試験ための復習 13～24課の文のピンイン漢字を全部書き取ることができるようにする	60分
第15回	総まとめ	
	総仕上げ	60分

授業の方法

講義演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロール

プレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

成績評価の方法

毎回行なう小テスト（単語テスト、書取テスト、会話の発表など）が40点、期末口頭テスト20

点、筆記テストが40点。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・基礎BⅠ、中国語基礎AⅡ・基礎BⅡ

テキスト

『あなたが主役 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

ISBN:978-4-255-45317-0 C1087

参考書

参考書は授業中に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

教室で随時受け付ける。

科目名	中国語会話III <I>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1401486630	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

初級の文法を一通り習いましたが、話す勇氣はなかなかない人向けのやさしい準中級会話の授業です。一、二年生で学んだ基本的な単語や表現を復習し、定着させながら、新しい表現を徐々に加えていき、耳と口のトレーニングを通じ、簡単な日常会話を流暢に話せるようにしていきます。バイト先の中国人友達、中華料理店の店員や中国人観光客と中国語を交わせるようにしていきます。本気で中国語を話せるようになりたいみなさん、お待ちしております。

〔注意〕中国語会話Ⅲ（前期）・「中国語会話Ⅳ（後期）」は、「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位修得者あるいはそれと同等の学力を有する者を対象とします。中国語会話ⅢⅠの履修者は、できるだけ後期開講の中国語会Ⅳも継続して履修するようにしましょう。

到達目標

DP3（他者との協働）を実現するために、次の4点を目標とする。

- ・語彙を増やすことができます。
- ・自然な中国語のスピードに慣れることを目指します。
- ・簡単な日常会話を流暢に話せることを目指します。
- ・クラスメートと一緒に町中で中国語を話すなどの課題をこなせるようになります。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、発音の復習 既習した挨拶ことば・自己紹介の復習 第1課～第4課	
	第1回では、授業の約束事を説明するため、必ず出席するように。 ピンイン、一年次の教科書を音読しておくこと。	90分
第2回	第5課「キャンパスで初対面」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第3回	第6課「名前を尋ねる」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分

第4回	第7課「喫茶店で」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第5回	第8課「趣味を語る」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第6回	第9課「Tシャツを買う」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第7回	第10課「レストランで」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第8回	第11課「交番で道を尋ねる」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第9回	第12課「今年はいくつ？」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分

第10回	第13課「毎日何時に起きますか？」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第11回	第14課「セールでの買い物」 単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第12回	5課～14課のまとめ、試験準備	
	教科書付属CDを聞き、5課～14課の本文を音読しておくこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験に備え、音読練習をきちんとしておく。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験に備え、文法事項を万遍なく復習する。	60分
第15回	解説	
	これまでの授業を振り返る。	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。赤ちゃんが母語を習得する際の過程と似ています。1コマ授業のうち、履修者が中国語を聞き、話す時間は3/4の程度で、日本語解説を聞く時間は1/4程度です。

毎回の授業の冒頭に履修者に中国語で自身のニュースを発表してもらいます。その後は単語テスト、中国語による文法項目の導入、文型練習、文法解説、ヒヤリング、書き取りテスト、寸劇を行っていきます。早めに授業のリズムをつかめて、仲間と中国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

成績評価の方法

平常点30%（単語テスト、書取テスト）、期末口頭試験30%、期末筆記試験40%の割合で評価します。4回欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・BⅠ・AⅡ・BⅡ、中国語会話Ⅳ

テキスト

『わくわくスタディ 実学実用 初級中国語』陳淑梅／劉光赤著 朝日出版社 2018年第1版 ISBN: 978-4-255-45299-9

参考書

授業時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	中国語会話III <2>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1401486630	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

初級の文法を一通り習いましたが、話す勇氣はなかなかない人向けのやさしい準中級会話の授業です。一、二年生で学んだ基本的な単語や表現を復習し、定着させながら、新しい表現を徐々に加えていき、耳と口のトレーニングを通じ、簡単な日常会話を「流暢に！」話せるようにしていきます。バイト先の中国人友達、中華料理店の店員や中国人観光客と「流暢に！」中国語を交わせるようにしていきます。本気で中国語を話せるようになりたいみなさん、お待ちしております。

〔注意〕中国語会話Ⅲ（前期）・中国語会話Ⅳ（後期）は、「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位習得者あるいはそれと同等の学力を有する者を対象とします。中国語会話Ⅲ<2>の履修者は、できるだけ後期開講の中国語会話Ⅳ<2>も継続して履修するようにしましょう。

到達目標

DP3（他者との協働）を実現するために、次の3点を目標とする。

- ・語彙を増やすことができます。
- ・自然な中国語のスピードに慣れることを目指します。
- ・簡単な日常会話を流暢に話せることを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 第1課～第4課 発音の復習 既習した挨拶ことば・自己紹介の復習	
	第1回では、授業の約束事を説明するため、必ず出席すること。 ピンイン、一年次の教科書を音読しておく。	60分
第2回	第5課 「我喝咖啡。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第3回	第5課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分

第4回	第6課 「我也姓林。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第5回	第6課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第6回	第7課 「你家在哪儿？」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第7回	第7課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第8回	第8課 「我有一个姐姐。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第9回	第8課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分

第10回	第9課 「你家离学校远吗？」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第11回	第9課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第12回	5課～9課のまとめ、試験準備	
	教科書CDを聞き、5課～9課の本文を音読しておくこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験に備え、音読練習をきちんとしておく。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験に備え、文法事項を万遍なく復習する。	60分
第15回	解説	
	これまでの授業を振り返る。	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。各話題に関連する常用語句と基本表現をしっかり覚えさせるために、二回1課で授業を進めていきます。授業中、書き取り、置き換え、受け応え、内容の要約、会話の発表など多様な形で中国語によるコミュニケーションを楽しみましょう。

成績評価の方法

平常点30%、（単語テスト、書き取りテスト）、期末口頭試験30%、期末筆記試験40%の割合で評価します。4回欠席すると、期末試験が受験られなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・BⅠ・AⅡ・BⅡ、中国語会話Ⅳ<2>

テキスト

『初級中国語 会話編 ～自分のことばで話す中国語～』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧著 金星堂 2017年1月9日初版

978-4-7647-0703-0 C1087

ISBN:

参考書

授業時担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	中国語会話Ⅳ <1>		
教員名	李 林静		
科目ナンバー	1401486640	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初級の文法を一通り習いましたが、話す勇氣はなかなかない人向けのやさしい準中級会話の授業です。一、二年生で学んだ基本的な単語や表現を復習し、定着させながら、新しい表現を徐々に加えていき、耳と口のトレーニングを通じ、簡単な日常会話を「流暢に！」話せるようにして行きます。バイト先の中国人友達、中華料理店の店員や中国人観光客と「流暢に！」中国語を交わせるようにして行きます。本気で中国語を話せるようになりたいみなさん、お待ちしております。

〔注意〕中国語会話Ⅲ（前期）・「中国語会話Ⅳ（後期）」は、「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位修得者あるいはそれと同等の学力を有する者を対象とします。中国語会話ⅢⅠⅠの履修者は、できるだけ後期開講の中国語会Ⅳも継続して履修するようにしましょう。

到達目標

DP3（他者との協働）を実現するために、次の4点を目標とする。

- ・語彙を増やすことができます。
- ・自然な中国語のスピードに慣れることを目指します。
- ・簡単な日常会話を流暢に話せることを目指します。
- ・クラスメートと一緒に町中で中国語を話すなどの課題をこなせるようになります。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、前期の復習、第15課の予習	
	第1回では、授業の約束事を説明するため、必ず出席するように。 ピンイン、一年次の教科書を音読しておくこと。	90分
第2回	第15課「歴史記念館で」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第3回	第15課「歴史記念館で」 ニュースの発表、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分

第4回	第16課「テニスに誘う」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第5回	第16課「テニスに誘う」 ニュースの発表、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第6回	第17課「バドミントンを楽しんだ後」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第7回	第17課「バドミントンを楽しんだ後」 ニュースの発表、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第8回	第18課「中国語が聞き取れなくて」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第9回	第18課「中国語が聞き取れなくて」 ニュースの発表、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分

第10回	第19課「今何をしているの？」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第11回	第19課「今何をしているの？」 ニュースの発表、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第12回	第20課「引っ越し」 ニュースの発表、単語テスト、文法事項の導入、文型練習、練習問題、文法解説、書取テスト、寸劇	
	教科書付属CDを聞き、本文を音読。次回の授業で扱う課に目を通し、小テストに備える。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験に備え、音読練習をきちんとしておく。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験に備え、文法事項を万遍なく復習する。	60分
第15回	解説	
	これまでの授業を振り返る。	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。赤ちゃんが母語を習得する際の過程と似ています。1コマの授業のうち、履修者が中国語を聞き、話す時間は3/4程度で、日本語解説を聞く時間は1/4程度です。

毎回の授業の冒頭に履修者に中国語で自身のニュースを発表してもらいます。その後は単語テスト、中国語による文法項目の導入、文型練習、文法解説、ヒヤリング、書き取りテスト、寸劇を行っていきます。早めに授業のリズムをつかめて、仲間と中国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

成績評価の方法

平常点30%（単語テスト、書取テスト）、期末口頭試験30%、期末筆記試験40%の割合で評価します。4回欠席すると、期末試験が受けられなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・BⅠ・AⅡ・BⅡ、中国語会話Ⅲ

テキスト

『わくわくスタディ 実学実用 初級中国語』陳淑梅／劉光赤著 朝日出版社 2018年第1版 ISBN: 978-4-255-45299-9

参考書

授業時に担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	中国語会話Ⅳ <2>		
教員名	凌 雲鳳		
科目ナンバー	1401486640	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

初級の文法を一通り習いましたが、話す勇氣はなかなかない人向けのやさしい準中級会話の授業です。一、二年生で学んだ基本的な単語や表現を復習し、定着させながら、新しい表現を徐々に加えていき、耳と口のトレーニングを通じ、簡単な日常会話を「流暢に！」話せるようにして行きます。バイト先の中国人友達、中華料理店の店員や中国人観光客と「流暢に！」中国語を交わせるようにして行きます。本気で中国語を話せるようになりたいみなさん、お待ちしております。

〔注意〕中国語会話Ⅲ（前期）・中国語会話Ⅳ（後期）は、「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位習得者あるいはそれと同等の学力を有する者を対象とします。中国語会話Ⅲ<2>の履修者は、できるだけ後期開講の中国語会話Ⅳ<2>も継続して履修するようにしましょう。

到達目標

DP3（他者との協働）を実現するために、次の3点を目標とする。

- ・語彙を増やすことができます。
- ・自然な中国語のスピードに慣れることを目指します。
- ・簡単な日常会話を流暢に話せることを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第5課～第9課の復習	
	教科書CDを聞き、5課～9課の本文を音読しておくこと。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第2回	第10課 「你在哪儿打工？」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第3回	第10課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分

第4回	第11課 「我昨天买了一本《关西漫步》。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第5回	第11課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第6回	第12課 「你会游泳吗？」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第7回	第12課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第8回	第13課 「我胃口很大。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第9回	第13課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分

第10回	第14課 「你去得太晚了。」 単語と本文の音読、聞き取り、文法の解説、文型練習	
	教科書付属CDを聞きながら、単語を覚え、小テストに備える。	60分
第11回	第14課 単語テスト、練習問題、本文の暗唱	
	教科書CDを聞き、本文を音読、暗唱の発表に備える。次回の授業で扱う課に目を通しておく。	60分
第12回	10課～14課のまとめ、試験準備	
	教科書CDを聞き、10課～14課の本文を音読しておくこと。	60分
第13回	口頭試験	
	口頭試験に備え、音読練習をきちんとしておく。	60分
第14回	筆記試験	
	筆記試験に備え、文法事項を万遍なく復習する。	60分
第15回	解説	
	これまでの授業を振り返る。	60分

授業の方法

「コミュニケーションアプローチ」という授業方法で授業を行います。この授業方法は、一つの文法項目について先に中国語による会話練習を行うことで、学生に自分で文法内容を推測してもらい、その後で先生が日本語で文法説明をするというものです。各話題に関連する常用語句と基本表現をしっかり覚えさせるために、二回1課で授業を進めていきます。授業中、書き取り、置き換え、受け応え、内容の要約、会話の発表など多様な形で中国語によるコミュニケーションを楽しみましょう。

成績評価の方法

平常点30%、（単語テスト、書き取りテスト）、期末口頭試験30%、期末筆記試験40%の割合で評価します。4回欠席すると、期末試験が受験られなくなる可能性があるので、要注意。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

中国語基礎AⅠ・BⅠ・AⅡ・BⅡ、中国語会話Ⅲ<2>

テキスト

『初級中国語 会話編 ～自分のことばで話す中国語～』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧著 金星堂 2017年1月9日初版

978-4-7647-0703-0 C1087

ISBN:

参考書

授業時担当教員より随時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語会話Ⅰ <1>		
教員名	宋 美玲		
科目ナンバー	1701486810	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「聞く・話す」を中心に学習し、韓国語のコミュニケーション能力を身につける授業である。

到達目標

DP3を実現するため、次の3点を到達目標とする。

- ①基礎レベルの韓国語を聞き取ることができる。
- ②基礎レベルの韓国語で話すことができる。
- ③韓国語で意思疎通を図ることができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	準備学修(予習・復習等)	
	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・自己紹介<専攻や趣味などを含む>	
第2回	【予習】韓国や韓国語に興味をもっていることが話せるようにし、韓国語の関連語彙を調べる。	60
	入門レベルにおける文法事項を復習	
第3回	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
	文法と表現1	
第4回	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60

第4回	文法と表現2	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第5回	文法と表現3	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第6回	文法と表現4	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第7回	復習：文法と表現1～4をもって表現演習	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第8回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	文法と表現5	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60

第10回	文法と表現6	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第11回	文法と表現7	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第12回	文法と表現8	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第13回	文法と表現9	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第14回	復習：文法と表現5~9をもって表現演習	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第15回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

- ・ 授業は学習内容の説明と練習・応用で構成される。
- ・ 小テストは単語テストを中心に適宜行う。
- ・ 授業の進捗によって一部変更する場合がある。

成績評価の方法

- ・ 小テスト(20%)、到達度確認テスト(50%)、授業への参加度(30%)による総合評価。
- 到達度確認テストは聞き取り・発表に分けて行う。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その達成度により評価する。

- ・ 基礎レベルの韓国語を聞いて理解することができる。
- ・ 基礎レベルの韓国語で話すことができる。
- ・ 韓国語でのコミュニケーションに積極的に参加する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

- ・ ハングルの読み書きができ、入門レベルの知識があることが望ましい。
- ・ 韓国語のコミュニケーション能力を身につける授業であるため、積極的な取り組みが重要。

テキスト

最初の授業でレベル確認を行ってから決める。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語会話Ⅰ <2>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1701486810	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
韓国語を「聞く・話す」を中心に学習し、実際のコミュニケーションが可能になるように練習する授業です。文法や単語だけでなく発音や発音変化の規則、抑揚、聞き取りの注意点などに重点を置いて練習します。コミュニケーションのためのスキルを磨く内容であるだけに、間違いを恐れず授業中の発言や練習への参加など積極的な態度で臨むことが重要です。			
到達目標			
DP3を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ①基礎レベルの韓国語を聞き取ることができる。 ②基礎レベルの韓国語で話すことができる。 ③韓国語で意思疎通を図ることができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・各自、自己紹介をする。		
	【予習】韓国語を学ぶ動機、学習歴などを(日本語で)話せるように準備する。		60
第2回	1 課		
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。		60
第3回	2 課		
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。		60

第4回	3 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第5回	4 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第6回	5 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第7回	6 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第8回	7 課	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

第10回	8 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第11回	9 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第12回	10 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第13回	11 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第14回	復習とテストの準備	
	【復習】これまでの授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第15回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

- ・ 授業は学習内容の説明と練習・応用で構成される。
- ・ 小テストは単語テストを中心に適宜行う。
- ・ 授業の進捗によって一部変更する場合がある。

成績評価の方法

到達度確認テスト2回（各35%）、小テスト・授業への参加度（30%）による総合評価。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

韓国語の入門レベルの知識があることが望ましいが、未習者の履修も可能。

テキスト

授業開始後に履修者のレベルに応じて指定。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語会話II <1>		
教員名	宋 美玲		
科目ナンバー	1701486820	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
「聞く・話す」を中心に学習し、韓国語のコミュニケーション能力を身につける授業である。			
到達目標			
D P 3 を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ①基礎レベルの韓国語を聞き取ることができる。 ②基礎レベルの韓国語で話すことができる。 ③韓国語で意思疎通を図ることができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・自己紹介のあと、休み中にやったことについて韓国語で作文する。		
	【予習】休み中にやったことや出来事などを韓国語で話せるように関連単語を調べる。	60	
第2回	基礎レベルにおける文法事項の復習		
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60	
第3回	文法と表現1		
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60	

第4回	文法と表現2	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第5回	文法と表現3	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第6回	文法と表現4	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第7回	復習：文法と表現1～4をもって表現演習	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第8回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	文法と表現5	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60

第10回	文法と表現6	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第11回	文法と表現7	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第12回	文法と表現8	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第13回	文法と表現9	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第14回	復習：文法と表現5~9をもって表現演習	
	【復習】授業中に出てきた表現を中心に単語や文を覚える。	60
第15回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

- ・ 授業は学習内容の説明と練習・応用で構成される。
- ・ 小テストは単語テストを中心に適宜行う。
- ・ 授業の進捗によって一部変更する場合がある。

成績評価の方法

- ・ 小テスト(20%)、到達度確認テスト(50%)、授業への参加度(30%)による総合評価。
- 到達度確認テストは聞き取り・発表に分けて行う。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その達成度により評価する。

- ・ 基礎レベルの韓国語を聞いて理解することができる。
- ・ 基礎レベルの韓国語で話すことができる。
- ・ 韓国語でのコミュニケーションに積極的に参加する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

韓国語の初級レベルの知識があることが望ましい。

なお、韓国語のコミュニケーション能力をアップさせるために、積極的な取り組みが重要。

テキスト

最初の授業でレベル確認を行ってから決める。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語会話II <2>		
教員名	貝森 時子		
科目ナンバー	1701486820	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要			
韓国語を「聞く・話す」を中心に学習し、実際のコミュニケーションが可能になるように練習する授業です。文法や単語だけでなく発音や発音変化の規則、抑揚、聞き取りの注意点などに重点を置いて練習します。コミュニケーションのためのスキルを磨く内容であるだけに、間違いを恐れず授業中の発言や練習への参加など積極的な態度で臨むことが重要です。			

到達目標			
DP3を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ①基礎レベルの韓国語を聞き取ることができる。 ②基礎レベルの韓国語で話すことができる。 ③韓国語で意思疎通を図ることができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方などを説明する。 ・各自、自己紹介をする。		
	【予習】韓国語を学ぶ動機、学習歴などを(日本語で)話せるように準備する。		60
第2回	1 課		
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。		60
第3回	2 課		
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。		60

第4回	3 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第5回	4 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第6回	5 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第7回	6 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第8回	7 課	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60
第9回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

第10回	8 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第11回	9 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第12回	10 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第13回	11 課	
	【復習】授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第14回	復習とテストの準備	
	【復習】これまでの授業中に出てきた単語・文を覚える。発音の練習をする。	60
第15回	到達度確認テスト	
	【予習】到達度確認テストの準備。	60

授業の方法

- ・ 授業は学習内容の説明と練習・応用で構成される。
- ・ 小テストは単語テストを中心に適宜行う。
- ・ 授業の進捗によって一部変更する場合がある。

成績評価の方法

到達度確認テスト2回（各35%）、小テスト・授業への参加度（30%）による総合評価。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

韓国語の入門レベルの知識があることが望ましいが、未習者も履修可能。

テキスト

授業開始後に履修者のレベルに応じて指定。

参考書

必要に応じて授業中に紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	韓国語会話III		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1201486830	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語中級レベルを持っている学生を対象にする。「聞く、話す」に重点をおいて進める。日常会話を通じて文法と慣用句を学び、具体的な状況を想定して日常的によく使う表現を繰り返し練習する。映画やドラマなどの映像資料を用いてより自然な会話を身につけることを目標とする。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、4（自発性、積極性）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 会話力を身につけ、韓国語でコミュニケーションができる。 ② 言葉の背景にある意味を理解し、異文化に対する理解ができる。 ③ 異文化理解を通じて、自分を客観化し他者を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、自己紹介		
	習った文法を復習する。	60分	
第2回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	
第3回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	

第4回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法 会話に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現をペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。
成績評価の方法 1) 課題、授業への参加度 30% 2) 小テスト、中間テストなど30% 3) 期末テスト 40%
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.
必要な予備知識／先修科目／関連科目 「韓国語」関連授業
テキスト 授業中に紹介する。
参考書 日韓辞書、韓日辞書
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名	韓国語会話Ⅳ		
教員名	文 珍瑛		
科目ナンバー	1201486840	単位数	1
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は、韓国語中級レベルを持っている学生を対象にする。「聞く、話す」に重点をおいて進める。日常会話を通じて文法と慣用句を学び、具体的な状況を想定して日常的によく使う表現を繰り返し練習する。映画やドラマなどの映像資料を用いてより自然な会話を身につけることを目標とする。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、3（他者との協働）、4（自発性、積極性）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の3点を到達目標とする。 ① 会話力を身につけ、韓国語でコミュニケーションができる。 ② 言葉の背景にある意味を理解し、異文化に対する理解ができる。 ③ 異文化理解を通じて、自分を客観化し他者を理解することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	ガイダンス、復習		
	習った文法を復習する。	60分	
第2回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	
第3回	文法と会話		
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分	

第4回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第5回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第6回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第7回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第8回	中間テスト 韓国映画観賞	
	中間テストの範囲を復習する。	120分
第9回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分

第10回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第11回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第12回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第13回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第14回	文法と会話	
	①習った文法を復習する。 ②授業で扱う課に目を通す。	60分
第15回	期末テスト	
	期末テストの範囲を復習する。	120分

授業の方法 会話に重点をおいて、テキストに沿ってバランスよく学習する。授業中に日常的に頻繁に使う表現をペアで練習する。多様な文章を読み、韓国語の特有な表現が使えるようにする。副教材として映像や音楽を積極的に用いる。 より詳細な授業計画や方法については授業にて直接指示するが、授業の進捗によっては、内容を一部変更する場合がある。なお、準備学修（予習・復習、授業外の課題）は韓国語学習において必要不可欠な要素である。授業外での学習にも積極的な取り組みが必要である。
成績評価の方法 1) 課題、授業への参加度 30% 2) 小テスト、中間テストなど30% 3) 期末テスト 40%
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.
必要な予備知識／先修科目／関連科目 「韓国語」関連授業
テキスト 授業中に紹介する。
参考書 日韓辞書、韓日辞書
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜1＞		
教員名	李 林静、鈴木 恵美子、文 珍瑛、松下 彩子、天沼 春樹、楊 晶、江島 宏隆		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語の発音やあいさつ、言語圏案内、2. ドイツ文化理解入門（音楽・文学・芸術）、3. ドイツの歴史と人物・現代のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスという国、首都パリ、2. フランスの言葉と文学、3. フランスの文化と芸術 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の発音、言語圏の広がり、2. スペイン語の単語、スペインの紹介、3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 韓国語について、2. 朝鮮半島（韓半島）の概観、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。

なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜2＞		
教員名	李 林静、鈴木 恵美子、文 珍瑛、松下 彩子、天沼 春樹、楊 晶、江島 宏隆		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語の発音やあいさつ、言語圏案内、2. ドイツ文化理解入門（音楽・文学・芸術）、3. ドイツの歴史と人物・現代のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスという国、首都パリ、2. フランスの言葉と文学、3. フランスの文化と芸術 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の発音、言語圏の広がり、2. スペイン語の単語、スペインの紹介、3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 韓国語について、2. 朝鮮半島（韓半島）の概観、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。

なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜3＞		
教員名	李 林静、鈴木 恵美子、文 珍瑛、松下 彩子、天沼 春樹、楊 晶、江島 宏隆		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語の発音やあいさつ、言語圏案内、2. ドイツ文化理解入門（音楽・文学・芸術）、3. ドイツの歴史と人物・現代のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスという国、首都パリ、2. フランスの言葉と文学、3. フランスの文化と芸術 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の発音、言語圏の広がり、2. スペイン語の単語、スペインの紹介、3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 韓国語について、2. 朝鮮半島（韓半島）の概観、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。

なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜4＞		
教員名	李 林静、鈴木 恵美子、文 珍瑛、松下 彩子、天沼 春樹、楊 晶、江島 宏隆		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語の発音やあいさつ、言語圏案内、2. ドイツ文化理解入門（音楽・文学・芸術）、3. ドイツの歴史と人物・現代のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスという国、首都パリ、2. フランスの言葉と文学、3. フランスの文化と芸術 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の発音、言語圏の広がり、2. スペイン語の単語、スペインの紹介、3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 韓国語について、2. 朝鮮半島（韓半島）の概観、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。

なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜5＞		
教員名	李 林静、鈴木 恵美子、文 珍瑛、松下 彩子、天沼 春樹、楊 晶、江島 宏隆		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語の発音やあいさつ、言語圏案内、2. ドイツ文化理解入門（音楽・文学・芸術）、3. ドイツの歴史と人物・現代のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスという国、首都パリ、2. フランスの言葉と文学、3. フランスの文化と芸術 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の発音、言語圏の広がり、2. スペイン語の単語、スペインの紹介、3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 韓国語について、2. 朝鮮半島（韓半島）の概観、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス1（独）、クラス2（仏）、クラス3（西）、クラス4（中）、クラス5（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス1（仏）、クラス2（西）、クラス3（中）、クラス4（韓）、クラス5（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス1（西）、クラス2（中）、クラス3（韓）、クラス4（独）、クラス5（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス1（中）、クラス2（韓）、クラス3（独）、クラス4（仏）、クラス5（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス1（韓）、クラス2（独）、クラス3（仏）、クラス4（西）、クラス5（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。

なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. さらに、上記に掲げた到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜6＞		
教員名	鈴木 恵美子、松下 彩子、余 瀾、中桐 典子、ドメネク マリア、清水 威能子、全 東園		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習得し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。			
各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイス）の町と文化、2. ドイツ語はどんな言語か（発音、挨拶表現）、3. 現代のドイツ、歴史の中のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスと首都パリ、2. フランスの言語と文学、3. フランスの文化 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の紹介とスペインの文化、2. スペイン語文法の入門、ラテンアメリカの文化、3. 復習と小テスト 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 朝鮮半島（韓半島）の概観、2. 韓国語について、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法 講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。 なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。 受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。
成績評価の方法 5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。具体的には各担当者に任せることとする。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。 ・ 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・ 特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習科目などがある。
テキスト 特にテキストは使用しない。
参考書 適宜、指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓） <7>		
教員名	鈴木 恵美子、松下 彩子、余 瀾、中桐 典子、ドメネク マリア、清水 威能子、全 東園		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習得し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。

異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。

このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。

各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。

ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイス）の町と文化、2. ドイツ語はどんな言語か（発音、挨拶表現）、3. 現代のドイツ、歴史の中のドイツ

フランス語圏（以下、仏）：1. フランスと首都パリ、2. フランスの言語と文学、3. フランスの文化

スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の紹介とスペインの文化、2. スペイン語文法の入門、ラテンアメリカの文化、3. 復習と小テスト

中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって

韓国語圏（以下、韓）：1. 朝鮮半島（韓半島）の概観、2. 韓国語について、3. 韓国の文化について

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

- ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。
- ・特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第2回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第3回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第4回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法 講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。 なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。 受講者からの質問や意見などもあれば随時、受け付けます。
成績評価の方法 5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。 5言語圏の合計で100点満点とする。具体的には各担当者に任せることとする。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。 ・ 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・ 特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習科目などがある。
テキスト 特にテキストは使用しない。
参考書 適宜、指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜8＞		
教員名	鈴木 恵美子、松下 彩子、余 瀾、中桐 典子、ドメネク マリア、清水 威能子、全 東園		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習得し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイス）の町と文化、2. ドイツ語はどんな言語か（発音、挨拶表現）、3. 現代のドイツ、歴史の中のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスと首都パリ、2. フランスの言語と文学、3. フランスの文化 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の紹介とスペインの文化、2. スペイン語文法の入門、ラテンアメリカの文化、3. 復習と小テスト 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 朝鮮半島（韓半島）の概観、2. 韓国語について、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		
第2回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		
第3回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		

第4回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。
なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受け付けます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。具体的には各担当者に任せることとする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ・ 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。
- ・ 特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜9＞		
教員名	鈴木 恵美子、松下 彩子、余 瀾、中桐 典子、ドメネク マリア、清水 威能子、全 東園		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習得し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイス）の町と文化、2. ドイツ語はどんな言語か（発音、挨拶表現）、3. 現代のドイツ、歴史の中のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスと首都パリ、2. フランスの言語と文学、3. フランスの文化 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の紹介とスペインの文化、2. スペイン語文法の入門、ラテンアメリカの文化、3. 復習と小テスト 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 朝鮮半島（韓半島）の概観、2. 韓国語について、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第3回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第4回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法 講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。 なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。 受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。
成績評価の方法 5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。具体的には各担当者に任せることとする。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。 ・ 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・ 特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。
必要な予備知識／先修科目／関連科目 予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習科目などがある。
テキスト 特にテキストは使用しない。
参考書 適宜、指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜10＞		
教員名	鈴木 恵美子、松下 彩子、余 瀾、中桐 典子、ドメネク マリア、清水 威能子、全 東園		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期
テーマ・概要			
異文化理解Aは、成蹊教養カリキュラムで1年次後期から開始する初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち一つの言語を選択する際の手がかりとして履修することが求められる授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を実際に初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を習得し、実際に使用するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの常識や社会習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当することで、初修外国語5言語とその言語が元になる文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人の教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、登録必須で後期から履修することになっている言語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いを発見する力が付きます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ドイツ語圏（以下、独と表記）：1. ドイツ語圏（ドイツ・オーストリア・スイス）の町と文化、2. ドイツ語はどんな言語か（発音、挨拶表現）、3. 現代のドイツ、歴史の中のドイツ フランス語圏（以下、仏）：1. フランスと首都パリ、2. フランスの言語と文学、3. フランスの文化 スペイン語圏（以下、西）：1. スペイン語の紹介とスペインの文化、2. スペイン語文法の入門、ラテンアメリカの文化、3. 復習と小テスト 中国語圏（以下、中）：1. 中国語について、2. 中国の社会について、3. 外国語を学ぶにあたって 韓国語圏（以下、韓）：1. 朝鮮半島（韓半島）の概観、2. 韓国語について、3. 韓国の文化について			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。 ・特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		
第2回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		
第3回	クラス6（独）、クラス7（仏）、クラス8（西）、クラス9（中）、クラス10（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		

第4回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス6（仏）、クラス7（西）、クラス8（中）、クラス9（韓）、クラス10（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第9回	クラス6（西）、クラス7（中）、クラス8（韓）、クラス9（独）、クラス10（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第10回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス6（中）、クラス7（韓）、クラス8（独）、クラス9（仏）、クラス10（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第15回	クラス6（韓）、クラス7（独）、クラス8（仏）、クラス9（西）、クラス10（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

授業の方法

講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと考えています。
なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを確認してください。
受講者からの質問や意見などもあれば随時、受けつけます。

成績評価の方法

5言語圏ごとに20点満点で、コメントペーパーの提出 / 評価などにもとづいて成績をつける。5言語圏の合計で100点満点とする。具体的には各担当者に任せることとする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ・ 英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解する。
- ・ 特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。
関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習科目などがある。

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

質問等は授業前・授業後に受け付けます。専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜11＞		
教員名	里村 和秋、横山 裕人、鈴木 恵美子、高橋 喜郎、田村 恵子、島田 亜実、凌 慶成、桔川 純子		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要	
異文化理解Aは、1年次後期からスタートする初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち、一つの言語を選択する手がかりを得るために、履修する授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を、初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を学習するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの価値観や習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当し、初修外国語5言語の文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人おの教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、後期から履修することになる外国語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、お互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いなどを発見する能力が身につきます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。	
・ドイツ語圏（以下、「独」と表記）： 1. ドイツの紹介（文化・産業・音楽・映画・生活・スポーツ） 2. ドイツ語の紹介（単語・文法・メルヘン） 3. ドイツ語圏のさまざまな文化の紹介（ウィーンの文化・音楽・歴史）	
・フランス語圏（以下、「仏」と表記）： 1. 意外と知らないフランスについての基本的な事柄、フランス語の発音の特徴 フランスパンと地方菓子、各地方のチーズの特色を極める 2. フランスの南北での風土、言語の違いを探る、フランス語の便利な表現 フランス映画の今と昔、フランス映画は社会の鏡である 3. 音楽を通して体感するフランス語圏 フランスとフランス語圏の国々の音楽を通して言語と文化を考える	
・スペイン語圏（以下、「西」と表記）： 1. スペイン語の発音、言語圏の広がり 2. スペイン語の単語、スペインの紹介 3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介	
・中国語圏（以下、「中」と表記）： 1. 中国語について 2. 中国の社会について 3. 外国語を学ぶにあたって	
・韓国語圏（以下、「韓」と表記）： 1. 韓国語について 2. 朝鮮半島（韓半島）の概観 3. 韓国の文化について	

到達目標
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修（予習・復習等）	準備学修の目安（分）
第1回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第2回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓） 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第3回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第4回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第9回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第10回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第15回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中） 15回目授業の最後の時間を利用して、これまでの15回分の講義内容についての試験を実施する。
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 なお、最終回の最後の時間を利用して約30分の試験を実施する。試験範囲は第1回から第15回までの5言語圏についてのこれまでの講義内容の理解を問うものである。 120分
授業の方法 授業は講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと思います。なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。 受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを必ず確認しておいてください。受講クラスを間違えると、成績評価ができません。受講者からの質問や意見などもあれば随時受け付けます。	
成績評価の方法 5言語圏ごとに20点満点、合計100点満点で、コメントペーパーの提出およびその評価などの平常点（100%）によって成績評価を行います。	
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.	
必要な予備知識／先修科目／関連科目 予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。	
テキスト 特にテキストは使用しない。	
参考書 適宜、指示します。	
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。	

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜12＞		
教員名	里村 和秋、横山 裕人、鈴木 恵美子、高橋 喜郎、田村 恵子、島田 亜実、凌 慶成、桔川 純子		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
異文化理解Aは、1年次後期からスタートする初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち、一つの言語を選択する手がかりを得るために、履修する授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を、初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を学習するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの価値観や習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当し、初修外国語5言語の文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人おの教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、後期から履修することになる外国語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、お互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いなどを発見する能力が身につきます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。			
・ドイツ語圏（以下、「独」と表記）： 1. ドイツの紹介（文化・産業・音楽・映画・生活・スポーツ） 2. ドイツ語の紹介（単語・文法・メルヘン） 3. ドイツ語圏のさまざまな文化の紹介（ウィーンの文化・音楽・歴史）			
・フランス語圏（以下、「仏」と表記）： 1. 意外と知らないフランスについての基本的な事柄、フランス語の発音の特徴 フランスパンと地方菓子、各地方のチーズの特色を極める 2. フランスの南北での風土、言語の違いを探る、フランス語の便利な表現 フランス映画の今と昔、フランス映画は社会の鏡である 3. 音楽を通して体感するフランス語圏 フランスとフランス語圏の国々の音楽を通して言語と文化を考える			
・スペイン語圏（以下、「西」と表記）： 1. スペイン語の発音、言語圏の広がり 2. スペイン語の単語、スペインの紹介 3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介			
・中国語圏（以下、「中」と表記）： 1. 中国語について 2. 中国の社会について 3. 外国語を学ぶにあたって			
・韓国語圏（以下、「韓」と表記）： 1. 韓国語について 2. 朝鮮半島（韓半島）の概観 3. 韓国の文化について			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修（予習・復習等）		準備学修の目安（分）
第1回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分
第2回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）		
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		120分

第3回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第4回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第9回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第10回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第15回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中） 15回目授業の最後の時間を利用して、これまでの15回分の講義内容についての試験を実施する。	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 なお、最終回の最後の時間を利用して約30分の試験を実施する。試験範囲は第1回から第15回までの5言語圏についてのこれまでの講義内容の理解を問うものである。	120分
授業の方法		
授業は講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと思います。なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。 受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを必ず確認しておいてください。受講クラスを間違えると、成績評価ができません。受講者からの質問や意見などもあれば随時受けつけます。		
成績評価の方法		
5言語圏ごとに20点満点、合計100点満点で、コメントペーパーの提出およびその評価などの平常点（100%）によって成績評価を行います。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。		
テキスト		
特にテキストは使用しない。		
参考書		
適宜、指示します。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
ポータルサイトで周知する。		

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜13＞		
教員名	里村 和秋、横山 裕人、鈴木 恵美子、高橋 喜郎、田村 恵子、島田 亜実、凌 慶成、桔川 純子		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
異文化理解Aは、1年次後期からスタートする初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち、一つの言語を選択する手がかりを得るために、履修する授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を、初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を学習するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの価値観や習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当し、初修外国語5言語の文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人おの教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、後期から履修することになる外国語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、お互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いなどを発見する能力が身につきます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ・ドイツ語圏（以下、「独」と表記）： 1. ドイツの紹介（文化・産業・音楽・映画・生活・スポーツ） 2. ドイツ語の紹介（単語・文法・メルヘン） 3. ドイツ語圏のさまざまな文化の紹介（ウィーンの文化・音楽・歴史） ・フランス語圏（以下、「仏」と表記）： 1. 意外と知らないフランスについての基本的な事柄、フランス語の発音の特徴 フランスパンと地方菓子、各地方のチーズの特色を極める 2. フランスの南北での風土、言語の違いを探る、フランス語の便利な表現 フランス映画の今と昔、フランス映画は社会の鏡である 3. 音楽を通して体感するフランス語圏 フランスとフランス語圏の国々の音楽を通して言語と文化を考える ・スペイン語圏（以下、「西」と表記）： 1. スペイン語の発音、言語圏の広がり 2. スペイン語の単語、スペインの紹介 3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 ・中国語圏（以下、「中」と表記）： 1. 中国語について 2. 中国の社会について 3. 外国語を学ぶにあたって ・韓国語圏（以下、「韓」と表記）： 1. 韓国語について 2. 朝鮮半島（韓半島）の概観 3. 韓国の文化について			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第2回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第3回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第4回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第9回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第10回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第15回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中） 15回目授業の最後の時間を利用して、これまでの15回分の講義内容についての試験を実施する。	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 なお、最終回の最後の時間を利用して約30分の試験を実施する。試験範囲は第1回から第15回までの5言語圏についてのこれまでの講義内容の理解を問うものである。	120分
授業の方法		
授業は講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと思います。なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。 受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを必ず確認しておいてください。受講クラスを間違えると、成績評価ができません。受講者からの質問や意見などもあれば随時受けつけます。		
成績評価の方法		
5言語圏ごとに20点満点、合計100点満点で、コメントペーパーの提出およびその評価などの平常点（100%）によって成績評価を行います。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。		
テキスト		
特にテキストは使用しない。		
参考書		
適宜、指示します。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
ポータルサイトで周知する。		

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜14＞		
教員名	里村 和秋、横山 裕人、鈴木 恵美子、高橋 喜郎、田村 恵子、島田 亜実、凌 慶成、桔川 純子		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
異文化理解Aは、1年次後期からスタートする初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち、一つの言語を選択する手がかりを得るために、履修する授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を、初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を学習するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの価値観や習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。 異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当し、初修外国語5言語の文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人おの教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。 このようにして、後期から履修することになる外国語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、お互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いなどを発見する能力が身につきます。 各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。 ・ドイツ語圏（以下、「独」と表記）： 1. ドイツの紹介（文化・産業・音楽・映画・生活・スポーツ） 2. ドイツ語の紹介（単語・文法・メルヘン） 3. ドイツ語圏のさまざまな文化の紹介（ウィーンの文化・音楽・歴史） ・フランス語圏（以下、「仏」と表記）： 1. 意外と知らないフランスについての基本的な事柄、フランス語の発音の特徴 フランスパンと地方菓子、各地方のチーズの特色を極める 2. フランスの南北での風土、言語の違いを探る、フランス語の便利な表現 フランス映画の今と昔、フランス映画は社会の鏡である 3. 音楽を通して体感するフランス語圏 フランスとフランス語圏の国々の音楽を通して言語と文化を考える ・スペイン語圏（以下、「西」と表記）： 1. スペイン語の発音、言語圏の広がり 2. スペイン語の単語、スペインの紹介 3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介 ・中国語圏（以下、「中」と表記）： 1. 中国語について 2. 中国の社会について 3. 外国語を学ぶにあたって ・韓国語圏（以下、「韓」と表記）： 1. 韓国語について 2. 朝鮮半島（韓半島）の概観 3. 韓国の文化について			

到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。			

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第2回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第3回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第4回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第9回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第10回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第15回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中） 15回目授業の最後の時間を利用して、これまでの15回分の講義内容についての試験を実施する。	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 なお、最終回の最後の時間を利用して約30分の試験を実施する。試験範囲は第1回から第15回までの5言語圏についてのこれまでの講義内容の理解を問うものである。	120分
授業の方法		
授業は講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと思います。なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。 受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを必ず確認しておいてください。受講クラスを間違えると、成績評価ができません。受講者からの質問や意見などもあれば随時受けつけます。		
成績評価の方法		
5言語圏ごとに20点満点、合計100点満点で、コメントペーパーの提出およびその評価などの平常点（100%）によって成績評価を行います。		
成績評価の基準		
成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目		
予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。		
テキスト		
特にテキストは使用しない。		
参考書		
適宜、指示します。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー)		
ポータルサイトで周知する。		

科目名	異文化理解A（ことばと文化の窓）＜15＞		
教員名	里村 和秋、横山 裕人、鈴木 恵美子、高橋 喜郎、田村 恵子、島田 亜実、凌 慶成、桔川 純子		
科目ナンバー	1001487500	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

異文化理解Aは、1年次後期からスタートする初修外国語の5言語（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のうち、一つの言語を選択する手がかりを得るために、履修する授業です。それぞれの言語圏の文化・社会の特徴を、初修外国語を担当する教員が紹介します。外国語を学習するためには、語彙や文法などの語学的知識だけでなく、その言語を母語として使っている人たちの価値観や習慣などの背景も知っておくことが、円滑なコミュニケーションのために必要となるからです。

異文化理解A（ことばと文化の窓）は、1つの科目を5言語圏の教員が担当し、初修外国語5言語の文化圏をコンパクトに紹介する科目です。各言語を代表して一人ないし二人おの教員が3回ずつその言語と文化圏を紹介します。

このようにして、後期から履修することになる外国語とは異なる言語圏についても、触れることができます。これによって、お互いの言語や文化を比較することを通して、意外な共通性や興味深い違いなどを発見する能力が身につきます。

各言語圏の3回分のテーマは以下の通りです。

- ・ドイツ語圏（以下、「独」と表記）：
 1. ドイツの紹介（文化・産業・音楽・映画・生活・スポーツ）
 2. ドイツ語の紹介（単語・文法・メルヘン）
 3. ドイツ語圏のさまざまな文化の紹介（ウィーンの文化・音楽・歴史）
- ・フランス語圏（以下、「仏」と表記）：
 1. 意外と知らないフランスについての基本的な事柄、フランス語の発音の特徴
フランスパンと地方菓子、各地方のチーズの特色を極める
 2. フランスの南北での風土、言語の違いを探る、フランス語の便利な表現
フランス映画の今と昔、フランス映画は社会の鏡である
 3. 音楽を通して体感するフランス語圏
フランスとフランス語圏の国々の音楽を通して言語と文化を考える
- ・スペイン語圏（以下、「西」と表記）：
 1. スペイン語の発音、言語圏の広がり
 2. スペイン語の単語、スペインの紹介
 3. スペイン語の文、ラテンアメリカの紹介
- ・中国語圏（以下、「中」と表記）：
 1. 中国語について
 2. 中国の社会について
 3. 外国語を学ぶにあたって
- ・韓国語圏（以下、「韓」と表記）：
 1. 韓国語について
 2. 朝鮮半島（韓半島）の概観
 3. 韓国の文化について

到達目標

DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。

・英語以外の言語圏の文化や社会の特徴、またその多様性について理解を深め、特定の限定的な視野や価値観を相対化しより柔軟な世界観を涵養することができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第2回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第3回	クラス11（独）、クラス12（仏）、クラス13（西）、クラス14（中）、クラス15（韓）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第4回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第5回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第6回	クラス11（仏）、クラス12（西）、クラス13（中）、クラス14（韓）、クラス15（独）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第7回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第8回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第9回	クラス11（西）、クラス12（中）、クラス13（韓）、クラス14（独）、クラス15（仏）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第10回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第11回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第12回	クラス11（中）、クラス12（韓）、クラス13（独）、クラス14（仏）、クラス15（西）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第13回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分
第14回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中）	
	取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	120分

第15回	クラス11（韓）、クラス12（独）、クラス13（仏）、クラス14（西）、クラス15（中） 15回目授業の最後の時間を利用して、これまでの15回分の講義内容についての試験を実施する。 取り扱う言語圏のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 なお、最終回の最後の時間を利用して約30分の試験を実施する。試験範囲は第1回から第15回までの5言語圏についてのこれまでの講義内容の理解を問うものである。	120分
授業の方法 授業は講義形式ですが、視聴覚教材なども活用して、楽しく学べるようにしたいと思います。なお、各クラスごとに教室は固定されていますが、3回ごとに取り扱う言語圏が代わりますので、1名ないし2名ペアの異なった担当者が登場します。 受講者は、自分が～のうちのどのクラスに所属するかを必ず確認しておいてください。受講クラスを間違えると、成績評価ができません。 受講者からの質問や意見などもあれば随時受けつけます。		
成績評価の方法 5言語圏ごとに20点満点、合計100点満点で、コメントペーパーの提出およびその評価などの平常点（100％）によって成績評価を行います。		
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.		
必要な予備知識／先修科目／関連科目 予備知識として各言語圏の現在の社会状況や基本的な歴史の流れを知っておくことが望ましい。 関連科目としては、異文化理解B、各初修外国語の演習活用、演習発展科目などがある。		
テキスト 特にテキストは使用しない。		
参考書 適宜、指示します。		
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。		

科目名	異文化理解B（ドイツ語圏）		
教員名	里村 和秋		
科目ナンバー	1001487510	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この異文化理解B（ドイツ語圏）は、前期の「異文化理解A」を受けて、テーマをドイツ語圏に絞り、ドイツの都市、文化、歴史、社会など様々なテーマからアプローチします。この授業では、ドイツ語圏（オーストリアを含む）のナショナリズムの基盤を形成したロマン主義の時代から第二次世界大戦を経て現代に至るドイツ語圏のテーマについて、記録資料、映画、音楽など視聴覚資料を使いながら、時代ごとの問題をとらえることが到達目標になります。 また、ドイツ語圏に関するテーマをていただく予定です。 この授業への出席者はドイツ語履修者に限定しませんので、ドイツ語に関する知識がなくても理解できるように配慮しますので、学生のみなさんの積極的な参加を望みます。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・ドイツ語圏の文化について、おおそのイメージを持つことができるようになる。 ・ドイツ語圏の歴史が、ヨーロッパ全体の中で、どのような位置付けであるかを理解できるようにする。 ・明治維新以降の、日本とドイツとの関係について知識を持つことができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	オリエンテーション：ドイツのイメージ 授業の進め方、成績評価の方法、情報共有、コメントペーパーの提出方法などの説明をします。 またドイツに関する動画を見て、ドイツのイメージを持ちます。 「ヨーロッパの“主役”ドイツvs日本」		
	【復習】授業で説明した内容をよく確認してください。情報を共有するために、Office365のSNS機能のYammerを登録しておいてください。 Yammerへのログイン {http://www.cc2.seikei.ac.jp/riyo-annai/office365.html }		60分
第2回	ドイツ人論 ノーベル賞作家であるトーマス・マンの『ドイツとドイツ人』を読んで、ドイツ人による自画像を考察します。またドイツを代表する画家アルブレヒト・デューラーの作品「メランコリアI」を解釈します。		
	【予習】 トーマス・マン {https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%83%B3 } トーマス・マンは、『ドイツとドイツ人』においてナチス・ドイツの問題を中世末期から現在に至るドイツ人の一貫した特性で議論している。それを読んで次の質問に答えなさい。 1. トーマス・マンの「ドイツとドイツ人」を読んで、ドイツ人の特性とされるキーワードをいくつか書き抜きなさい。 2. 「アメリカ人になったことの方がどれほど適切であったかが満足感をもって理解できます。」（p.7）書かれているが、その理由を考えなさい。 3. トーマス・マンがこの作品で挙げているドイツの歴史的人物の評価を簡単にまとめなさい。マルティン・ルター/ ゲーテ/ ティルマン・リーメンシュナイダー 4. トーマス・マンが語る「倒錯したドイツ的自由」（p.20以下）とはどのようなものか？ 5. 「ドイツ人にとっての「政治」（p.25-26）とはどのようなものだ」とトーマス・マンは考えているか述べなさい。 6. 「ドイツ国民の神聖ローマ帝国」（p.28）というものがドイツ人の精神に及ぼした役割とは何かを述べなさい。		60分
第3回	地域論： ウィーン 今年は、オーストリアと日本の国交樹立から150周年になります。ローマ軍の駐屯地として歴史をスタートさせたウィーンが、歴史的にハプスブルク家とともにどのような経緯をたどって、現在の都市に発展してきたのかを辿ります。		
	【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。 {https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%B3 }		60分

第4回	地域論：ベルリン	
	ともに世界の先進工業国として比較されることが多い日本とドイツであるが、街の形成という点から見るといろいろ異なっている点が多い。首都ベルリンの成立を歴史的に見ながら、日本とどのような点で違っているのか確認します。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%AA%E3%83%B3}	60分
第5回	ドイツの歴史：ベルリンの壁の崩壊	
	1998年に発生したベルリンの壁崩壊は、当時の米ソによる冷戦構造を決定的に終わらせるきっかけとなりました。当時の世界情勢を踏まえ、資料映像を見ながら、ベルリンの壁の崩壊の意味を探っていきます。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {http://www.aozora.gr.jp/cards/000129/files/2078_15963.html}	60分
第6回	ドイツの映画（１）：ベルリンの壁の崩壊と映画	
	ベルリンの壁崩壊を舞台にした映画「グッドバイ・レーニン」を見ながら、当時の東ドイツの一般市民の状況について考察します。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {http://www.japan.diplo.de/Vertretung/japan/ja/05-politik/25jahre-Mauerfall-2014/2014-25jahre-mauerfall.html}	60分
第7回	ドイツの映画（２）：ナチスと映画	
	ナチスについては、戦前・戦後において様々な映画の中で描かれていますが、戦前はプロパガンダ、戦後は「悪」としてのナチスのイメージ作りに貢献してきました。そうした映画を紹介しながら、ナチスのイメージの変遷を概観します。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {https://www.youtube.com/watch?v=M1U5DL49Kow}	60分
第8回	ドイツ語圏の文学（１）：メルヒェンの解釈１	
	グリムのメルヒェンを読んで、メルヒェンの特徴を確認します。「１２人の兄弟」 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第9回	ドイツ語圏の文学（２）：メルヒェンの解釈２	
	グリムのメルヒェンを読んで、メルヒェンを解釈します。「青髭」 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 「意志の勝利」(1935) 英語字幕 { http://www.youtube.com/watch?v=GHs2coAzLJ8 } 「オリンピア」(1938) 英語字幕 { http://www.youtube.com/watch?v=ILnGqMoNXRI } 日本人選手も多数写っているのが新鮮です。 「Kolberg」の解説番組です { http://www.youtube.com/watch?v=tFRs0G5f0_g }	60分
第10回	ドイツ語圏の文学（３）：カフカの短編小説の解釈	
	カフカの短編小説を読んで、解釈します。 【課題レポート】ホフマンスタールの「騎兵の物語」を読んで、課題を提出していただきます。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%82%B2%E3%83%B3%E3%83%88%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%AB}	60分

第11回	オーストリアの美術： ユーゲントシュティルと表現主義 日本の絵画界はフランス絵画の影響が強いですが、ヨーロッパにおいては、そのアンチテーゼの一つとして、カンディンスキーを始めとするドイツ表現主義が評価されています。また19世紀末芸術運動の一つで、オーストリアで展開されたユーゲントシュティルが高く評価されています。こうしたドイツ語圏の絵画活動を概観します。 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {https://www.youtube.com/watch?v=-DFpU-y-4Y } {https://www.youtube.com/watch?v=K_1muzIwI6Y } {https://www.youtube.com/watch?v=0Lau9Kzjkr4}	60分
第12回	オーストリアの映画： クリムト絵画と映画 Die Frau in Gold. 【予習】授業のテーマについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。 {https://www.youtube.com/watch?v=u61XvPYyaE0}	60分
第13回	ドイツの美術： ナチスの略奪絵画 ナチスドイツが略奪がどのように行われたのかの動画を見てもらいます。 「発見！ナチス略奪絵画 執念のスクープの舞台裏」 【予習】ドイツ語圏に関するテーマを自由に選び、グループ発表を行います。その際、レジュメとパワーポイントを作成していただきます。	60分
第14回	ドイツ語圏の文学（4）： ヘルマン・ヘッセ ドイツの作家の中で、日本で最も読まれている作家の一人が、ノーベル賞作家であるヘルマン・ヘッセです。彼の小説は、戦前・戦後を通じて日本人のメンタリティに近いこともあり、早くから日本に受け入れられてきました。彼の生涯を紹介しながら、日本人が彼を好んで読んだのかの理由も探っていきます。 【予習】ドイツ語圏に関するテーマを自由に選び、グループ発表を行います。その際、レジュメとパワーポイントを作成していただきます。 グループ発表のテーマ： 1) 「ドイツ語圏の国々の政策／文化 / 商品／サービスなどで、日本に導入すると効果的なものを探し、それを日本でどのように導入するかを提案しなさい」 2) 「日本の政策／文化 / 商品／サービスなどにあるもので、ドイツ語圏に導入すれば効果的なものを探し、それをドイツ語圏でどのように導入するかを提案しなさい」 3) 「特にドイツ語圏の国々のトピックで、関心があるものを紹介しなさい」 例：ペット税、「博物館の長い夜」、交通運賃（地下鉄／バス／市電）の共通化、高速道路の無料化、ドイツパンの普及、教育費の無料化、日本流サービス、軽自動車、個人単位の就職活動 発表時間：20分程度 準備資料：レジュメ(word)、PowerPoint 備考：就活でのプレゼントを想定して、きちんと発表を準備しておくこと。 全員が話す／できるだけ原稿は読まない 決めておくこと：コンセプト、作業の段取り、打ち合わせの日程、役割分担（レジュメ作成、PowerPointの作成）	60分

第15回	オーストリアの文学：ユーゲントシュティルの文学 ホフマンスタールは、R. シュトラウスとともに「バラの騎士」「ナクソス島のアリアドネ」「アラペラ」などのオペラを制作した。ここでは、この授業のレポート課題としたホフマンスタールの短編小説の解釈を行います。 【予習】ドイツ語圏に関するテーマを自由に選び、グループ発表を行います。その際、レジュメとパワーポイントを作成していただきます。 グループ発表のテーマ： 1) 「ドイツ語圏の国々の政策／文化 / 商品／サービスなどで、日本に導入すると効果的なものを探し、それを日本でどのように導入するかを提案しなさい」 2) 「日本の政策／文化 / 商品／サービスなどにあるもので、ドイツ語圏に導入すれば効果的なものを探し、それをドイツ語圏でどのように導入するかを提案しなさい」 3) 「特にドイツ語圏の国々のトピックで、関心があるものを紹介しなさい」 例：ペット税、「博物館の長い夜」、交通運賃（地下鉄／バス／市電）の共通化、高速道路の無料化、ドイツパンの普及、教育費の無料化、日本流サービス、軽自動車、個人単位の就職活動 日程：1月12日／19日 発表時間：15分 準備資料：レジュメ(word)、PowerPoint 備考：就活でのプレゼントを想定して、きちんと発表を準備しておくこと。 全員が話す／できるだけ原稿は読まない 決めておくこと：コンセプト、作業の段取り、打ち合わせの日程、役割分担（レジュメ作成、PowerPointの作成）
授業の方法 講義形式ですが、視聴覚教材やパワーポイントを利用して、わかりやすく興味を持って学んでもらえるようにしたいと思います。試験は実施せず、ポータルサイトからの数回のコメントペーパーとレポートの提出、ドイツ語圏に関するテーマのグループ発表で評価を行います。 授業に関する質問・相談がある場合には、教室、研究室またはメールにて随時受け付けます。	
成績評価の方法 成績は、授業のコメントペーパーの提出（40％）、学期末レポート提出（30％）、課題の提出（30％）で評価します。学期末試験は特に予定していません。	
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. 次の点に着目し、その達成度により評価する。 ・ドイツ語圏の文化について、おおよそのイメージを持つことができているか。 ・ドイツ語圏の歴史が、ヨーロッパ全体の中で、どのような位置付けであるかを理解できているか。 ・明治維新以降の、日本とドイツとの関係について知識を持つことができているか。	
必要な予備知識／先修科目／関連科目 異文化理解A	
テキスト 特にテキストはありません。必要に応じて、教室において資料を配布します。	
参考書 トーマス・マン 『ドイツとドイツ人』（岩波書店） ネルケ無方「曲げないドイツ人 決めない日本人」 サンガ 映画「グッドバイ・レーニン」 Good Bye Lenin! 監督：ヴォルフガング・ベッカー 映画「黄金のアデーレ」 監督：サイモン・カーティス 「帰ってきたヒトラー」 著者：ティムール・ヴェルメシュ	
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後あるいはメールで受け付けます。初回の授業で指示します。 専任教員のオフィスアワーはポータルサイトで周知します。	

科目名	異文化理解B（フランス語圏）		
教員名	太西 雅一郎		
科目ナンバー	1001487520	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業では、フランス人の日常生活とそれを取りまく風景のなかに現れるさまざまな思考・行動パターンについて調べていきます。フランス人のメンタリティはどのようなものなのか、どのようにして現在の姿へと形成されてきたのでしょうか。日常生活と生活感覚、それらを取りまくフランス的な風景を理解するために、フランスのイメージを生み出した歴史的出来事や人物などもあわせて考えながら、フランスを構成する多様な側面を探っていきます。なおこの授業にはフランス語の知識は必要ありません。			
到達目標			
D P 1 ・フランスの様々な地域の特異性、植民地との関係を、歴史的・文化的観点から理解する。 D P 3 ・多様な価値観の理解に基づき、社会における共存という問題について探る。 D P 5 ・表面的な統一性の背後に潜む歴史的・文化的な状況を理解し批判的に自己の視点で論じる力を修得する。日常生活の基盤にある価値観などを、その文化的、歴史的背景を考慮に入れながら、理解する力を修得する。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)		準備学修の目安(分)
第1回	19世紀後半のパリ大改造		
	取り扱うテーマについて基本知識を得ておく。		60分
第2回	自由・平等・友愛の理念と現実		
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。		90分
第3回	植民地帝国フランス		
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。		90分

第4回	フランス革命と公共性	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第5回	ハイチの「フランス革命」とナポレオン	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第6回	フランスの言語政策	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第7回	政教分離とキリスト教	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第8回	フランスとアルジェリア	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第9回	フランスのレイシズム（人種差別）	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分

第10回	バスクの文化、巡礼地ルルド	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第11回	国境の街ストラスブール	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第12回	第二次世界大戦(1939-1945)とフランス	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第13回	格差社会の現実	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第14回	思想家ミシェル・フーコー	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習し、次回の授業に備えて基本知識を得ておくこと。	90分
第15回	思想家ジャック・デリダ	
	前回の授業内容について不明箇所の確認作業を行い、重要ポイントを復習しておくこと。	60分

授業の方法

映像資料を利用しながら説明を行います。

成績評価の方法

1. 毎回、扱った事柄について、その内容をメモとして作成し授業終了時に提出してください（75%）。
2. フランスに関して論じた書物を選び、一定の分量（50ページ以上）を読み、その内容を要約し、レポートとして提出してください（25%）。
レポートは、たとえば図書館資料を使って、1000字程度でまとめ、自分個人の意見を500字程度付け加えること。
レポートには必ず、書名、著者名、出版社、出版年度、参照した箇所（ページ数）について明記すること。
レポートの提出は、学期を通して随時、授業時に受け付けます。
レポートの提出締切は最終授業回とする。

定期試験は行わない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

欧米の時事問題への関心や、歴史に対するさまざまな興味をもっていることが望ましい。
異文化理解A、ヨーロッパ地域理解

テキスト

なし。

参考書

随時、指示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解B（スペイン語圏）		
教員名	鈴木 恵美子		
科目ナンバー	1001487530	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
スペインの文化、社会、歴史、生活習慣や風習、地域ごとの特色(言語、歴史、風習、祭り、芸術、食文化)に対する理解を深める。スペイン語圏の文化の多様性、ラテンアメリカのスペイン語圏の成り立ちなどを理解し、日本と比較しながら多文化共生の可能性を考える。			
到達目標			
DP1（教養の修得）、DP3（他者との協働）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の点を到達目標とする。 ・外国の文化や社会の様相、および日本との共通点・相違点について客観的に考察し、異文化理解につなげることができる。 ・必要な資料を収集・整理し、自分なりの視点で分析してレポート等にまとめることができる。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	スペインの多様性（イントロダクション）		
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		60分
第2回	マドリード ・スペインの首都概観、街並み・人の様子、近年の歴史 ・バルについて（社会的役割、スペインの食文化）		
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		60分
第3回	カスティーリャ・イ・レオン / カスティーリャ・ラ・マンチャ ・都市紹介：サラマンカ（大学、大聖堂、中央広場）、セゴビア（ローマ時代の水道橋）		
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。		60分

第4回	スペイン黄金世紀の傑作『ドン・キホーテ』紹介	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第5回	地方色豊かなお祭りについて	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第6回	闘牛について（闘牛の進行、歴史、世論の動向）	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第7回	カタルーニャ ・カタルーニャ語の現状、建築家ガウディや芸術家ダリを生んだ風土、食文化	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第8回	中央 vs. 地方（対抗意識の背後にあるもの-サッカーを例にとって）	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第9回	バスク ・バスク語とバスク人、食文化、スポーツ	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分

第10回	アンダルシア ・歴史(様々な民族・文化の融合)、世界遺産(アルハンブラ宮殿)	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第11回	フラメンコの起源と発展	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第12回	ナパーラ ・パンプローナの牛追い祭り	
	トピックについて基本的な知識を得ておくこと。学んだ事柄については、内容を整理しておき、不明な箇所は自分で調べて明確にしておくこと。	60分
第13回	ガリシア ・サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼の道	
	これまでに学んだことを振り返り、興味を持った点をさらに掘り下げてレポートにまとめる。	60分
第14回	世界のスペイン語圏 ・広がりや歴史、ラテンアメリカとのリンク、アメリカ合衆国のスペイン語	
	これまでに学んだことを振り返り、興味を持った点をさらに掘り下げてレポートにまとめる。	120分
第15回	授業の振り返りとまとめ	
	これまでに学んだことを振り返り、興味を持った点をさらに掘り下げてレポートにまとめる。	120分

授業の方法

上記の計画に基づき、受講生の関心にも配慮して進める。
必要に応じて視聴覚資料などを使って理解を深める。

成績評価の方法

授業のコメントカード20%、宿題や小テスト30%、レポート50%により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

また、次の到達目標がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

- ・外国の文化や社会の様相、および日本との共通点・相違点について客観的に考察し、異文化理解につなげることができる。
- ・必要な資料を収集・整理し、自分なりの視点で分析してレポート等にまとめることができる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：異文化理解A、各種スペイン語関連科目（コア科目、発展科目）

テキスト

特にテキストは使用しない。

参考書

適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解B（中国語圏）		
教員名	野原 将揮		
科目ナンバー	1001487540	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
この授業は中国の言語や文化を中心に扱います。「中国」と一言で言っても、言語・文化・民俗は多種多様です。たとえば言語に目を向けると、普段われわれが「中国語」という時には、「普通話」と称される「共通語（標準語）」を指すことが一般的ですが、実際には中国には様々な方言があり、互に通じないほど異なります。文化や民族について同様のことが言えます。 この授業では中国の地理や気候、中国語の概況、中国語圏、漢字の歴史とアジアにおける役割、中国語と日本語の関係、ピジン・クレオール等中心に紹介します。授業では言語学的な考え方についても簡単に触れます。 この授業を通して、中国語だけでなくアジアの言語や文化について考えてみましょう。また日本語や日本の文化についても考える良いきっかけとなるはずです。より多角的に中国と中国語について議論しましょう。 この授業は中国語の知識は必要ありません。			
到達目標			
・DP1（教養の習得）を実現すべく、多角的な視点から「中国」について考察する力を見に付けることを目的とします。 ・DP2（課題の発見と解決）の実現のため、具体的には以下の内容を目標としています： ・中国語の主要な特徴について理解している ・漢字の歴史と漢字文化圏について説明ができる ・アジアの地理を覚えている（小テスト3回あり） ・中国の地理的特徴について説明できる、地理環境と言語の関係性について説明できる			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	イントロダクション、授業の目的、達成目標、進め方等について紹介・解説します。授業に求めること等をアンケート形式で質問します		
	配布資料の復習	60分	
第2回	中国について① 「地理・自然・気候」		
	配布資料の復習	60分	
第3回	中国について② 「南水北調と歴史に見る水利工事」 「面積と人口密度」		
	配布資料の復習	60分	

第4回	中国の映画	
	配布資料の復習	60分
第5回	中国について③ 「香港・マカオ」 「租界・経済特区」 「春秋戦国時代の商業都市と豪商、古代の貨幣」 ～中国の省名テスト～	
	配布資料の復習	60分
第6回	香港について 「香港人の意識調査」	
	配布資料の復習 小テストの準備	60分
第7回	香港について 「香港人の意識調査」 「港独のこれから」	
	配布資料の復習	60分
第8回	中国語について① 「比較言語学の誕生」 「シナ・チベット語族」 「親族関係を見極める」	
	配布資料の復習	60分
第9回	中国語について② 「親族関係と音韻対応」 「中国諸方言間における対応関係」	
	配布資料の復習	60分

第10回	中国語について④ 「中国語と日本漢字音」 ～アジアの国名テスト（日本語）～	
	配布資料の復習 小テストの準備	60分
第11回	中国語について③ 「言語と方言・官話Mandarin」 「声調言語の特徴」 「中国語の語順と言語の種類」	
	配布資料の復習	60分
第12回	中国語圏について 「マレーシア・シンガポール」 「シンガポールの華語政策」 「ピジンとクレオール：宜蘭クレオール」	
	配布資料の復習	60分
第13回	中国の文字① 「中国で用いられる文字」 「漢字の歴史」	
	配布資料の復習	60分
第14回	中国の文字② 「多様な言語と文字」 「中国とアジアにおける漢字文化圏の意味」 ～アジアの国名テスト（英語名）～	
	配布資料の復習 小テストの準備	100分
第15回	総まとめ	
	最終仕上げ	120分

授業の方法

授業計画に基づき進めますが、受講者の関心も考慮します。毎回の授業の最後にコメントシートを提出してもらいます（コメントの内容は毎回つぎの授業のはじめに共有します）。また 全体を通して、中国の省名テスト1回とアジアの地図のテストを2回行います。地図テストは必ず役に立つのでしっかりと覚えるようにしてください。

成績評価の方法

期末試験（50%）、アジアの地図小テスト（30%）、平常点（20%、小テスト、授業参加度、コメントシート）により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

プリントを配布します。

参考書

適宜紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	異文化理解B（韓国語圏）		
教員名	全 東園		
科目ナンバー	1001487550	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
「近くて遠い国」と言われてきた韓国。地理的に最も近い外国でありながら、余り知られていない「韓国」に関する歴史的・文化的考察を試みる。「いま」の韓国を理解するうえで、重要ないくつかのテーマを選び、それぞれに関する考察を深めることにより、韓国がより身近な存在であることを確認する。			
到達目標			
1) 韓国現代史の流れをつかむ。 2) 韓国社会の抱える多様な問題を理解する。 3) 未来志向的な「日韓関係」を考える。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	授業のガイダンス		
	なし		90分
第2回	プロローグ：解放と南北分断、そして戦争		
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読		90分
第3回	李承晩集権期の韓国社会		
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読		90分

第4回	李承晩政權の没落 — 4・19革命	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第5回	5・16クーデターと朴正熙	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第6回	朴正熙政權の対米・対日外交	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第7回	朴正熙政權の対内的課題 — 經濟發展問題	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第8回	中間テスト	
	総復習	120分
第9回	朴正熙政權期の韓国社会	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分

第10回	「維新体制」の終焉 — 10・26事態	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第11回	「ソウルの春」と光州民主化運動	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第12回	民主化勢力の抵抗 — 6月抗争	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第13回	大衆文化の拡散(韓流)Ⅰ	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第14回	大衆文化の拡散(韓流)Ⅱ	
	①関連資料の調査 ②参考文献の精読	90分
第15回	期末テスト	
	総復習	120分

授業の方法

様々な映像資料を用いながら、それぞれのテーマに関する講義を行う。

成績評価の方法

- 1) レポート 30%
- 2) 中間テスト 35%
- 3) 期末テスト 35%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

「韓国語基礎AⅠ」、「韓国語基礎BⅠ」
「韓国語基礎AⅡ」、「韓国語基礎BⅡ」
「韓国語基礎AⅢ」、「韓国語基礎BⅢ」
「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」

テキスト

授業ガイダンスの時、紹介する。

参考書

授業中に適宜紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	世界の言語（ロシア語Ⅰ）		
教員名	中澤 朋子		
科目ナンバー	1401488010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「ロシア語」や「ロシア」と聴くと、「暗号みたいな文字だ」、「寒そう…」等々、何かとても謎めいていて取っ付き難いような印象をもちます。しかしながら、じつはロシアはわれわれの「隣人」なのです。このように「（近いのに）遠い国」と思われがちな「ロシア」という国について改めて考えてみるということをテーマに、まずはその言語＝ロシア語からアプローチしてみよう、というのがこの授業のねらいです。

後期はロシア語をはじめて学ぶ人を対象に、ロシア語のアルファベットから始めていきます。文法事項を解説していきながら、教科書の一課ごとをゆっくりと進めます。また、ロシアの大学でももちいられている教材をつかって、簡単な会話表現も学んでいきます。ときにはロシアの映画やアニメーションなどの鑑賞もします。

到達目標

- ①アルファベットの表やルビなどに頼らず、キリル文字が正しく読める。
- ②キリル文字をきちんと書ける。
- ③ロシア語初級文法の半分以上を知っていて、理解している。
- ④やさしい会話表現ならば話せる／理解できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、アルファベット ・授業の進め方、復習の仕方等についても触れる。 ・キリル文字を知り、じっさいに書いてみる。	
	【復習】ロシア語のアルファベットを覚える。	60～90
第2回	前回の復習 文字と発音(1)	
	キリル文字を声に出して読んでみる。	60～90
第3回	前回の復習 文字と発音(2)	
	キリル文字を声に出して読んでみる。	60～90

第4回	前回の復習 文字と発音 (3)	
	【復習】キリル文字を声に出して読んでみる。	60～120
第5回	前回の復習 第1課「この人は誰ですか」 ・平叙文／疑問文 ・ да 「はい」 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第6回	小テスト（「第1課」本文音読） 第2課「あなたは医者ですか」 ・ нет 「いいえ」 ・ 人称代名詞 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第7回	小テスト（「第2課」本文音読） 第3課「郵便局はどこですか」 ・ 動詞の不定形と現在人称変化（第1変化） ・ 名詞の性 など ロシアのアニメーション (1)	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第8回	小テスト（「第3課」本文音読） 第4課「これは誰の写真ですか」 ・ 名詞の数 ・ 所有代名詞、指示代名詞 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第9回	小テスト（「第4課」本文音読） 第5課「どこにお勤めですか」 ・ 格 ・ 前置格 など ロシアのアニメーション (2)	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60

第10回	小テスト（「第5課」本文音読） 第6課「彼はロシア語を話します」 ・現在人称変化（第2変化） ・形容詞の性と数 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第11回	小テスト（「第6課」本文音読） 第7課「どこに住んでるの」 ・生格、所有の表現 ・人称代名詞の格変化 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第12回	小テスト（「第7課」本文音読） 第8課「こんにちは、アンナ！」 ・動詞の過去形 ・与格 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、「到達確認テスト（文法）」の準備。	60～90
第13回	小テスト（「第8課」本文音読） 第9課「どこへ行くところ？」 ・идти и ехать の変化と用法 ・不定人称文 など 会話練習	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、「到達確認テスト（文法）」の準備。	60～90
第14回	到達度確認テスト（文法）	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60～90
第15回	小テスト（「第9課」本文音読） 到達度確認テスト（文法）の解説・質疑応答	
	【復習】「到達度確認テスト（文法）」の結果を受けて、不足している知識等を確認し、学修する。また、各課の音読の小テストの結果をふまえて、ロシア語の発音練習をさらに続けていく。	60～90

授業の方法

教科書に沿って一課ずつ進めていきます。おおまかな流れとしては、「新出単語→本文音読→文法解説→ふたたび本文音読・意味内容の確認」という工程を基本とし、各課全体をゆっくりと学習していきましょう。教科書の一課分を終えたら、その翌週には「まとめ」として、終えた課の本文を音読する小テストをおこなっていきます（ちなみに教科書の第10課までは、本文のキリル文字にルビが振ってありますが、ルビのないものをこちらで用意しますので、それを音読してもらうことになります）。この音読の小テストすべてに合格しないと成績評価を受ける条件をクリアしていないとみなしますので、ご注意ください。

また、ロシアの大学でももちいられている教材をつかって、簡単な会話表現を練習していきます。そのさいの会話のテーマについては教科書の各課でとりあげられている文法をふまえたうえで、じっさいによく使われる表現を紹介していくつもりです。ですから、会話表現の練習にさいしては、教科書の学習内容のさらなる発展をめざしましょう。

さらには、ロシア文化へのアプローチの一環として、授業の後半20分～30分程度をつかってロシアのアニメーションや映画も鑑賞していきたいと思っています（ただし、上に示した視聴覚教材の内容および鑑賞回数はあくまでも目安なので、変更されることがあります）。

なお、今年度から学期末に文法問題中心の「到達確認テスト（筆記試験）」を実施します。（昨年度までに本講座を受講していたあるいは検討したことのある学生さんは、特にお気をつけください。昨年度までのように「課題提出」による成績評価ではなく、「試験」でのそれに切り替えます。）ただし、「到達確認テスト」実施に際しては、ロシアの大学における試験でのルールをヒントにし取り入れたいと思っています。詳細は教室でお伝えします。

成績評価の方法

到達度確認テスト（「文法問題」：50%）、一課分終了後におこなう各小テスト（「音読」：30%）、その他（「授業中の態度や積極性など」：20%）。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

とりわけ次の点に着目し、その達成度により評価します。

- ①ロシア語を正しく読めるようになってきている。
- ②「到達度確認テスト（文法）」準備に真面目に取り組み、努力の跡がみられる答案に仕上がっており、なおかつ一定の点数を得られている。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

桑野隆著『初級ロシア語20課(CD付)』（白水社、2012年）ISBN：978-4-560-08614-8

参考書

米重文樹編『パスポート初級露和辞典』（白水社、1994年）ISBN:978-4-560-00066-3

木村彰一他編『ロシア語辞典』（博友社、1995年）ISBN:978-4-8268-0148-5

その他、必要に応じて随時教室で紹介していきます。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

随時受け付けます。電子メールでも可。

科目名	世界の言語（ロシア語Ⅱ）		
教員名	中澤 朋子		
科目ナンバー	1401488020	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
「ロシア語」や「ロシア」と聴くと、「暗号みたいな文字だ」、「寒そう…」等々、何かとても謎めいていて取っ付き難いような印象を持ちます。しかしながら、じつはロシアはわれわれの「隣人」なのです。このように「（近いのに）遠い」と思われがちな「ロシア」という国について改めて考えてみるということをテーマに、まずはその言語＝ロシア語からアプローチしてみよう、というのがこの授業のねらいです。 前期は、前年度の後期に学習したことをふまえてさらに複雑な文法事項へと進んでいきます。文法事項はより難しくなりますがゆっくりと進めてゆくつもりなので、わからないことがでてきたらいつでも質問してください。また前年度後期にひきつづき「音読」もたくさんしていきます。前期は「正しさ」に加えて「すらすらと」ロシア語が読めるように練習していきましょう。ロシアの映画などもできるだけ鑑賞します。			

到達目標			
①アルファベットの表やルビなどに頼らず、キリル文字が正しくすらすらと読める。 ②キリル文字を間違いなくきれいに書ける。 ③挨拶などの簡単な表現をロシア語で何というか知っている、あるいは言える。 ④ロシア語初級文法の基礎をひととおり知っていて、理解している。			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	前年度後期の復習 第9課「どこへ行くところ？」 ・идтиとехатьの変化と用法 ・不定人称文 など		
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。		60
第2回	小テスト（「第9課」本文音読） 第10課「何をする予定？」 ・合成未来 ・対格と活動／不活動名詞 など 会話練習		
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。		60
第3回	小テスト（「第10課」本文音読） 第11課「読み終わりましたか」 ・動詞の体 ・体と時制 など 会話練習		
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。		60

第4回	小テスト（「第11課」本文音読） 第12課「私は忙しかった」 ・形容詞短語尾形 ・一人称命令法 など ロシアの映画(1) - ①	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第5回	小テスト（「第12課」本文音読） 第13課「スープは何がおすすですか」 ・2人称命令法 など ロシアの映画(1) - ②	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、「第一課題」を解いてみる。	60
第6回	第13課「スープは何がおすすですか」 ・造格 ・-о в а т ь 動詞の変化 など ロシアの映画(1) - ③	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第7回	小テスト（「第13課」本文音読） 第14課「ご気分はいかがですか」 ・形容詞や副詞の比較級 ・所有・存在の否定の生格 など ロシアの映画(1) - ④	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第8回	小テスト（「第14課」本文音読） 第15課「いつお出かけですか」 ・個数詞と名詞の結合 など ロシアの映画(1) - ⑤	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第9回	第15課「いつお出かけですか」 ・時間の表現 など ロシアの映画(2) - ①	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60

第10回	小テスト（「第15課」本文音読） 第16課「ちょっとおうかがいしますが…」、 ・「ちょっとうかがいますが…」 など ロシアの映画(2) - ②	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第11回	第16課「ちょっとおうかがいしますが…」 ・無人称文 など ロシアの映画(2) - ③	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60
第12回	小テスト（「第16課」本文音読） 第17課「この辞書はいくらですか」 ・値段の表現 ・нравитьсяの用法 など ロシアの映画(2) - ④	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、「到達確認テスト（文法）」の準備。	60～90
第13回	小テスト（「第17課」本文音読） 第18課「彼の名前は？」 ・名前のたずね方 ・年数・年齢の表わし方 など ロシアの映画(2) - ⑤	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、「到達確認テスト（文法）」の準備。	60～90
第14回	到達度確認テスト（文法）	
	【復習】本文を声に出して読んでみる、文法のおさらい。	60～90
第15回	小テスト（「第18課」本文音読） 到達度確認テスト（文法）の課題の解説・質疑応答	
	【復習】「到達度確認テスト（文法）」の結果を受けて、不足している知識等を確認し、学修する。また、各課の音読の小テストの結果をふまえて、ロシア語の発音練習をさらに続けていく。	60～90

授業の方法

教科書に沿って一課ずつ進めていきます。おおまかな流れとしては、「新出単語→本文音読→文法解説→ふたたび本文音読・意味内容の確認」という工程を基本とし、各課全体をゆっくりと学習していきましょう。教科書の一課分を終えたら、その翌週には「まとめ」として、終えた課の本文を音読する小テストをおこなっていきます。また、ロシア文化へのアプローチの一環として、授業の後半20分～30分程度をつかってロシアの映画やアニメーションも鑑賞していきたいと思っています（ただし、上に示した映画の鑑賞回数はあくまでも目安なので、変更されることがあります）。

なお、今年度から学期末に文法問題中心の「到達確認テスト（筆記試験）」を実施します。（昨年度までに本講座を受講していたあるいは検討したことのある学生さんは、特にお気をつけください。昨年度までのように「課題提出」による成績評価ではなく、「試験」でのそれに切り替えます。）ただし、「到達確認テスト」実施に際しては、ロシアの大学における試験でのルールをヒントにし取り入れたいと思っています。詳細は教室でお伝えします。

成績評価の方法

到達度確認テスト（「文法問題」：50%）、一課分終了後におこなう各小テスト（「音読」：30%）、その他（「授業中の態度や積極性など」：20%）。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

とりわけ次の点に着目し、その達成度により評価します。

- ①ロシア語を正しく且つ淀みなく読んでいる。
- ②「到達度確認テスト（文法）」準備に真面目に取り組み、努力の跡がみられる答案に仕上がっており、なおかつ一定の点数を得られている。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

前年度後期に「ロシア語Ⅰ」を履修していた人、あるいはすでにどこかでロシア語の学習をしたことがあり、ロシア語の基礎知識をすでに有している人を対象にしています。前年度後期の学修をふまえたうえで（今学期は教科書の第9課からスタートします）授業が進んでゆくの、ロシア語未習者でどうしてもこの授業を取りたい人はすでに授業で扱った箇所についての自習が必至となりますので、そのつもりで臨んでください。

テキスト

桑野隆著『初級ロシア語20課(CD付)』（白水社、2012年）ISBN: 978-4-560-08614-8

参考書

米重文樹編『パスポート初級露和辞典』（白水社、1994年）ISBN: 978-4-560-00066-3

木村彰一他編『ロシア語辞典』（博友社、1995年）ISBN: 978-4-8268-0148-5

その他、必要に応じて随時教場にて紹介していきます。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

随時受け付けます。電子メールでも可。

科目名	世界の言語（タイ語Ⅰ）		
教員名	中島 マリン		
科目ナンバー	1401488210	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

日本企業にとって、タイは東南アジアの重要ビジネス拠点であり、海外旅行先としても大変人気を得ています。本校ではタイ北部に在るチェンマイ大学と協定を結んでおり、交換留学生の募集を毎年しています。いつかタイへ行ってみたい、留学や仕事でタイと関わりをもちたいと思う方に適した授業です。授業ではタイの文化、歴史や日本人との価値観や考え方の違い等を紹介しながら、無理なくタイ語のコミュニケーション能力を高めていきます。正しい発音を身につけ、いろいろな状況での言い回しの練習をします。難しいタイ文字ではなく、英語表記に似た発音記号で学習しますので、初心者の方でも受けることができます。

到達目標

- ① タイの文化、タイ人の価値観や考え方、歴史などを理解できるようにします。
- ② タイ語で自己紹介ができるようにします。
- ③ 現地の人と簡単な日常会話レベルのコミュニケーションができるようにします。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方、評価の仕方を説明。 ・「発音と声調記号」を学習。	
	発音と声調記号を復習する。	60分
第2回	「有気音・無気音と末子音」を学習。	
	発音、声調記号を復習する。	60分
第3回	第1課「文の基本構成」を学習。	
	発音、声調記号、有気音・無気音と末子音を復習する。	60分

第4回	第2課「お名前は何ですか。」を学習。	
	・正しく発音ができるように発音記号と声調記号を復習。 ・習った単語を暗記してくる。 ・習った文法を復習してくる。	60分
第5回	第3課「今日は、何月何日ですか。」を学習	
	・習った単語を暗記してくる。 ・習った文法を復習してくる。	60分
第6回	第3課（続）「あなたは何月生まれですか。」を学習	
	同上。	60分
第7回	第4課「日本から来ました。」を学習。	
	同上。	60分
第8回	第5課「何の仕事をしていますか。」を学習。	
	同上。	60分
第9回	第6課「トイレはどこですか。」を学習。	
	同上。	60分

第10回	第7課「タイ語を話せます。」を学習。	
	同上。	60分
第11回	第8課「象に乗りたいです。」を学習。	
	同上。	60分
第12回	第9課「タイで働く。」を学習。	
	同上。	60分
第13回	第10課 「タイ語で自己紹介をする（或いは友達を紹介する）。」を学習。	
	同上。	60分
第14回	第1課～第10課までの復習。	
	同上。	60分～90分
第15回	期末テスト（第1～10課）、総まとめ	
	今まで習った単語と文法をしっかりと復習してくる。	120分

授業の方法

プリントを使用し、新単語、文法、ダイアログなどを学習します。学習した新単語や文法を応用して自分で簡単な文を作り、ある程度タイ語が身についたところでクラスメイトとペアを組み、挨拶や自己紹介等の練習をします。タイ語を話したくなるような、楽しい授業を目指しています。学習したことを家で復習できるように宿題を出します。

成績評価の方法

出席率10%、宿題提出率10%と期末試験80%によって総合評価します。
3回遅刻した場合は、そのうちの1回を欠席とみなします。15分以上遅刻した場合は、欠席とみなします。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

テキストなし。クラスで配布するプリントを使用。

参考書

授業内で紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	世界の言語（タイ語II）		
教員名	中島 マリン		
科目ナンバー	1401488220	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

日本企業にとって、タイは東南アジアの重要ビジネス拠点であり、海外旅行先としても大変人気を得ています。タイを旅行してみたいけれども、言葉が通じないから不安だと思っ方に適したクラスです。授業では、旅先ですぐに役に立つ会話を学びます。料理の注文や買い物などさまざまな場面を想定して、会話の練習をします。タイの文化、歴史や日本人との価値観や考え方の違い等を紹介しながら、無理なくタイ語のコミュニケーション能力を高めていきます。難しいタイ文字ではなく、英語表記に似た発音記号で学習しますので、初心者の方でも受けることができます。

到達目標

- ① 旅先で道をたずねたり、買い物をしたり、料理を注文したりするなど、簡単なコミュニケーションができるようにします。
- ② タイの文化、タイ人の価値観や考え方、歴史などを理解できるようにします。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	ガイダンス ・授業の内容、進め方、評価の仕方を説明。 ・「発音と声調記号」を学習。	
	発音と声調記号の読み方を復習する。	60分
第2回	「声調と末子音」を学習。	
	発音、声調記号を復習する。	60分
第3回	第1課「文の基本構成」を学習。	
	・発音、声調記号、有気音と無気音の復習する。 ・文の基本構成を復習する。	60分

第4回	第2課「（到着空港内で）観光に来ました。」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第5回	第3課「（到着空港で）タクシー乗り場はどこですか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第6回	第4課「（宿泊先で）wifi使えますか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第7回	第5課「（フードコートで）クーポン売り場はどこですか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第8回	第6課「（お店で）これを見せてもらえますか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第9回	第7課「（お店で）試着してもいいですか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分

第10回	第8課「（市場で）これは何と言うのですか？」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第11回	第9課「（ホテルで）空き部屋ありますか。」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第12回	第10課「（レストランで）料理を注文①」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第13回	第10課「（レストランで）料理を注文②」を学習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分
第14回	第1課～10課までの復習。	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	60分～90分
第15回	期末テスト（第1課～10課まで）、総まとめ	
	今まで習った単語と文法を復習してくる。	120分

授業の方法

プリントを使用し、新単語、文法、ダイアログなどを学習します。学習した新単語や文法を応用して自分で簡単な文を作り、ある程度タイ語が身についたところでクラスメイトとペアを組み、買い物や料理の注文等の練習をします。タイ語を話したくなるような、楽しい授業を目指しています。学習したことを家で復習できるように宿題を出します。

成績評価の方法

出席率10%、宿題提出率10%と期末試験80%によって総合評価します。
3回遅刻した場合は、そのうちの1回を欠席とみなします。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

テキストなし。クラスで配布するプリントを使用。

参考書

授業内で紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	世界の言語（イタリア語Ⅰ）		
教員名	石井 沙和		
科目ナンバー	1101488410	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期
テーマ・概要			
イタリアについての興味関心を掘り下げながら、文法学習とその実践を中心に進めます。基礎的なコミュニケーションに必要な文法事項を学び、初歩的な会話に必要な表現力を身につけ、イタリア語に慣れることがこの講座のテーマです。会話に必要な基本文型をベースとして語彙を広げ、ペア/グループワークを繰り返し行い、表現力の定着を図ります。			
到達目標			
基礎文法を学ぶことでイタリア語の知識と運用する際の基礎を固め、イタリア語による総合的なコミュニケーションを身につけることを目標とします。同時に、イタリアという国のさまざまな文化的側面を知ること、受講者のイタリアについての知識を深め、興味・関心の幅を広げることを目指します。			
授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容		
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)	
第1回	〈ガイダンス〉 イタリアに関する基本的な知識を紹介すると同時に、受講者が知っているイタリア語の単語やイタリア文化等について広く考える。同時にイタリア語の音、発音、アルファベットを学ぶ。 テキスト：Lezione 1-A Presentarsi（自己紹介、アルファベット、発音） 予習：受講者はイタリアについてや、イタリア語について考えてくること。 復習：イタリア語の音やアルファベット、発音を覚える		
第2回	テキスト：Lezione 1-B Il primo incontro（挨拶、動詞essere） 発音を学んだ単語と挨拶表現を覚える		
第3回	テキスト：Lezione 2-A Al bar（名詞と冠詞） 名詞とその語尾変化、冠詞を覚える		

第4回	テキスト : Lezione 2-B Al negozio (名詞の複数形)	
	名詞の変化を覚える	復習 60分
第5回	テキスト : Lezione 3-A All'università (-are動詞の現在形活用)	
	動詞の活用を覚える	復習 60分
第6回	テキスト : Lezione 3-B Alla mensa (数詞、動詞avere)	
	数え方と動詞の活用を覚える	復習 60分
第7回	テキスト : Lezione 4-A Con un'amica (-ere動詞の現在形活用)	
	動詞の活用を覚える	復習 60分
第8回	テキスト : Lezione 4-B Al ristorante (所有形容詞)	
	所有形容詞とその変化、用法を覚える	復習 60分
第9回	テキスト : Lezione 5-A L'orario (時刻の表現)	
	時を表す表現を覚える	復習 60分

第10回	テキスト：Lezione 5-B Il programma del viaggio（-ire動詞の現在形活用）	
	動詞の活用を覚える	復習60分
第11回	テキスト：Lezione 6-A Al telefono（代名詞）	
	代名詞とその用法を覚える	復習60分
第12回	テキスト：Lezione 6-B Rincontro（不規則動詞の現在形活用）	
	不規則動詞の活用を覚える	復習60分
第13回	学習したことのまとめ1	
	これまでの文法事項の復習	復習60分
第14回	学習したことのまとめ2	
	これまでの文法事項の復習	復習60分
第15回	学習事項の総まとめ	
	これまで学習した内容の総復習	復習60分

授業の方法

テキスト『イタリアーノ・ピュ・アッティーヴォ!』をに従って授業を進めます。その際、学習進度に応じて補助教材や小テストで運用法・学習内容の定着を図ります。受講者は各自進出単語を調べ意味を確認し語彙を積極的に増やすことが望ましいです。

成績評価の方法

学期末試験50%と平常点（出席・小テスト等）50%で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

開講前の予備知識は特に必要ありません。忍耐強く学習内容を身につけ、イタリア語文法習得の努力を怠らず、イタリアへの興味・関心を深める機会としてください。よりよく定着を図るためにも、受講者には授業への積極的な参加を求めます。また新しい言語を学ぶときには少なくとも辞書は準備してください。

テキスト

『イタリアーノ・ピュ・アッティーヴォ!』（Italiano più attivo!）、和栗珠里、囃絵里著、白水社、2,200円

参考書

辞書：小学館『伊和中辞典』『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』、三省堂『デイリーコンサイス伊和・和伊辞典』、白水社『新伊和辞典』などから、自分の用途に合うものを選ぶこと。

文法書：しっかり詳しく文法を確認したい場合は、文法書を用意することを進めます。比較的シンプルなものでは駿河台出版社『イタリア語文法徹底マスター』、より詳しく勉強したい方は白水社『イタリア語のABC』などいろいろありますが、こちらも自分に合うものを選んでください。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	世界の言語（イタリア語Ⅰ）		
教員名	石井 沙和		
科目ナンバー	1101488420	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

イタリアについての興味関心を掘り下げながら、文法学習と会話によるその実践を中心に進めます。基礎的なコミュニケーションに必要な文法事項を学び、初歩的な会話に必要な表現力を身につけ、イタリア語に慣れることがこの講座のテーマです。会話に必要な基本文型をベースとして語彙を広げ、ペア/グループワークを繰り返し行い、表現力の定着を図ります。
イタリア語Ⅰで学んだ内容を基礎に、新たな文法を学び、表現の幅を広げます。

到達目標

基礎文法を学ぶことでイタリア語の知識と運用する際の基礎を固め、イタリア語による総合的なコミュニケーションを身につけることを目標とします。同時に、イタリアという国のさまざまな文化的側面を知ること、受講者のイタリアについての知識を深め、興味・関心の幅を広げることを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	2018年度後期に学習した内容を復習する 動詞の活用など	
	2018年度後期に学習した内容の復習	復習30分
第2回	テキスト：第11課 補語人称代名詞 直接目的語と間接目的語	
	補語人称代名詞を覚えること	復習30分
第3回	テキスト：第12課 動詞piacereの活用と使い方 「私は～が好き」 Mi piace~	
	動詞piacereのような使い方をする動詞に慣れること	復習60分

第4回	テキスト：第13課 補助動詞dovere, potere, volere sapereの活用と使い方 「～したい」「～できる」「しなければならない」	
	補助動詞の活用と使い方を覚えること	復習60分
第5回	テキスト：第15課 再帰代名詞と再帰動詞 〈朝の習慣〉	
	再帰動詞の活用と使い方に慣れること	復習60分
第6回	テキスト：第15課 代名動詞	
	代名動詞の活用と使い方に慣れること	復習60分
第7回	テキスト：第17課 イタリア語の時制 近過去 助動詞avereをとる場合 「～した」	
	近過去の使い方に慣れること	復習60分
第8回	テキスト：第18課 近過去 助動詞essereをとる場合 「～した」	
	近過去の使い方に慣れること	復習60分
第9回	テキスト：第19課 半過去の用法と活用1 〈過去の習慣〉 「～していた」「～したものだった」	
	半過去の活用を覚えること	復習60分

第10回	テキスト：第19課 半過去の用法と活用2 〈過去の習慣〉 「～していた」「～したものだった」	
	半過去の使い方に慣れること	復習60分
第11回	テキスト：第19課 大過去	
	大過去の使い方に慣れること	復習60分
第12回	テキスト：第20課 未来形 「～だろう」「～するぞ」	
	未来形の使い方に慣れること	復習60分
第13回	イタリア語の時制のまとめ1	
	直接法現在・近過去・半過去の復習	復習60分
第14回	イタリア語の時制のまとめ2	
	大過去と未来形の復習	復習60分
第15回	学習事項の総まとめ	
	これまで勉強した内容の総復習	復習60分

授業の方法

テキスト『イタリア語文法徹底マスター』に従って授業を進めます。あわせて、会話コミュニケーション用の副教材を配布し、また適宜、補助教材や小テストで文法の運用法・学習内容の定着を図ります。受講者は各自進出単語を調べ意味を確認し語彙を積極的に増やすことが望ましいです。

成績評価の方法

期末試験 50%と平常点（出席・小テスト等）50%で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

イタリア語 I を履修していることが望ましいですが、チャレンジャーも受け入れます。忍耐強く学習内容を身につけ、イタリア語文法習得の努力を怠らず、イタリアへの興味・関心を深める機会としてください。よりよく定着を図るためにも、受講者には授業への積極的な参加を求めます。また新しい言語を学ぶときには辞書を準備してください。

テキスト

『イタリア語文法徹底マスター』、堂浦律子著、駿河台出版社、2,700円

参考書

辞書：小学館『伊和中辞典』『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』、三省堂『デイリーコンサイス伊和・和伊辞典』、白水社『新伊和辞典』などから、自分の用途に合うものを選ぶこと。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。